

横須賀市
子どもの生活等に関する
アンケート
結果報告書
(案)

平成 31 年 3 月

横須賀市

目 次

| | |
|--------------------|-----|
| 第1章 調査実施の概要 | 1 |
| 1 調査実施の概要 | 1 |
| 2 調査の集計方法 | 2 |
| 第2章 調査結果の概要 | 5 |
| 生活困難層の状況 | 5 |
| 第3章 保護者調査 | 19 |
| 1 回答者の属性、世帯のことについて | 19 |
| 2 世帯の就業状況について | 30 |
| 3 子どもの教育・保育のことについて | 38 |
| 4 健康のことについて | 41 |
| 5 子育てにかかる費用について | 47 |
| 6 食事のことについて | 59 |
| 7 子どもとの関わりについて | 60 |
| 8 家庭での生活について | 73 |
| 9 公的支援の利用状況について | 90 |
| 10 自由回答 | 113 |
| 第4章 児童・生徒調査 | 117 |
| 1 普段の生活について | 117 |
| 2 食事のことや健康のことについて | 156 |
| 3 友だちのことについて | 163 |
| 4 学校のことや勉強のことについて | 167 |
| 5 普段考えていることについて | 182 |

第 1 章

調査実施の概要

1 調査実施の概要

1 調査の目的

横須賀市内の小中学生及びその家庭における生活実態を調査し、調査結果を支援を必要とする子どもやその家庭に対する施策等を検討するための基礎資料として活用することを目的とする。

2 調査の内容等

(1) 調査の内容

図表 1.1 調査の内容

| 項目 | 内容 |
|------|--|
| 対象者 | 市立小学校5年生の全児童とその保護者 市立中学校2年生の全生徒とその保護者 |
| 抽出方法 | 悉皆調査 |
| 調査方法 | 学校経由による配布・郵送回収 |
| 調査時期 | 平成30年11月16日～12月7日 |

(2) 調査票の配布・回収状況

図表 1.2 調査票の配布・回収状況

| 調査種別 | 配付数 | 回収数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-----------|--------|--------|--------|-------|
| ①小学5年生児童 | 3,148件 | 1,382件 | 1,382件 | 43.9% |
| ②小学5年生保護者 | 3,148件 | 1,390件 | 1,390件 | 44.2% |
| ③中学2年生生徒 | 3,192件 | 967件 | 967件 | 30.3% |
| ④中学2年生保護者 | 3,192件 | 978件 | 978件 | 30.6% |

3 報告書の見方について

- 各設問の回答対象者数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示している。
- 回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがある。
- 回答者が2つ以上回答することができる設問(複数回答)の場合、その回答率の合計は100%を超えることがある。
- クロス集計結果の図表については、それぞれに「無回答」があるため、全体の示す数値とは一致していない場合がある。
- 選択肢の一部を省略・編集している場合がある。

2 調査の集計方法

本調査では、収入の違いによって生活実態がどのように異なるかについて分析を行った。

調査の集計にあたっては、保護者調査で尋ねている世帯員の人数ごとの世帯収入に基づき、その世帯が生活困難であるか否かについて分類（以下、生活困難層（3区分）という）し、生活困難層（3区分）に基づき、設問ごとにクロス集計を行った。

1 収入区分

OECD（経済協力開発機構）による相対的貧困の定義に基づき、世帯員の人数ごとに収入を区分した。

分類Ⅰ及びⅡに該当する世帯は、概ね国の貧困線以下に相当すると考えられる世帯である。また、分類Ⅲ及びⅣに該当する世帯は、国の貧困線を上回っているものの、国の中央値以下に相当すると考えられる。

図表 2.1 世帯員の人数による収入区分

| 世帯員 | 分類Ⅰ | 分類Ⅱ | 分類Ⅲ | 分類Ⅳ | 分類Ⅴ | 分類Ⅵ |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1人 | 60万円未満 | 120万円未満 | 180万円未満 | 240万円未満 | 300万円未満 | 300万円以上 |
| 2人 | 85万円未満 | 175万円未満 | 260万円未満 | 345万円未満 | 430万円未満 | 430万円以上 |
| 3人 | 105万円未満 | 210万円未満 | 315万円未満 | 420万円未満 | 525万円未満 | 525万円以上 |
| 4人 | 120万円未満 | 245万円未満 | 365万円未満 | 485万円未満 | 605万円未満 | 605万円以上 |
| 5人 | 135万円未満 | 275万円未満 | 410万円未満 | 545万円未満 | 680万円未満 | 680万円以上 |
| 6人 | 150万円未満 | 300万円未満 | 450万円未満 | 600万円未満 | 750万円未満 | 750万円以上 |
| 7人 | 160万円未満 | 325万円未満 | 485万円未満 | 645万円未満 | 805万円未満 | 805万円以上 |
| 8人 | 175万円未満 | 345万円未満 | 520万円未満 | 695万円未満 | 870万円未満 | 870万円以上 |
| 9人 | 185万円未満 | 365万円未満 | 550万円未満 | 735万円未満 | 920万円未満 | 920万円以上 |

2 生活困難層（3区分）の定義

集計にあたっては、上記図表 2.1 の収入の分類Ⅰ及びⅡに該当する世帯を生活困難層Ⅰ、分類Ⅲ及びⅣに該当する世帯を生活困難層Ⅱ、分類Ⅴ以上の世帯を非該当層とし、生活困難層Ⅰ・生活困難層Ⅱ・非生活困難層の3つに区分した。

この生活困難層（3区分）に基づき、設問ごとにクロス集計を行った。

図表 2.2 生活困難層（3区分）

| 生活困難層Ⅰ | | 生活困難層Ⅱ | | 非生活困難層 | |
|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| 分類Ⅰ | 分類Ⅱ | 分類Ⅲ | 分類Ⅳ | 分類Ⅴ | 分類Ⅵ |

なお、本調査では、保護者調査と児童・生徒調査それぞれをひもづけすることによるマッチングを行っており、保護者票での生活困難層（3区分）に基づき、児童・生徒票も区分した。調査における生活困難層（3区分）の件数及び割合は、以下の表のとおりとなっている。

図表 2.3 生活困難層（3区分）結果

| 調査種別 | 全体 | 生活困難層 Ⅰ | 生活困難層 Ⅱ | 非生活困難層 | 判定不能 |
|-----------|------------------|--------------|---------------|---------------|---------------|
| ①小学5年生児童 | 1,382件 100.0% | 123件 8.9% | 242件 17.5% | 786件 56.9% | 231件 16.7% |
| ②小学5年生保護者 | 1,390件 100.0% | 125件 9.0% | 242件 17.4% | 794件 57.1% | 229件 16.5% |
| ③中学2年生生徒 | 967件 100.0% | 72件 7.4% | 177件 18.3% | 553件 57.2% | 165件 17.1% |
| ④中学2年生保護者 | 978件 100.0% | 72件 7.4% | 179件 18.3% | 560件 57.3% | 167件 17.1% |



第 2 章

調査結果の概要

生活困難層の状況

本調査における、生活困難層Ⅰ・Ⅱに区分される世帯では、以下のような傾向が見られる。

- 1 母子家庭が多く、世帯人員が少ない
- 2 非正規雇用の雇用が多い
- 3 高等教育機会の可能性の逸失
- 4 子ども・保護者の健康状態・健康管理の問題
- 5 子どもの体験や物質的な欠乏
- 6 経済的困窮
- 7 公的支援や情報とのつながりが薄い

1 母子家庭が多く、世帯人員が少ない

同居している家族について、生活困難層Ⅰでは、「父親」が小5で48.0%、中2で38.9%となっており（22 ページ 図 1-4-1・1-4-2）、また、世帯人員についても、「2人」が小5で21.6%、中2で29.2%となっている。（24 ページ 図 1-4-7・1-4-8）

このことから、母子家庭・親一人子一人というような世帯が多いことがうかがえる。

図 1-4-1・図 1-4-2 同居している家族

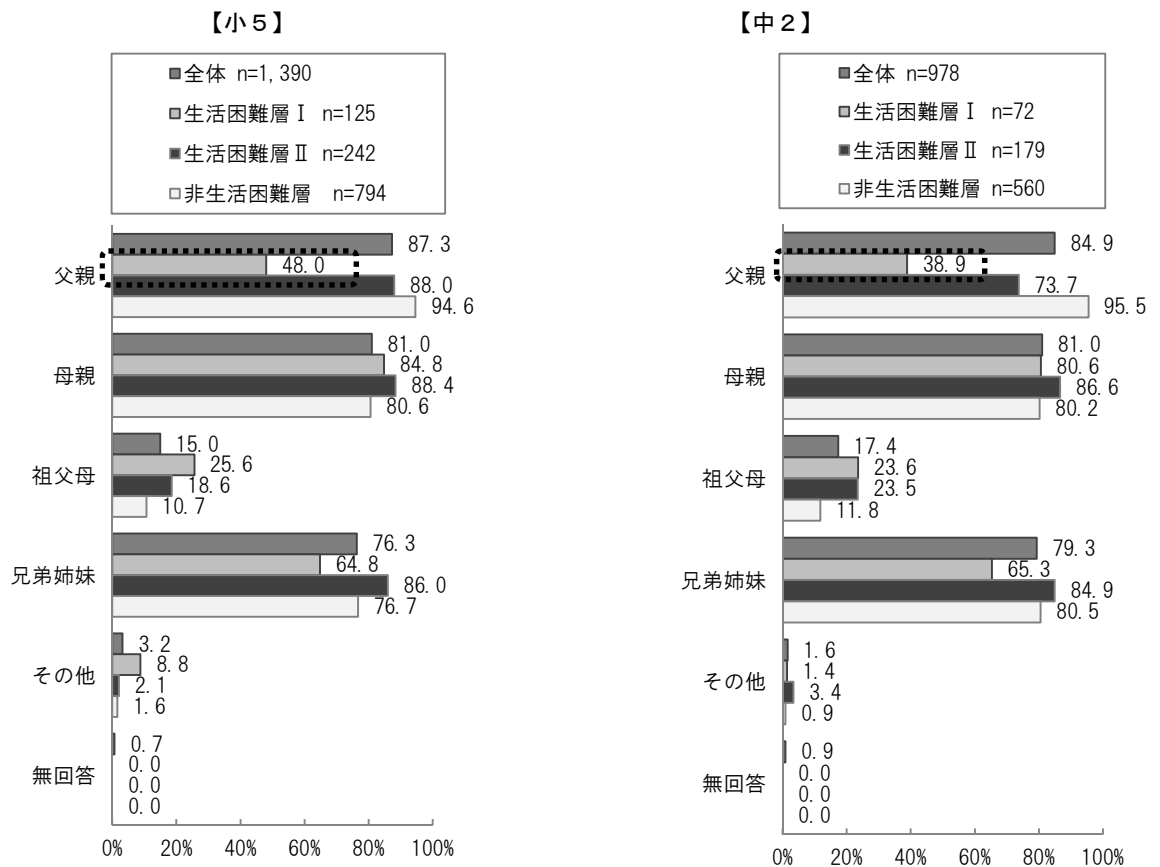
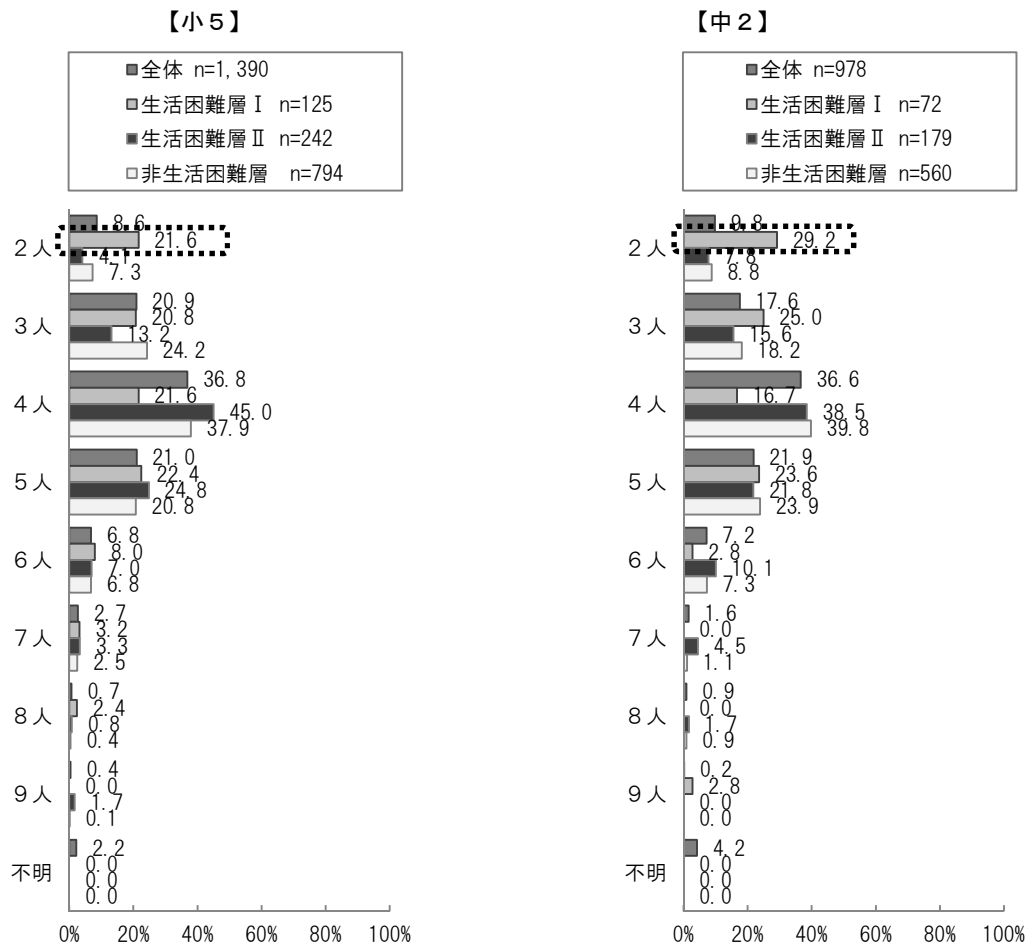


図 1-4-7・図 1-4-8 同居している家族（世帯人員）



2 非正規雇用の雇用が多い

母親の雇用形態について、小5の生活困難層Ⅰ・Ⅱでは「常勤・正規職員」が、非生活困難層よりも約5～10ポイント低くなっている。(30ページ 図2-1-1・2-1-2) また、父親の雇用形態について、生活困難層Ⅰでは「無回答」が、非生活困難層よりも41～52ポイント高くなっている。(34ページ 図2-4-1・2-4-2) なお、「無回答」には父親がいない場合と無職である場合が考えられるが、いずれにせよ「常勤・正規職員」の父親がいないことがうかがえる。

図 2-1-1 母親の雇用形態（小5）

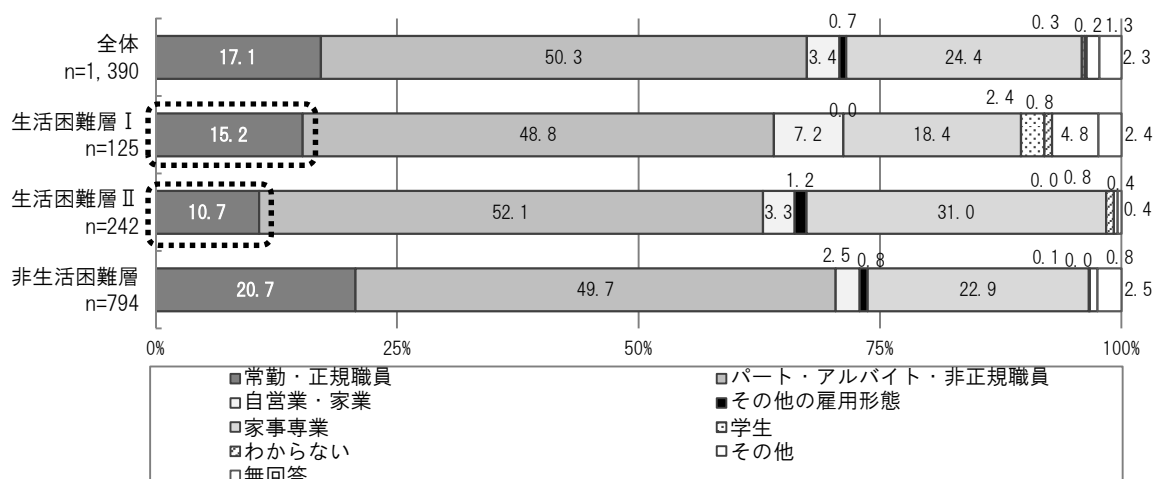


図 2-1-2 母親の雇用形態 (中 2)

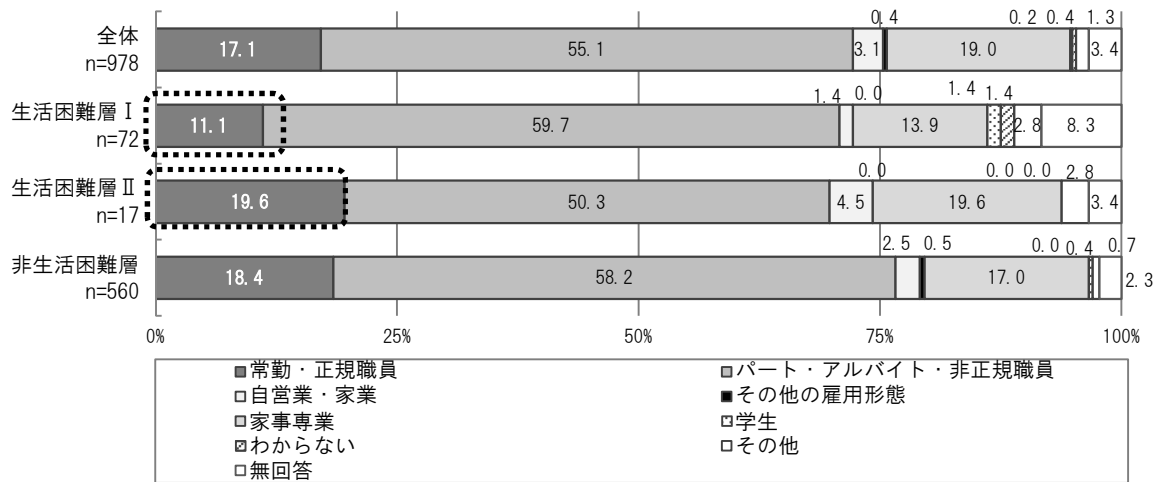


図 2-4-1 父親の雇用形態 (小 5)

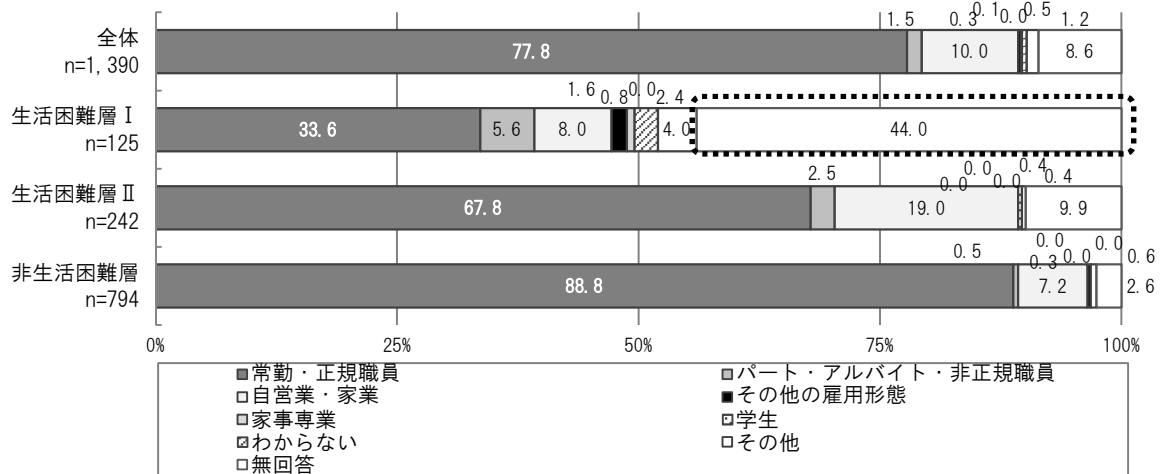
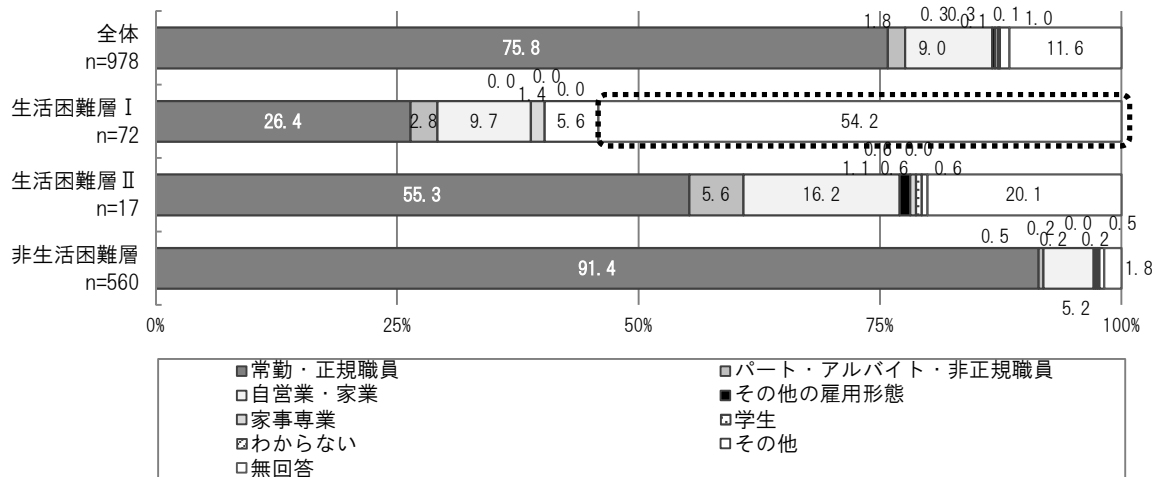


図 2-4-2 父親の雇用形態 (中 2)



3 高等教育機会の可能性逸失

どの段階までの教育を受けさせたいかについて、生活困難層Ⅰでは「大学またはそれ以上」が、非生活困難層よりも約26～32ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「大学またはそれ以上」を希望する割合が低くなっている。(39ページ 図3-2-1・3-2-2) また、生活費や学費のうち、「塾など、学校外でかかる教育費」について、生活困難層Ⅰでは「3,000円以下」が、非生活困難層よりも約12～14ポイント高くなっている。(47ページ 図5-1-1②・50ページ 図5-1-2②) そして、子どもと将来について話すかについて、小5保護者の生活困難層Ⅰでは「あまりしない」が、非生活困難層よりも9ポイント高くなっており、中2保護者の生活困難層Ⅰでは「これまで特にしたことがない」が、非生活困難層よりも4.9ポイント高くなっている。(72ページ 図7-3-1・7-3-2)

このことから、経済的理由や保護者の高等教育への関心の低さ等により、子どもが高等教育を受ける機会を逸してしまう可能性がうかがえる。

図3-2-1 どの段階までの教育を受けさせたいか（小5）

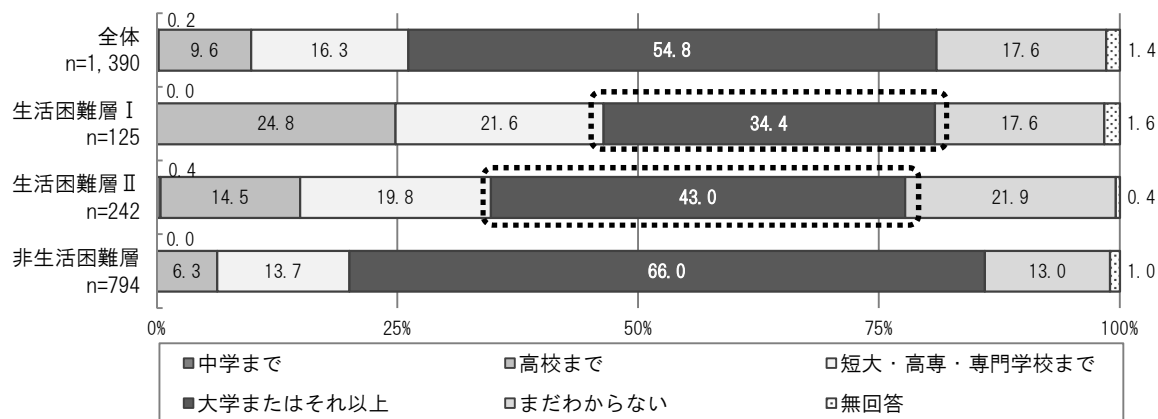


図3-2-2 どの段階までの教育を受けさせたいか（中2）

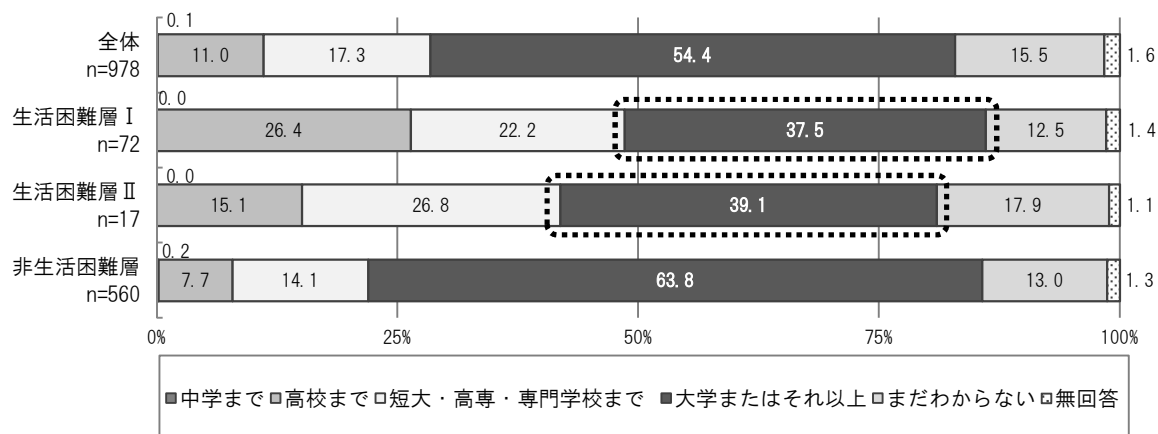


図 5-1-1② 生活費や学費 ②塾など、学校外でかかる教育費（小5）

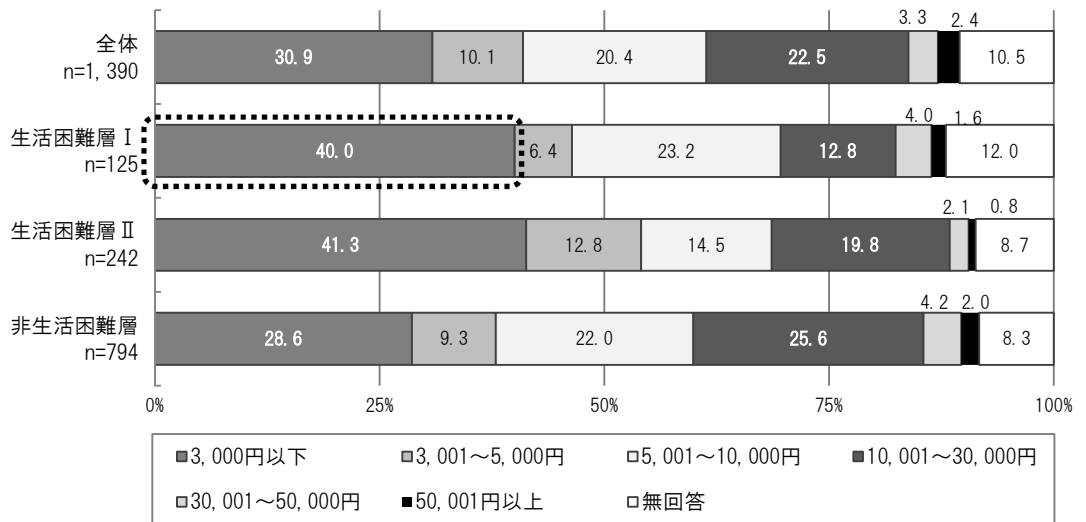


図 5-1-2② 生活費や学費 ②塾など、学校外でかかる教育費（中2）

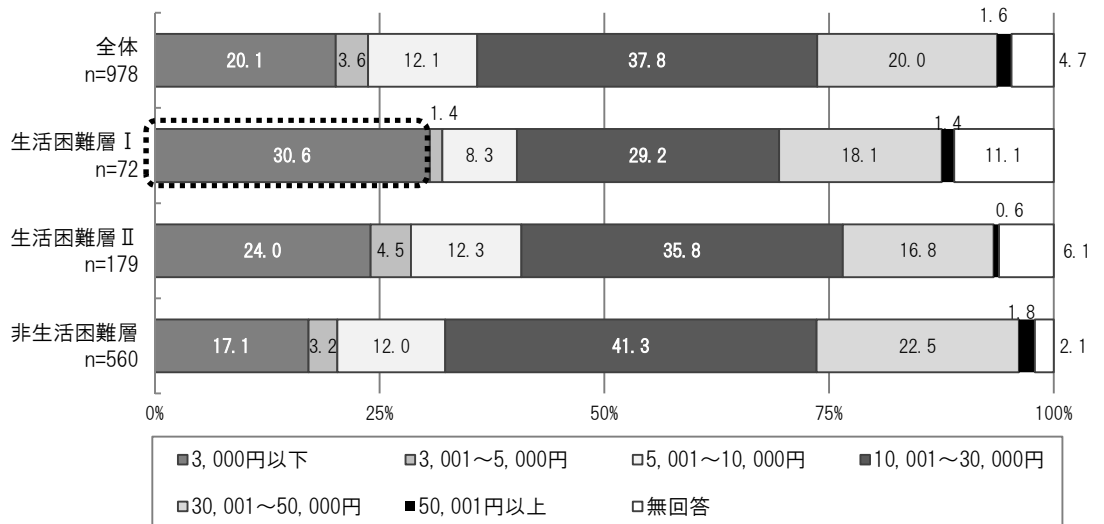


図 7-3-1 子どもと将来について話すか（小5）

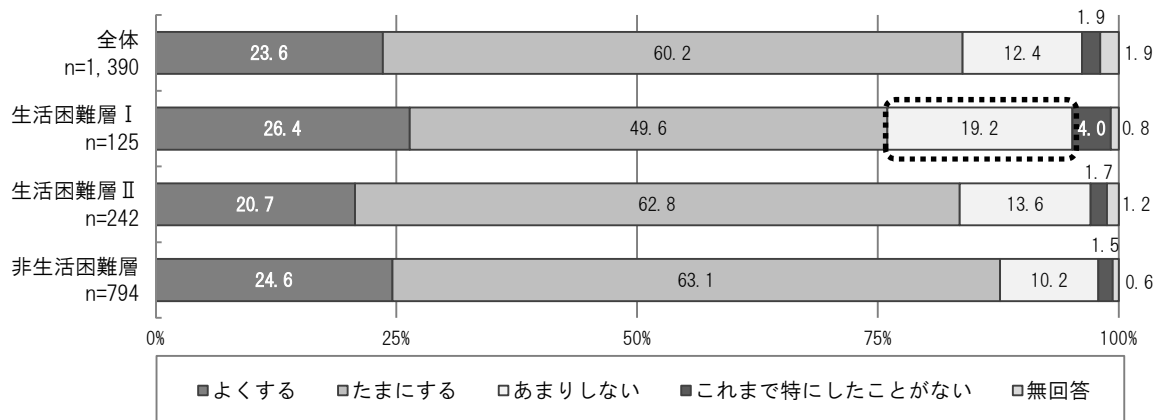
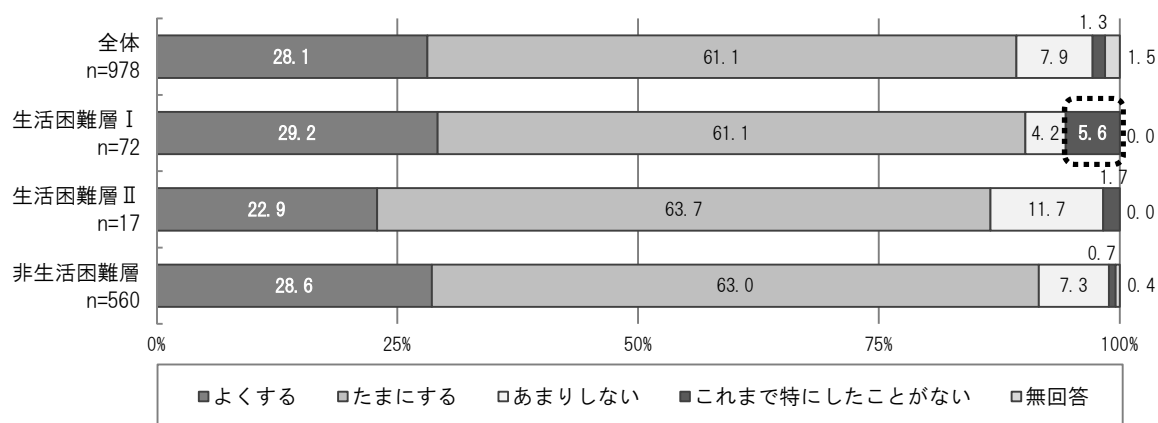


図 7-3-2 子どもと将来について話すか（中2）



4 子ども・保護者の健康状態・健康管理の問題

子ども本人の現在の健康状態について、生活困難層Ⅰでは「よい」が、非生活困難層よりも約8～11ポイント低くなるなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて、「よい」の割合が低くなっている。(161ページ 図2-6-1・2-6-2) また、虫歯の本数について、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて、「0本」の割合が低くなっている。(162ページ 図2-7-1・2-7-2)

回答者の健康状態について、生活困難層Ⅰでは「よい」が、非生活困難層よりも約9～12ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「よい」の割合が低くなっている。(41ページ 図4-1-1・4-1-2) また、回答者が朝食を食べているかについて、生活困難層Ⅰでは「いつも食べる(週に5日)」が、非生活困難層よりも約7～14ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「いつも食べる(週5日)」の割合が低くなっている。(59ページ 図6-1-1・6-1-2)

このことから、子ども・保護者が良好な健康状態を維持できていない傾向がうかがえる。

図 2-6-1 現在の健康状態（小5）

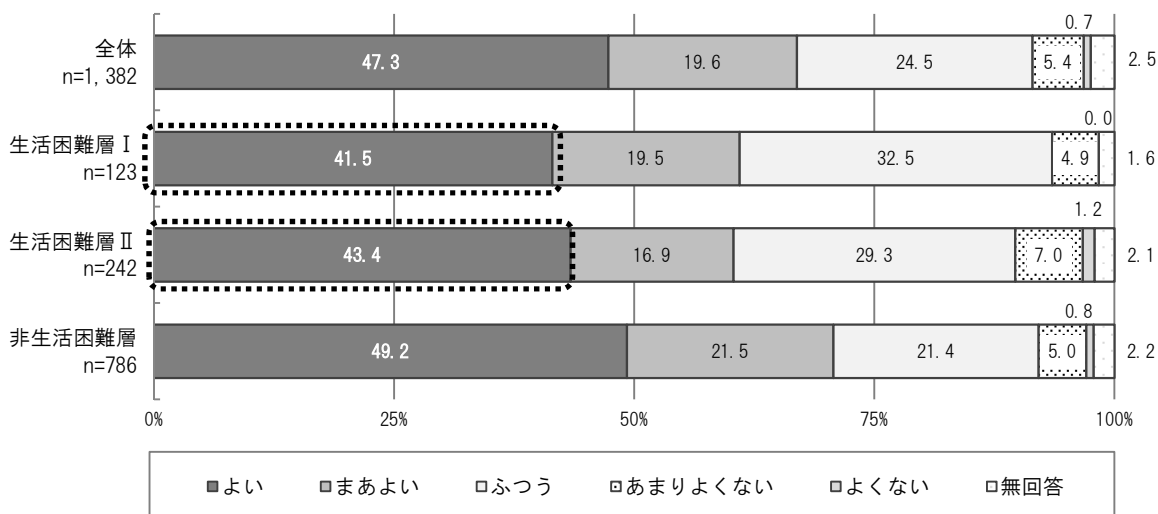


図 2-6-2 現在の健康状態 (中 2)

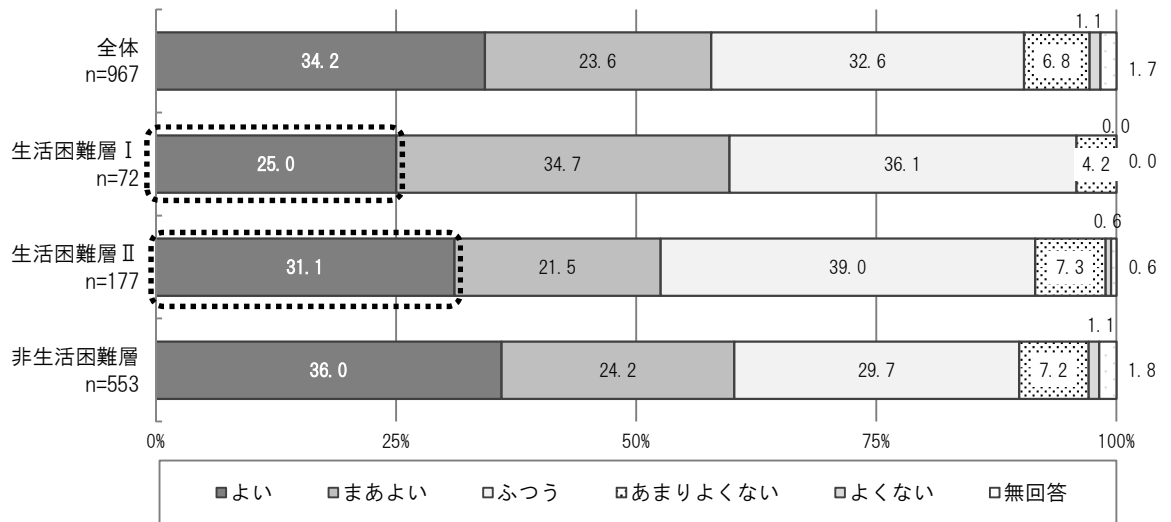


図 2-7-1 虫菌の本数 (小 5)

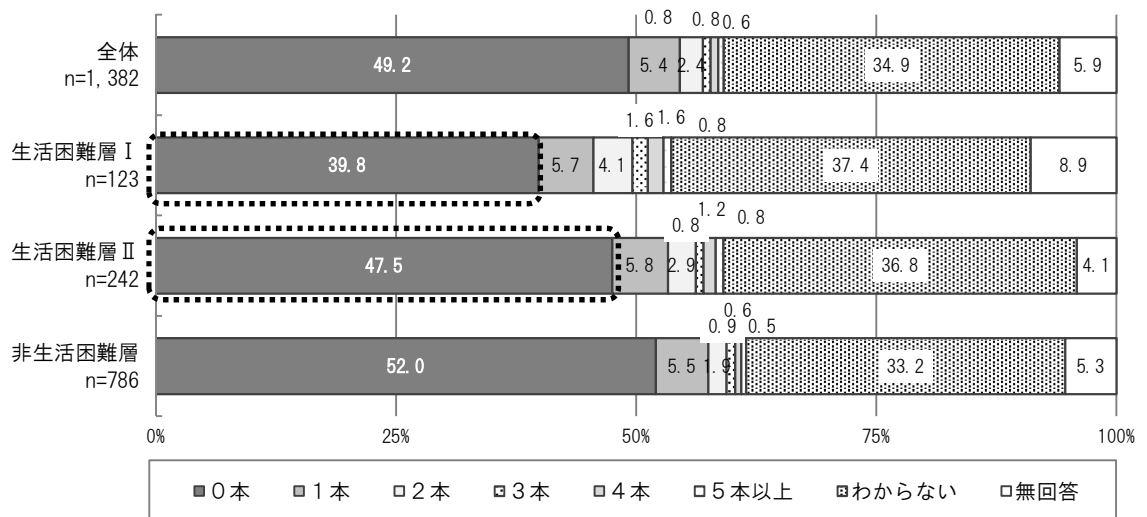
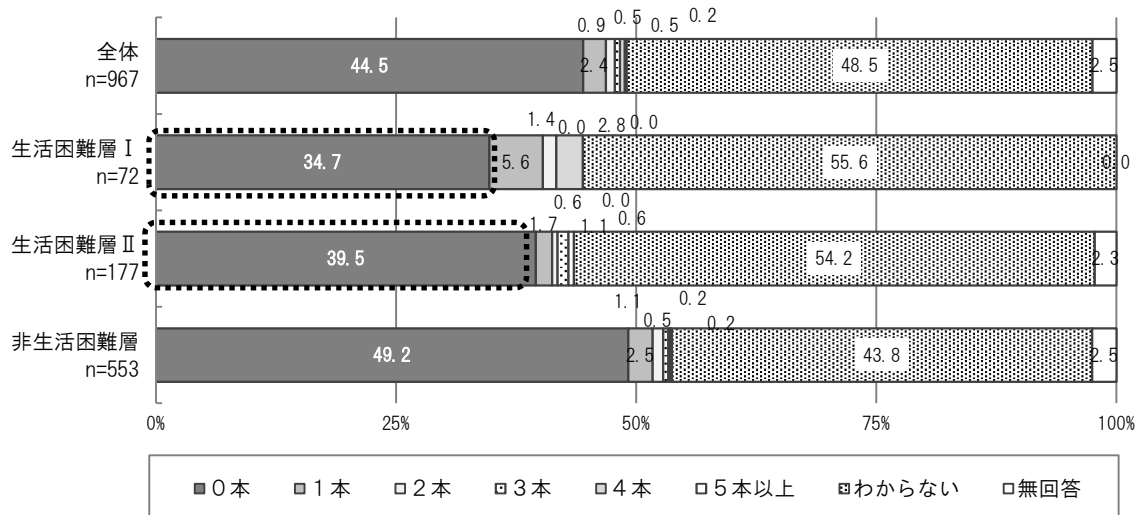


図 2-7-2 虫菌の本数 (中 2)



第2章 調査結果の概要

図 4-1-1 回答者の健康状態（小5）

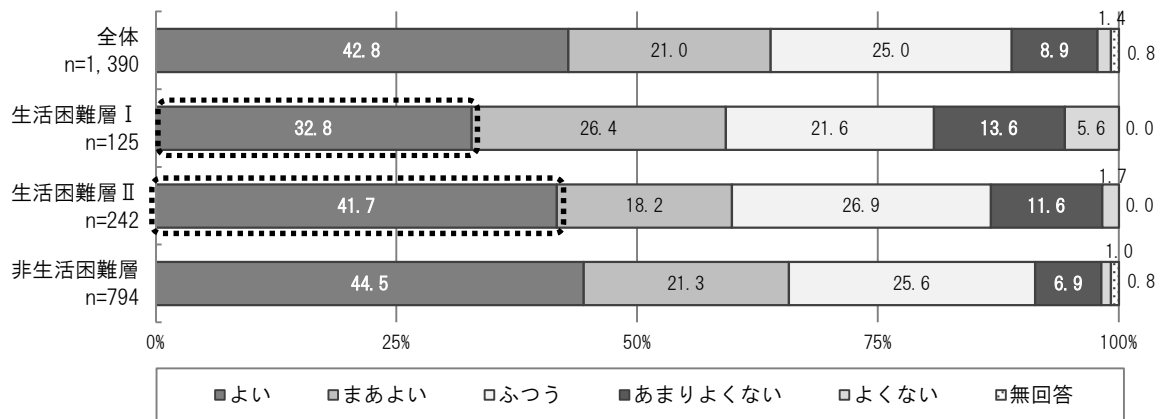


図 4-1-2 回答者の健康状態（中2）

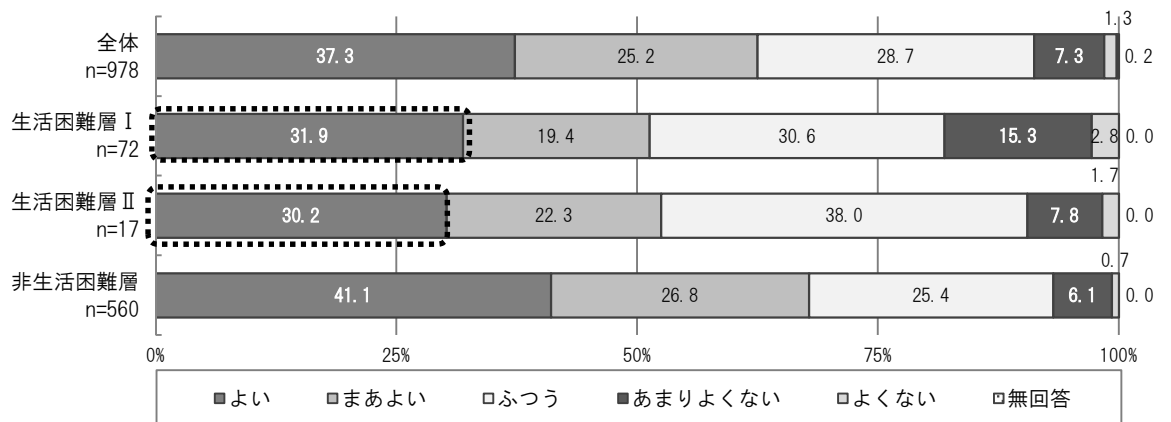


図 6-1-1 回答者が朝食を食べているか（小5）

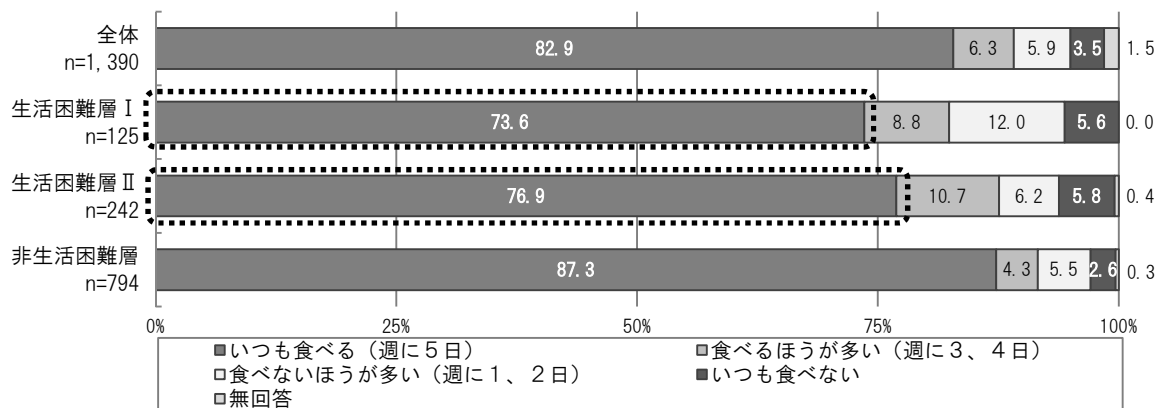
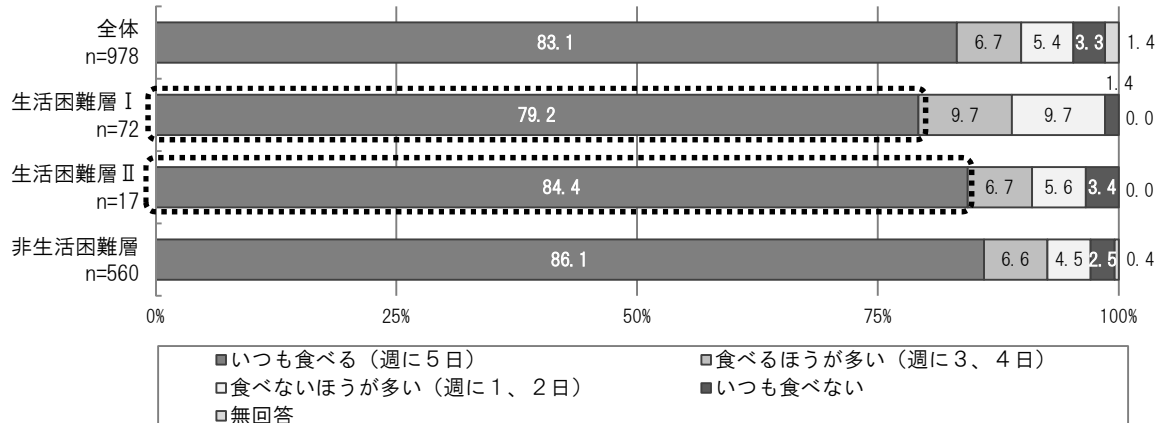


図 6-1-2 回答者が朝食を食べているか（中2）



5 子どもの体験や物質的な欠乏

子どもとの体験のうち、生活困難層Ⅰでは「③家族旅行に行く」で「ある」が、非生活困難層よりも約19～29ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「ない（金銭的な理由で）」の割合が高くなっている。（68ページ 図7-2-1③・70ページ 図7-2-2③）また、子ども本人が使うことができるものについて、生活困難層Ⅰ及びⅡでは「ある」ものとして、「インターネットにつながるパソコン」が非生活困難層よりも約9～15ポイント低くなっている。（118ページ 図1-1-3・122ページ 図1-1-17）

このことから、子どもの体験や物質的な欠乏がうかがえる。

図7-2-1③ 子どもとの体験 ③家族旅行に行く（小5）

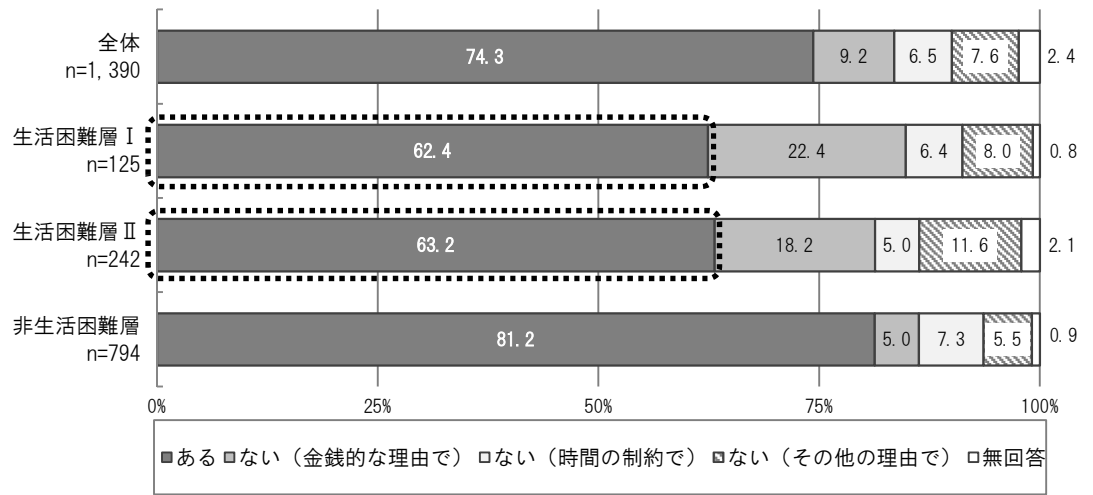


図7-2-2③ 子どもとの体験 ③家族旅行に行く（中2）

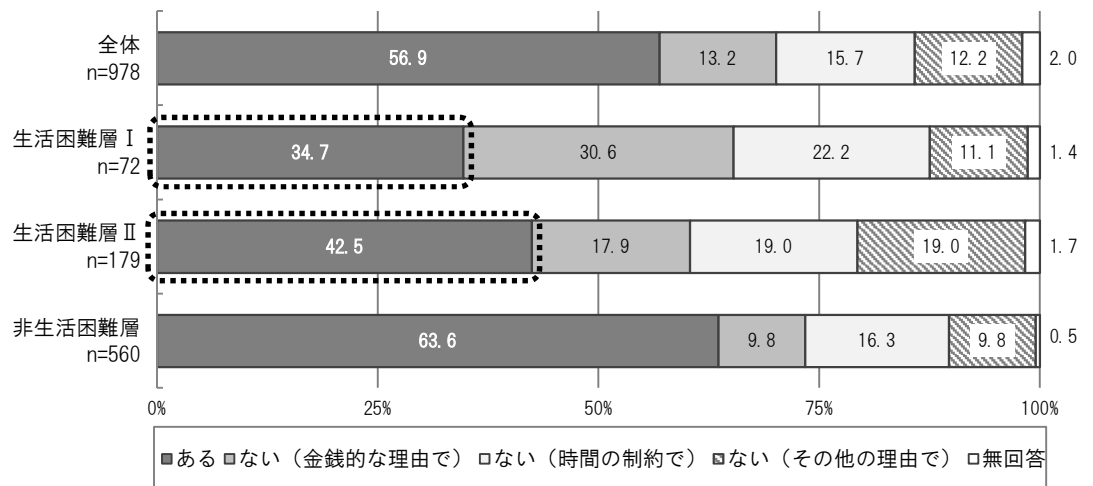


図 1-1-3 使うことができるもの ③ インターネットにつながるパソコン (小5)

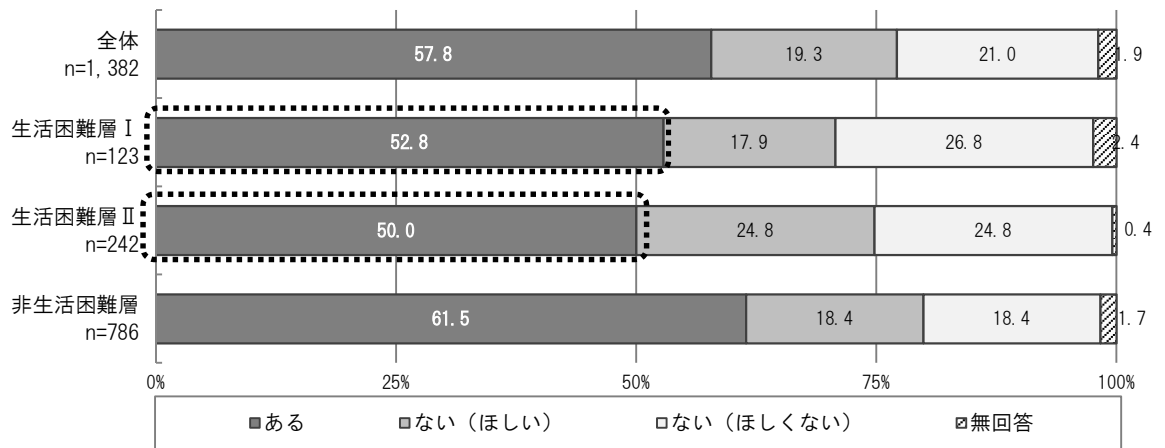
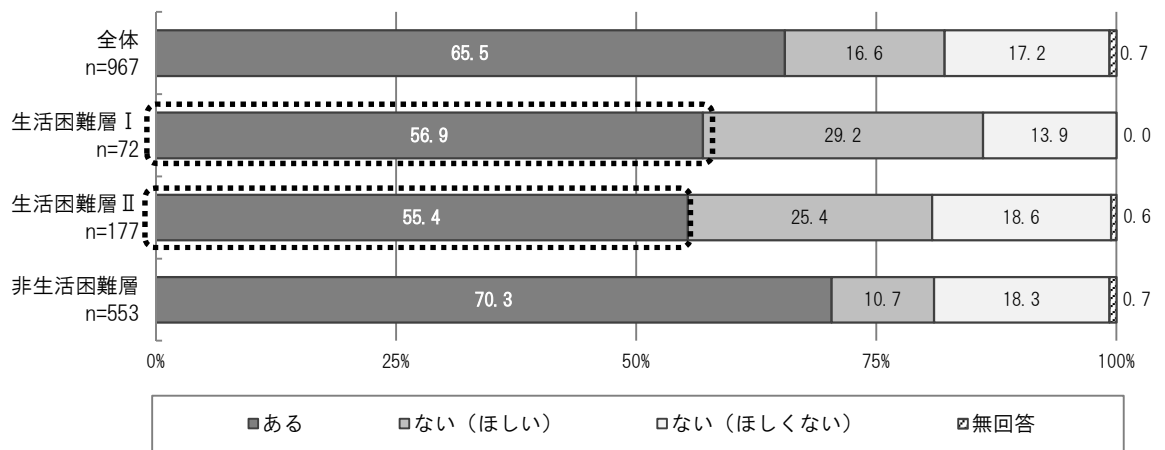


図 1-1-17 使うことができるもの ③ インターネットにつながるパソコン (中2)



6 経済的困窮

現在の暮らしの状況について、生活困難層 I では「大変苦しい」が、非生活困難層よりも約 17~28 ポイント高くなっているなど、生活困難層 I 及び II において「やや苦しい」「大変苦しい」の割合が高くなっている。(73 ページ 図 8-1-1・8-1-2) また、必要な衣類が買えなかったことについて、生活困難層 I では「よくあった」「ときどきあった」の合計が、非生活困難層よりも約 8~18 ポイント高くなっているなど、生活困難層 I 及び II において「よくあった」「ときどきあった」の割合が高くなっている。(76 ページ 図 8-4-1・8-4-2)

このことから、家計の厳しさがうかがえる。

図 8-1-1 現在の暮らしの状況 (小5)

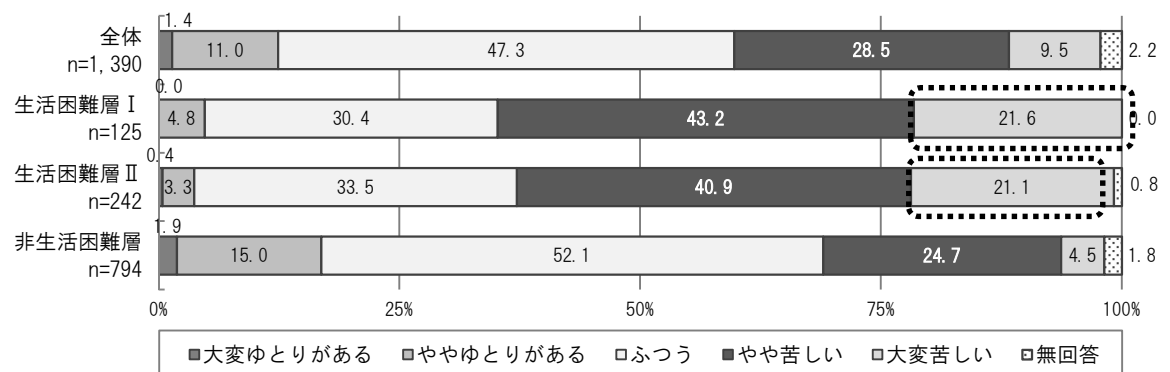


図 8-1-2 現在の暮らしの状況 (中2)

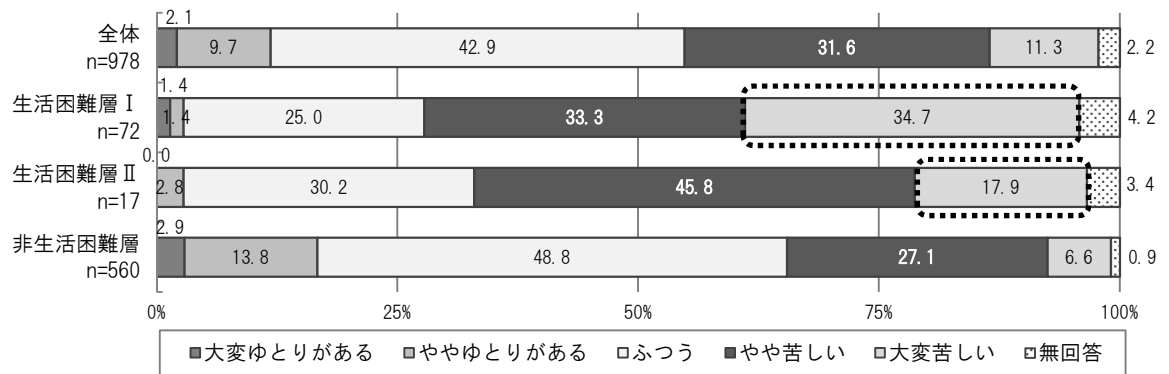


図 8-4-1 必要な衣類が買えなかったこと (小5)

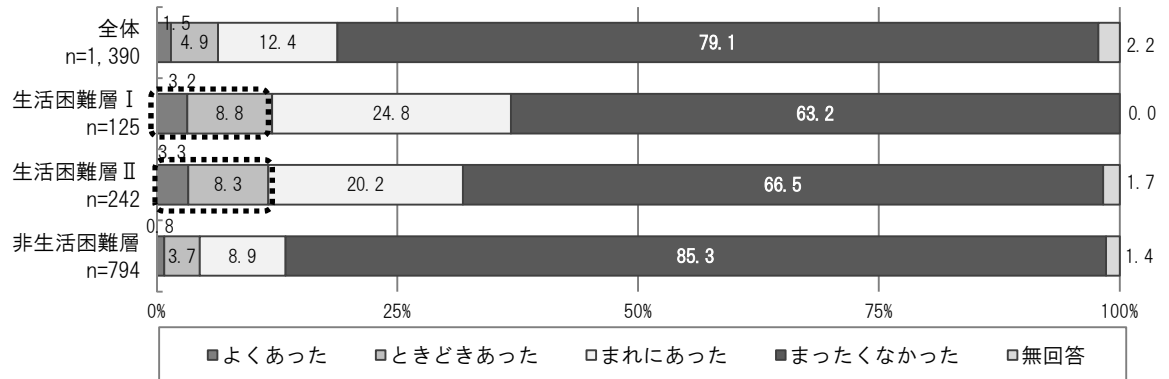
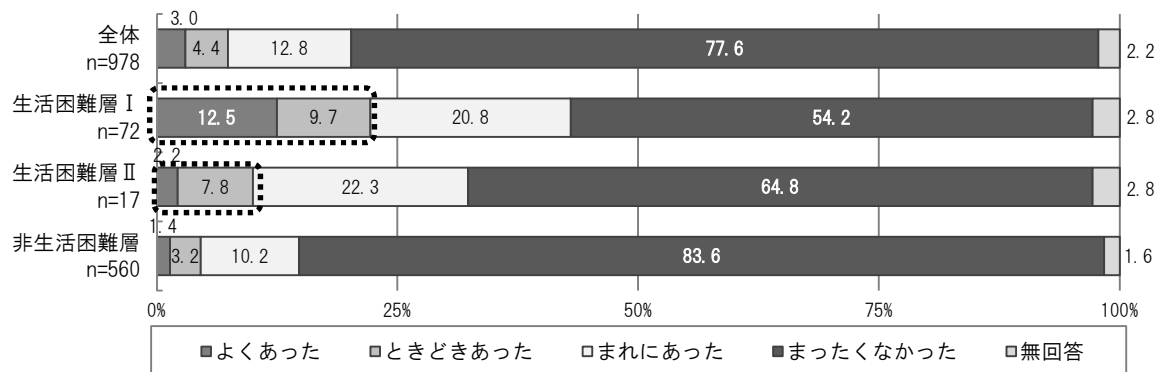


図 8-4-2 必要な衣類が買えなかったこと (中2)



7 公的支援や情報とのつながりが薄い

施策等の情報の受け取り方法・受け取りたい方法について、生活困難層Ⅰでは「広報よこすか」が、受け取り方法・今後受け取りたい方法ともに、非生活困難層よりも約12~25ポイント低くなっている。また、「家族や友人からの情報」が、受け取り方法・今後受け取りたい方法ともに、非生活困難層よりも約10~15ポイント低くなっている。(90ページ 図9-1-1~91ページ 図9-1-4)

このことから、公的支援や情報とのつながりが薄いとみられる。

なお、調査票の複数回答の設問において、生活困難層Ⅰの数値が他よりも低い傾向がうかがえる。

図9-1-1・図9-1-2 施策等の情報の受け取り方法

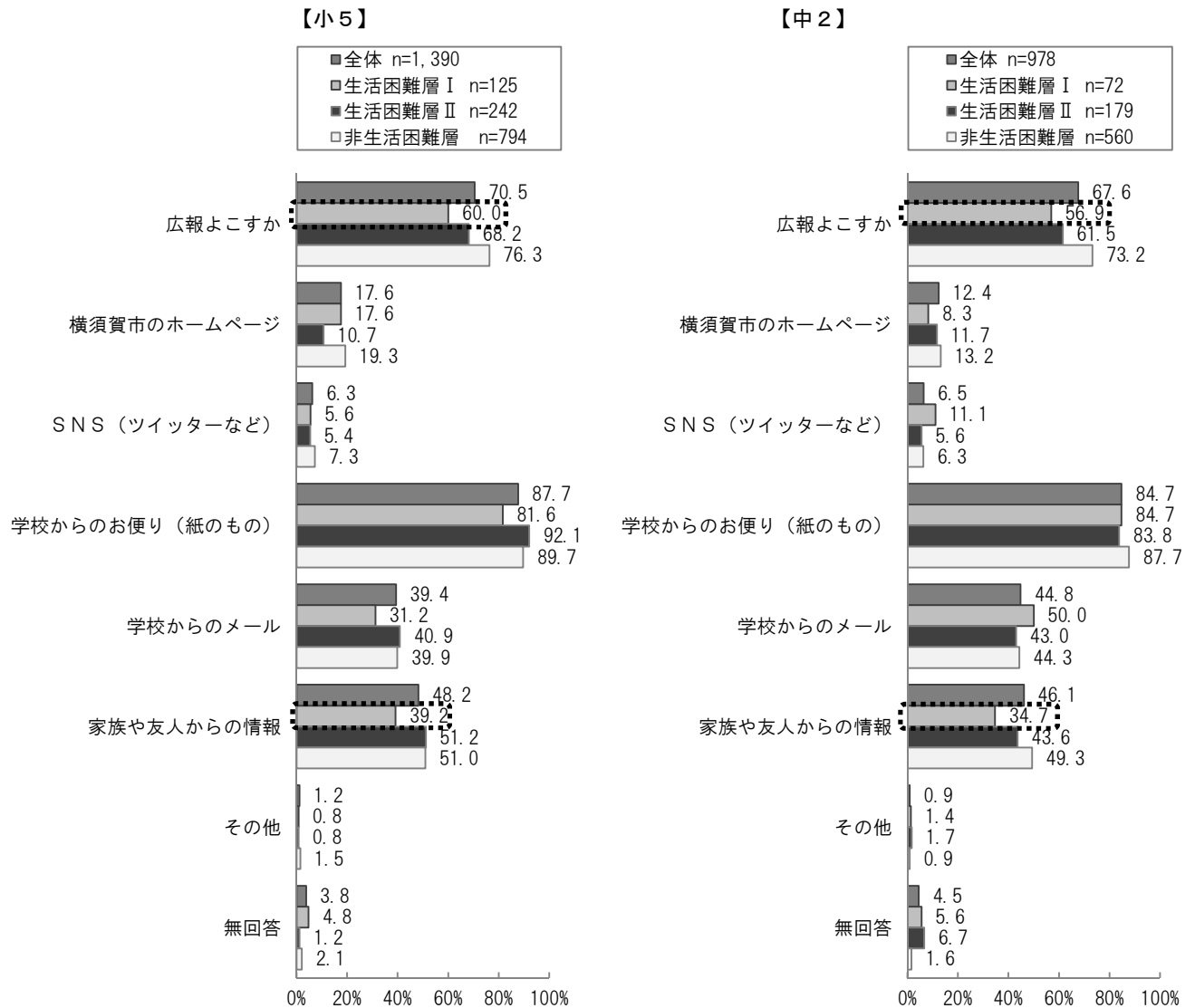
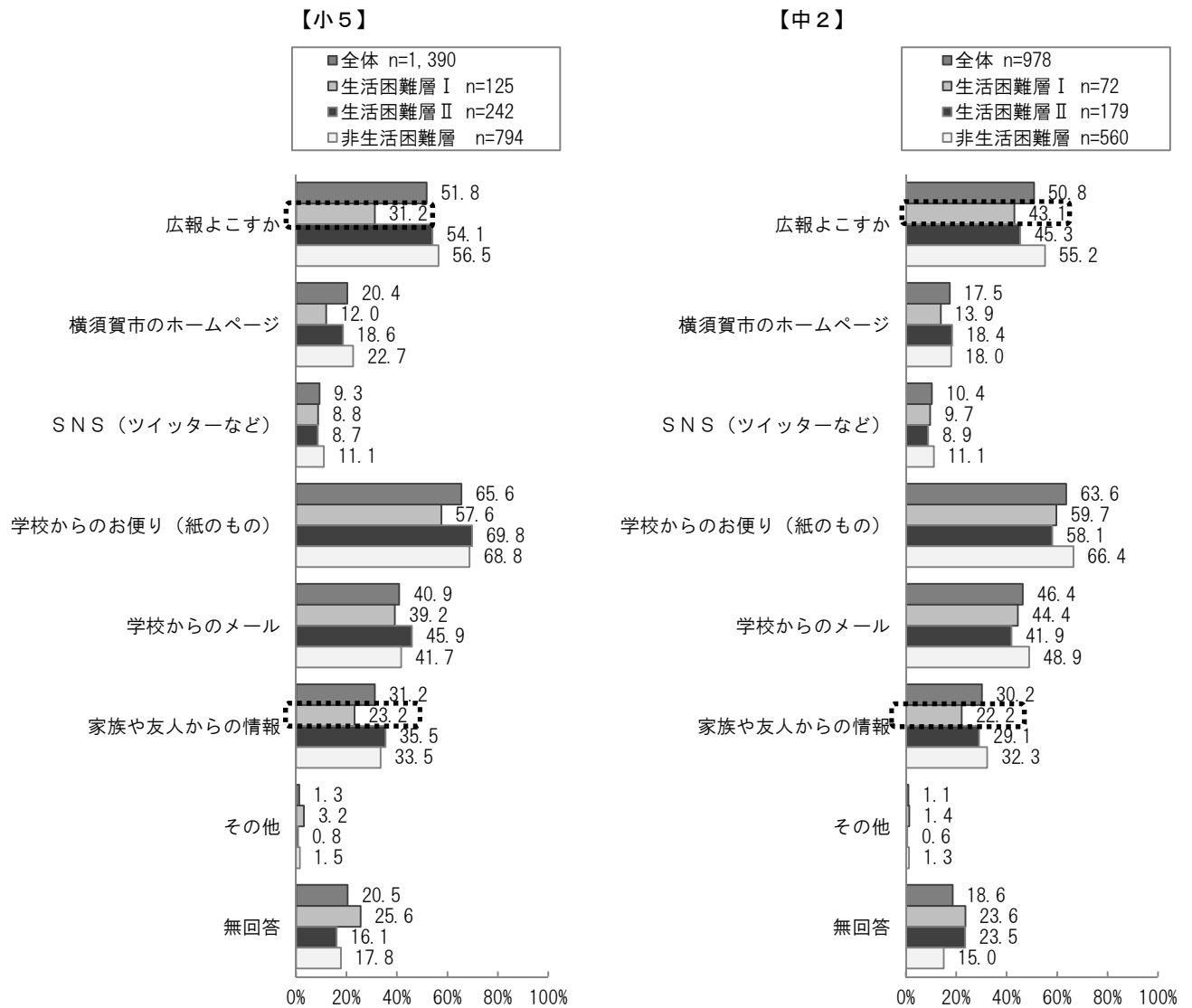


図 9-1-3・図 9-1-4 施策等の情報を今後受け取りたい方法





第 3 章

保護者調査

1 回答者の属性、世帯のことについて

(1) お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄でお答えください。（あてはまる番号1つに○）＜問2＞

回答者については、いずれも「母親」が最も高く、小5保護者 90.6%、中2保護者 89.4%となっており、次いで「父親」が、小5保護者 8.2%、中2保護者 9.3%となっている。
生活困難層（3区分）別にみると、小5の生活困難層Ⅰでは「父親」が、非生活困難層よりも約5ポイント低くなっている。

図 1-1-1 お子さんとの関係（小5）

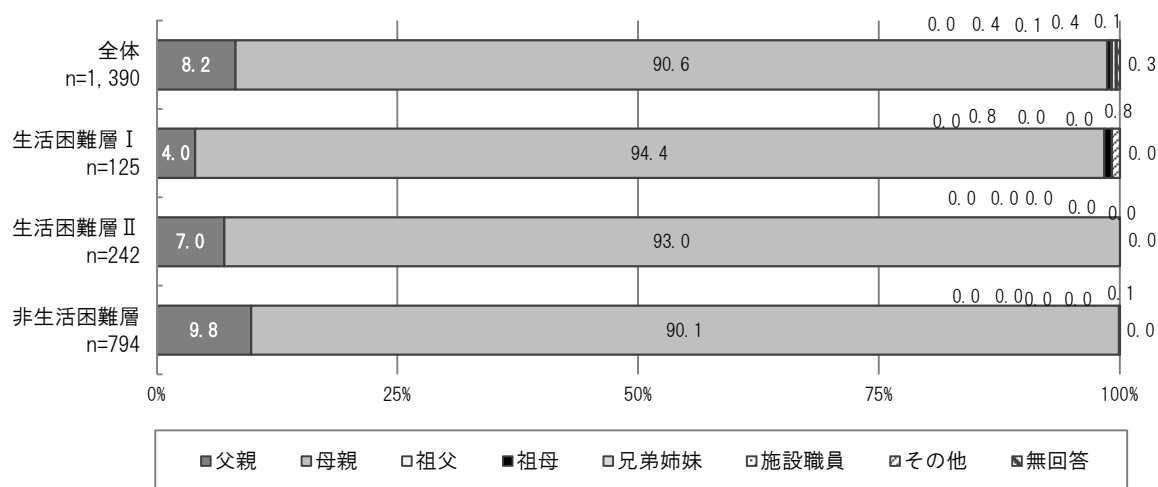
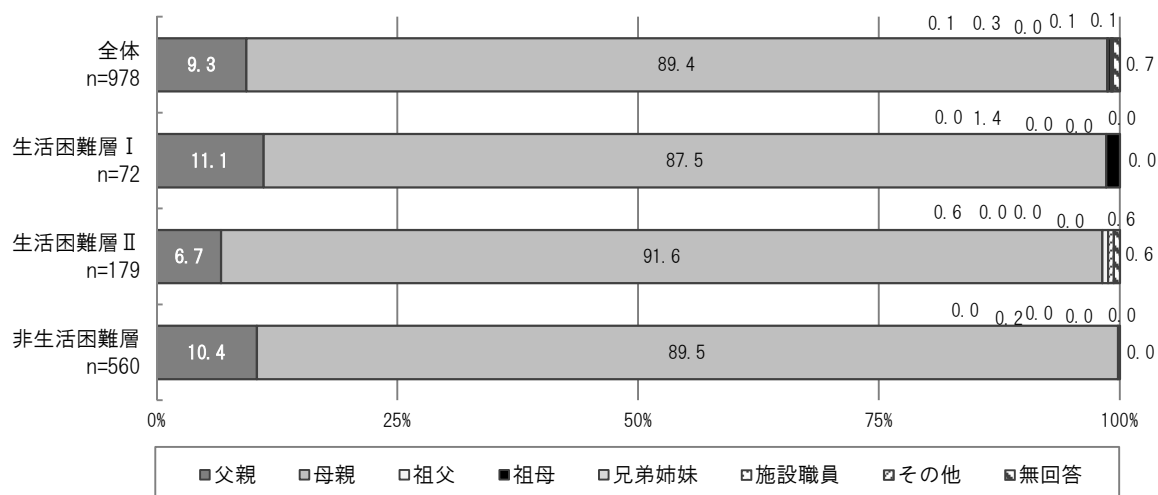


図 1-1-2 お子さんとの関係（中2）



(2) あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○) <問3>

回答者の年齢については、小5保護者では「40～44 歳」が 40.0%と最も高く、次いで「45～49 歳」が 25.0%となっている。

中2保護者では「45～49 歳」が 36.2%と最も高く、次いで「40～44 歳」が 34.9%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは、34 歳以下が非生活困難層よりも約7～15 ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「年齢」が若くなっている。

図 1-2-1 回答者の年齢（小5）

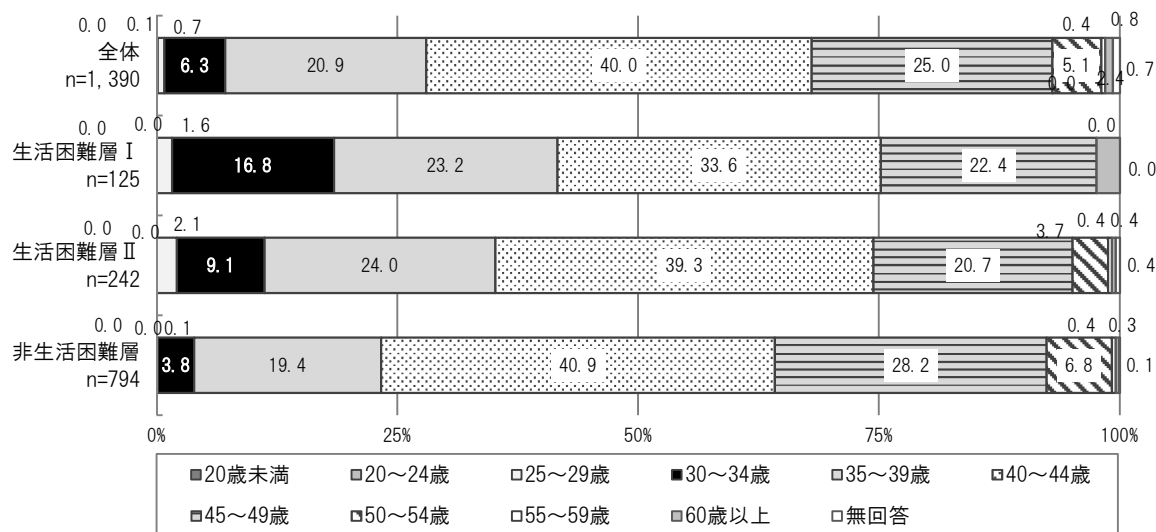
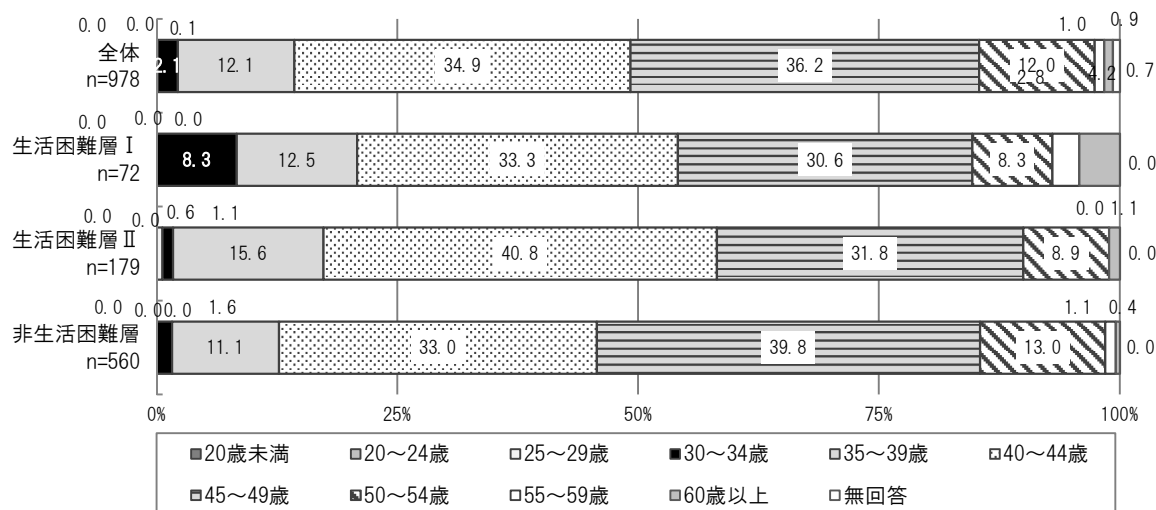


図 1-2-2 回答者の年齢（中2）



(3) 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(あてはまる番号1つに○) <問4>

婚姻状況については、いずれも「結婚している(事実婚を含む)」が最も高く、小5保護者88.2%、中2保護者85.0%となっており、次いで「離婚」が、小5保護者8.5%、中2保護者11.6%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「離婚」が、非生活困難層よりも約38~49ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「ひとり親世帯」の割合が非常に高くなっている。

図 1-3-1 婚姻状況(小5)

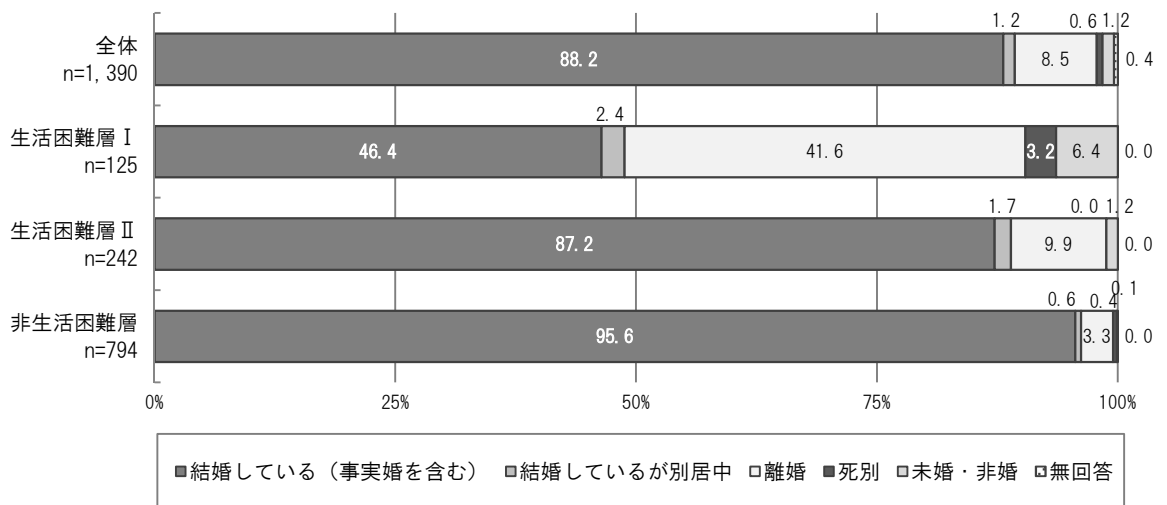
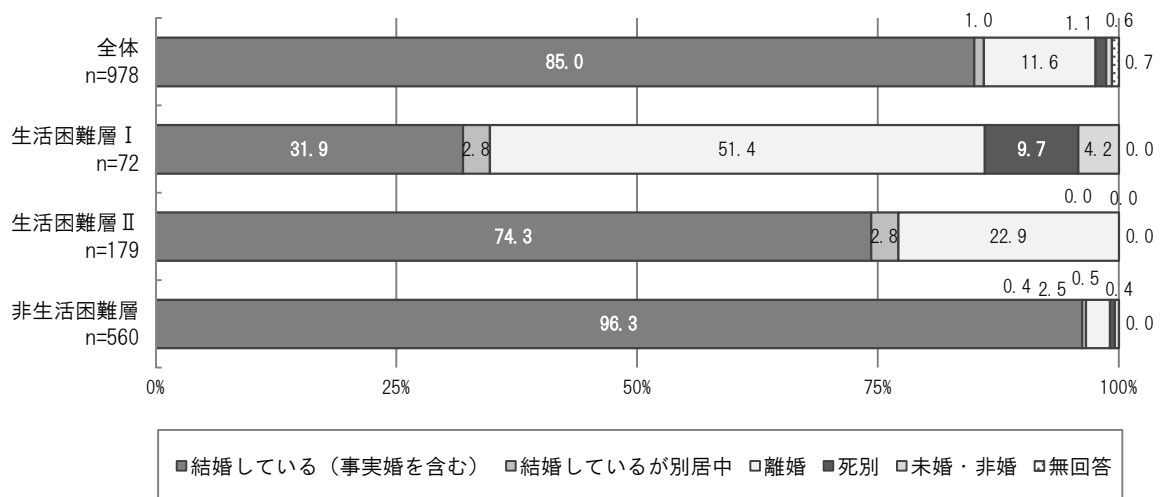


図 1-3-2 婚姻状況(中2)



(4) お子さんと同居しているご家族はどなたですか（お子さんは除く）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、それぞれの人数もカッコの中にお書きください。単身赴任しているご家族も含めてください。＜問5＞

同居している家族については、いずれも「父親」が最も高く、小5保護者 87.3%、中2保護者 84.9%となっており、次いで「母親」が、小5保護者・中2保護者ともに81.0%となっている。

祖父母の人数については、いずれも「2人」が最も高く、小5保護者 49.8%、中2保護者 44.1%、次いで「1人」が小5保護者・中2保護者ともに43.5%となっている。

兄弟姉妹の人数については、いずれも「1人」が最も高く、小5保護者 61.9%、中2保護者 62.2%、次いで「2人」が小5保護者・中2保護者ともに29.8%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「父親」が、非生活困難層よりも約47～57ポイント低くなっている。

図 1-4-1・図 1-4-2 同居している家族

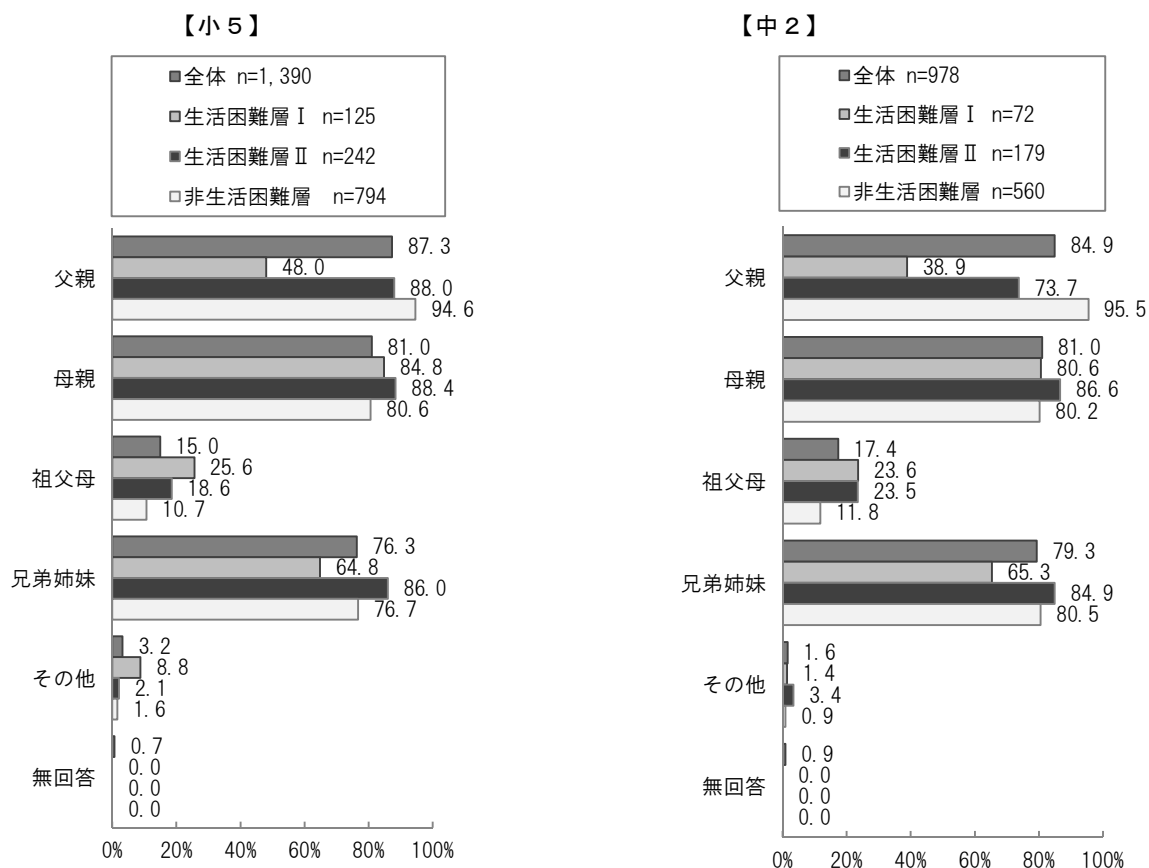


図 1-4-3 祖父母の人数 (小5)

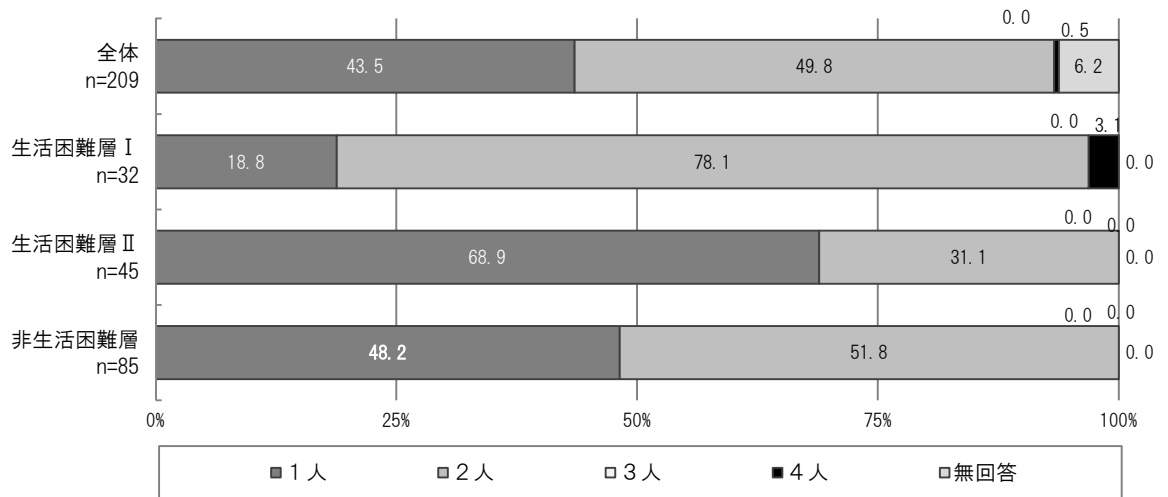


図 1-4-4 祖父母の人数 (中2)

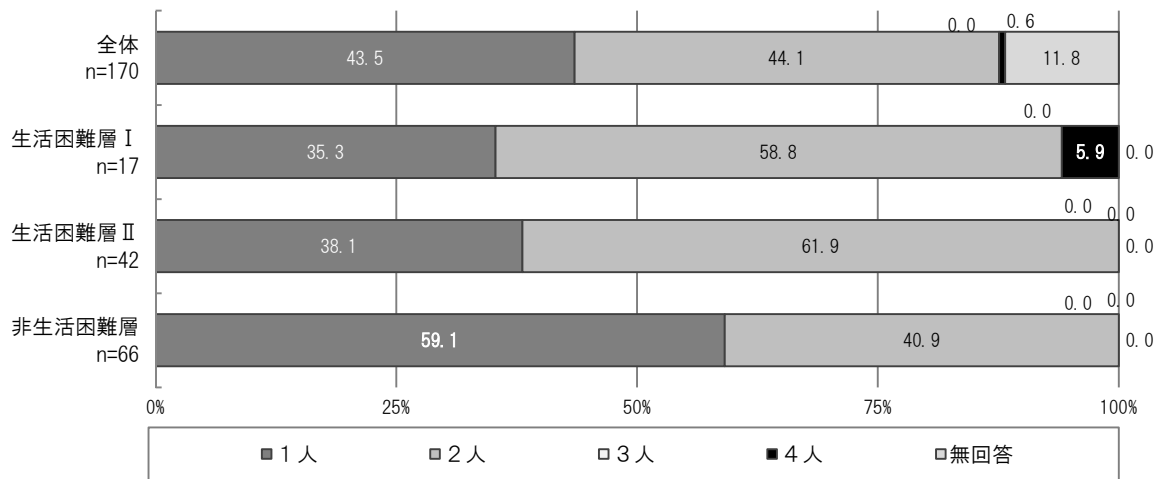


図 1-4-5 兄弟姉妹の人数 (小5)

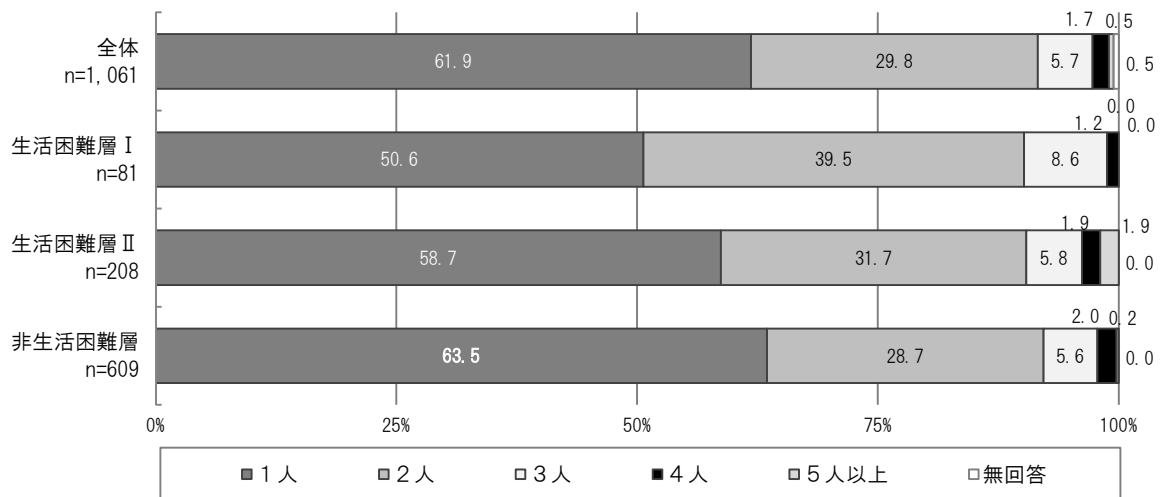


図 1-4-6 兄弟姉妹の人数（中 2）

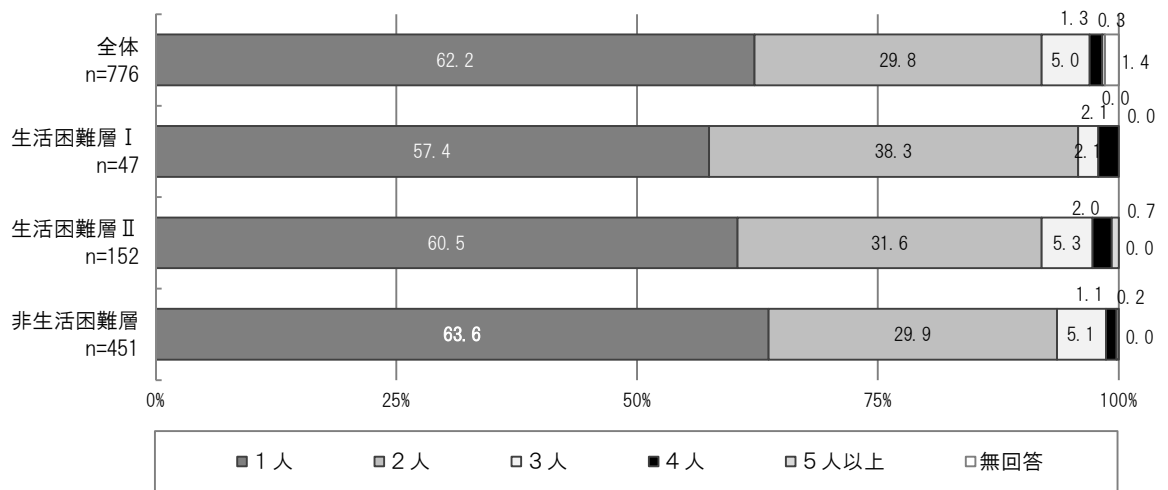
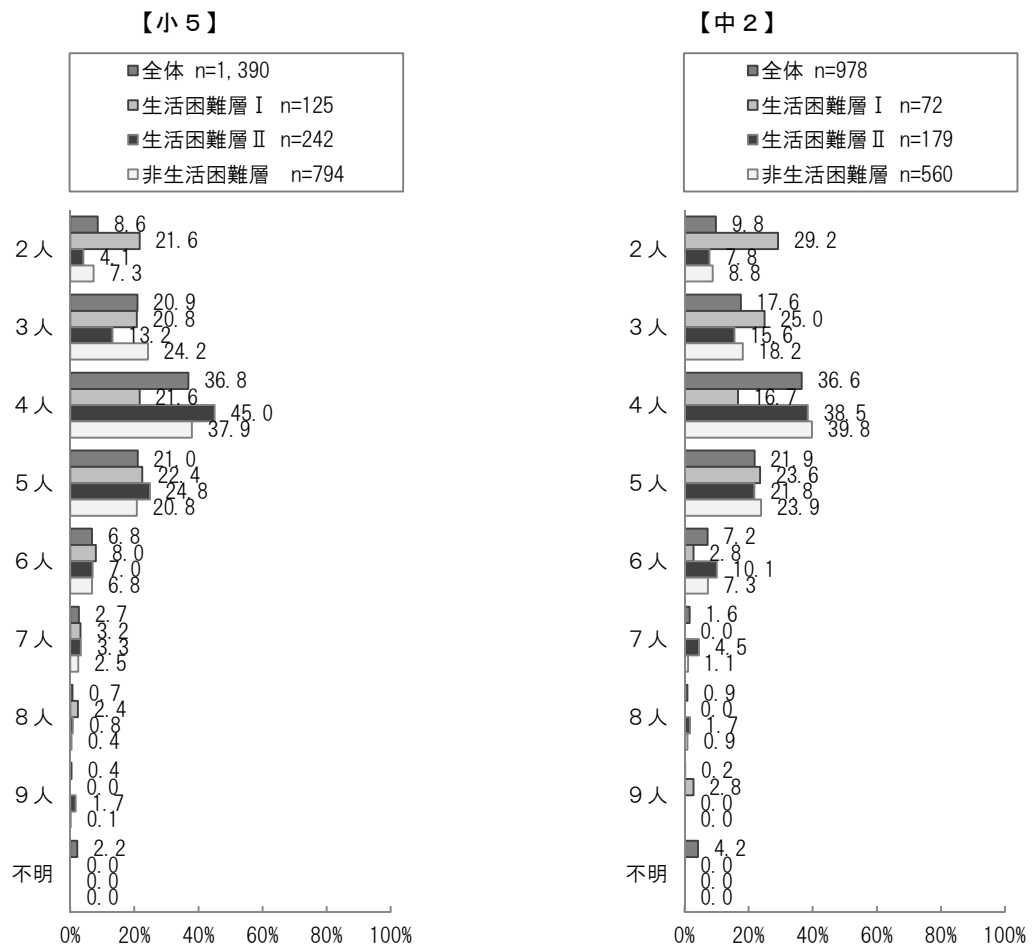


図 1-4-7・図 1-4-8 世帯人員



(5) お子さんのご家族の中に、高齢であったり障害があったりするなど、介護が必要な方（別居家族の介護も含む）はいますか。（あてはまる番号1つに○）〈問6〉

介護が必要な家族については、いずれも「いない」が、小5保護者 86.8%、中2保護者 84.5%となっており、「いる」が、小5保護者 12.4%、中2保護者 14.7%となっている。
生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰ・Ⅱでは「いる」が、非生活困難層よりも約4～10ポイント高くなっている。

図 1-5-1 介護が必要な家族（小5）

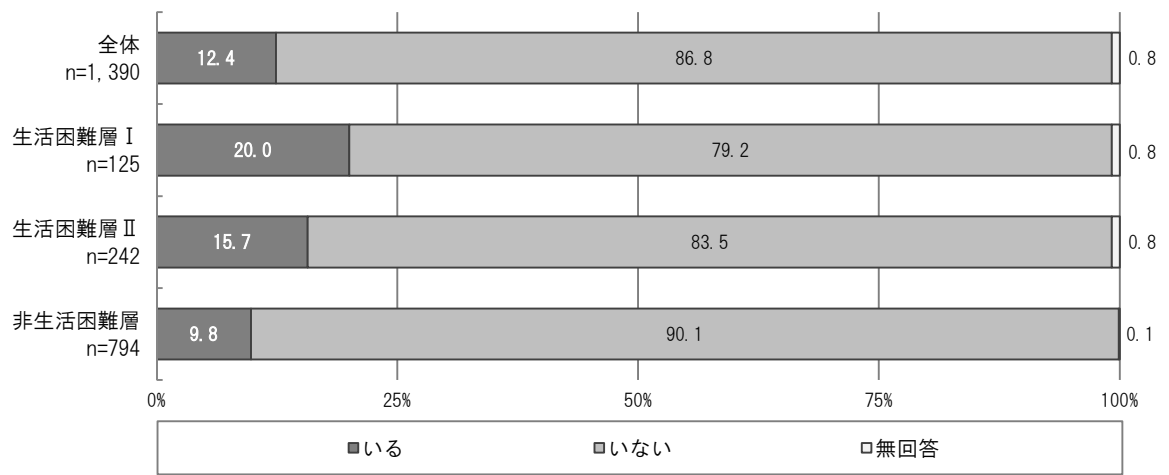
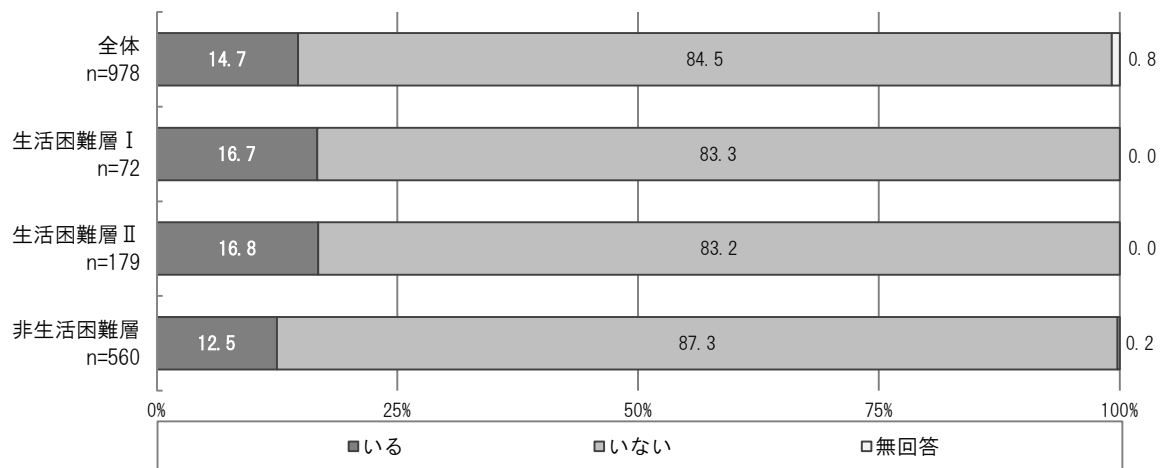


図 1-5-2 介護が必要な家族（中2）



(6) お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などにみてもらえる親族や友人などがいますか。(あてはまる番号1つに○) <問7>

子どもをみてもらえる親族や友人については、いずれも「いる」が、小5保護者 77.7%、中2保護者 78.8%となっており、「いない」が、小5保護者 21.6%、中2保護者 20.1%となっている。

図 1-6-1 子どもをみてもらえる親族や友人（小5）

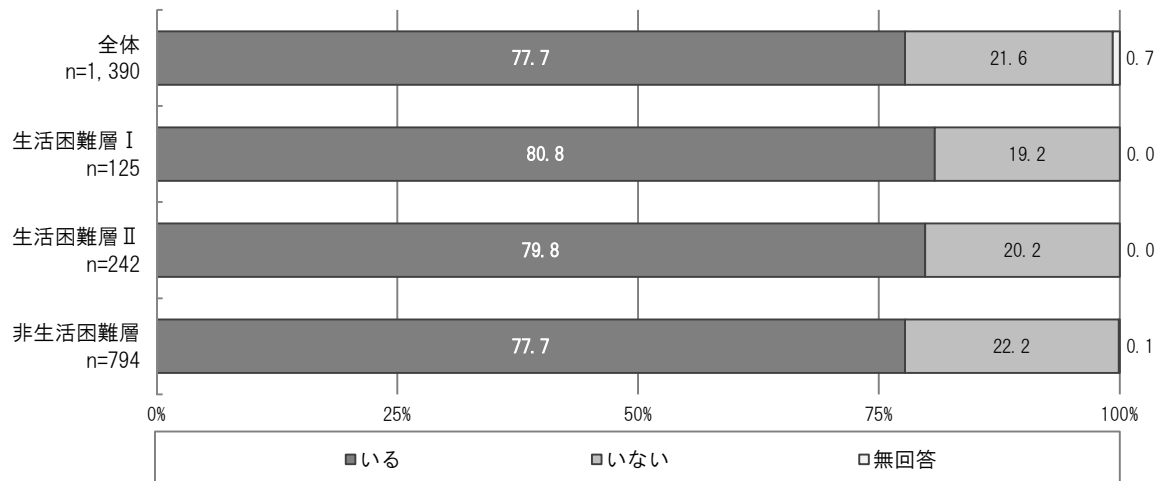
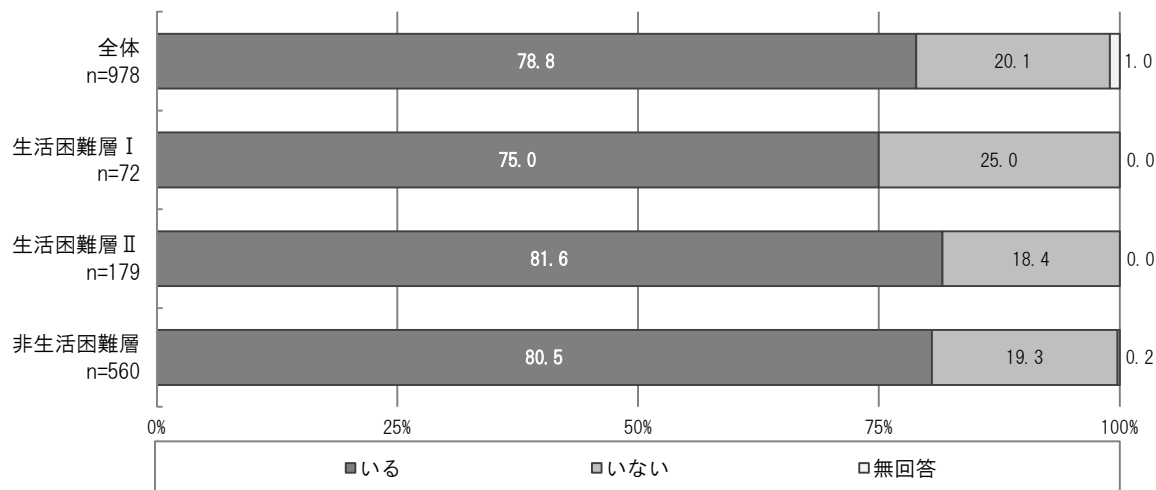


図 1-6-2 子どもをみてもらえる親族や友人（中2）



(7) 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。

(あてはまる番号1つに○) <問8>

住居の形態については、いずれも「持ち家」が最も高く、小5保護者 83.0%、中2保護者 84.7%となっており、次いで「民間の賃貸住宅」が小5保護者・中2保護者ともに 9.4%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「持ち家」が、非生活困難層よりも約 34~37 ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「持ち家」の割合が低くなっている。

図 1-7-1 住居の形態（小5）

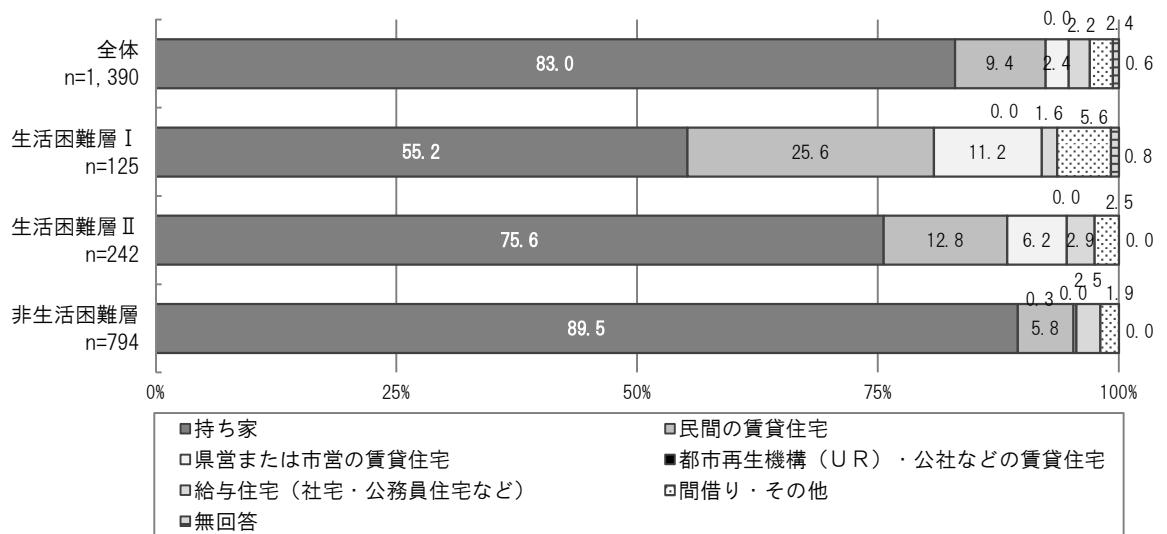
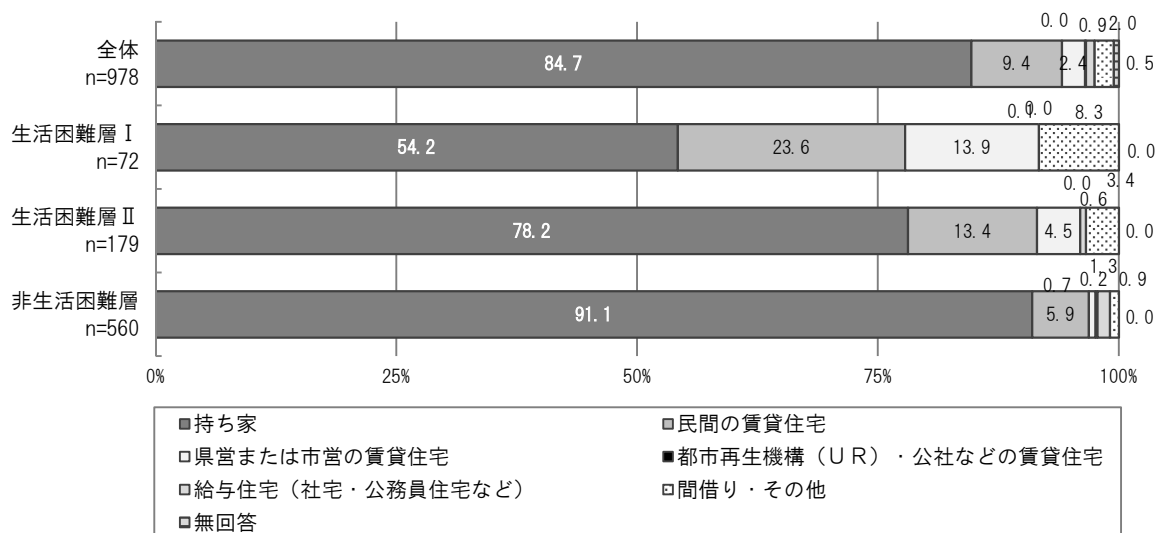


図 1-7-1 住居の形態（中2）



(8) 1か月当たりの住居費負担はいくらですか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問8-1>

図 1-8-1・図 1-8-2 1か月当たりの住宅ローン返済額

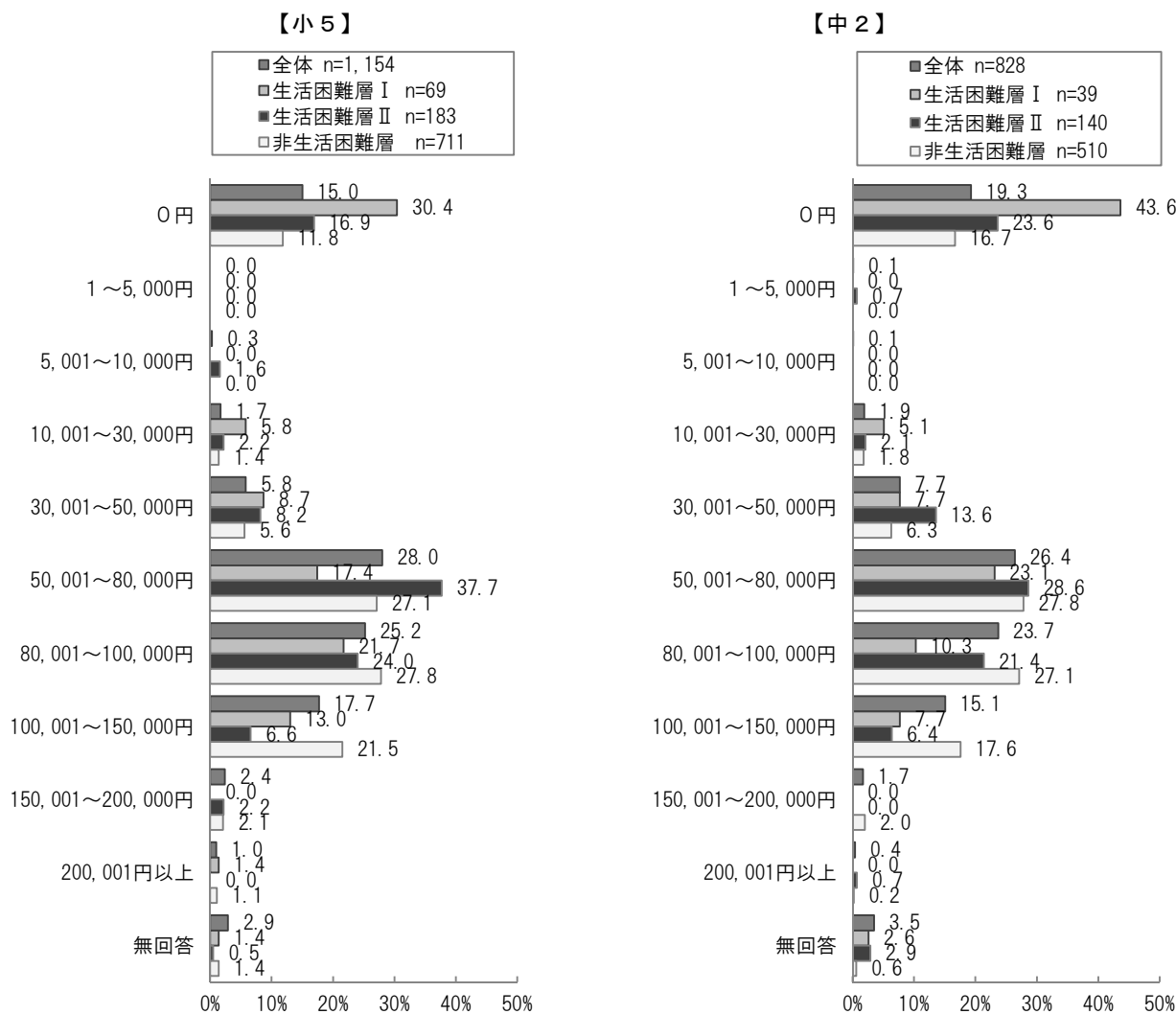


図 1-8-3・図 1-8-4 家賃・間代

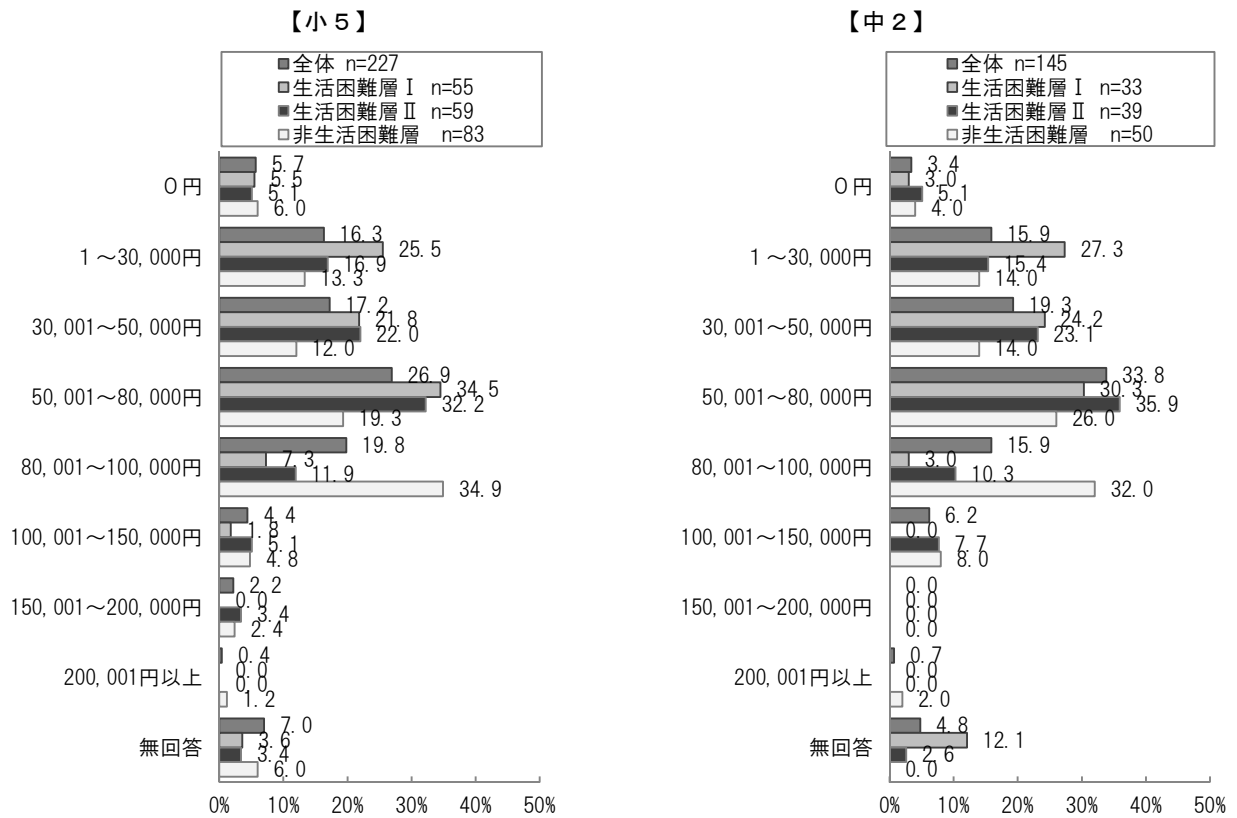
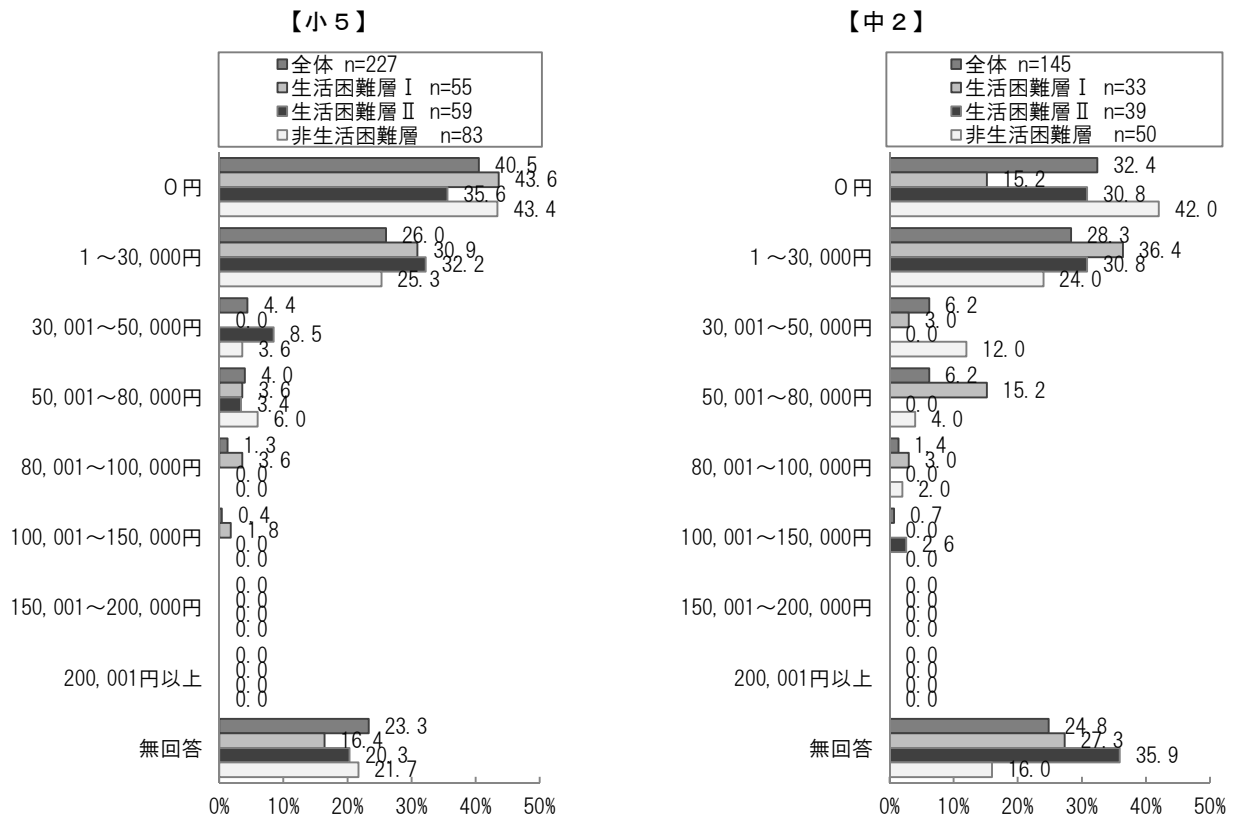


図 1-8-5・図 1-8-6 共益費・管理費



2 世帯の就業状況について

(1) お子さんのお母さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。

(あてはまる番号 1つに○) <問9>

母親の雇用形態については、いずれも「パート・アルバイト・非正規職員」が最も高く、小5保護者 50.3%、中2保護者 55.1%となっており、次いで「家事専業」が、小5保護者 24.4%、中2保護者 19.0%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「家事専業」が、非生活困難層よりも約3～5ポイント低く、また、小5の生活困難層Ⅰ・Ⅱでは「常勤・正規職員」が、非生活困難層よりも約5～10ポイント低くなっている。

図 2-1-1 母親の雇用形態（小5）

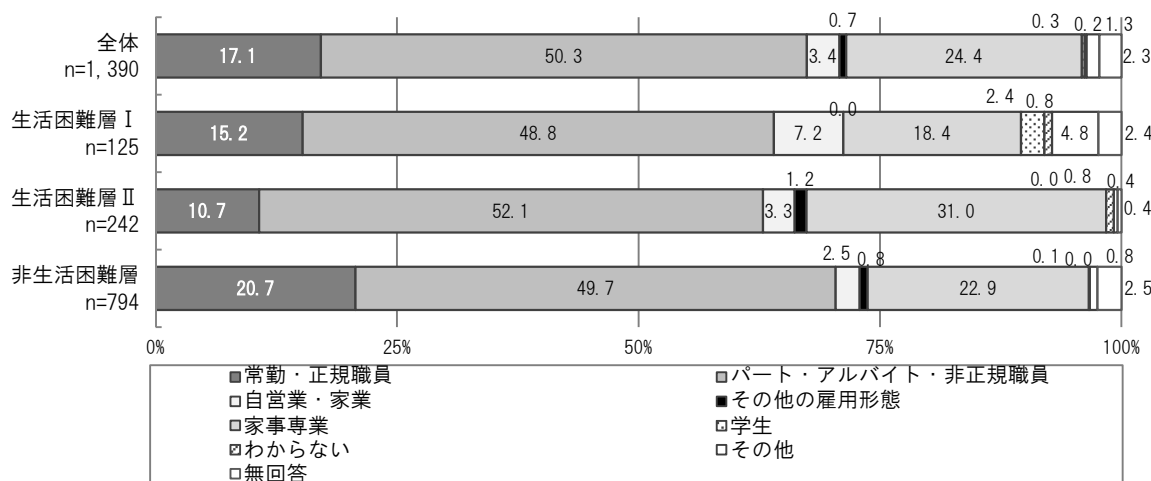
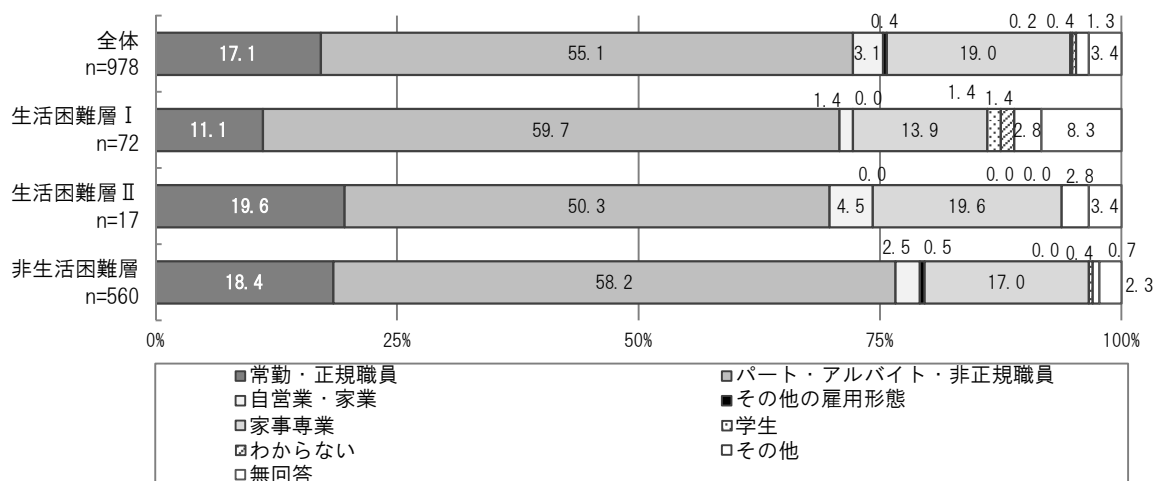


図 2-1-2 母親の雇用形態（中2）



(2) お子さんのお母さまは、1日に平均何時間、1週間に平均何日、お仕事をされていますか。(枠内に数字で回答してください) <問9-1>

母親の労働時間については、いずれも「8時間台」が最も高く、小5保護者 25.7%、中2保護者 27.0%となっており、次いで小5保護者では「4時間台」が 17.6%、中2保護者では「5時間台」 19.9%となっている。

労働日数については、いずれも「5日以上6日未満」が最も高く、小5保護者 38.1%、中2保護者 39.9%となっており、次いで小5保護者では「4日以上5日未満」が 24.7%、中2保護者では「3日以上4日未満」 23.5%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは、労働日数5日以上が非生活困難層よりも約 16~20 ポイント高くなっている。

図 2-2-1・図 2-2-2 母親の労働時間

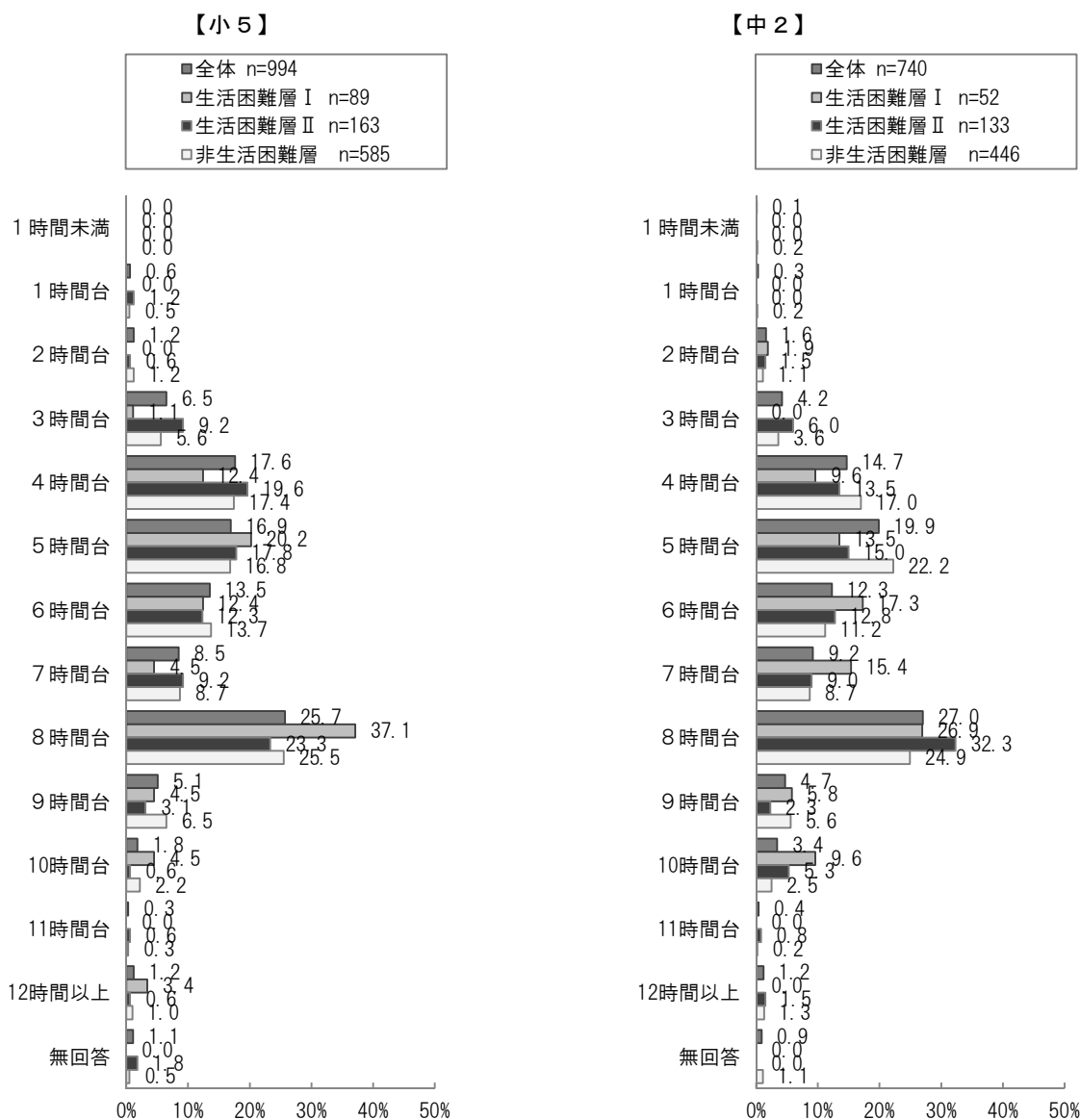
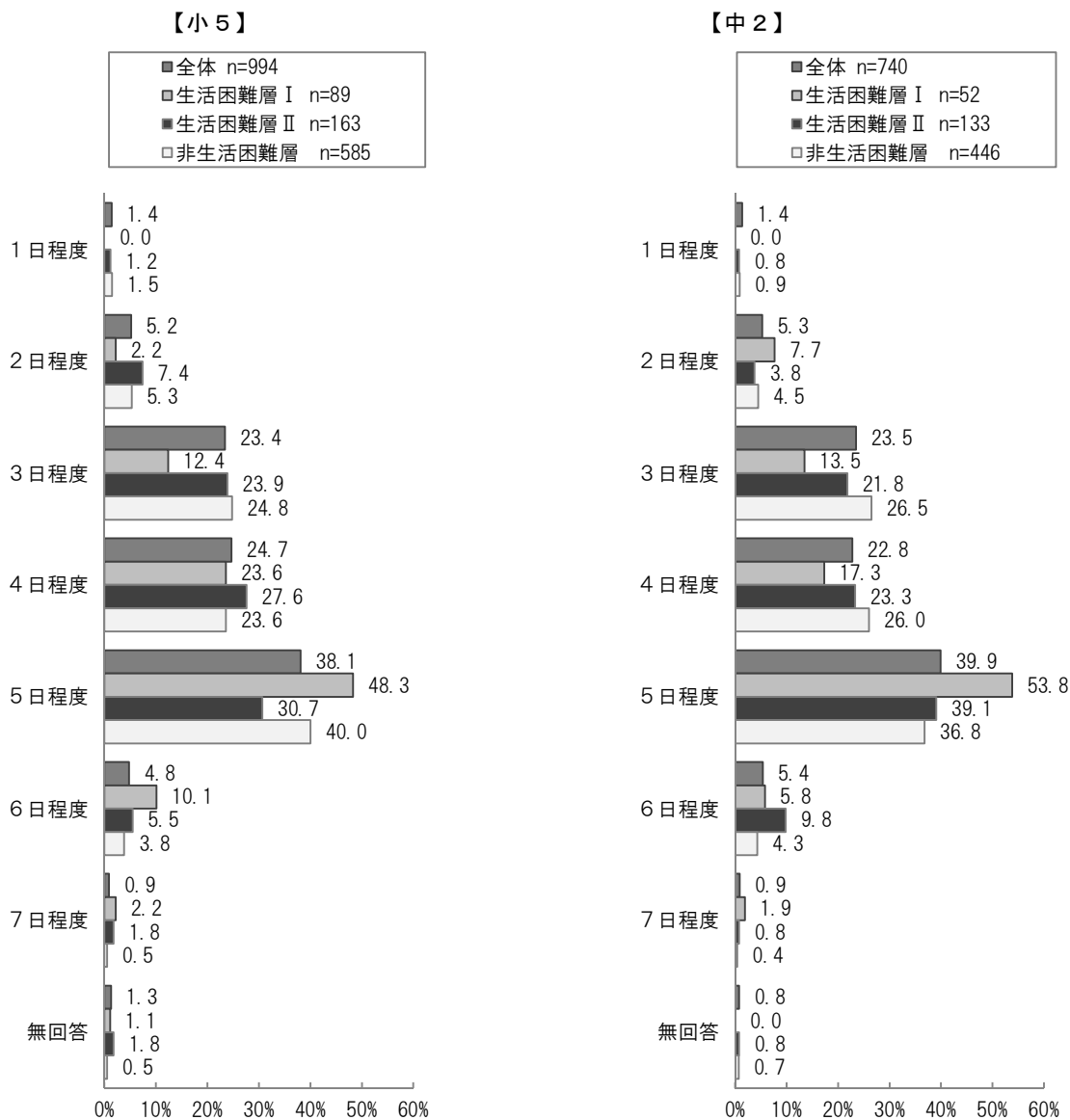


図 2-2-3・図 2-2-4 母親の労働日数

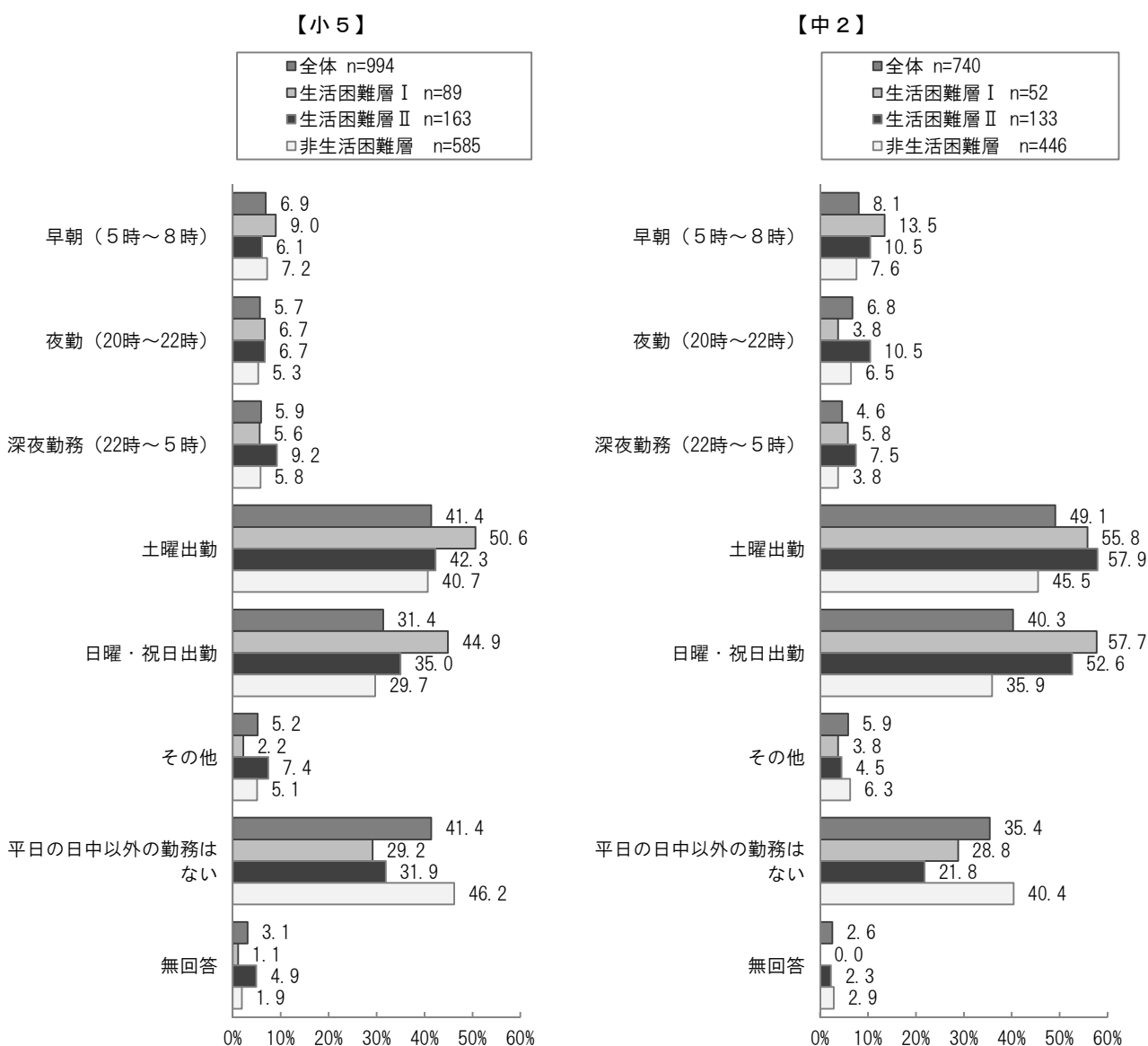


(3) お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。(あてはまる番号すべてに○)
 <問9-2>

母親の平日の日中以外の勤務については、いずれも「土曜出勤」が、小5保護者 41.4%、中2保護者 49.1%となっており、「日曜・祝日出勤」が、小5保護者 31.4%、中2保護者 40.3%となっている。また、「早朝」「夜勤」「深夜勤務」についても約5~8%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは、「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」が非生活困難層よりも約10~22ポイント高くなっている。

図 2-3-1・図 2-3-2 母親の平日の日中以外の勤務



(4) お子さんのお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。

(あてはまる番号1つに○) <問10>

父親の雇用形態については、いずれも「常勤・正規職員」が最も高く、小5保護者 77.8%、中2保護者 75.8%となっており、次いで「自営業・家業」が、小5保護者 10.0%、中2保護者 9.0%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「無回答」が、非生活困難層よりも41～52ポイント高くなっている。

図 2-4-1 父親の雇用形態（小5）

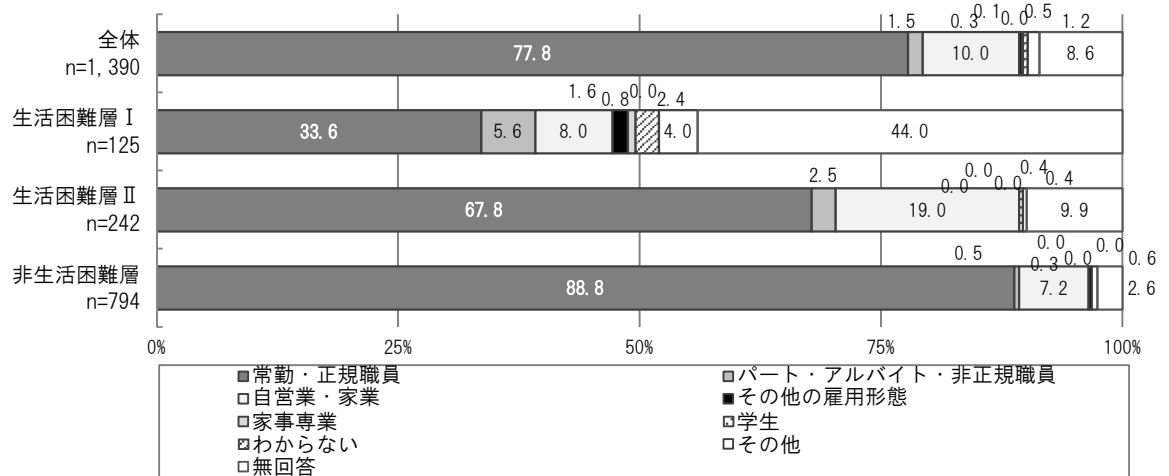
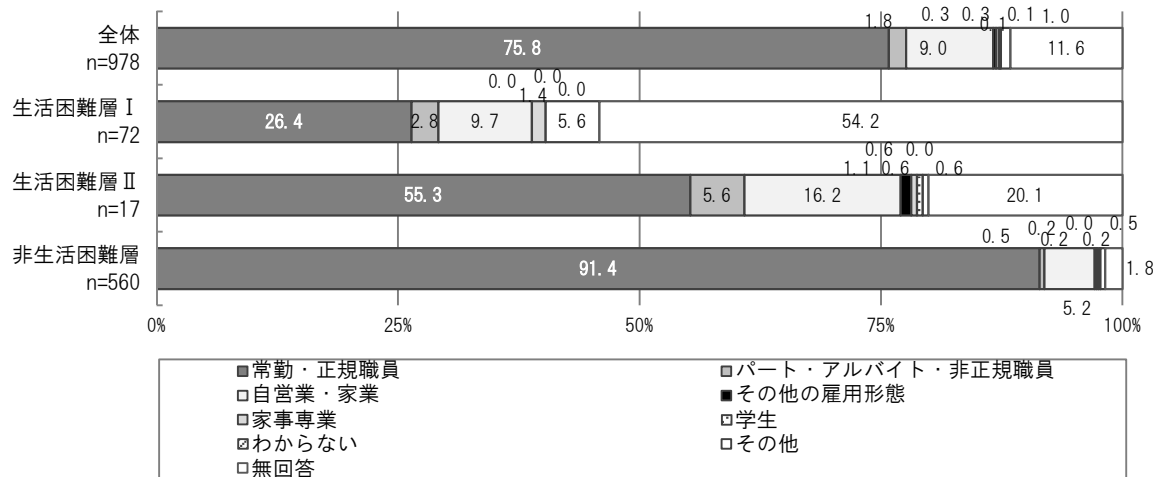


図 2-4-2 父親の雇用形態（中2）



(5) お子さんのお父さまは、1日に平均何時間、1週間に平均何日、お仕事をされていますか。(枠内に数字で回答してください) <問 10-1>

父親の労働時間については、いずれも「8時間台」が最も高く、小5保護者 30.5%、中2保護者 32.9%となっており、次いで「10時間台」が、小5保護者 28.2%、中2保護者 28.4%となっている。

労働日数については、いずれも「5日以上6日未満」が最も高く、小5保護者 64.7%、中2保護者 67.2%となっており、次いで「6日以上7日未満」が、小5保護者 28.6%、中2保護者 25.8%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、中2の生活困難層Ⅰでは、労働日数「6日以上7日未満」が非生活困難層よりも約 17 ポイント高くなっている。

図 2-5-1・図 2-5-2 父親の労働時間

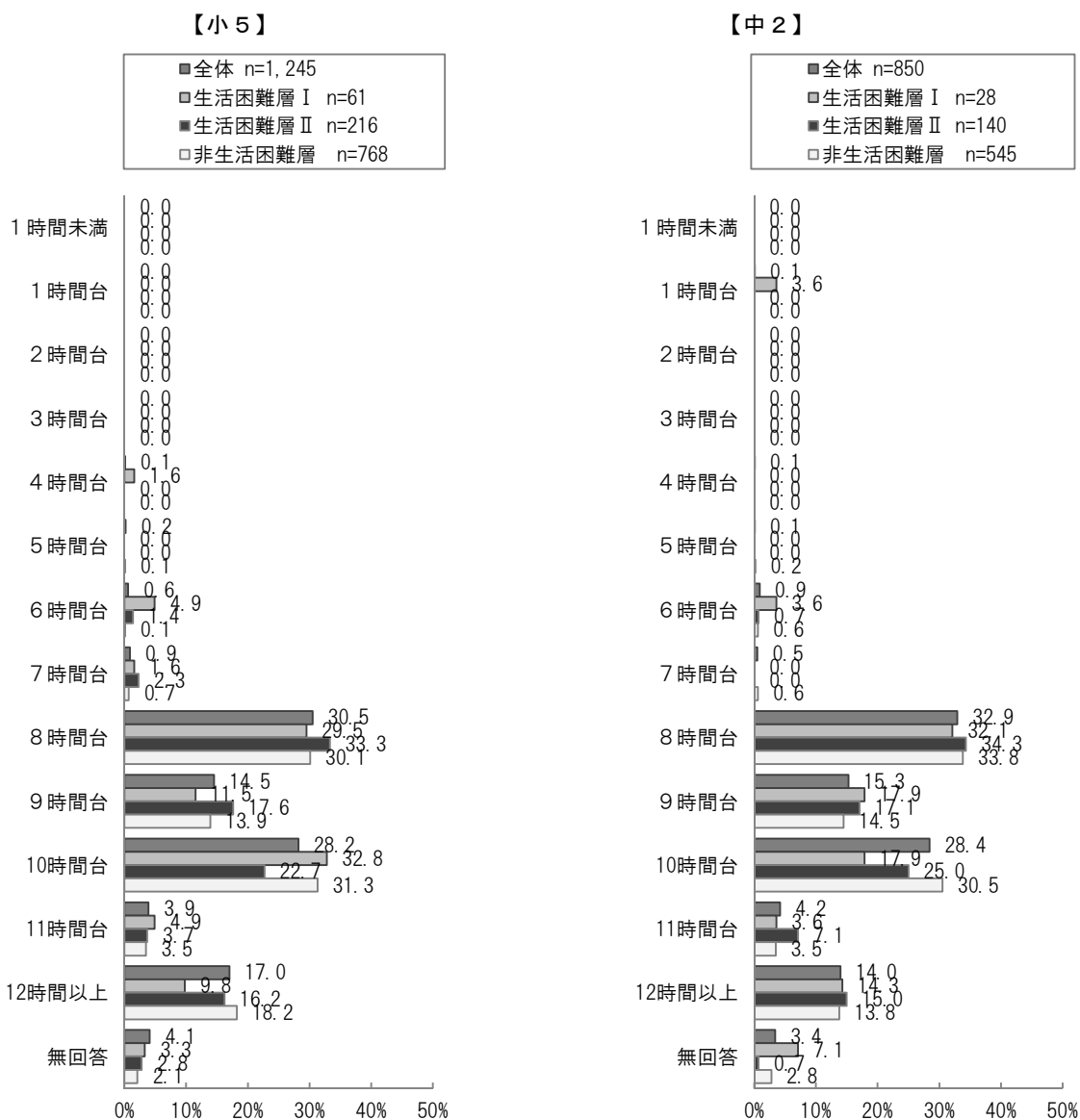
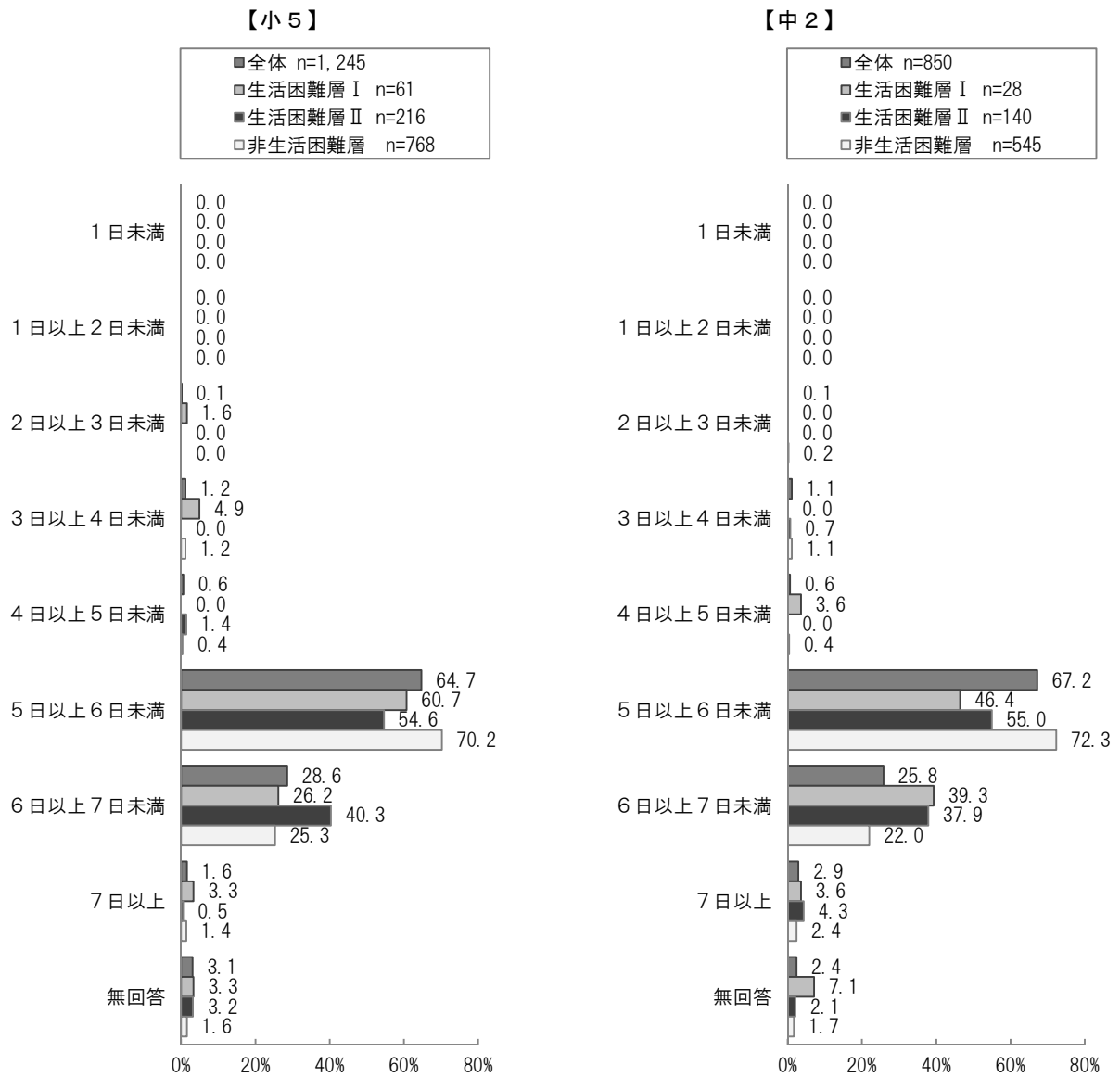


図 2-5-3・図 2-5-4 父親の労働日数

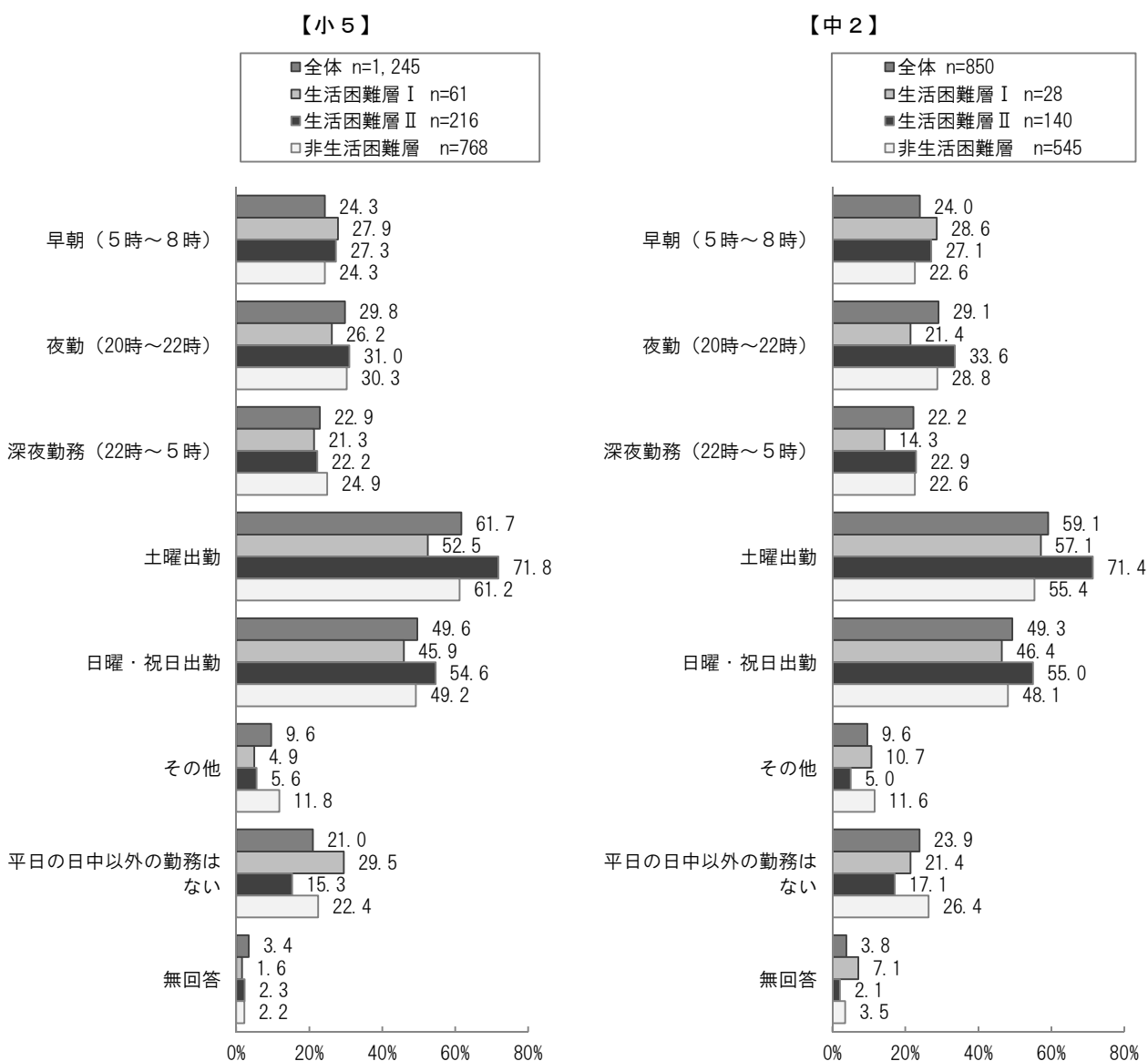


(6) お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。(あてはまる番号すべてに○)
 <問10-2>

父親の平日の日中以外の勤務については、いずれも「土曜出勤」が、小5保護者61.7%、中2保護者59.1%となっており、「日曜・祝日出勤」が、小5保護者49.6%、中2保護者49.3%となっている。また、「早朝」「夜勤」「深夜勤務」についても約22~30%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅱでは、「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」が非生活困難層よりも約5~16ポイント高くなっている。

図2-6-1・図2-6-2 父親の平日の日中以外の勤務



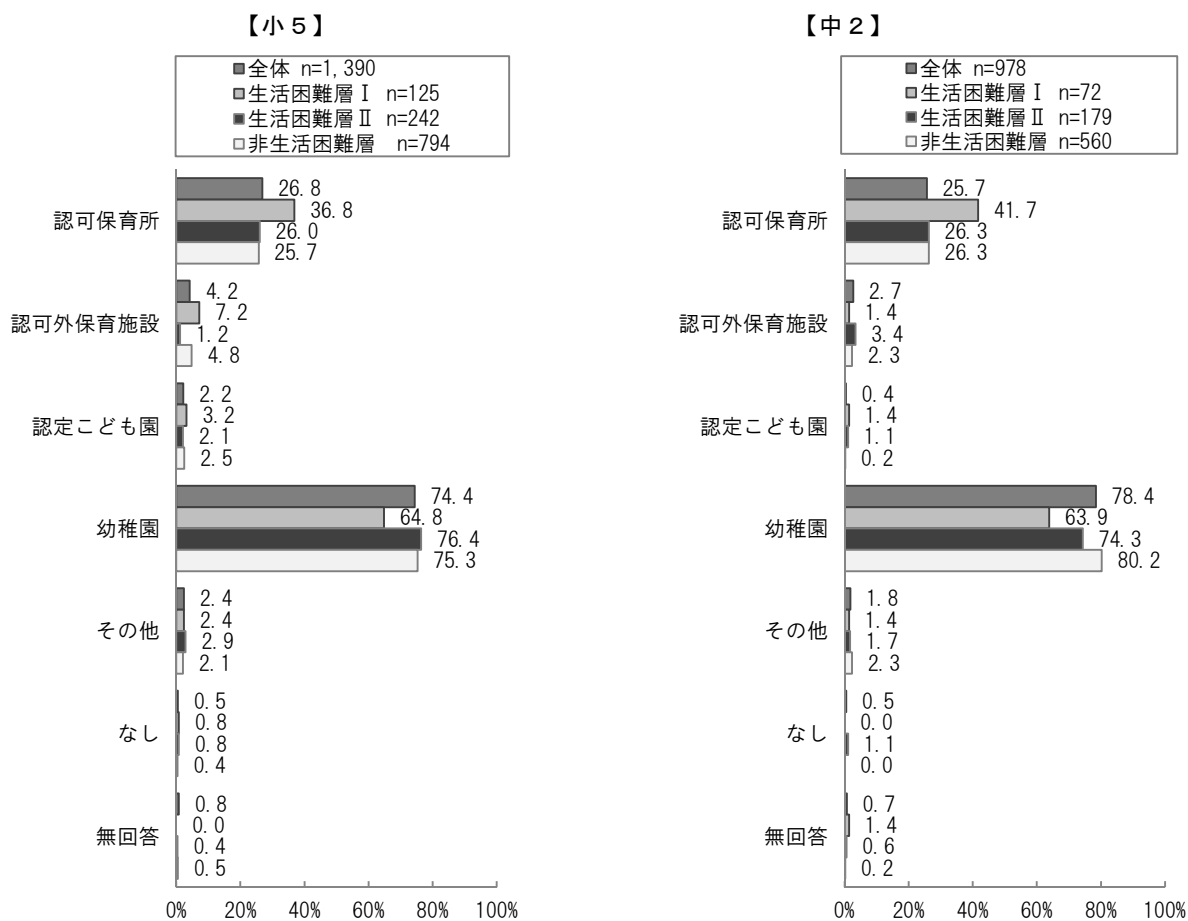
3 子どもの教育・保育のことについて

(1) お子さんがこれまでに通ったことのある教育・保育機関等をすべてお答えください。(あてはまる番号すべてに○) <問 11>

通ったことのある教育・保育機関等については、いずれも「幼稚園」が最も高く、小5保護者 74.4%、中2保護者 78.4%となっており、次いで「認可保育所」が、小5保護者 26.8%、中2保護者 25.7%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「幼稚園」が、非生活困難層よりも約 10～16 ポイント低くなっており、他方で「認可保育所」が、約 11～15 ポイント高くなっており、

図 3-1-1・図 3-1-2 通ったことのある教育・保育機関等



(2) お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○) <問12>

どの段階までの教育を受けさせたいかについては、いずれも「大学またはそれ以上」が最も高く、小5保護者 54.8%、中2保護者 54.4%となっており、次いで小5保護者では「まだわからない」が 17.6%、中2保護者では「短大・高専・専門学校まで」が 17.3%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「大学またはそれ以上」が、非生活困難層よりも約26~32ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「大学またはそれ以上」を希望する割合が低くなっている。

図 3-2-1 どの段階までの教育を受けさせたいか(小5)

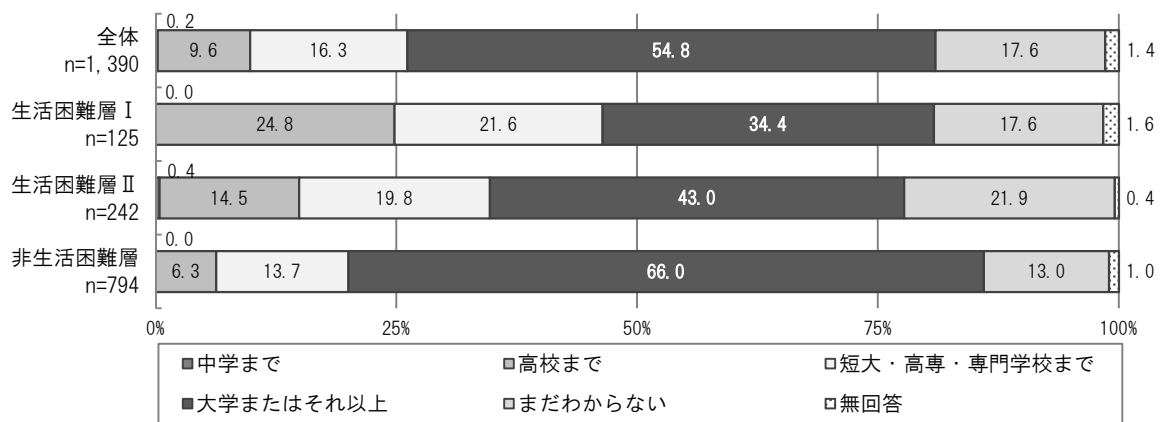
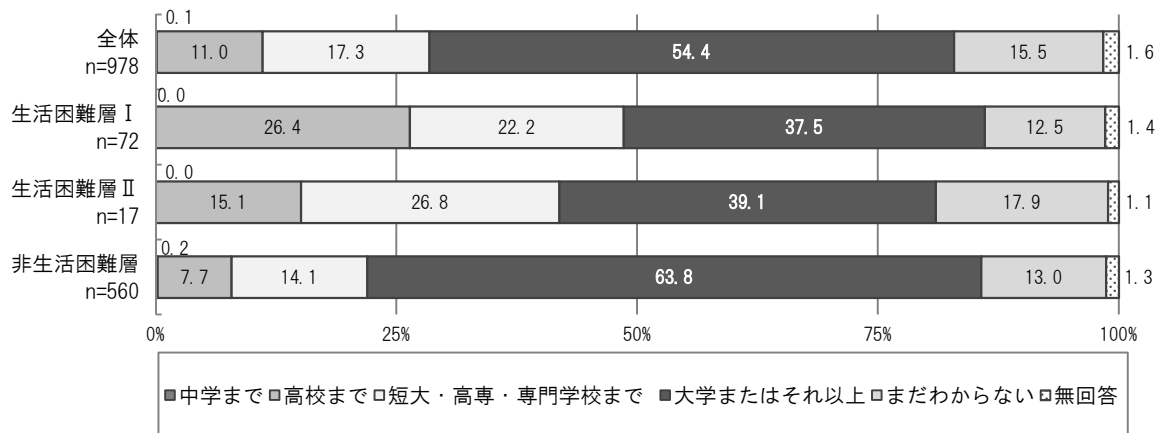


図 3-2-2 どの段階までの教育を受けさせたいか(中2)



(3) あなたはお子さんが希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。

(あてはまる番号1つに○) <問12-1>

どの段階までの教育を受けさせたいかについては、いずれも「わからない」が最も高く、小5保護者59.1%、中2保護者51.0%となっており、「思う」が、小5保護者35.8%、中2保護者42.4%、「思わない」が、小5保護者4.7%、中2保護者5.9%となっている。生活困難層(3区分)別にみると、中2の生活困難層Ⅱでは「思う」が、非生活困難層よりも約14ポイント低くなっている。

図3-3-1 希望どおりの学校まで進むことになるか(小5)

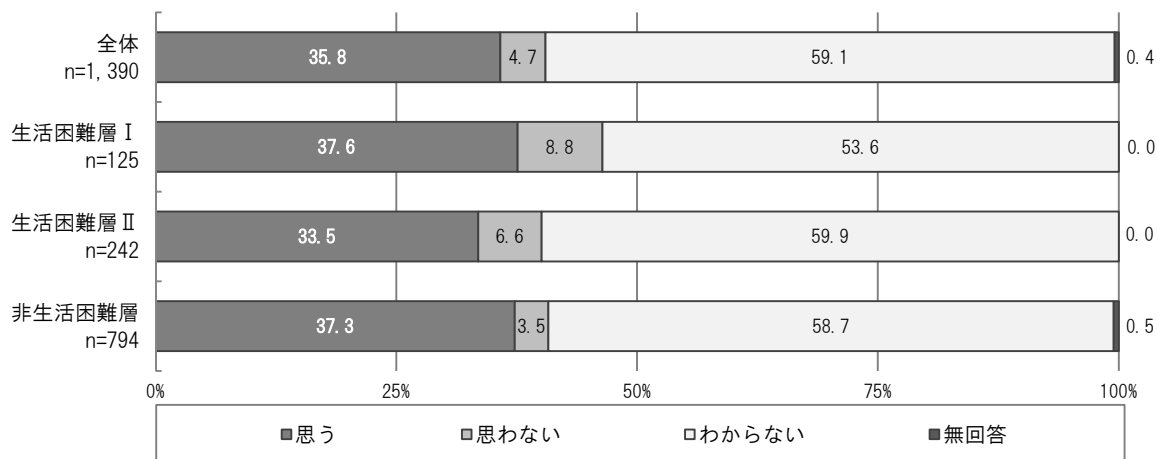
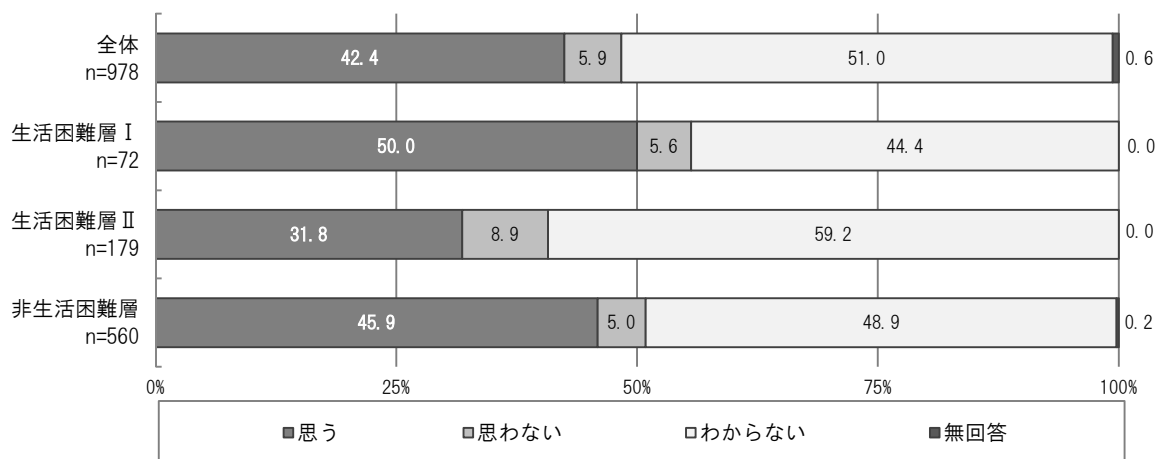


図3-3-2 希望どおりの学校まで進むことになるか(中2)



4 健康のことについて

(1) あなた（回答者）の健康状態（あてはまる番号1つに○）＜問13-1＞

回答者の健康状態については、「あまりよくない」が、小5保護者 8.9%、中2保護者 7.3%となっており、「よくない」との合計が、小5保護者 10.3%、中2保護者 8.6%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「よい」が、非生活困難層よりも約9～12ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「よい」の割合が低くなっている。

図 4-1-1 回答者の健康状態（小5）

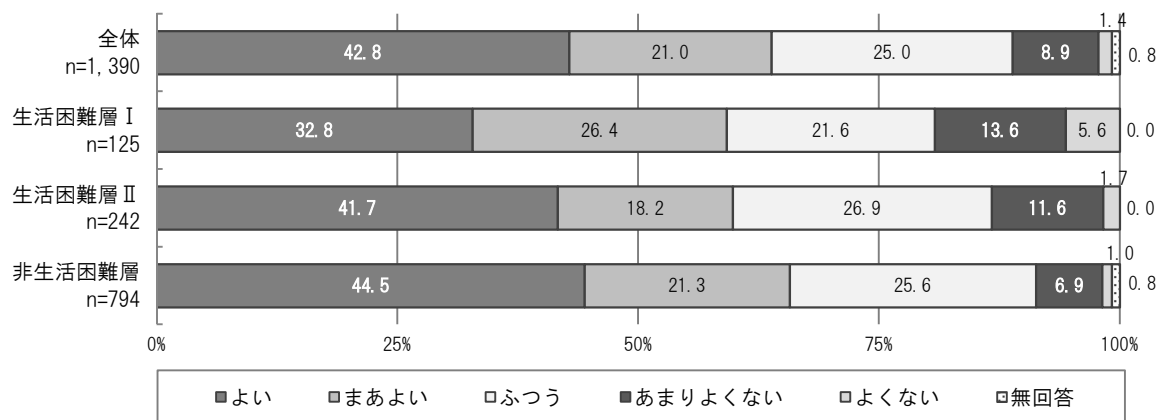
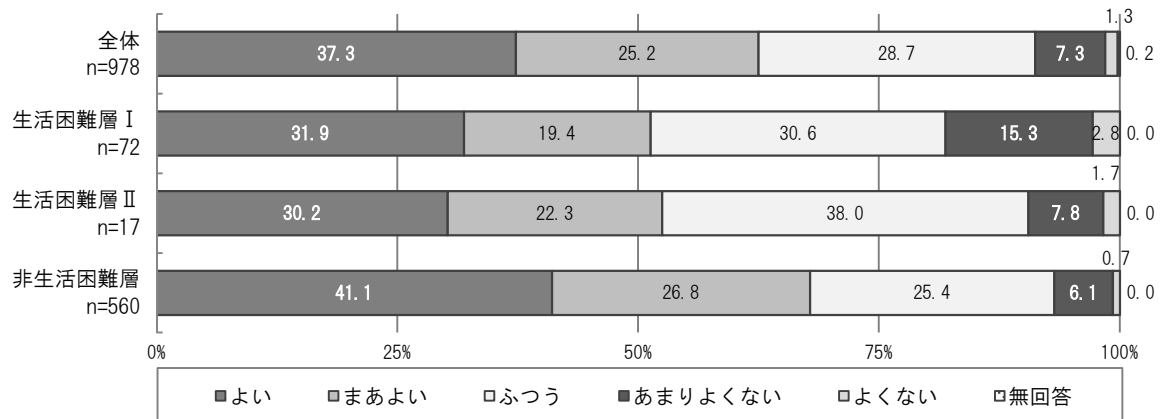


図 4-1-2 回答者の健康状態（中2）



(2) お子さんの健康状態 (あてはまる番号1つに○) <問13-2>

子どもの健康状態については、「あまりよくない」が、小5保護者 1.0%、中2保護者 2.4%となっており、「よくない」との合計が、小5保護者 1.1%、中2保護者 2.7%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「よい」が、非生活困難層よりも約5~11ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「よい」の割合が低くなっている。

図4-2-1 子どもの健康状態(小5)

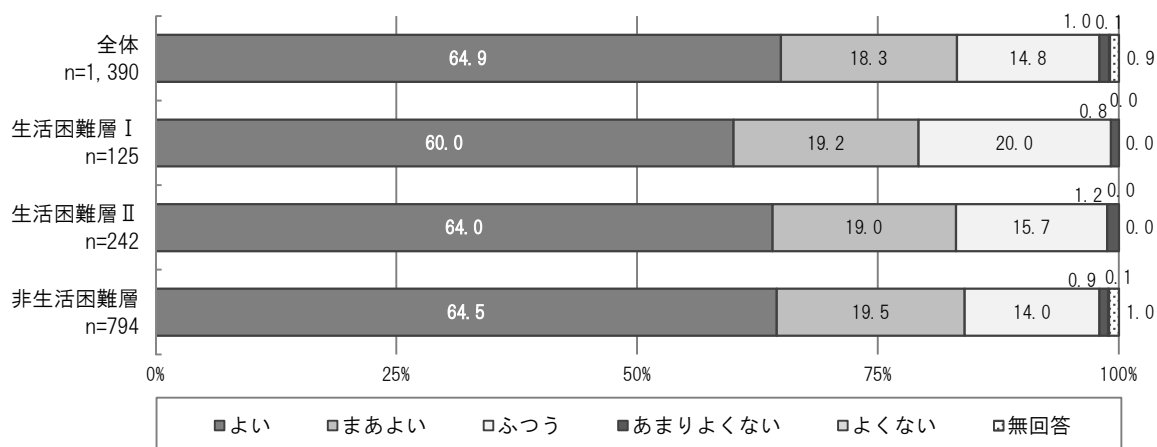
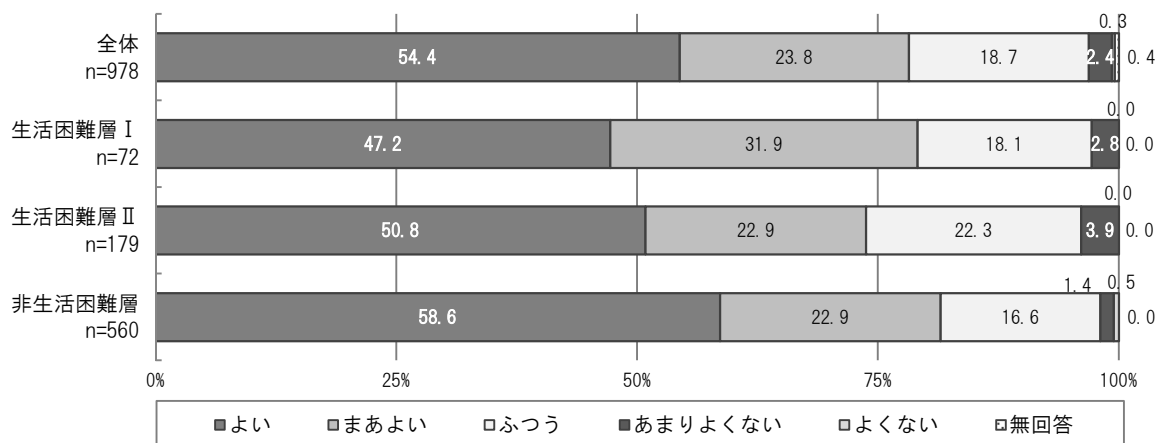


図4-2-2 子どもの健康状態(中2)



(3) 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(あてはまる番号1つに○) <問14>

医療機関に連れていけなかったことについては、「あった」が、小5保護者 15.2%、中2保護者 16.5%となっており、「なかった」が、小5保護者 84.0%、中2保護者 83.0%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、中2の生活困難層Ⅱでは「あった」が、非生活困難層よりも約6ポイント高くなっている。

図 4-3-1 医療機関に連れていけなかったこと(小5)

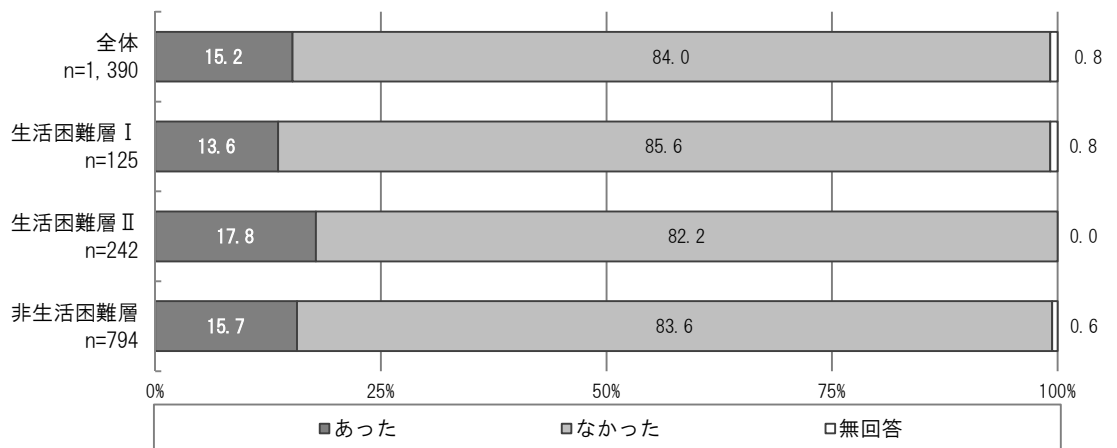
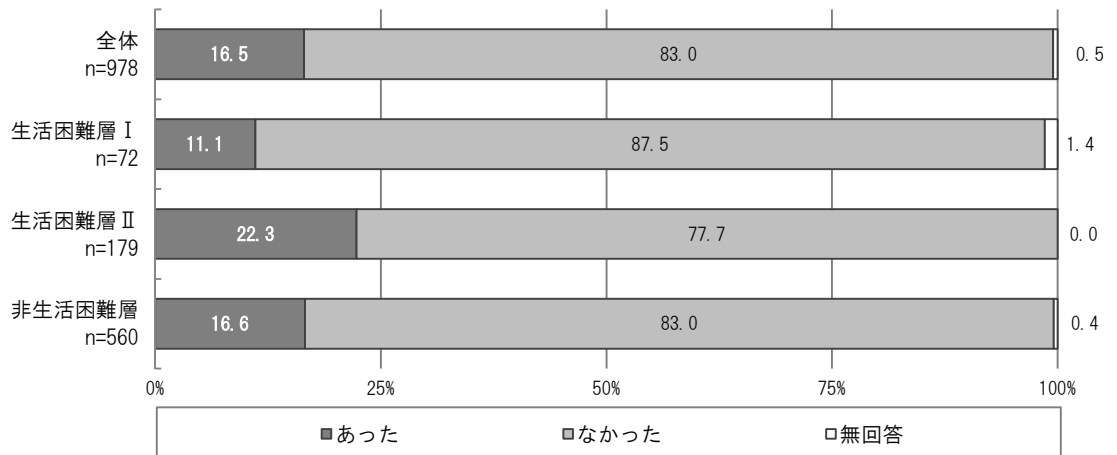


図 4-3-2 医療機関に連れていけなかったこと(中2)

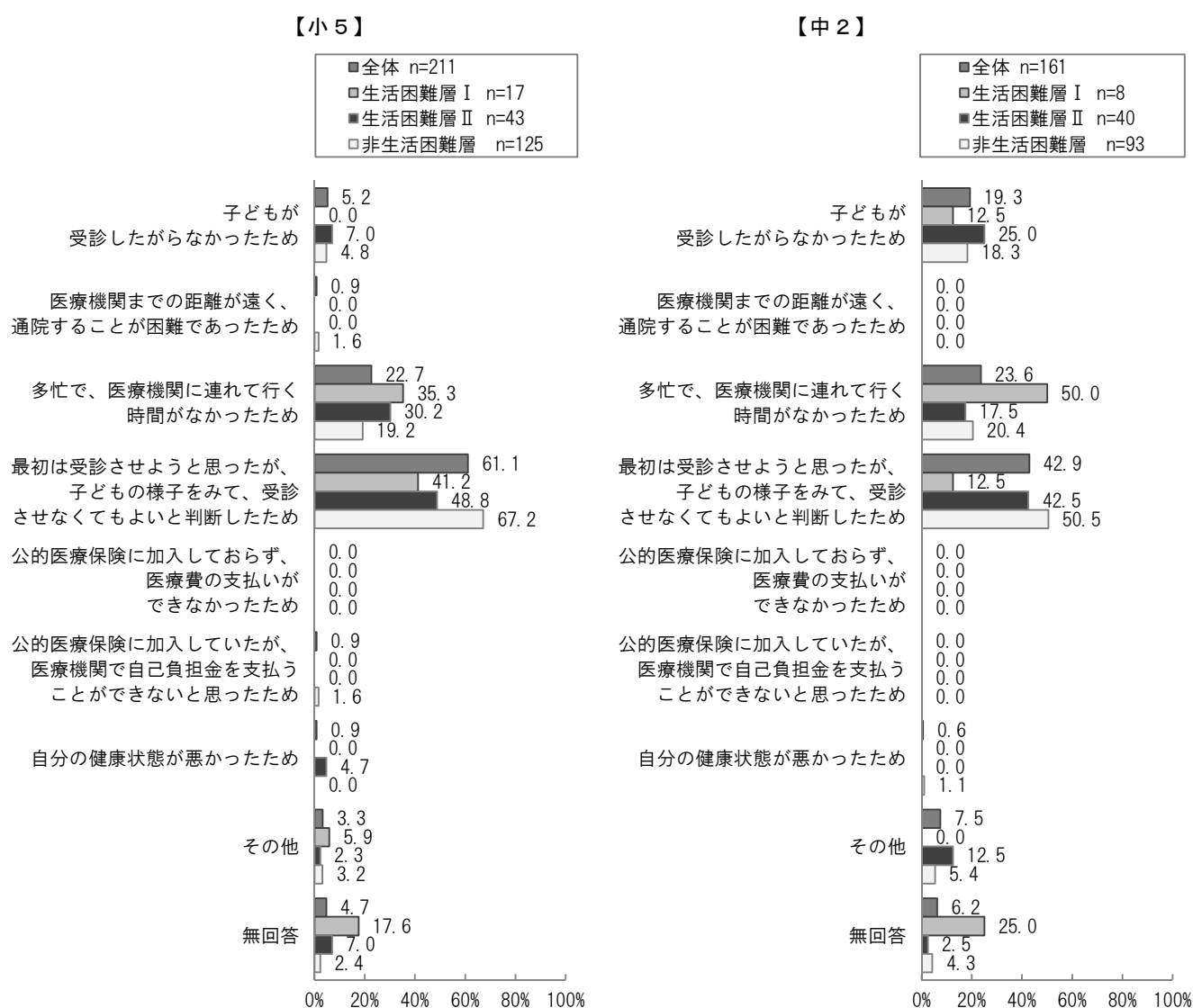


(4) 医療機関に連れていかなかった理由のうち、最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○) <問 14-1>

医療機関に連れていかなかった理由については、いずれも「最初は受診させようと思ったけれど、様子を見て受診の必要はないと判断したため」が最も高く、小5保護者61.1%、中2保護者42.9%となっており、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が、小5保護者22.7%、中2保護者23.6%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Iでは「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が、非生活困難層よりも約16~30ポイント高くなっている。

図 4-4-1・図 4-4-2 医療機関に連れていかなかった理由

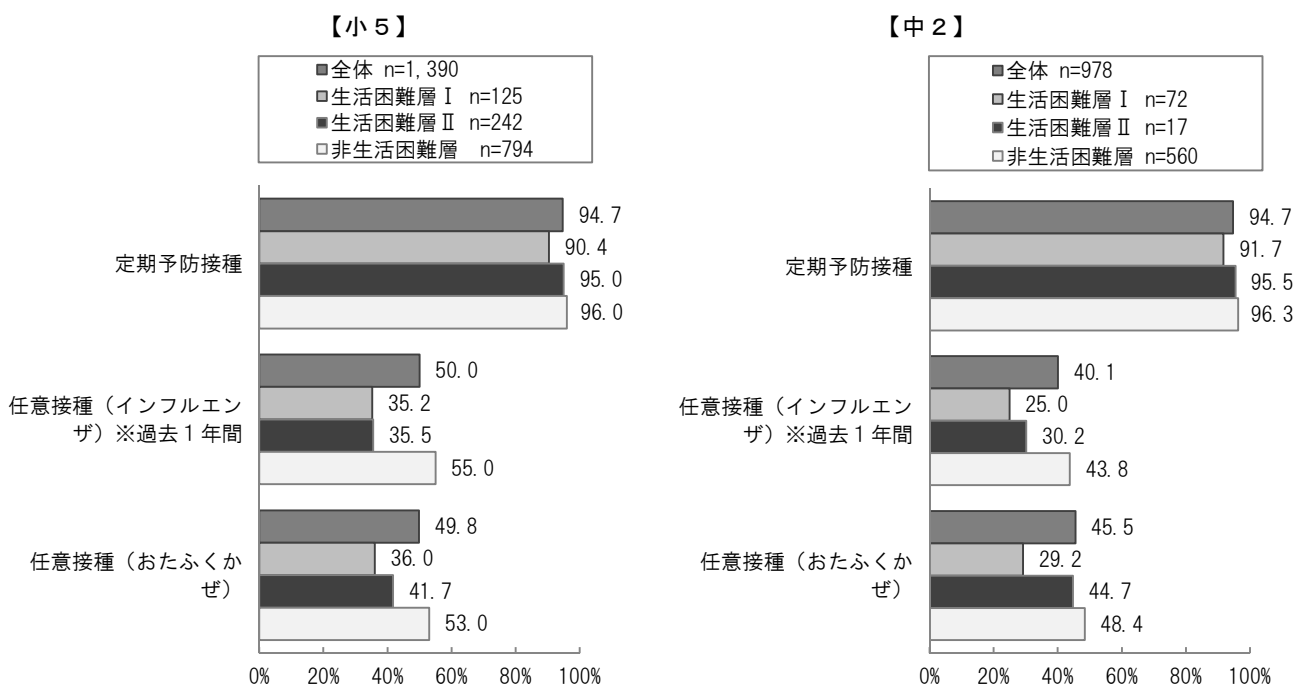


(5) お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問15>

予防接種の受診状況については、「定期予防接種」は小5保護者・中2保護者のいずれも94.7%となっているが、「任意接種（インフルエンザ）」「任意接種（おたふくかぜ）」では約40%から50%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層ⅠやⅡでは「任意接種（インフルエンザ）」が、非生活困難層よりも約13～20ポイント低くなっている。

図 4-5-1・図 4-5-2 受けた予防接種



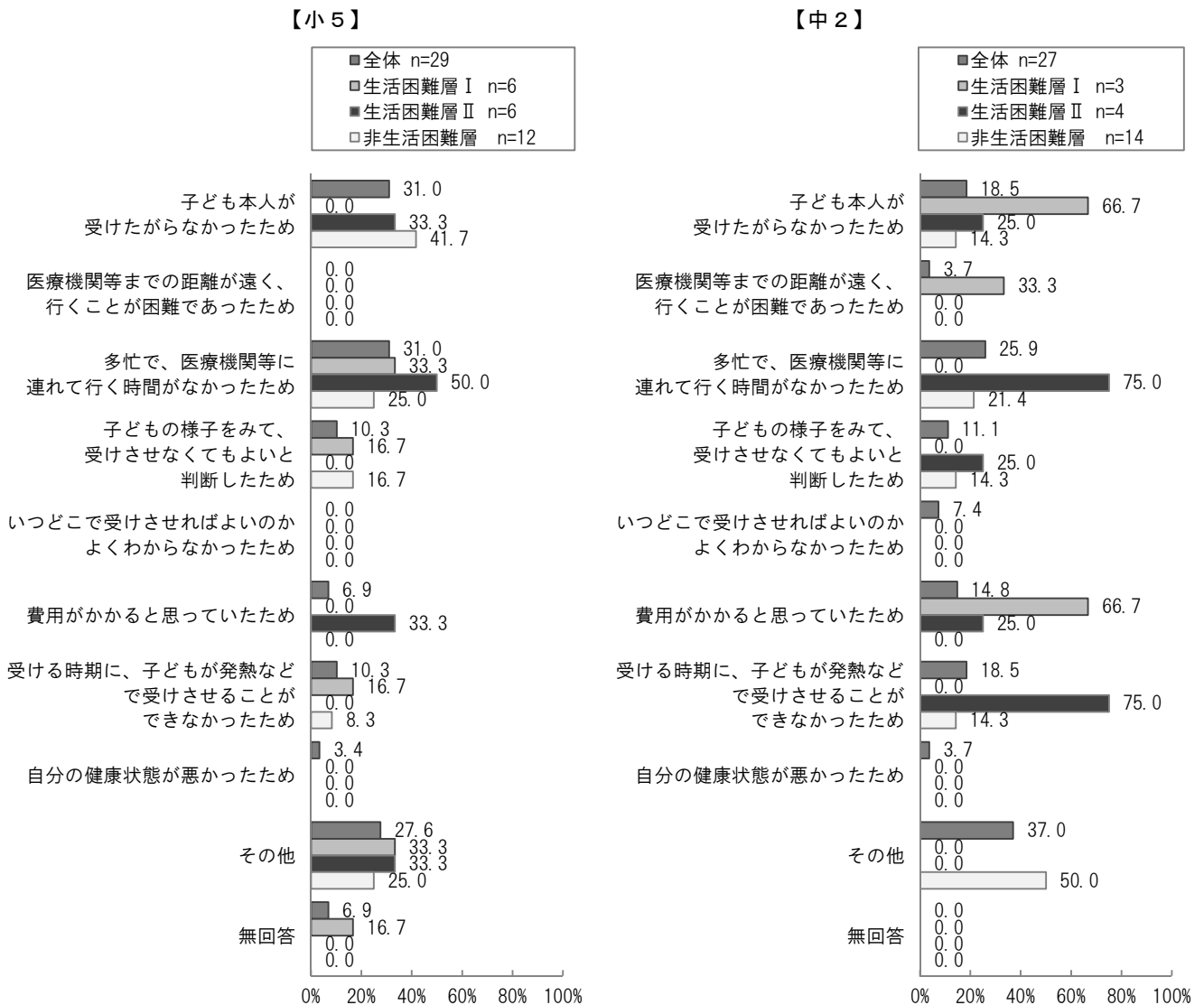
(6) 定期予防接種を受けなかったのはなぜですか。

(あてはまる番号すべてに○) <問 15-1>

定期予防接種を受けなかった理由については、小5保護者では「子ども本人が受けたがらなかったため」と「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」が最も高く、31.0%となっている。

中2保護者では「その他」が37.0%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」が25.9%となっている。

図 4-6-1・図 4-6-2 定期予防接種を受けなかった理由



5 子育てにかかる費用について

(1) お子さんの生活費や学費について、次の①～⑧の費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問16>

生活費や学費のうち、「学校に支払う教育費」については、いずれも「5,001～10,000円」が最も高く、小5保護者40.8%、中2保護者49.6%となっており、次いで「3,001～5,000円」が、小5保護者37.8%、中2保護者27.8%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「②塾など、学校外でかかる教育費」で「3,000円以下」が、非生活困難層よりも約12～14ポイント高くなっている。

図5-1-1① 生活費や学費 ① 給食費、学用品代など学校に支払う教育費(小5)

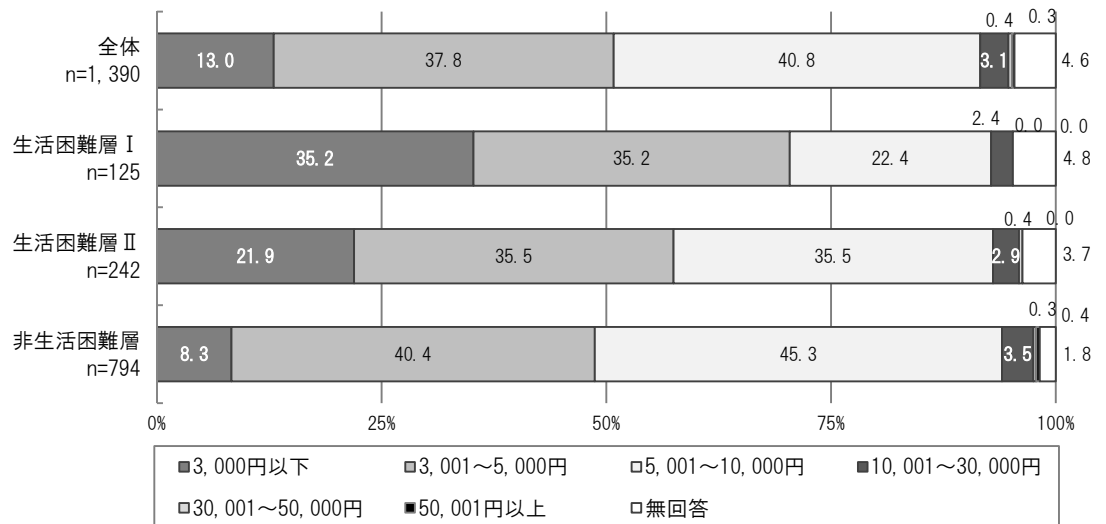


図5-1-1② 生活費や学費 ② 塾など、学校外でかかる教育費(小5)

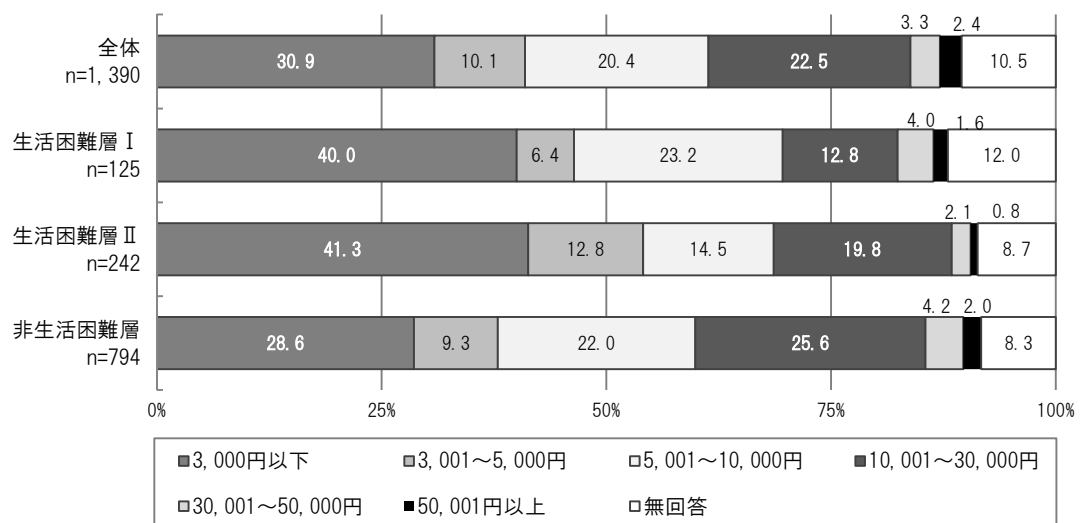


図 5-1-1③ 生活費や学費 ③習い事（スポーツクラブなど以外）（小5）

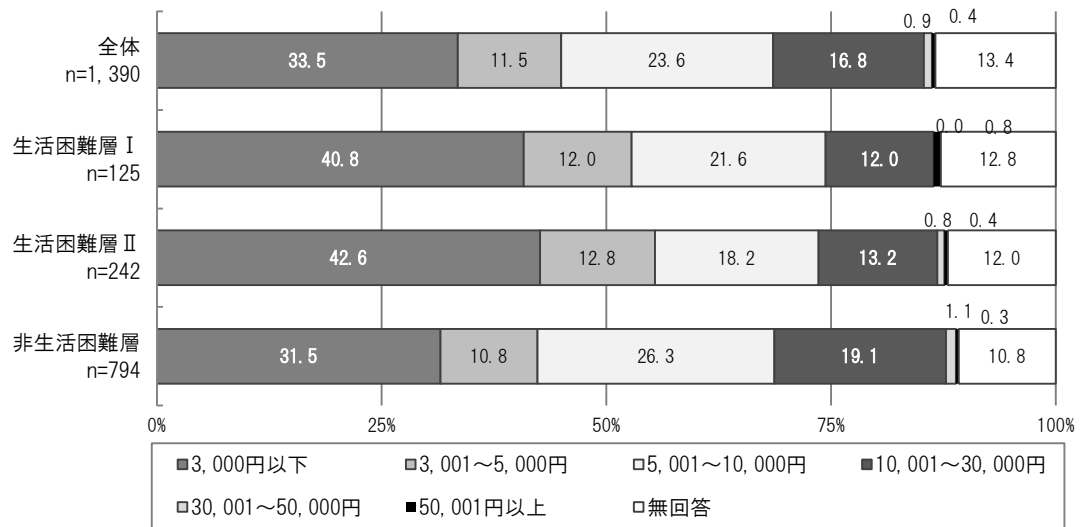


図 5-1-1④ 生活費や学費 ④スポーツクラブ・クラブ活動（小5）

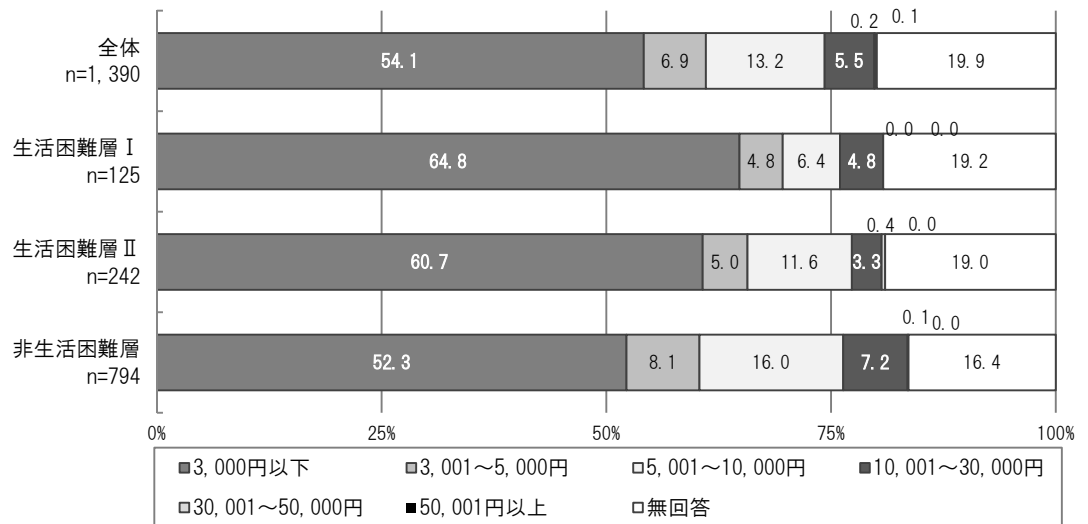


図 5-1-1⑤ 生活費や学費 ⑤子どもの食費（給食費を除く）（小5）

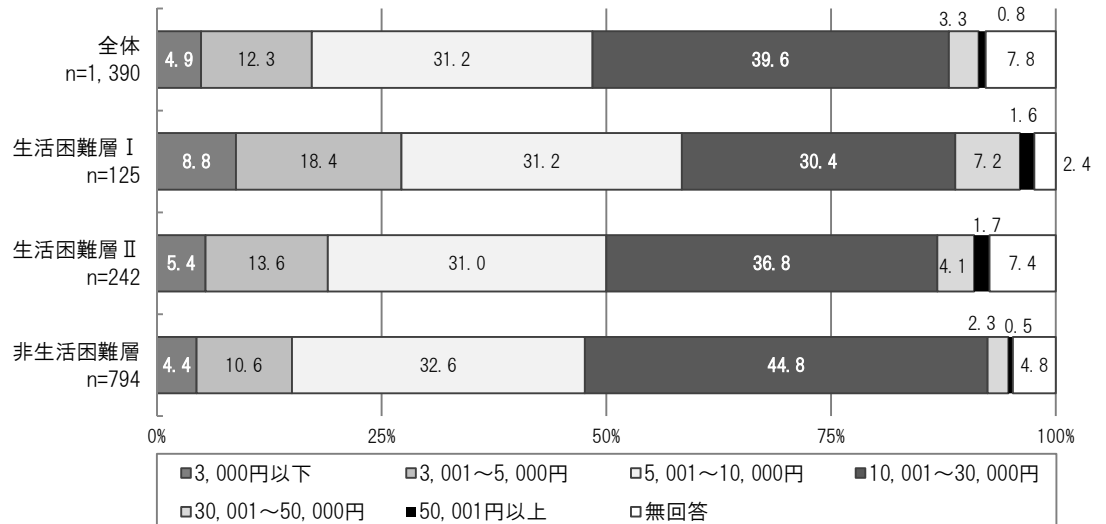


図 5-1-1⑥ 生活費や学費 ⑥子どもの服・靴（小5）

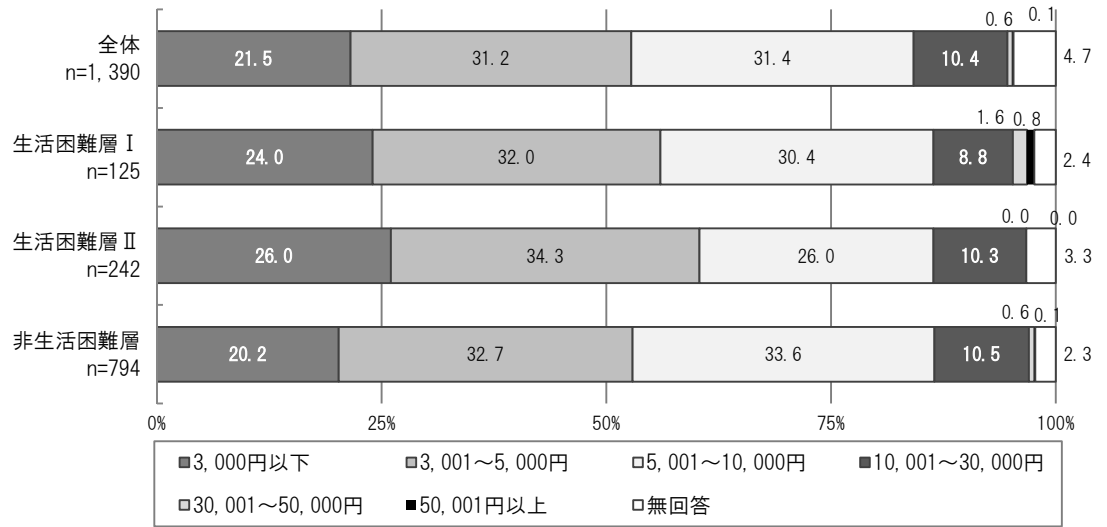


図 5-1-1⑦ 生活費や学費 ⑦子どものお小遣い（小5）

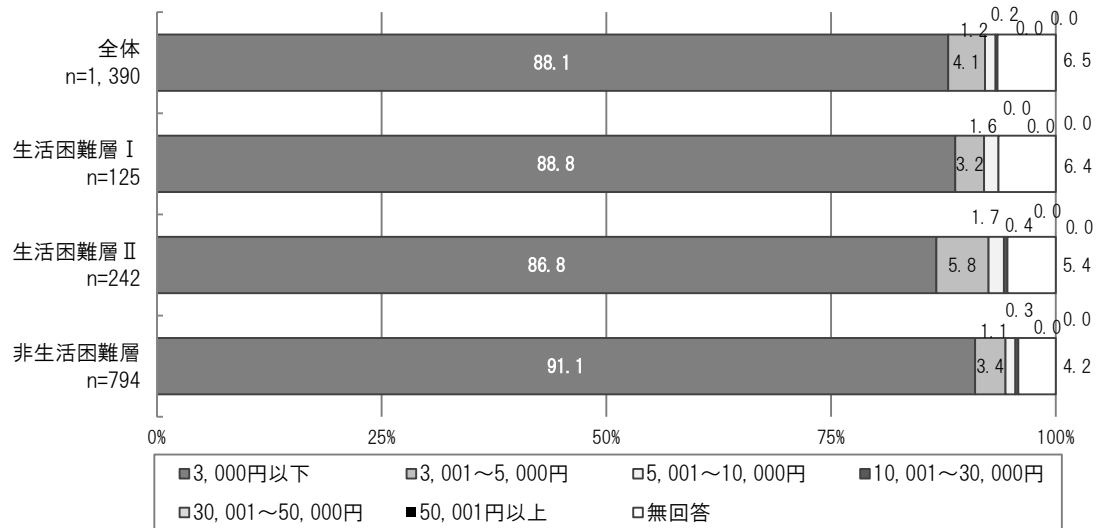


図 5-1-1⑧ 生活費や学費 ⑧（お子さんの）携帯電話・スマートフォンの代金（小5）

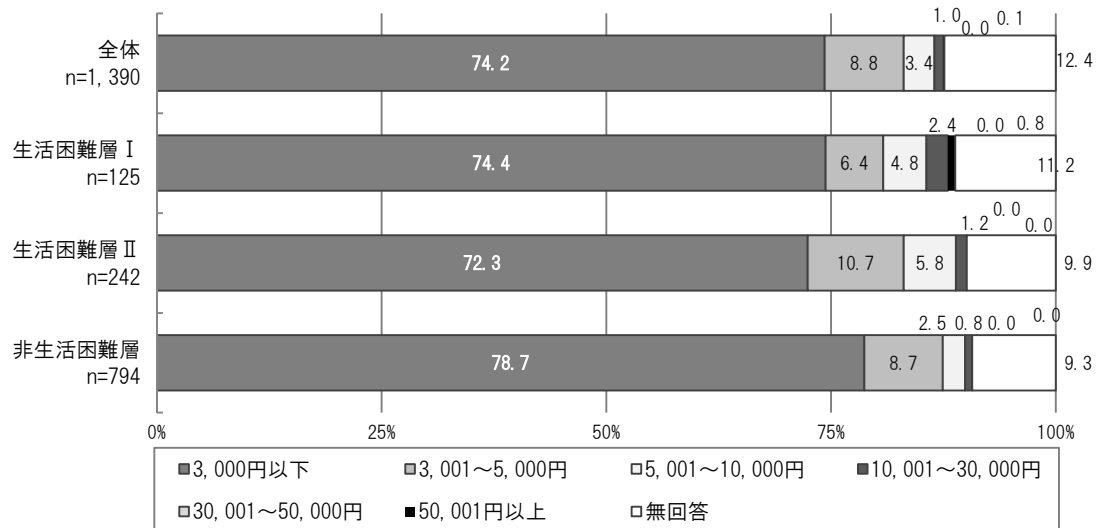


図 5-1-2① 生活費や学費 ① 給食費、学用品代など学校に支払う教育費（中2）

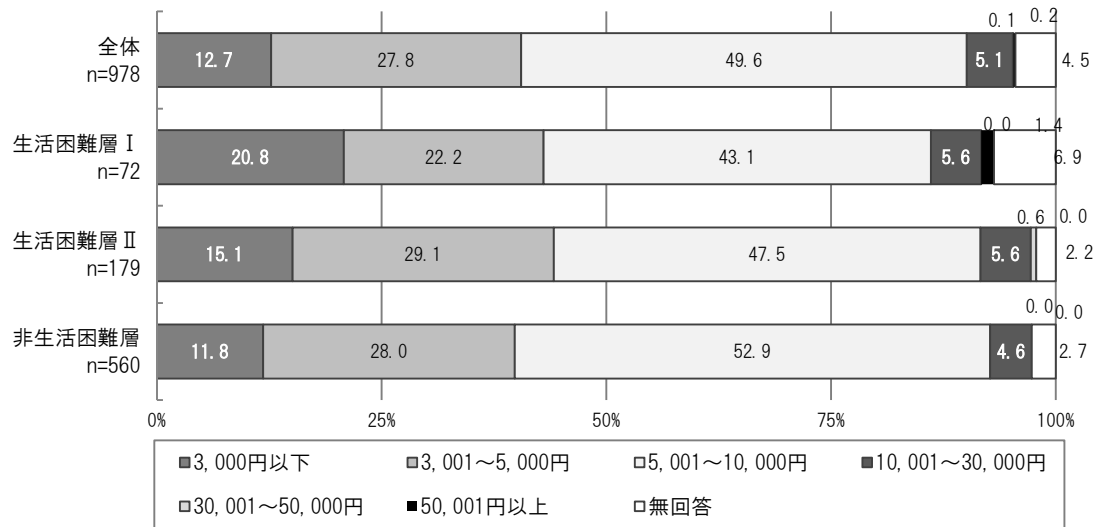


図 5-1-2② 生活費や学費 ② 塾など、学校外でかかる教育費（中2）

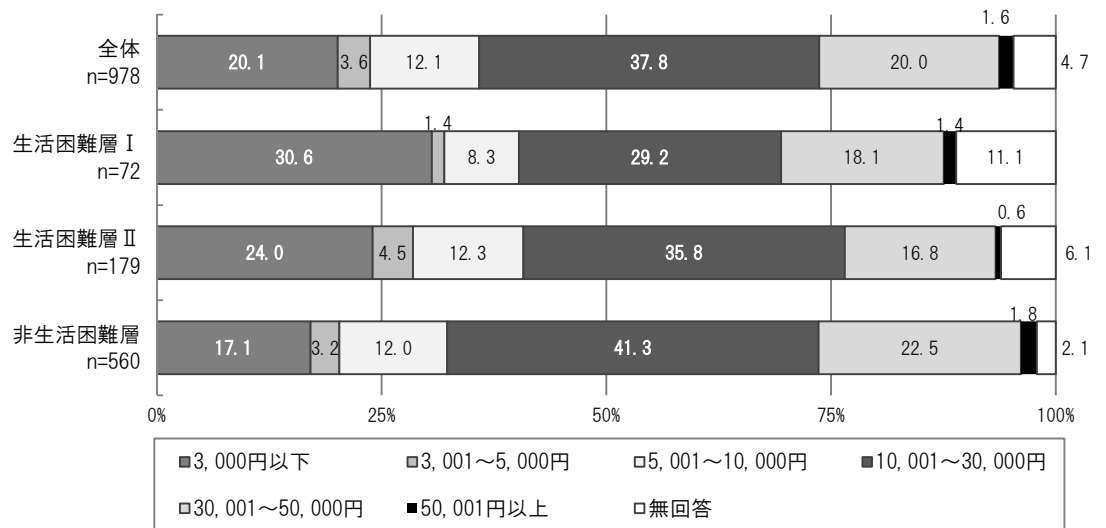


図 5-1-2③ 生活費や学費 ③ 習い事（スポーツクラブなど以外）（中2）

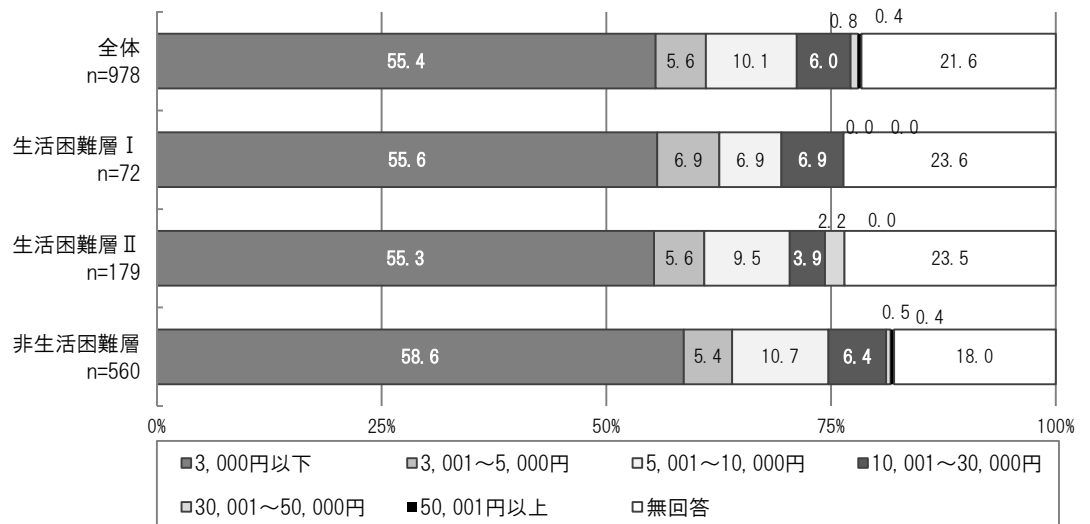


図 5-1-2④ 生活費や学費 ④スポーツクラブ・クラブ活動（中2）

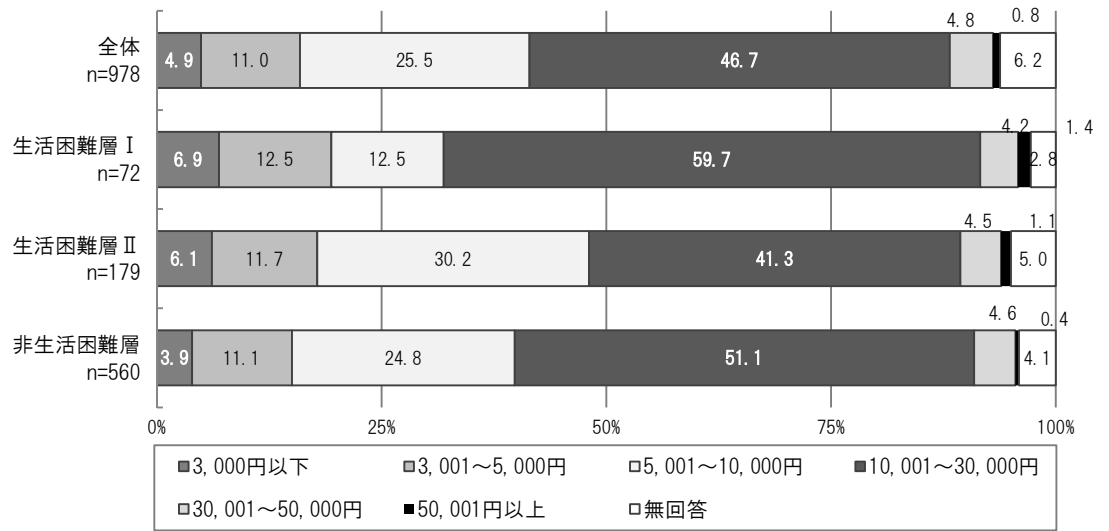


図 5-1-2⑤ 生活費や学費 ⑤子どもの食費（中2）

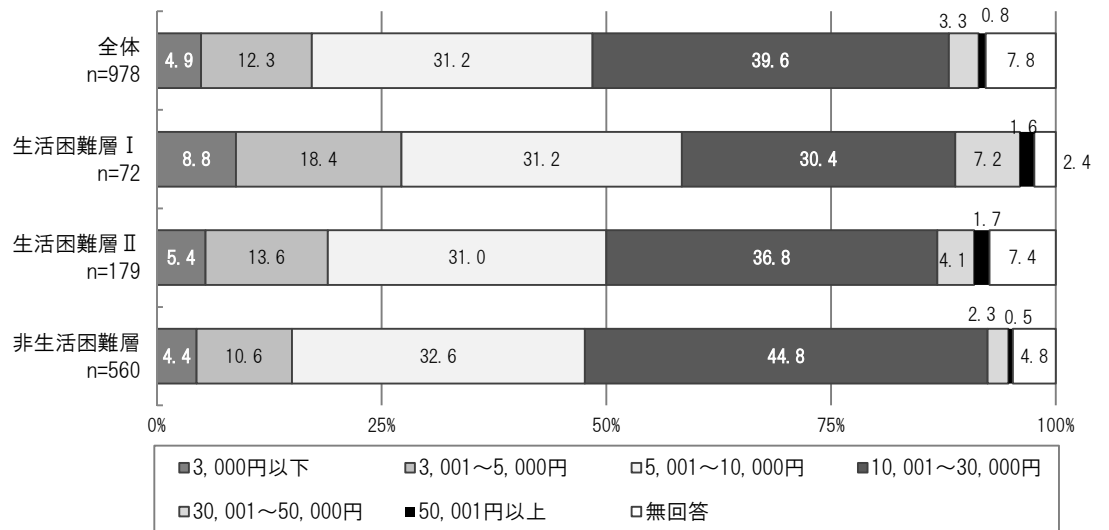


図 5-1-2⑥ 生活費や学費 ⑥子どもの服・靴（中2）

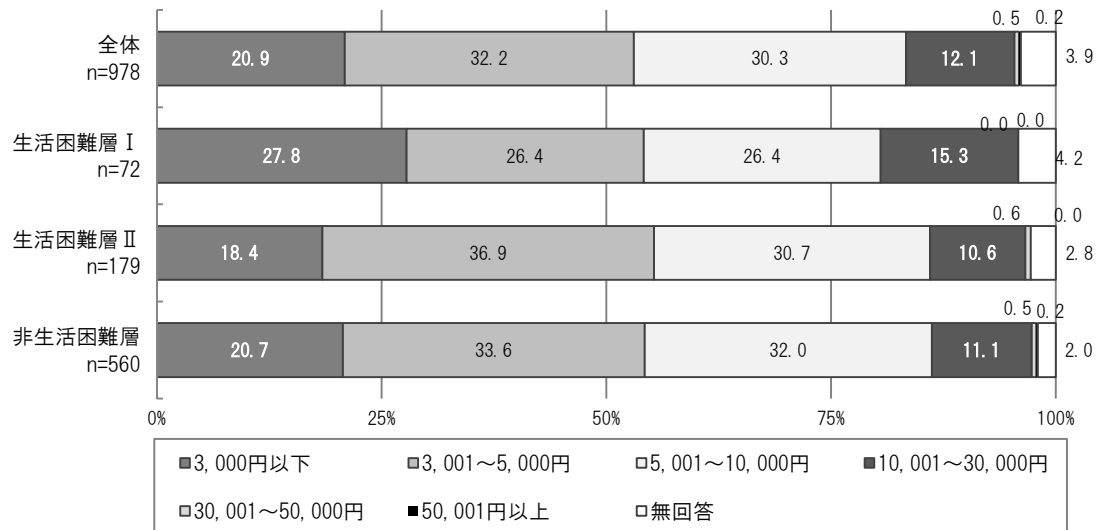


図 5-1-2⑦ 生活費や学費 ⑦子どものお小遣い（中2）

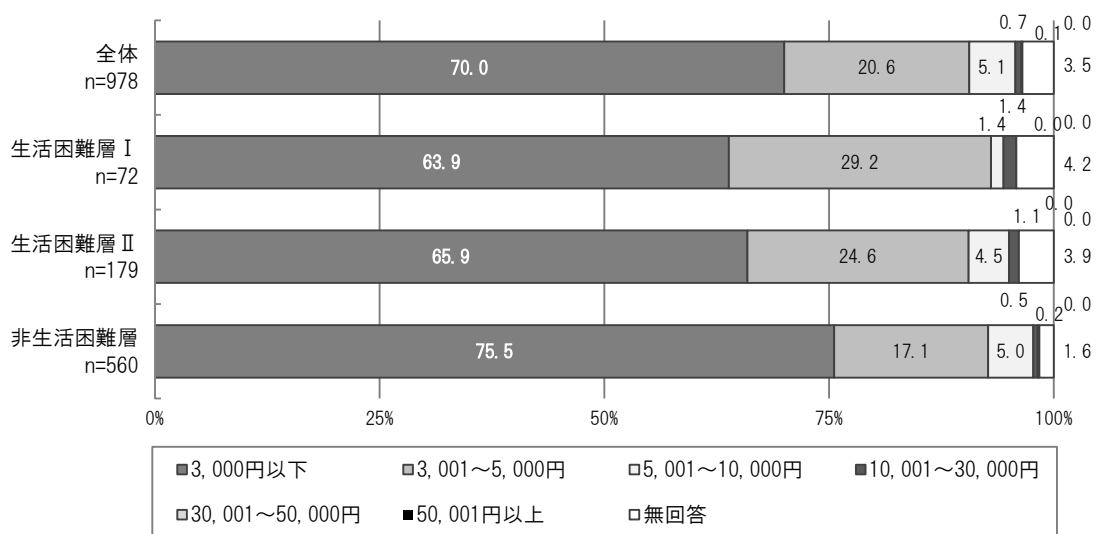
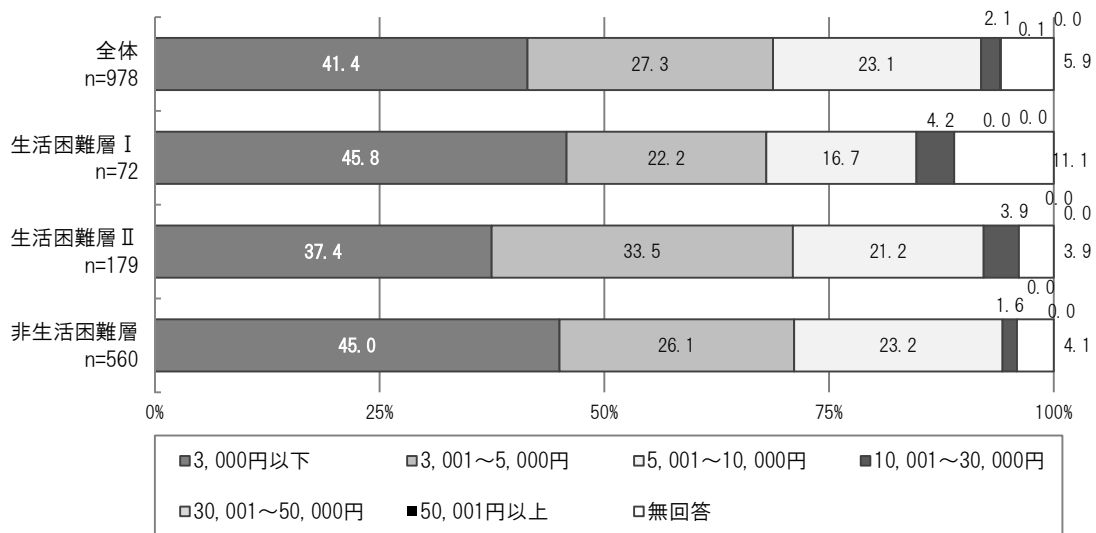


図 5-1-2⑧ 生活費や学費 ⑧（お子さんの）携帯電話・スマートフォンの代金（中2）



(2) あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1回当たりの支給額はいくらですか。(枠内に数字で回答してください) <問 17>

公的年金、社会保障給付金のうち、「児童扶養手当」の受給世帯は、小5保護者 5.3%、中2保護者 6.7%となっており、「生活保護」の受給世帯は、小5・中2保護者いずれも0.3%となっている。

図 5-2-1・図 5-2-2 児童手当

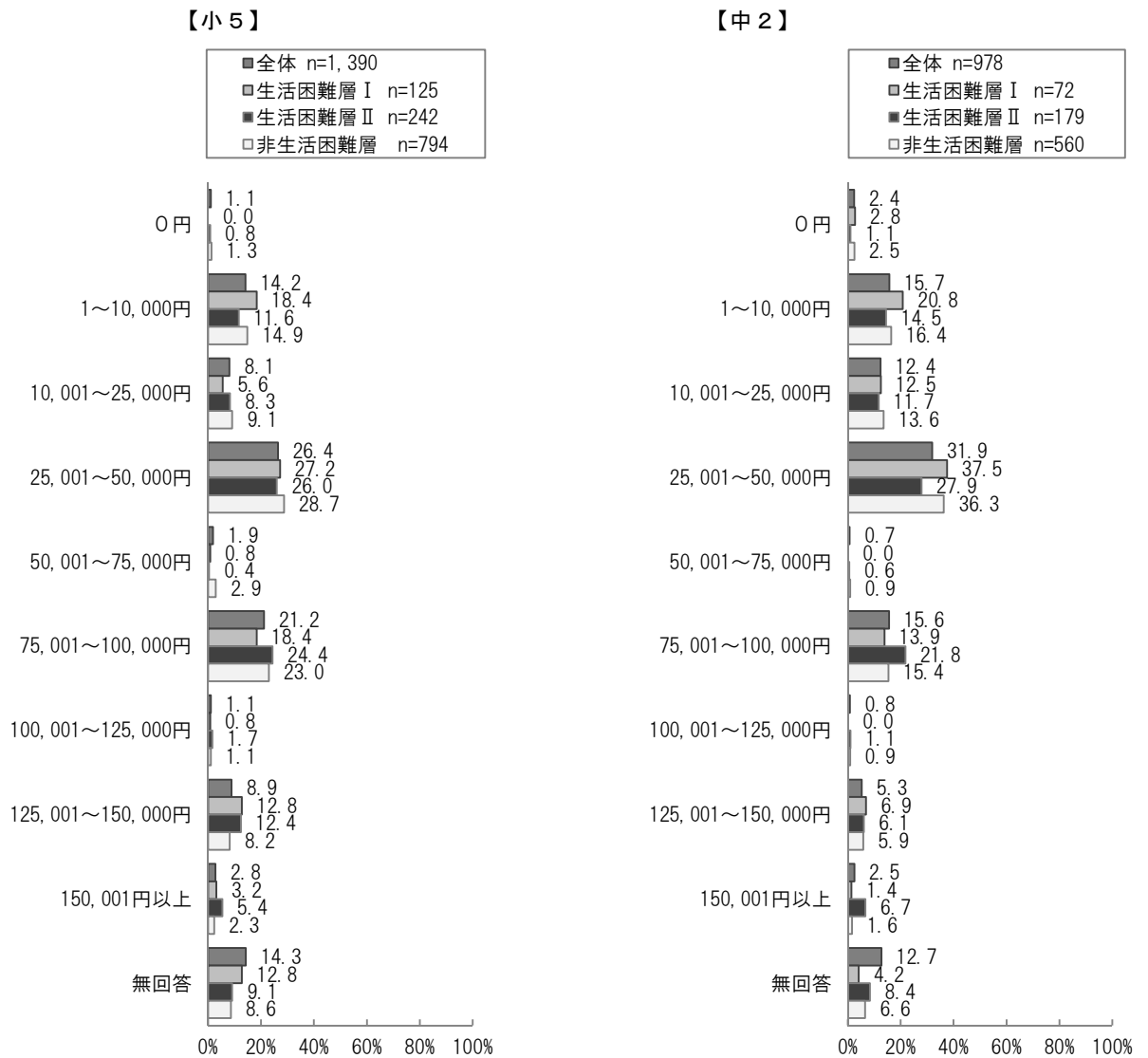


図 5-2-3・図 5-2-4 児童扶養手当

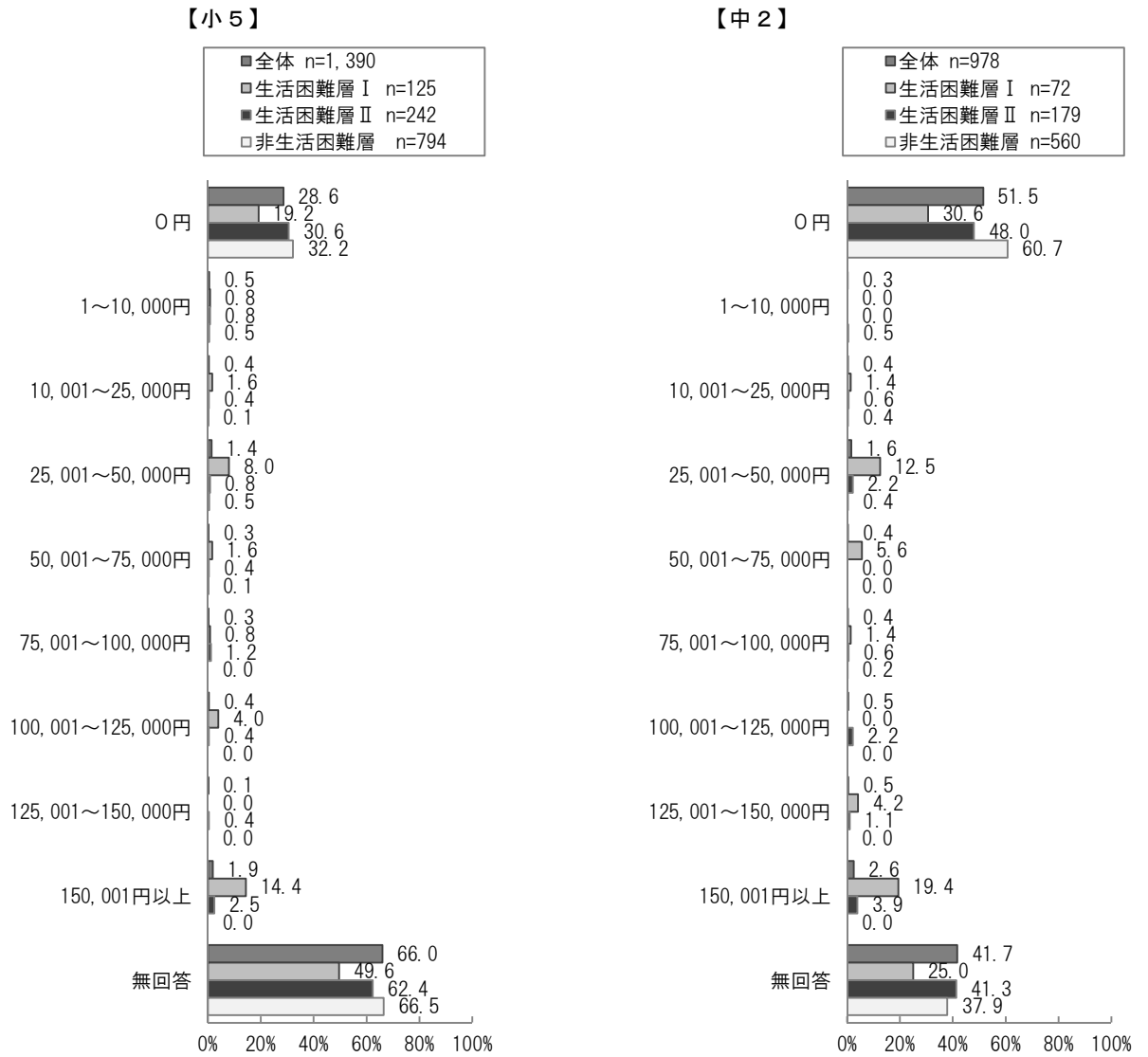


図 5-2-5・図 5-2-6 特別児童扶養手当

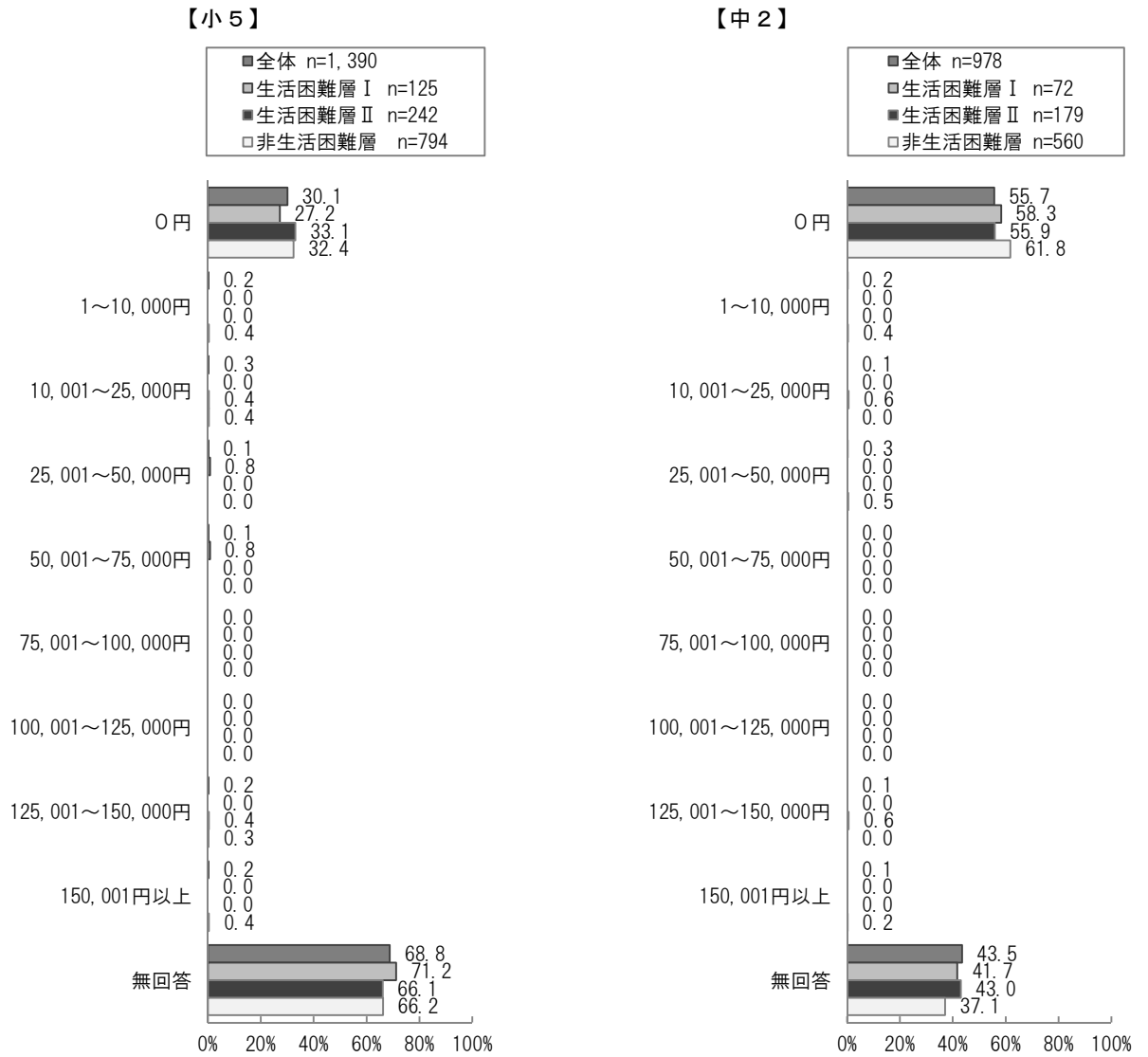


図 5-2-7・図 5-2-8 年金（遺族年金、老齢年金など）

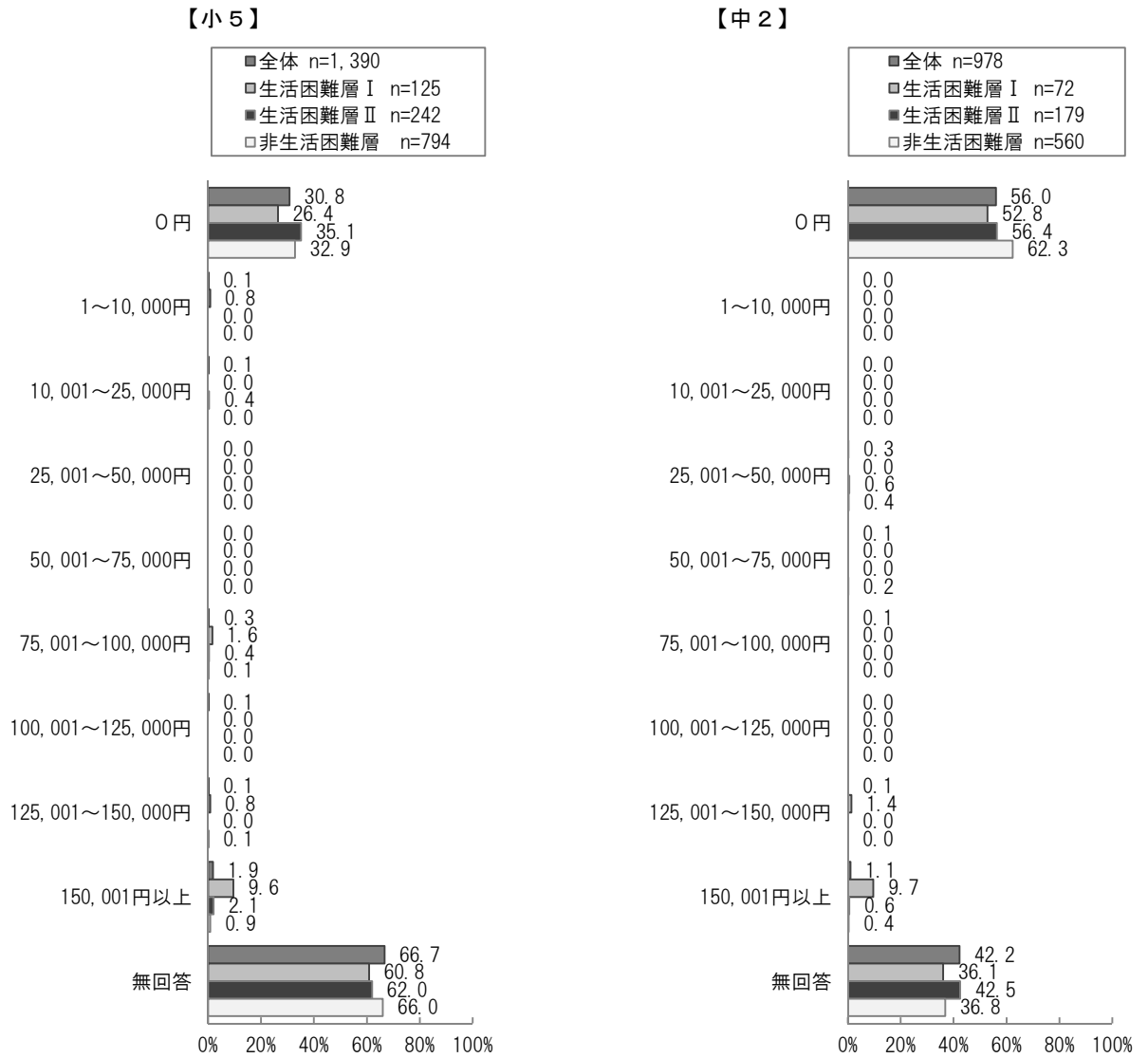
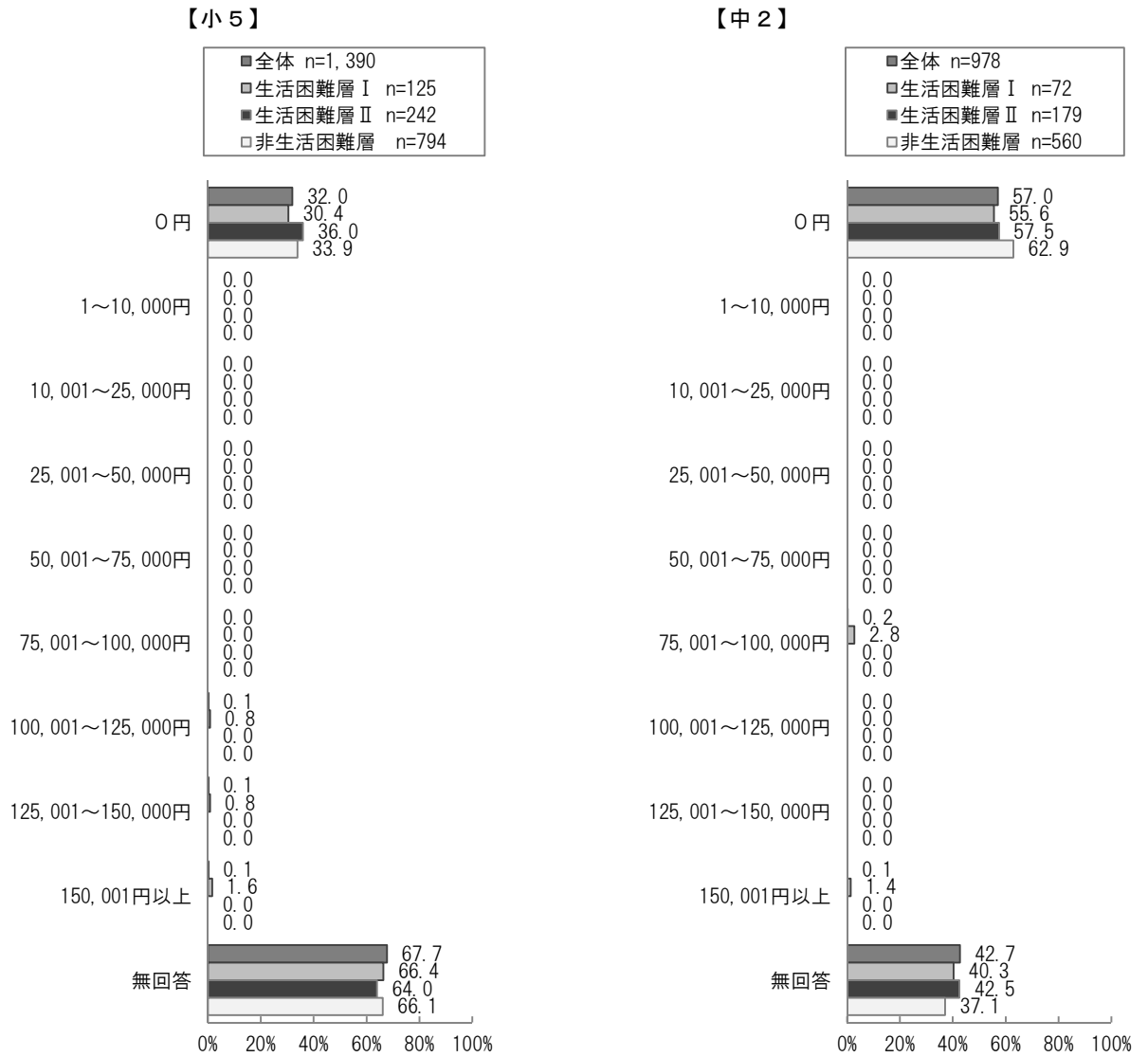


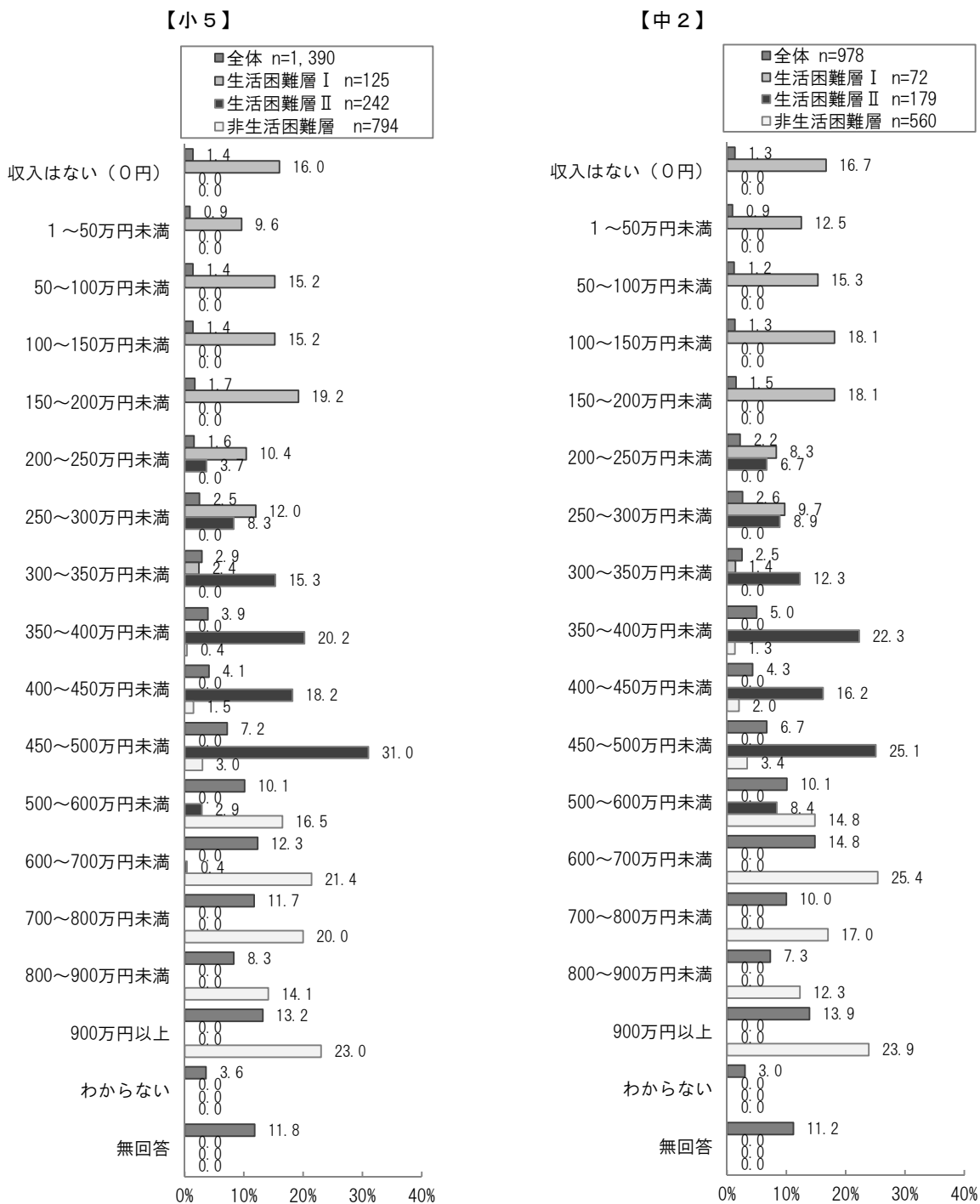
図 5-2-9・図 5-2-10 生活保護



(3) お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、(公的年金、社会保障給付金以外の) おおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまる番号1つに○)
 <問 18>

年間収入については、『300万円未満』が、小5保護者 10.9%、中2保護者 11.0%となっており、『200万円未満』では、小5保護者 6.8%、中2保護者 6.2%となっている。一方、『800万円以上』でみると、小5保護者 21.5%、中2保護者 21.2%となっている。

図 5-3-1・図 5-3-2 年間収入



6 食事のことについて

(1) あなたは、平日（お子さんの学校のある日）に毎日、朝ごはんを食べますか。

（あてはまる番号1つに○）〈問19〉

回答者が朝食を食べているかについては、「いつも食べない」が、小5保護者 3.5%、中2保護者 3.3%となっており、「食べないほうが多い（週に1、2日）」との合計が、小5保護者 9.4%、中2保護者 8.7%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「いつも食べる（週に5日）」が、非生活困難層よりも約7～14ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「いつも食べる（週5日）」の割合が低くなっている。

図 6-1-1 回答者が朝食を食べているか（小5）

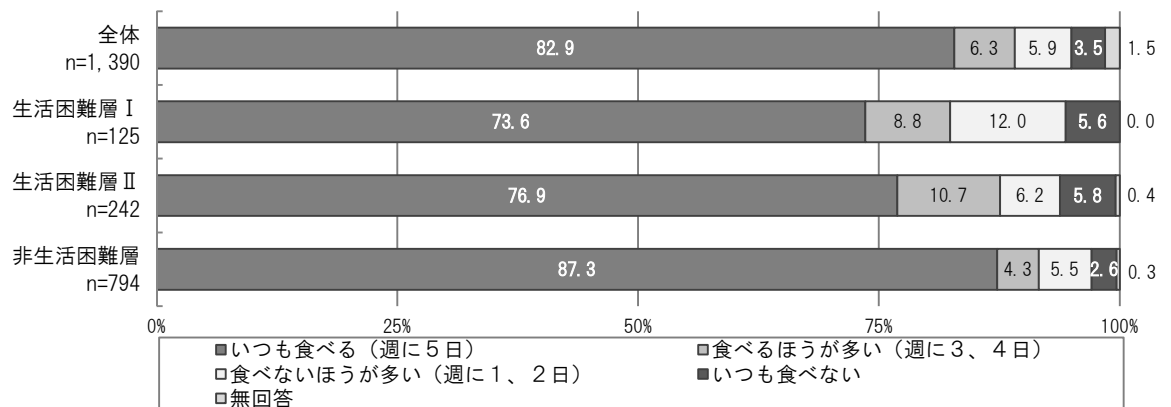
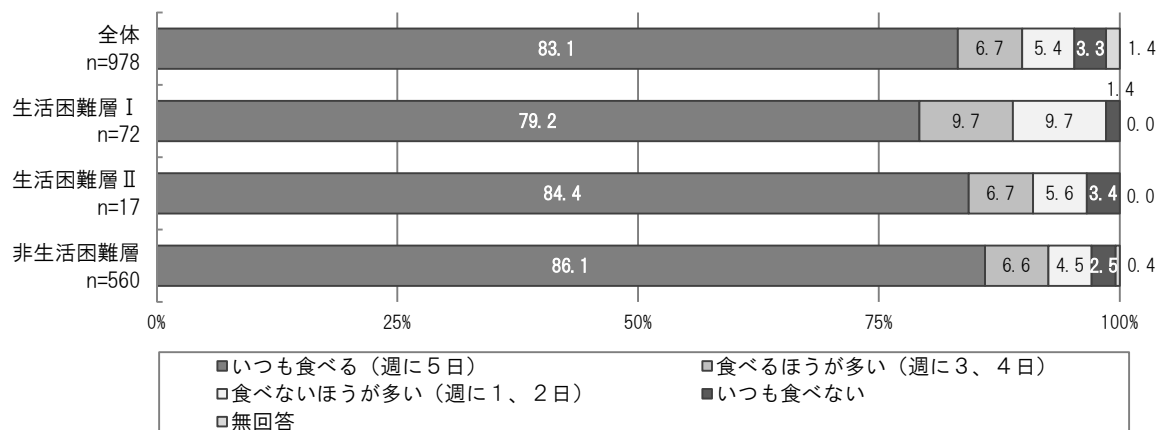


図 6-1-2 回答者が朝食を食べているか（中2）



7 子どもとの関わりについて

(1) あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問20>

子どもとのコミュニケーションのうち、「お子さんの勉強をみる」については、「めったにない」が、小5保護者 13.1%、中2保護者 54.8%と、中2が41.7ポイント高くなっている。

生活困難層(3区分)別にみると、中2の生活困難層Ⅰでは「⑤ お子さんと学校生活の話をする」で「ほぼ毎日」が、非生活困難層よりも約10ポイント低くなっている。

図 7-1-1① 子どもとのコミュニケーション ① お子さんの勉強をみる (小5)

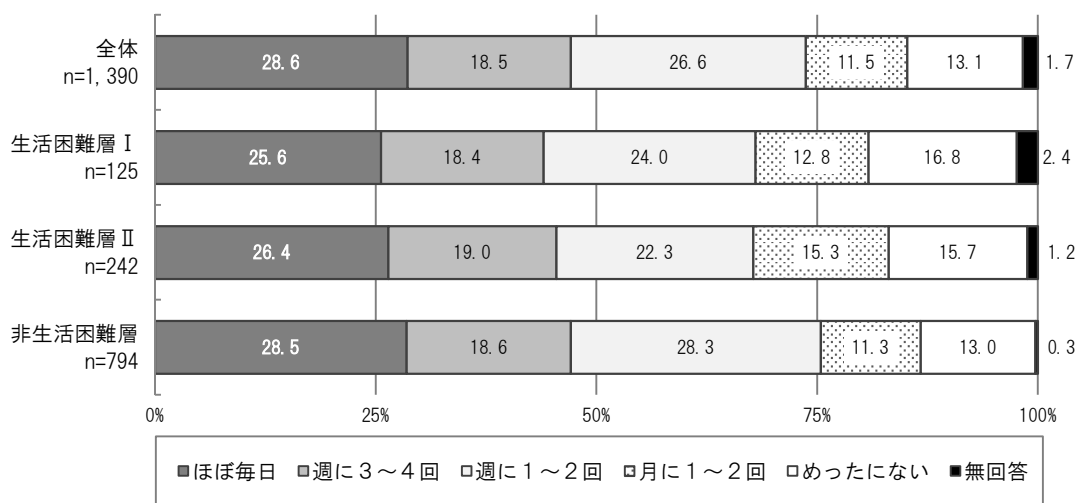


図 7-1-1② 子どもとのコミュニケーション ② お子さんとからだを動かして遊ぶ (小5)

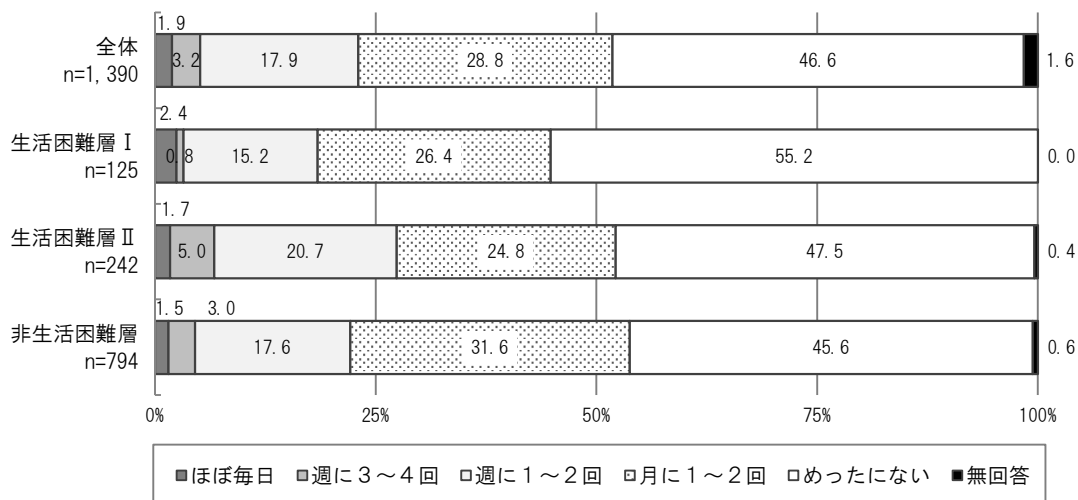


図 7-1-1③ 子どもとのコミュニケーション ③ お子さんとコンピューターゲームで遊ぶ (小5)

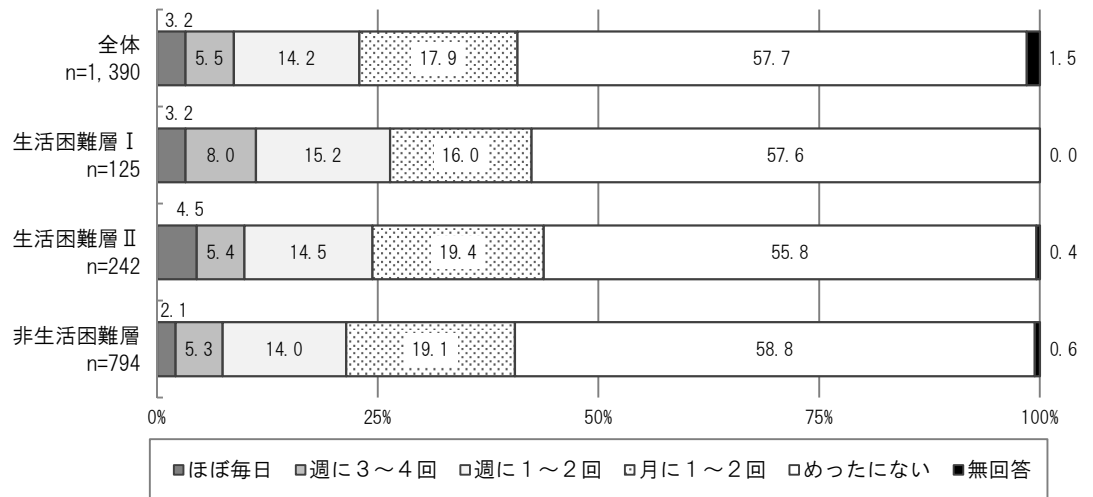


図 7-1-1④ 子どもとのコミュニケーション ④ お子さんとカードゲームなどで遊ぶ (小5)

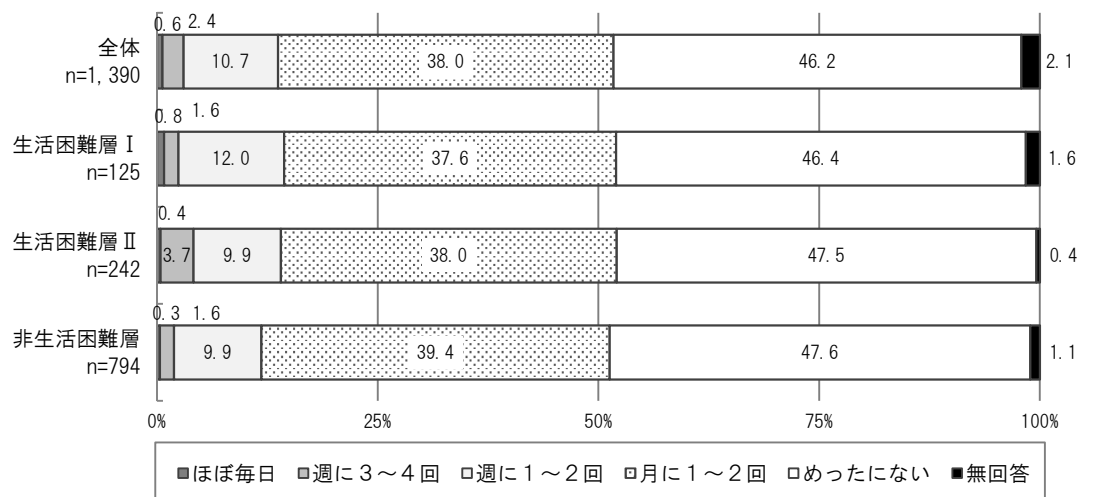


図 7-1-1⑤ 子どもとのコミュニケーション ⑤ お子さんと学校生活の話をする (小5)

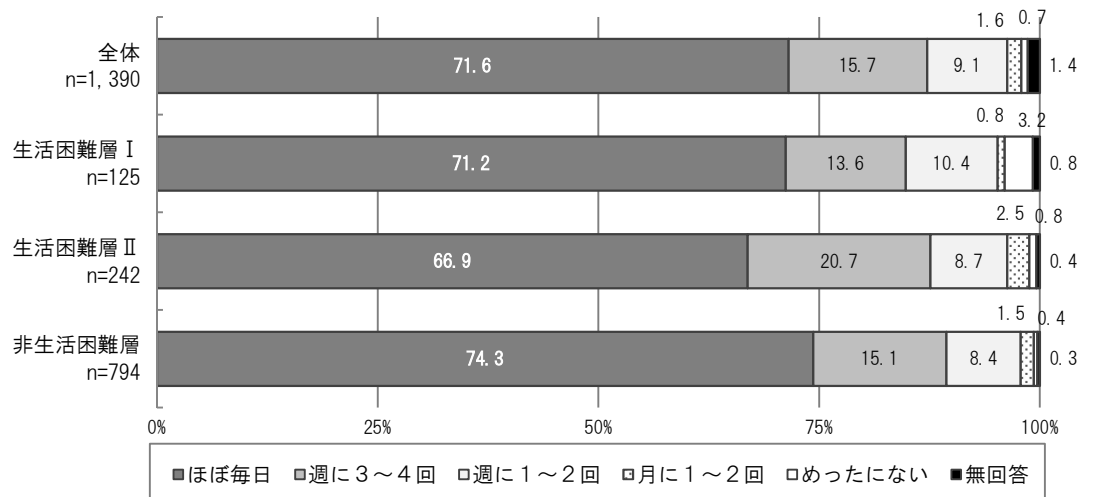


図 7-1-1⑥ 子どもとのコミュニケーション ⑥ お子さんとニュースの話をする (小5)

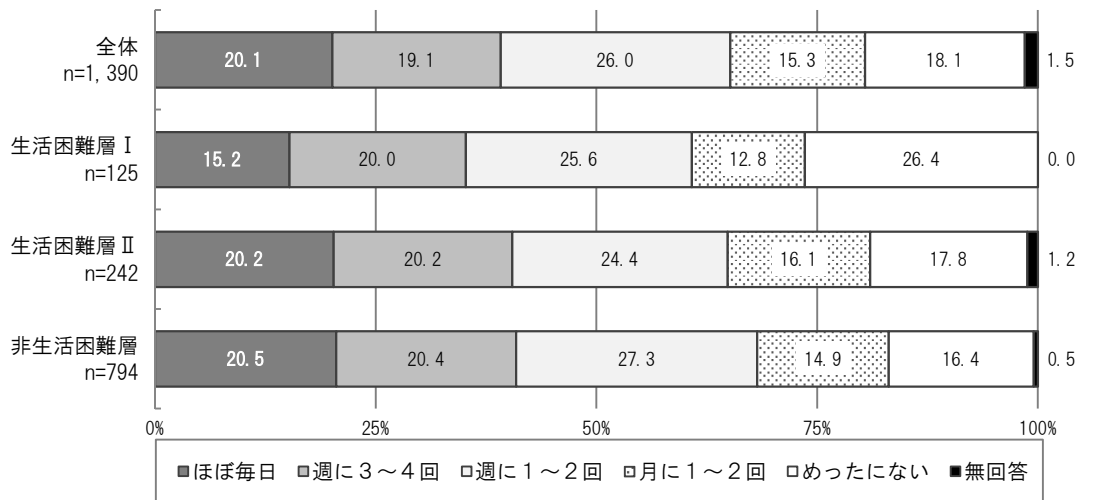


図 7-1-1⑦ 子どもとのコミュニケーション ⑦ お子さんとテレビ番組の話をする (小5)

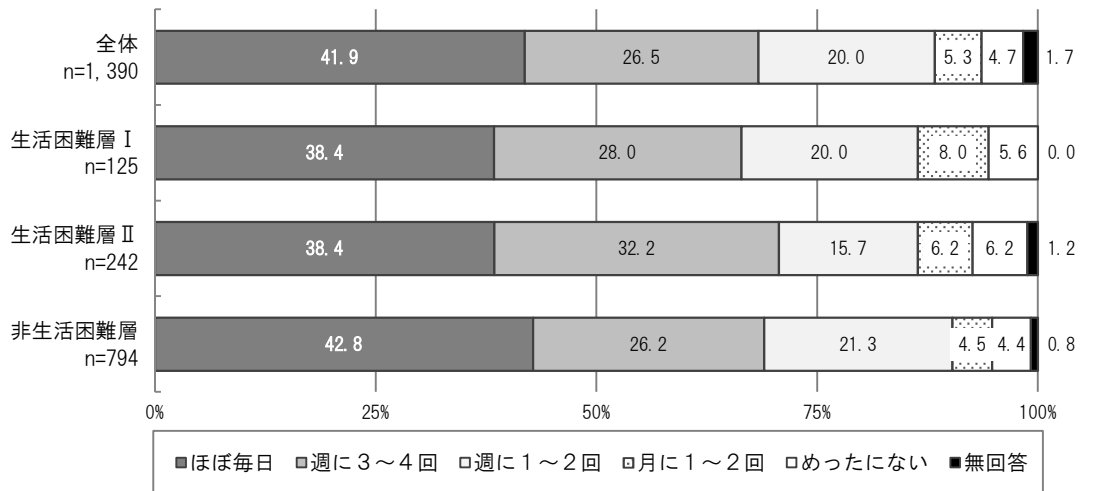


図 7-1-1⑧ 子どもとのコミュニケーション ⑧ お子さんと一緒に料理をする (小5)

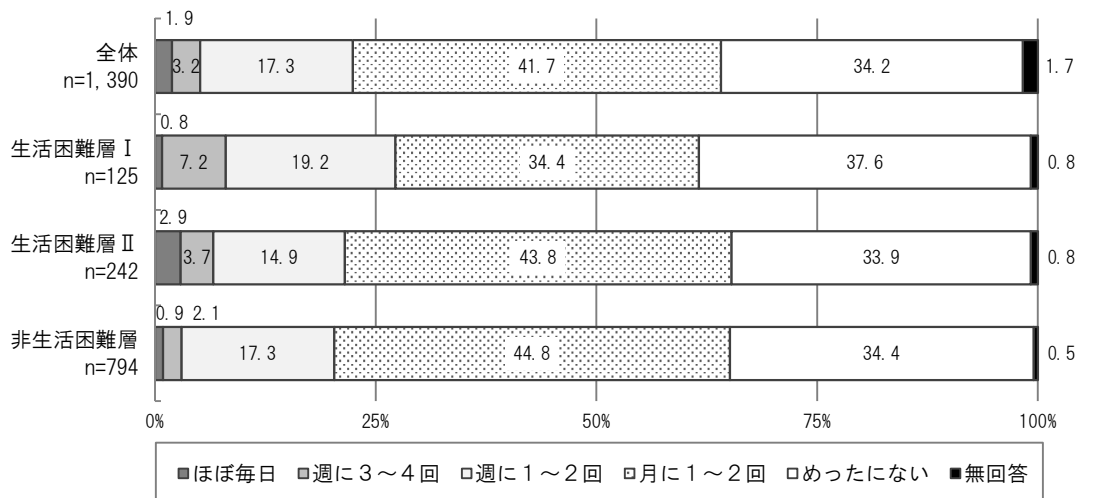


図 7-1-1⑨ 子どもとのコミュニケーション ⑨ お子さんと一緒に外出をする（小5）

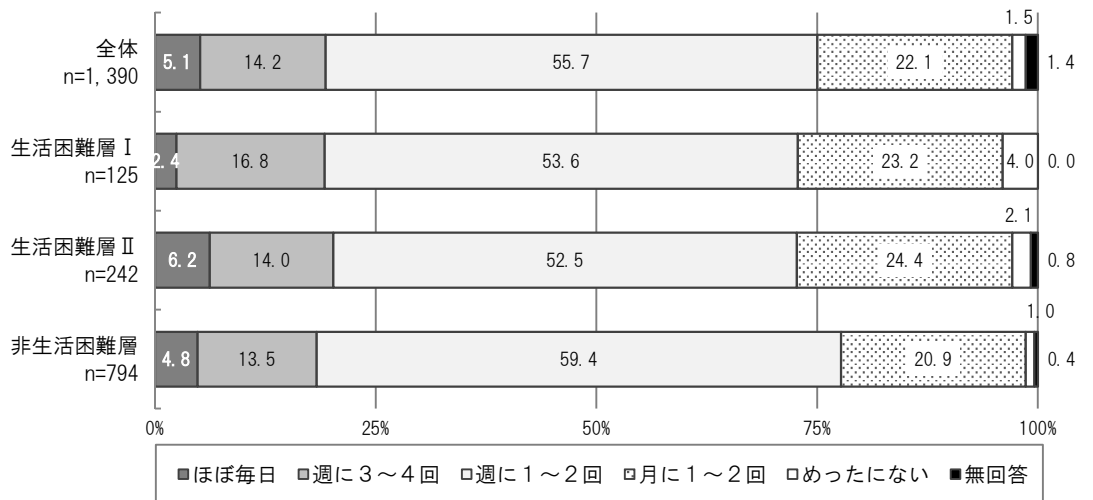


図 7-1-2① 子どもとのコミュニケーション ① お子さんの勉強をみる（中2）

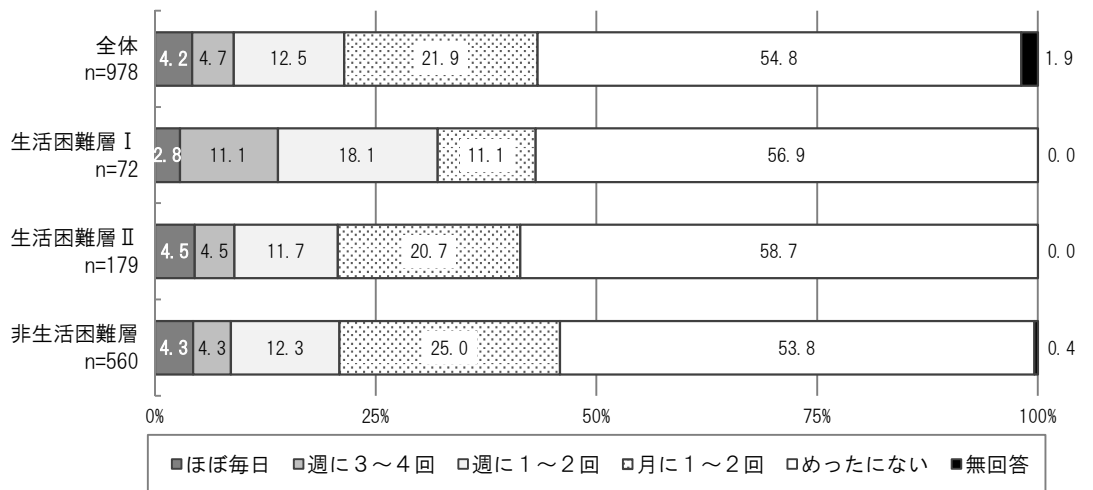


図 7-1-2② 子どもとのコミュニケーション ② お子さんとからだを動かして遊ぶ（中2）

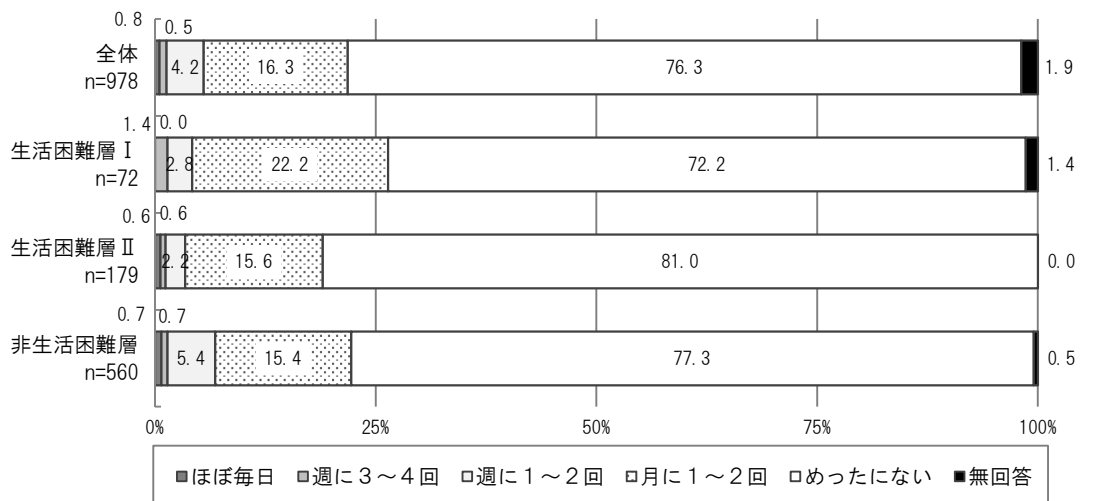


図 7-1-2③ 子どもとのコミュニケーション ③ お子さんとコンピューターゲームで遊ぶ (中2)

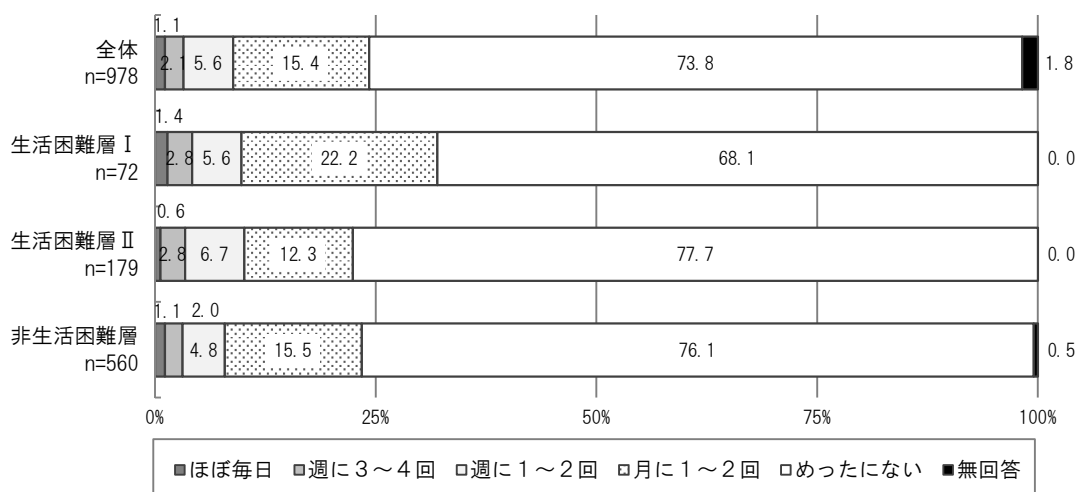


図 7-1-2④ 子どもとのコミュニケーション ④ お子さんとカードゲームなどで遊ぶ (中2)

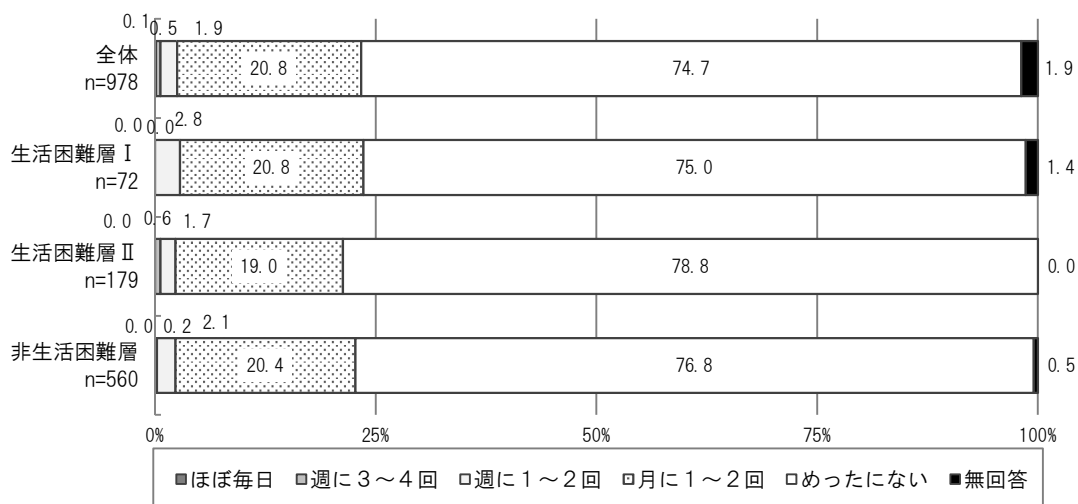


図 7-1-2⑤ 子どもとのコミュニケーション ⑤ お子さんと学校生活の話をする (中2)

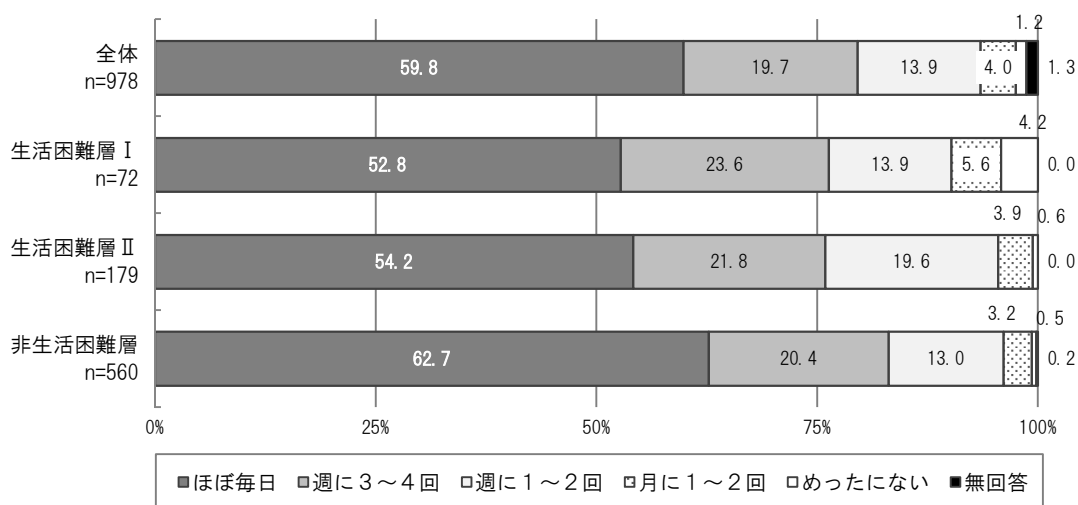


図 7-1-2⑥ 子どもとのコミュニケーション ⑥ お子さんとニュースの話をする (中2)

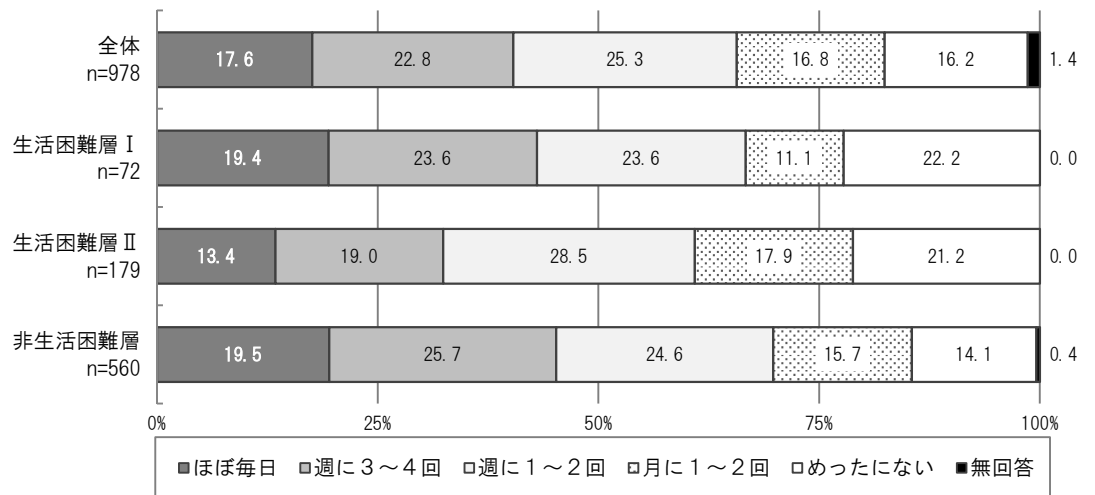


図 7-1-2⑦ 子どもとのコミュニケーション ⑦ お子さんとテレビ番組の話をする (中2)

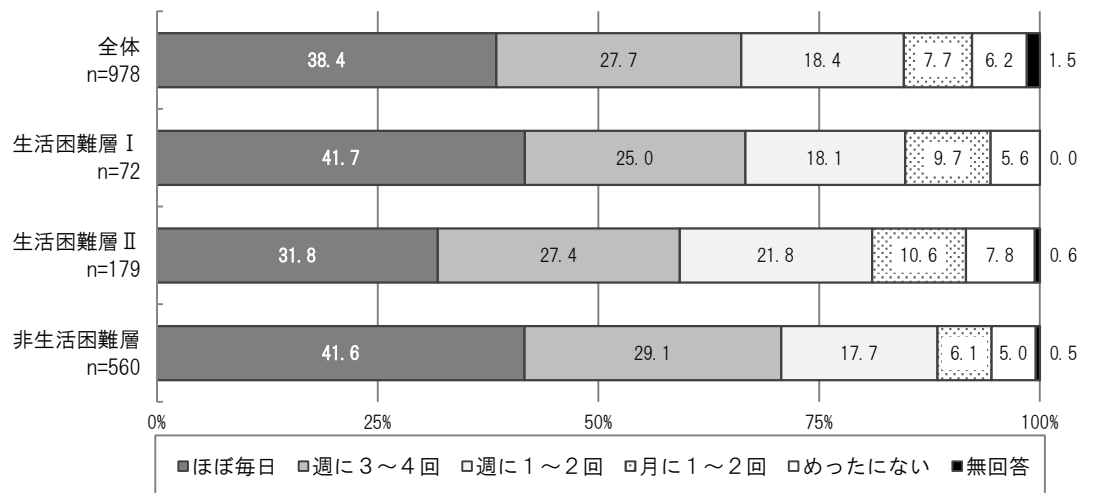


図 7-1-2⑧ 子どもとのコミュニケーション ⑧ お子さんと一緒に料理をする (中2)

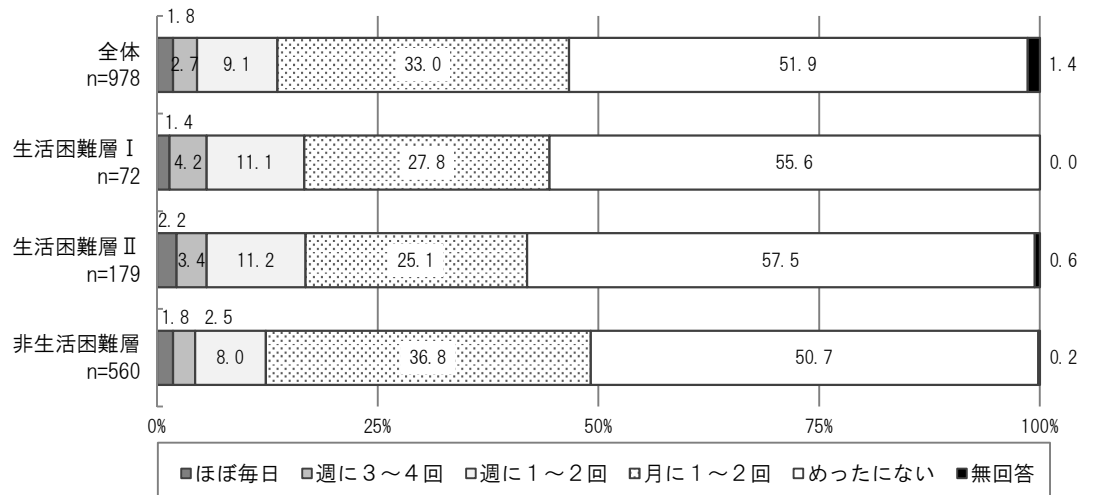
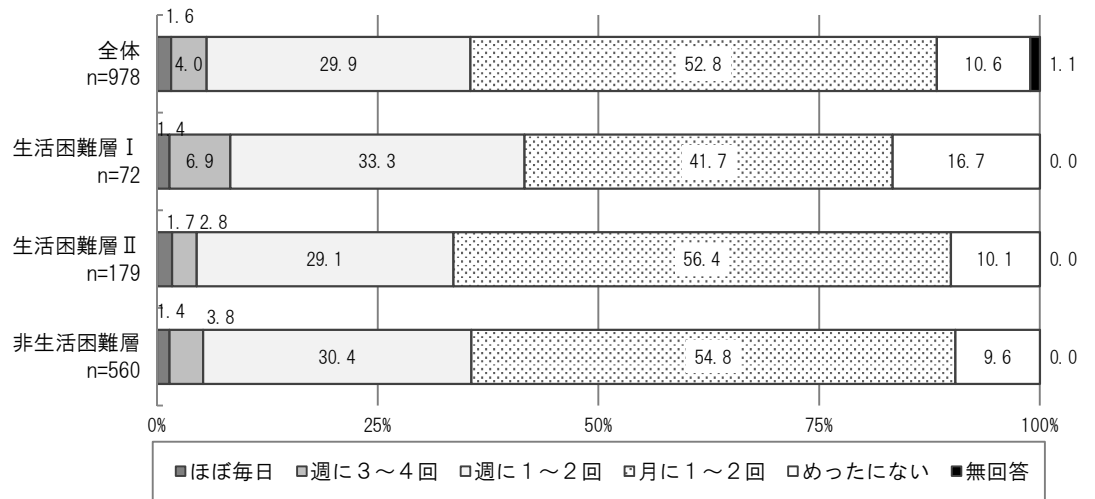


図 7-1-2⑨ 子どもとのコミュニケーション ⑨ お子さんと一緒に外出をする（中2）



(2) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに〇) <問21>

子どもとの体験のうち、「家族旅行に行く」については、「ない(金銭的な理由で)」が、小5保護者9.2%、中2保護者13.2%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「③家族旅行に行く」で「ある」が、非生活困難層よりも約19~29ポイント低くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「ない(金銭的な理由で)」の割合が高くなっている。

図7-2-1① 子どもとの体験 ①海水浴、山登り、ハイキング、サイクリングに行く(小5)

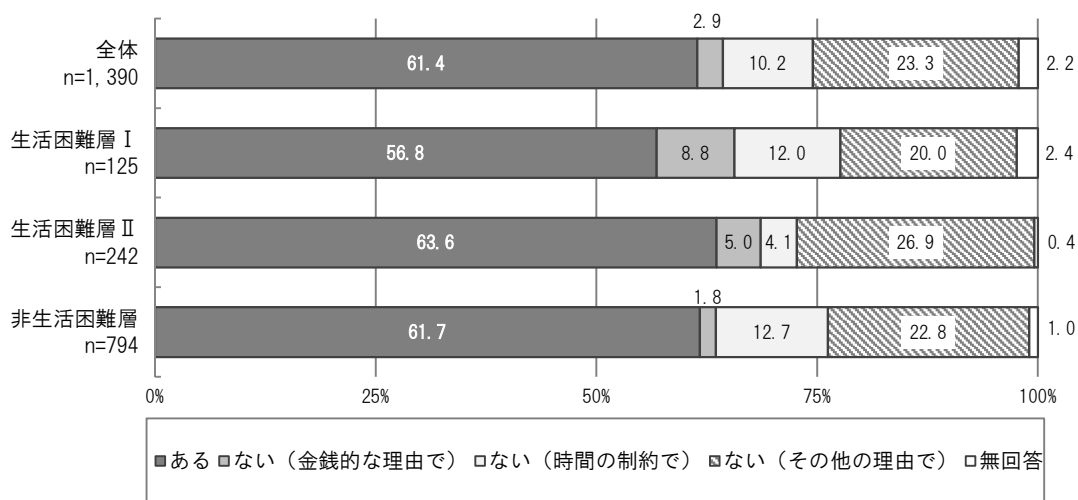


図7-2-1② 子どもとの体験 ②キャンプやバーベキューに行く(小5)

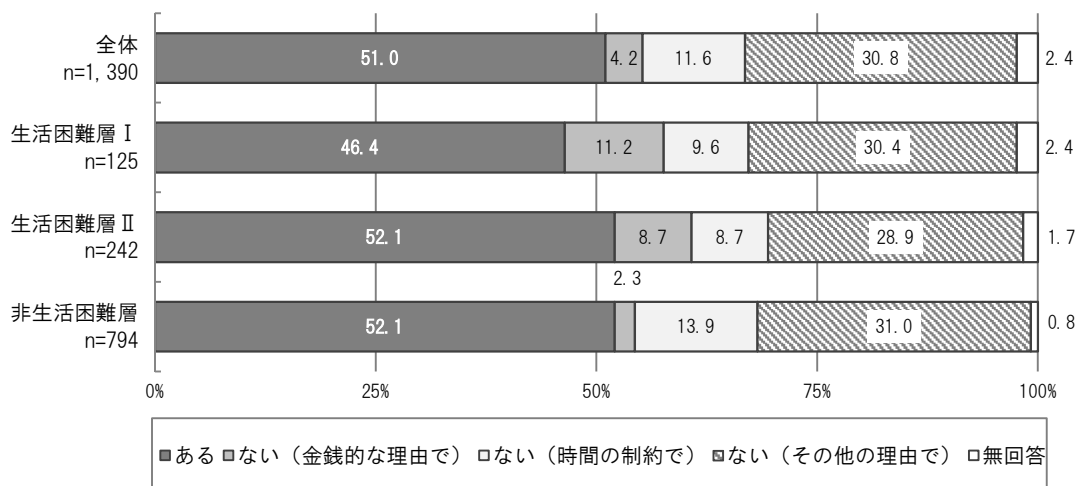


図 7-2-1③ 子どもとの体験 ③家族旅行に行く（小5）

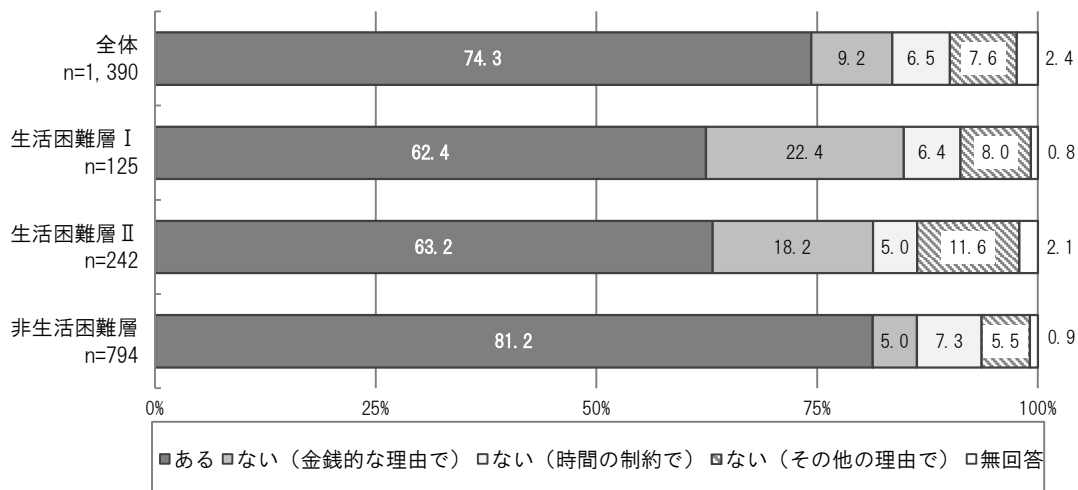


図 7-2-1④ 子どもとの体験 ④遊園地やテーマパークに行く（小5）

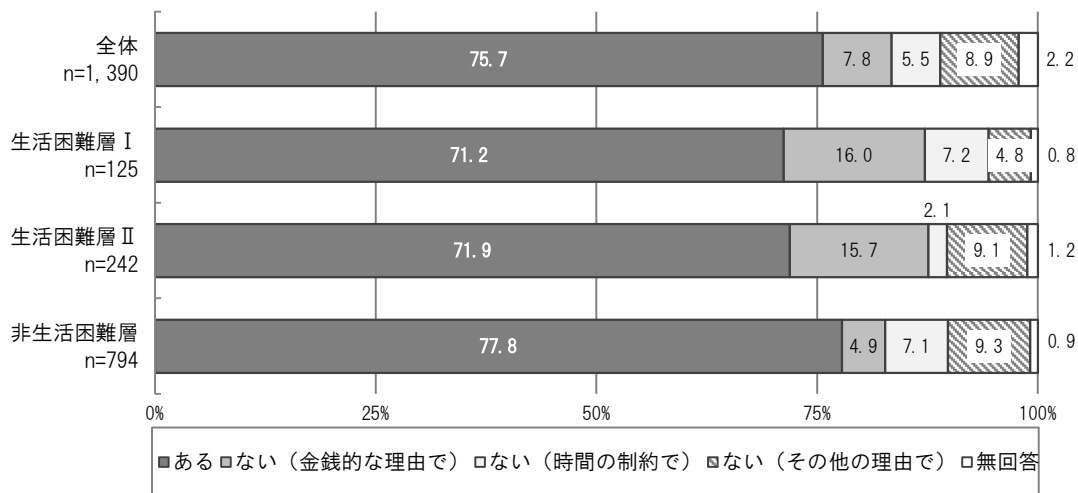


図 7-2-1⑤ 子どもとの体験 ⑤スポーツ観戦、劇場、映画に行く（小5）

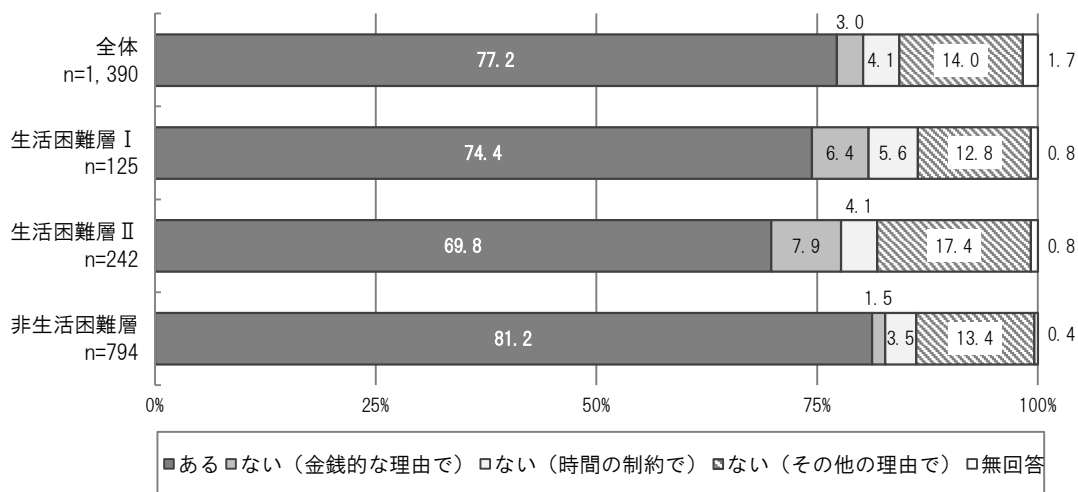


図 7-2-1⑥ 子どもとの体験 ⑥博物館・科学館・美術館に行く（小5）

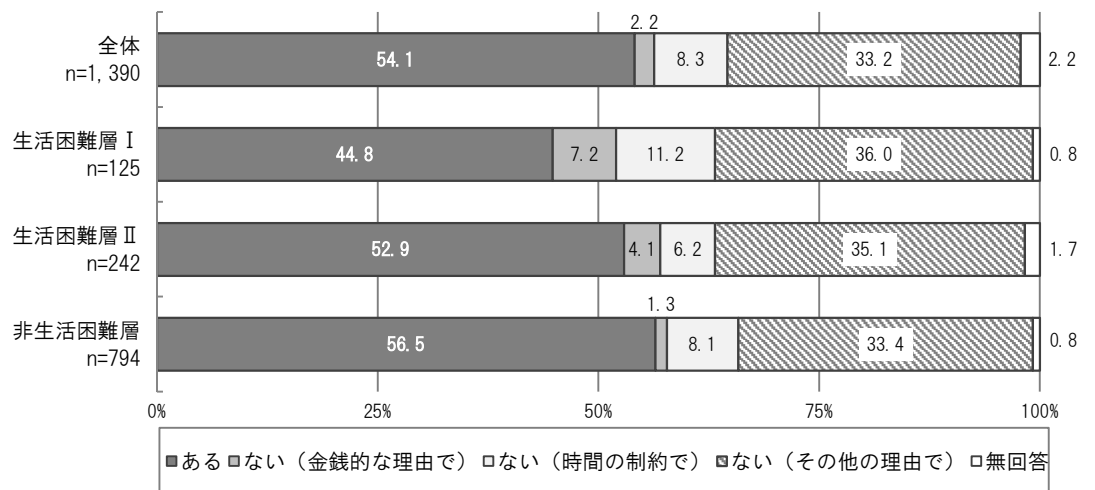


図 7-2-2① 子どもとの体験 ①海水浴、山登り、ハイキング、サイクリングに行く（中2）

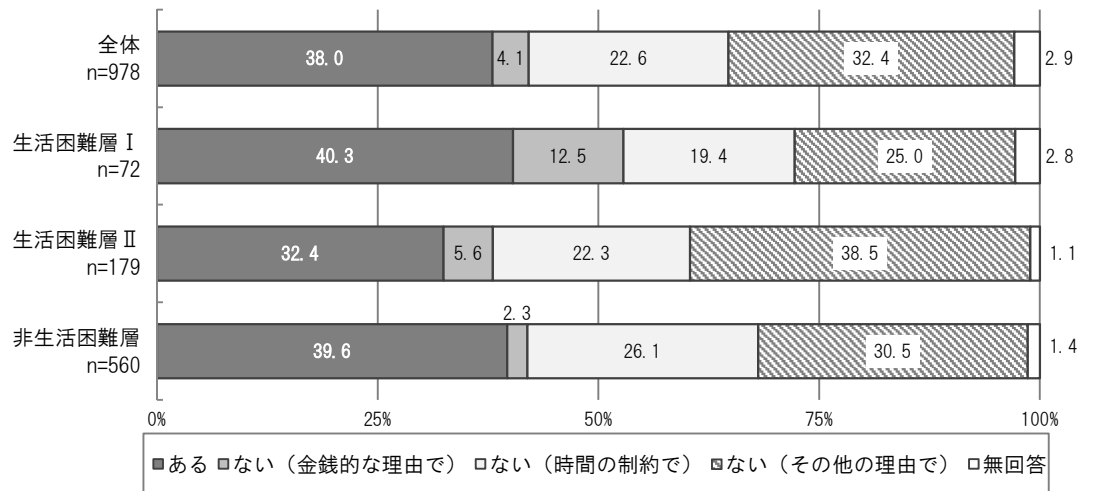


図 7-2-2② 子どもとの体験 ②キャンプやバーベキューに行く（中2）

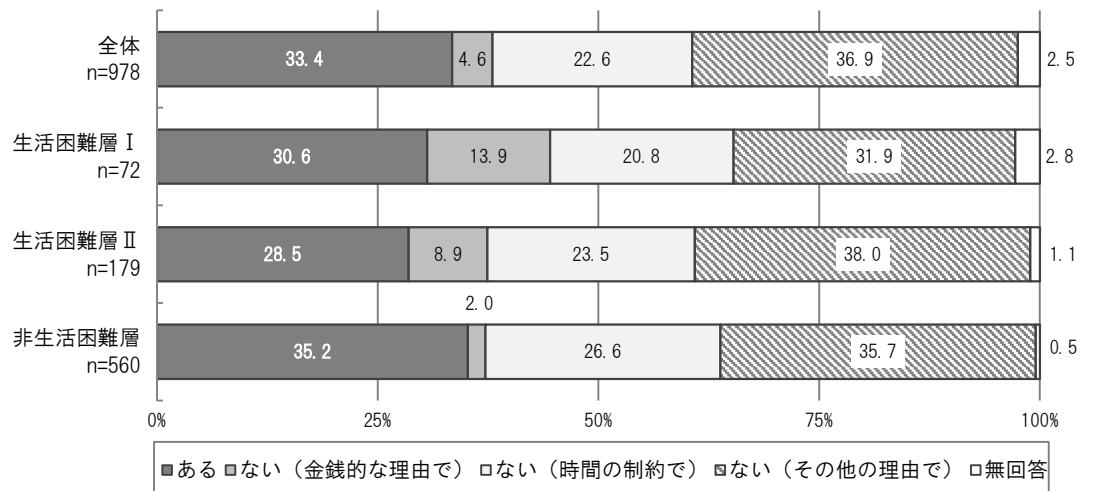


図 7-2-2③ 子どもとの体験 ③家族旅行に行く（中2）

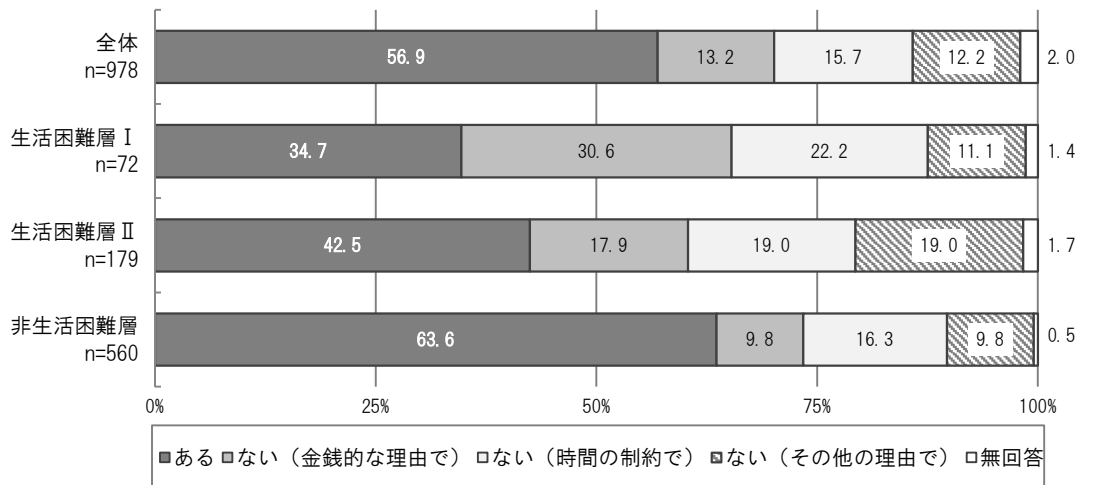


図 7-2-2④ 子どもとの体験 ④遊園地やテーマパークに行く（中2）

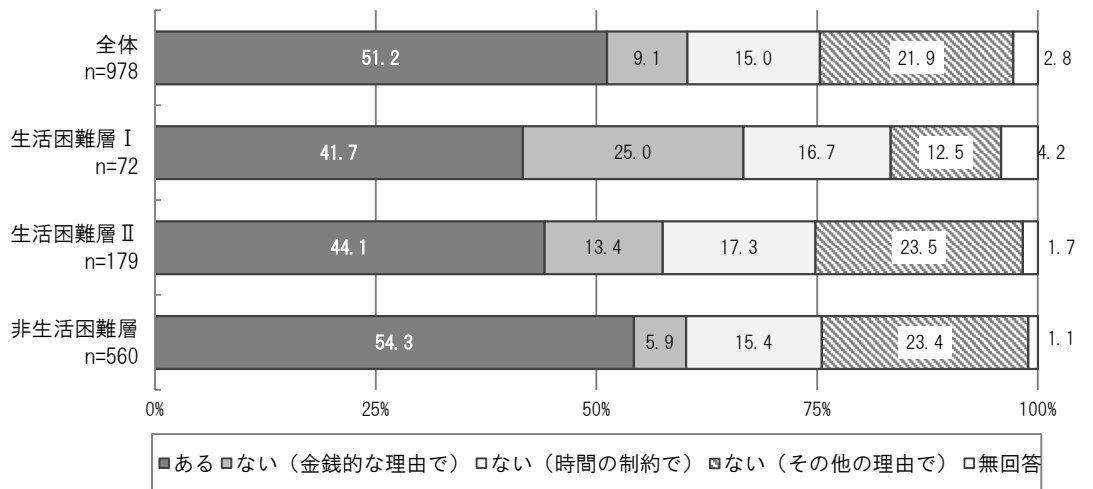


図 7-2-2⑤ 子どもとの体験 ⑤スポーツ観戦、劇場、映画に行く（中2）

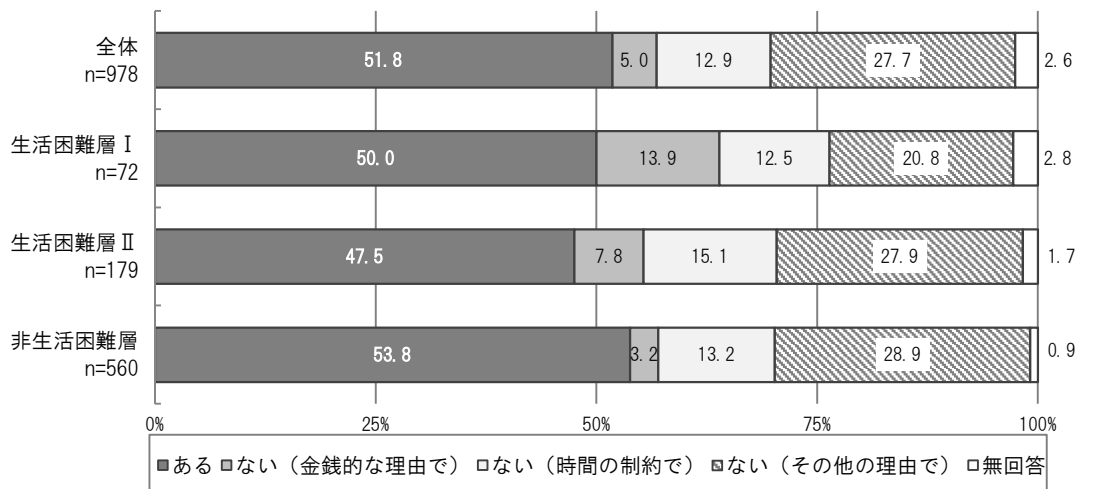
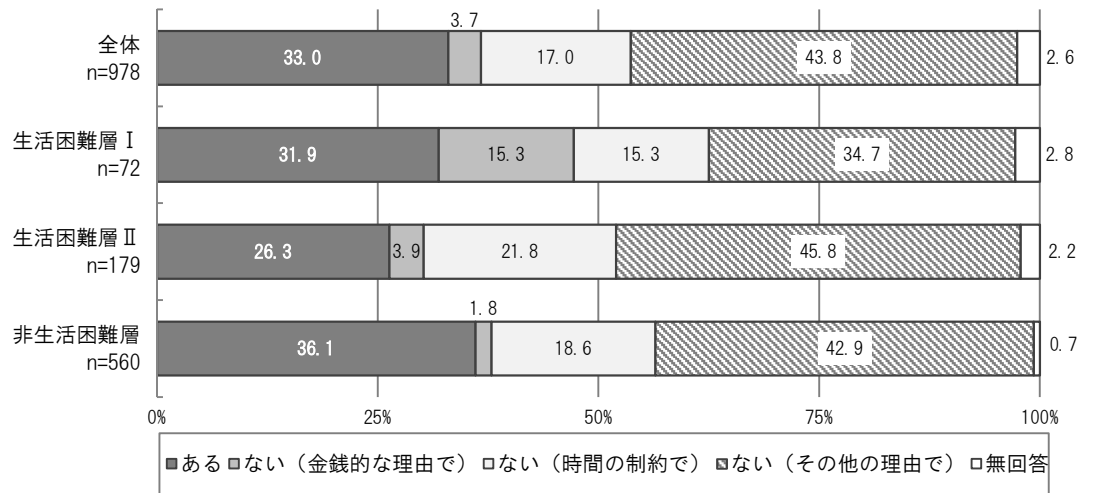


図 7-2-2⑥ 子どもとの体験 ⑥博物館・科学館・美術館に行く（中2）



(3) あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話すことがありますか。（あてはまる番号1つに○）〈問 22〉

子どもと将来について話すかについては、いずれも「たまにする」が最も高く、小5保護者 60.2%、中2保護者 61.1%、次いで「よくする」が小5保護者 23.6%、中2保護者 28.1%となっており、「あまりしない」が小5保護者 12.4%、中2保護者 7.9%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、小5保護者の生活困難層Ⅰでは「あまりしない」が、非生活困難層よりも9ポイント高くなっており、中2保護者の生活困難層Ⅰでは「これまで特にしたことがない」が、非生活困難層よりも4.9ポイント高くなっている。

図 7-3-1 子どもと将来について話すか（小5）

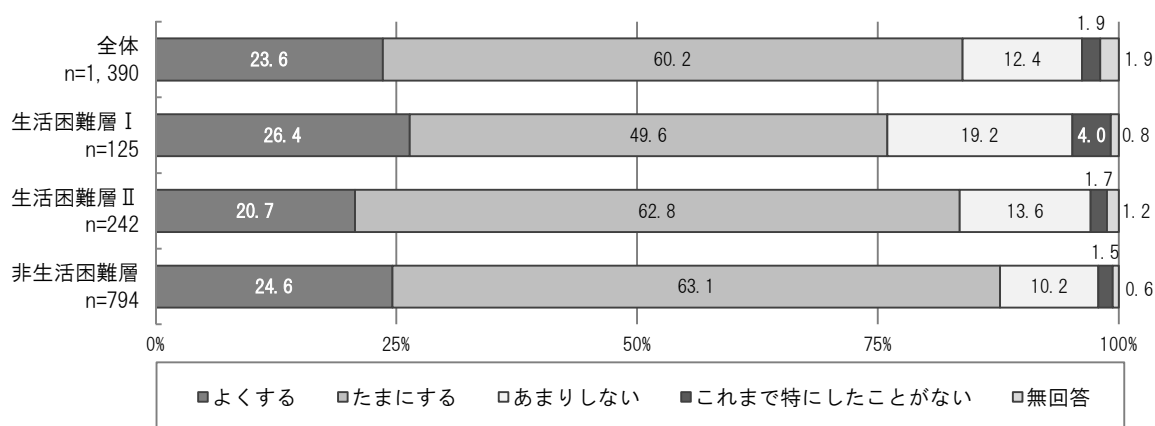
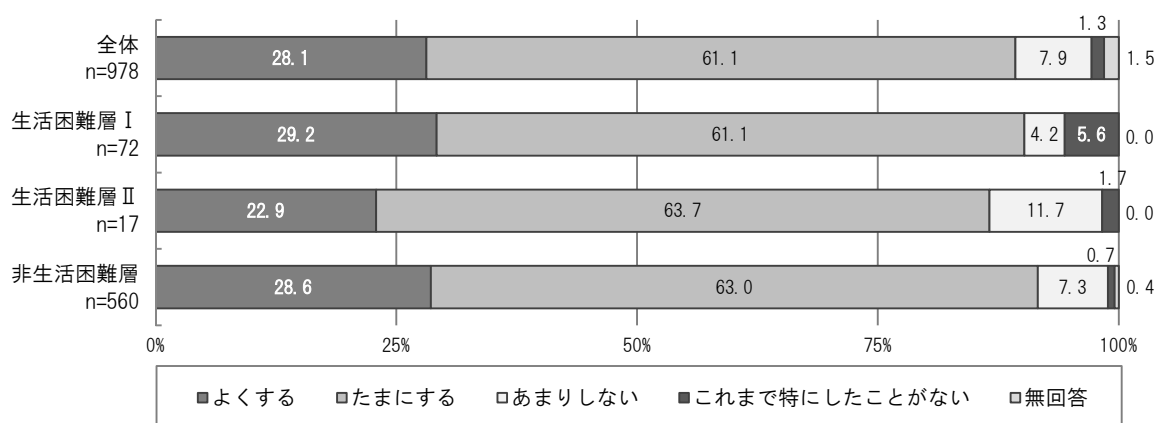


図 7-3-2 子どもと将来について話すか（中2）



8 家庭での生活について

(1) 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

<問 23>

現在の暮らしの状況については、「大変苦しい」が小5保護者 9.5%、中2保護者 11.3%となっており、「やや苦しい」が、小5保護者 28.5%、中2保護者 31.6%となっている。生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「大変苦しい」が、非生活困難層よりも約 17~28 ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「やや苦しい」「大変苦しい」の割合が高くなっている。

図 8-1-1 現在の暮らしの状況（小5）

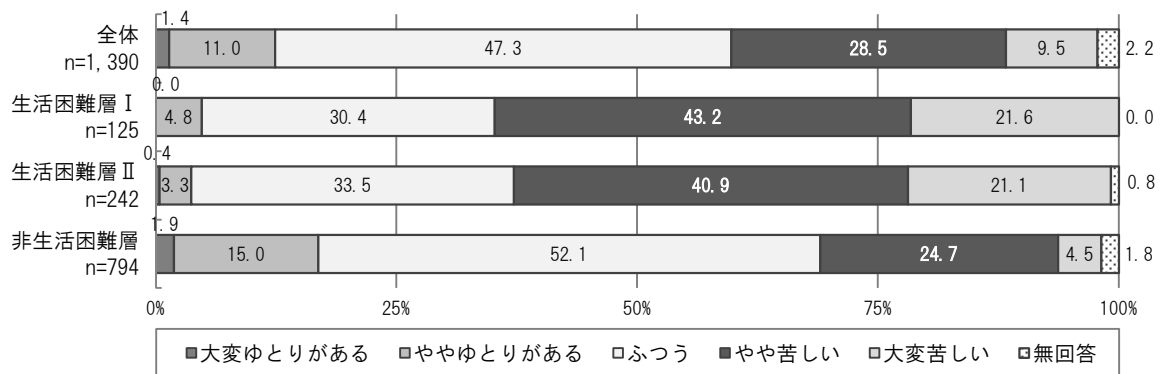
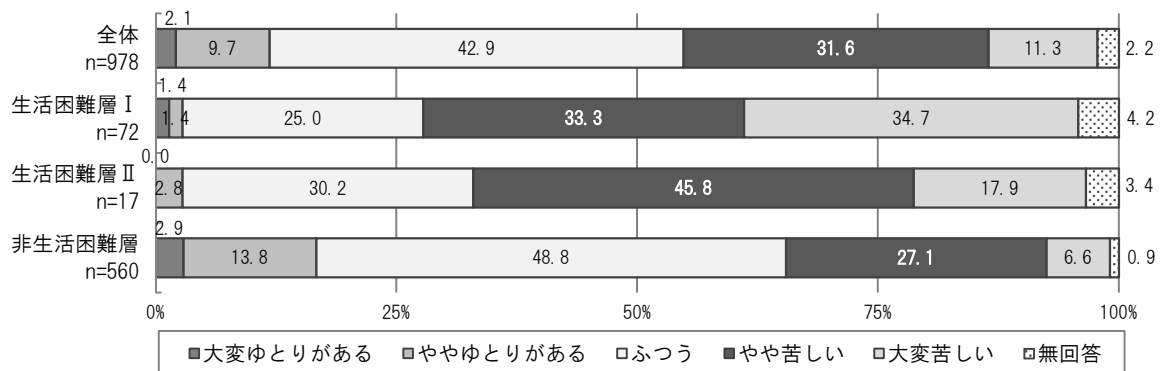


図 8-1-2 現在の暮らしの状況（中2）



(2) ご家庭の家計について、最も近いものに○をつけてください。

(あてはまる番号1つに○) <問 24>

現在の暮らしの状況については、「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が小5保護者 40.5%、中2保護者 42.7%となっており、「赤字であり、貯蓄を切り崩している」が、小5保護者 14.2%、中2保護者 15.0%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「赤字であり、貯蓄を切り崩している」が、非生活困難層よりも約9～18ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「赤字であり、貯蓄を切り崩している」の割合高くなっている。

図 8-2-1 家庭の家計（小5）

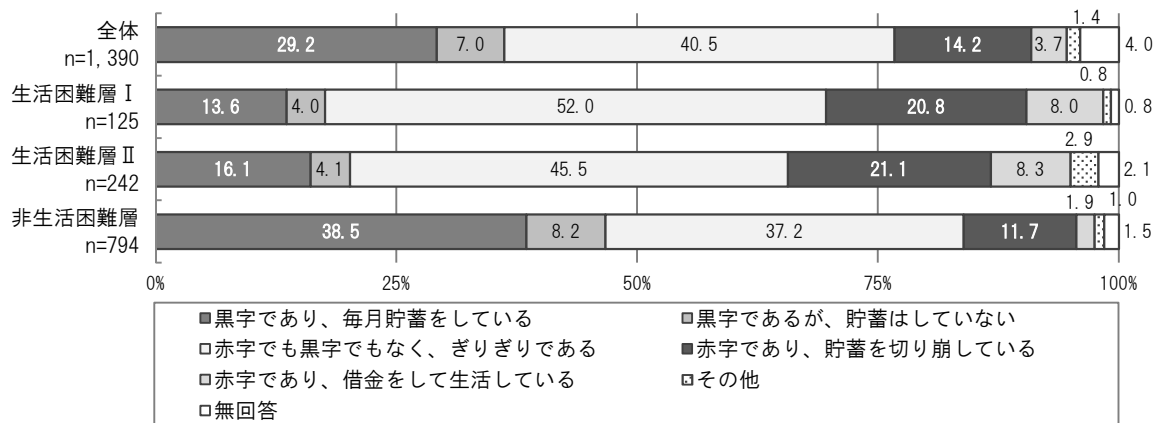
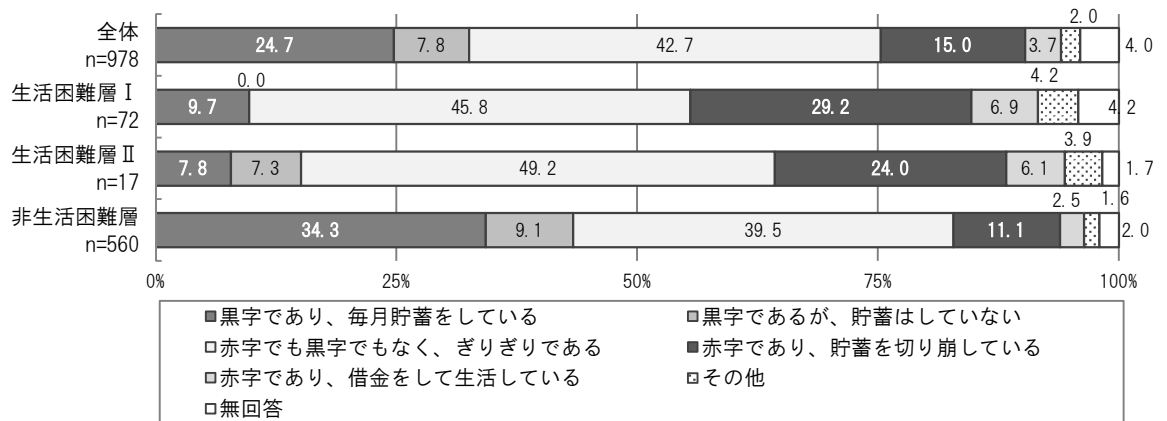


図 8-2-2 家庭の家計（中2）



(3) あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○) <問25>

必要な食料が買えなかったことについては、「よくあった」「ときどきあった」の合計が小5保護者4.7%、中2保護者4.5%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「よくあった」「ときどきあった」の合計が、非生活困難層よりも約5~12ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「よくあった」「ときどきあった」の割合が高くなっている。

図8-3-1 必要な食料が買えなかったこと(小5)

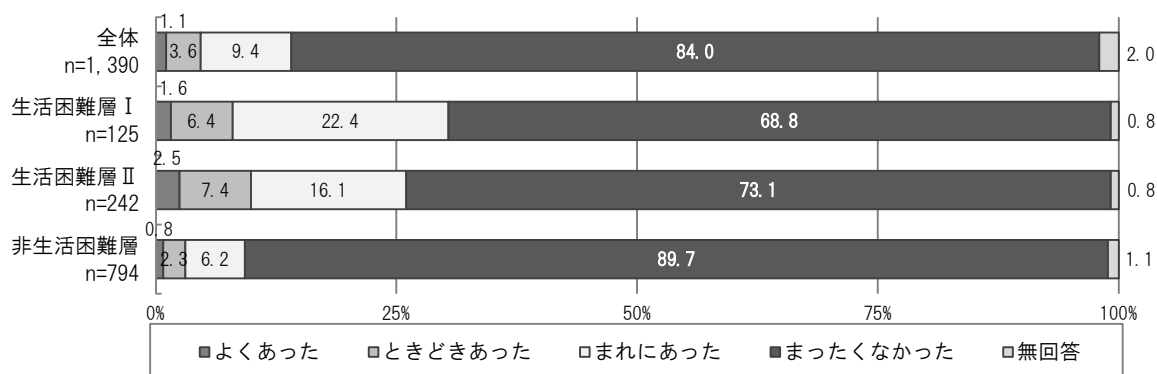
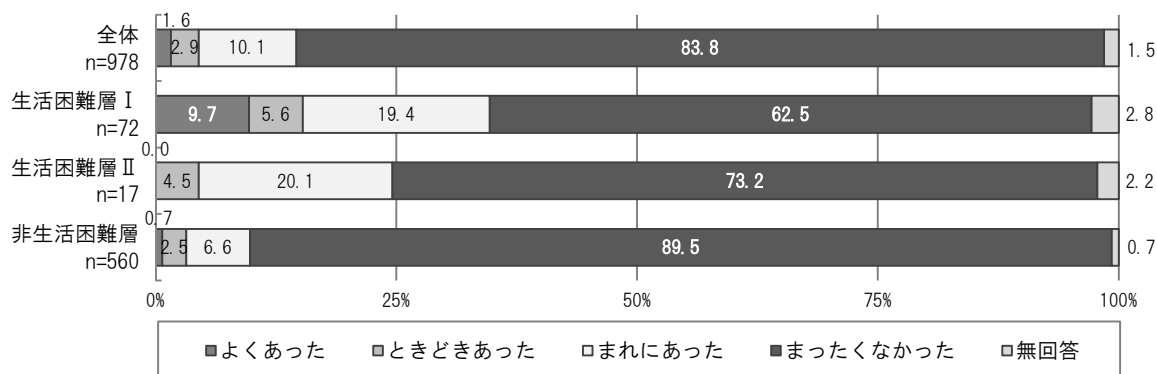


図8-3-2 必要な食料が買えなかったこと(中2)



(4) あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○) <問26>

必要な衣類が買えなかったことについては、「よくあった」「ときどきあった」の合計が小5保護者6.4%、中2保護者7.4%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「よくあった」「ときどきあった」の合計が、非生活困難層よりも約8~18ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「よくあった」「ときどきあった」の割合が高くなっている。

図8-4-1 必要な衣類が買えなかったこと(小5)

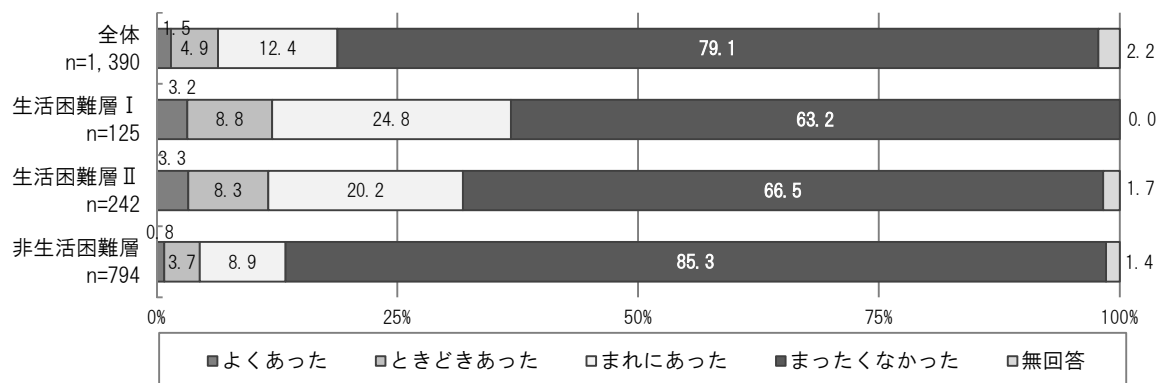
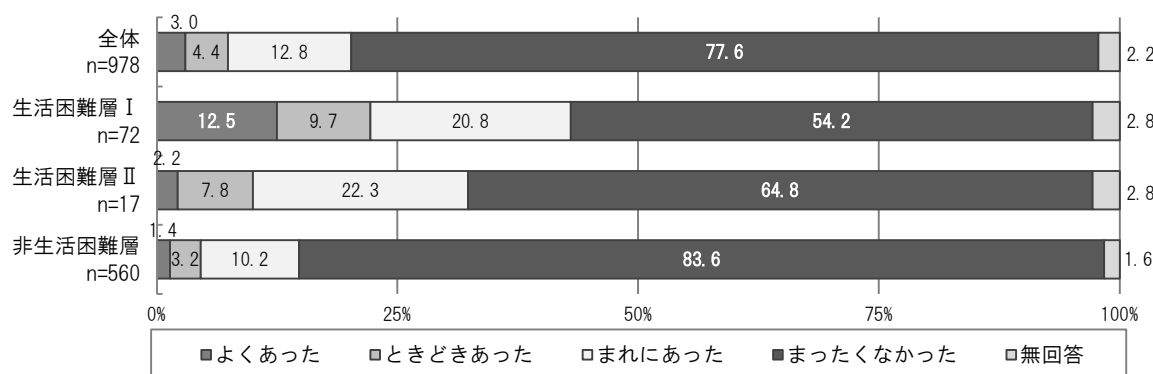


図8-4-2 必要な衣類が買えなかったこと(中2)



(5) 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問27>

サービス・料金を支払えなかった経験について「あった」ことは、「電話料金」が、小5保護者3.4%、中2保護者2.7%、「水道料金」が、小5保護者4.0%、中2保護者3.1%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰ及びⅡの多くの項目において、「あった」の割合が高くなっている。

図8-5-1① サービス・料金を支払えなかったこと ①電話料金(小5)

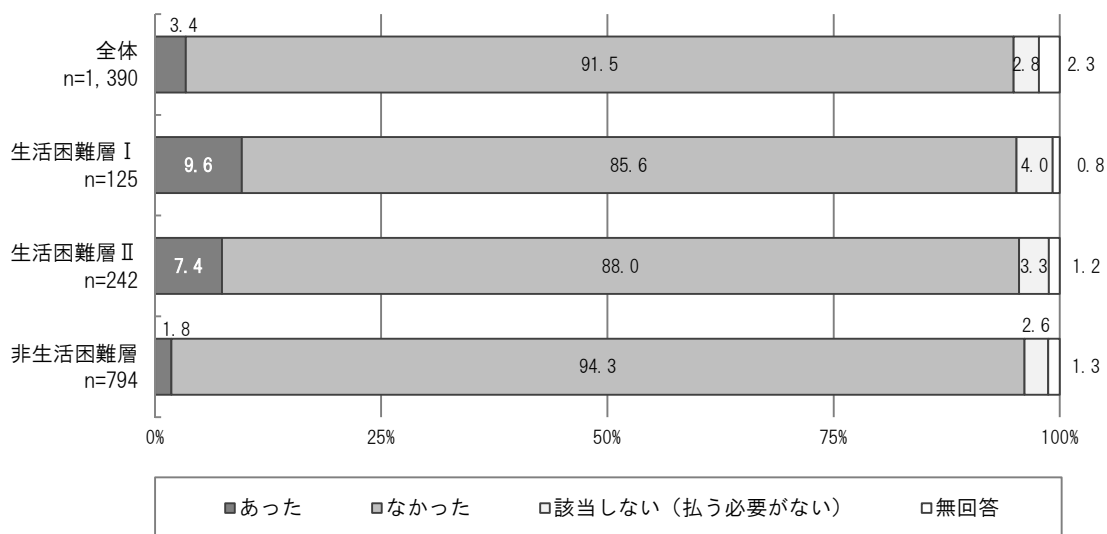


図8-5-1② サービス・料金を支払えなかったこと ②電気料金(小5)

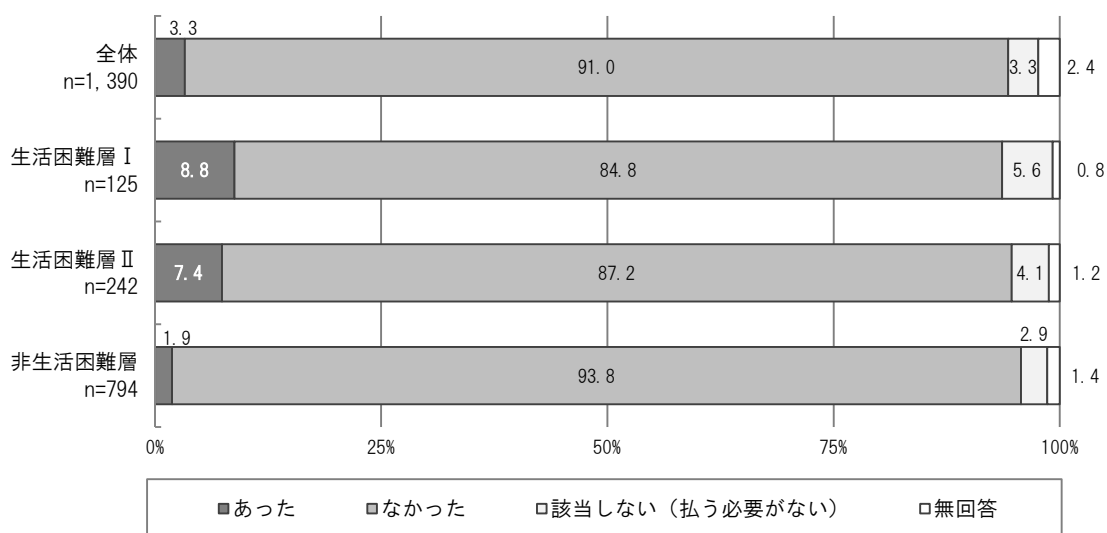


図 8-5-1③ サービス・料金を支払えなかったこと ③ガス料金（小5）

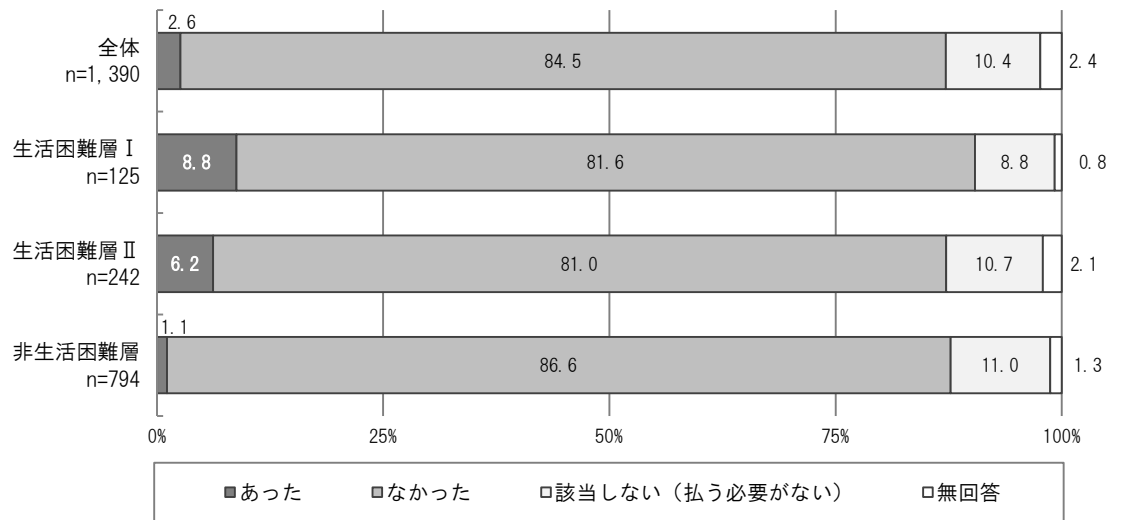


図 8-5-1④ サービス・料金を支払えなかったこと ④水道料金（小5）

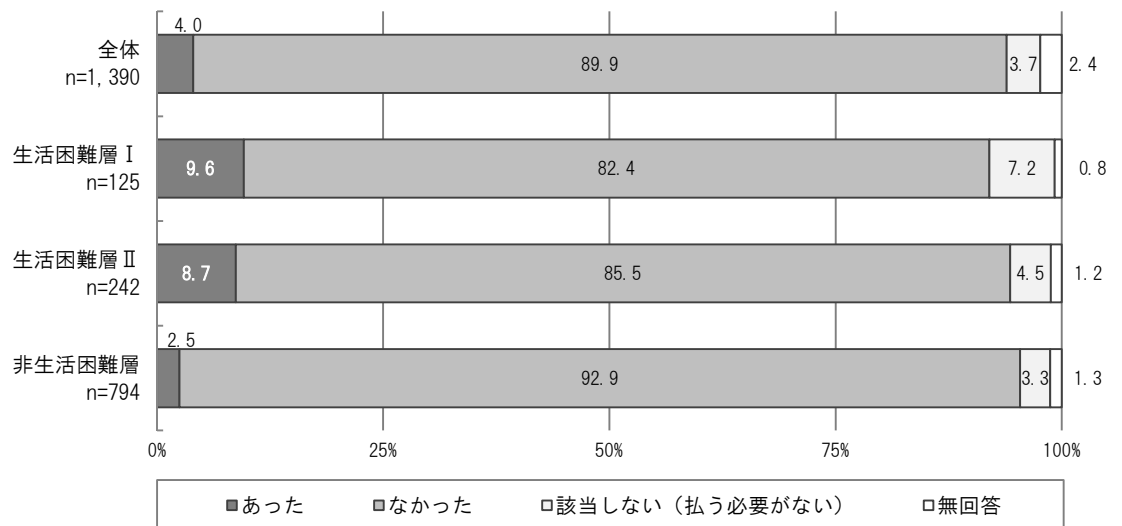


図 8-5-1⑤ サービス・料金を支払えなかったこと ⑤家賃（小5）

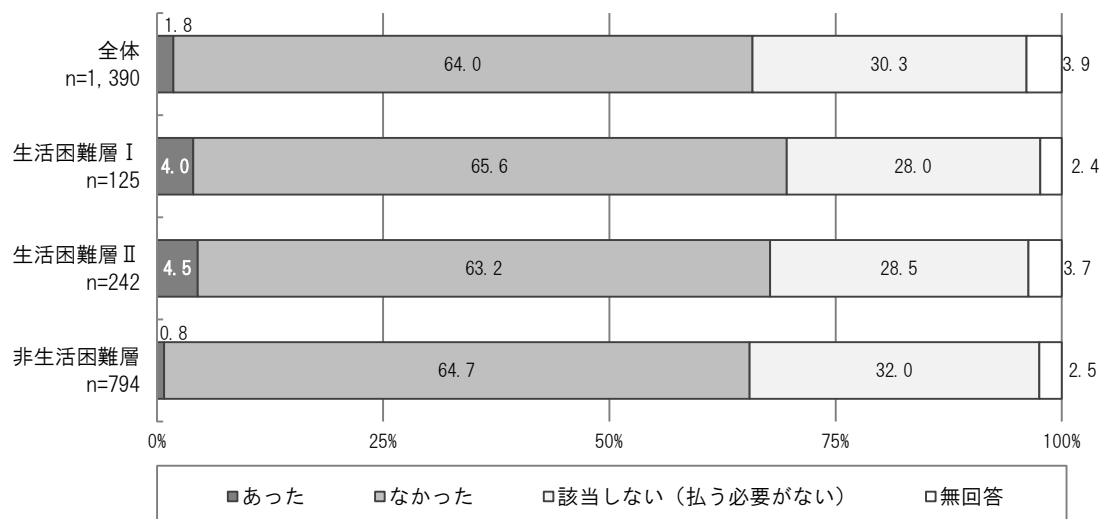


図 8-5-1⑥ サービス・料金を支払えなかったこと ⑥住宅ローン（小5）

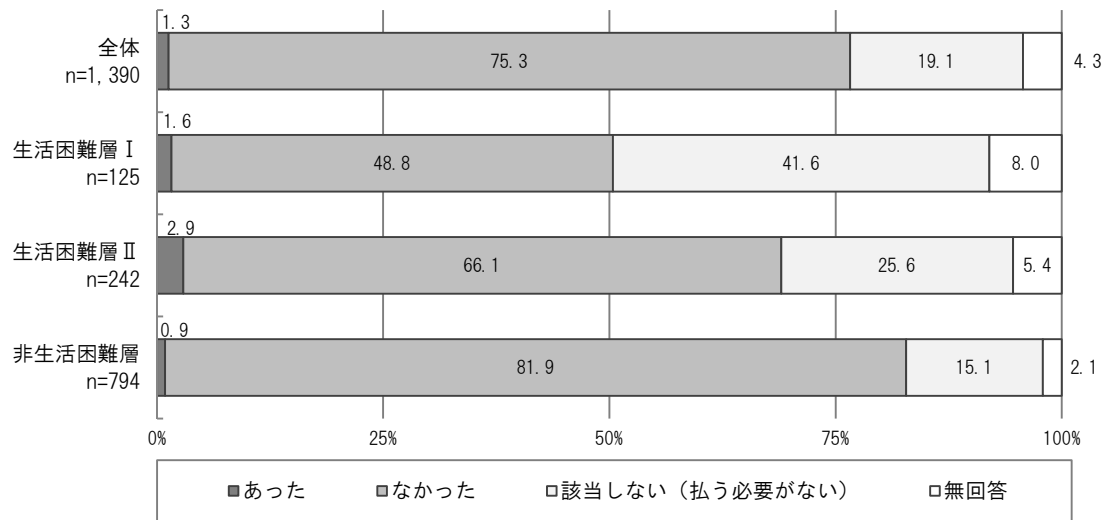


図 8-5-1⑦ サービス・料金を支払えなかったこと ⑦その他の債務（小5）

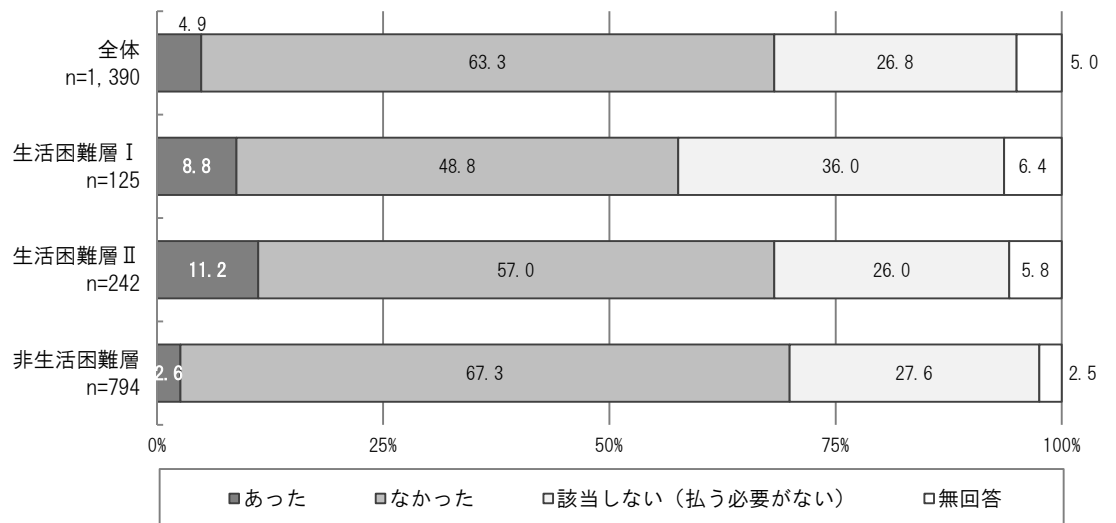


図 8-5-2① サービス・料金を支払えなかったこと ①電話料金（中2）

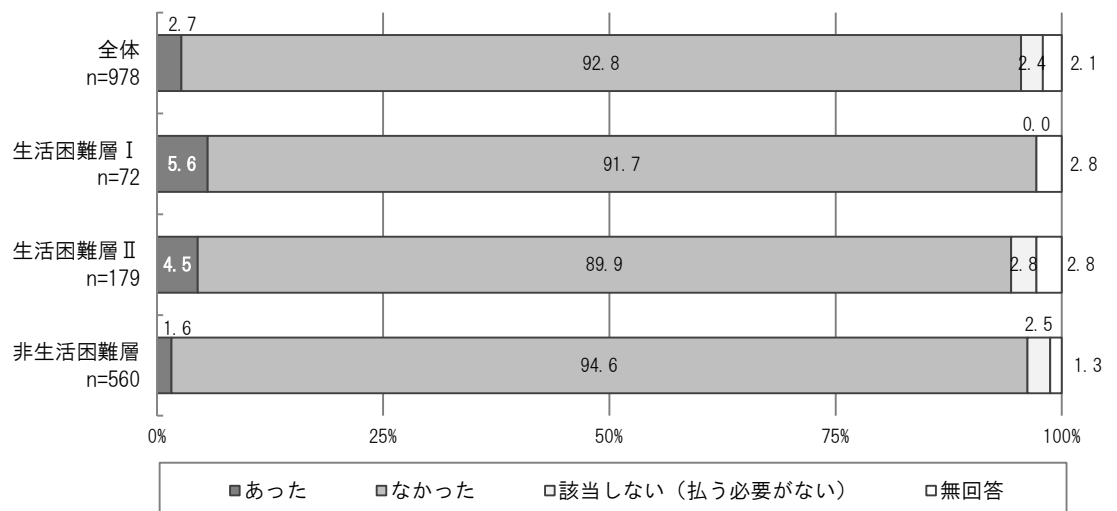


図 8-5-2② サービス・料金を支払えなかったこと ②電気料金（中2）

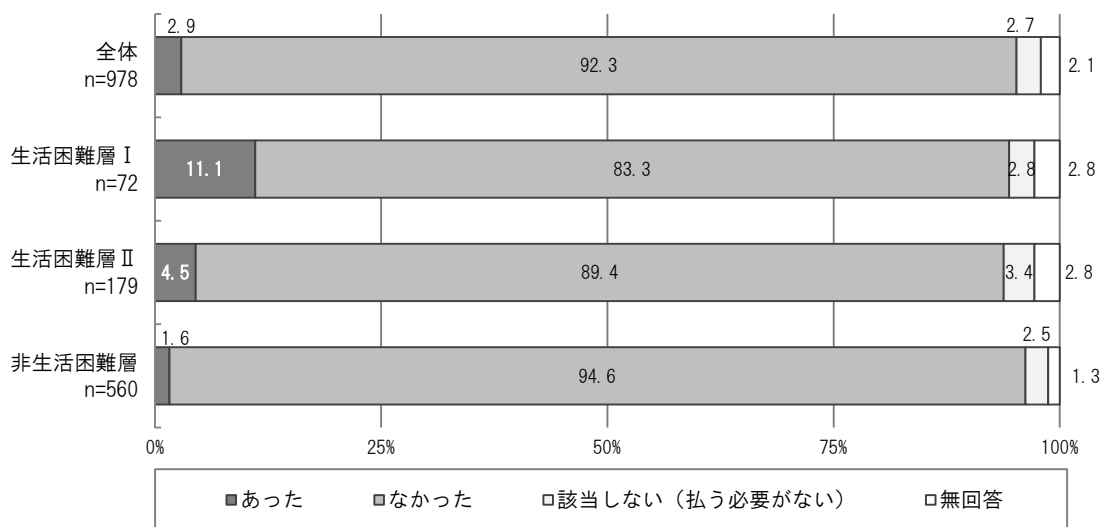


図 8-5-2③ サービス・料金を支払えなかったこと ③ガス料金（中2）

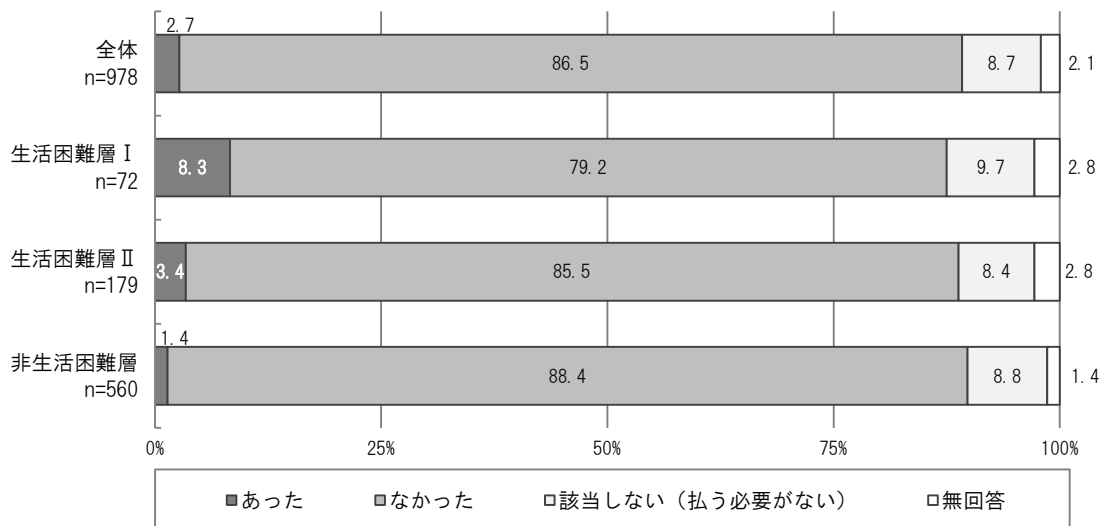


図 8-5-2④ サービス・料金を支払えなかったこと ④水道料金（中2）

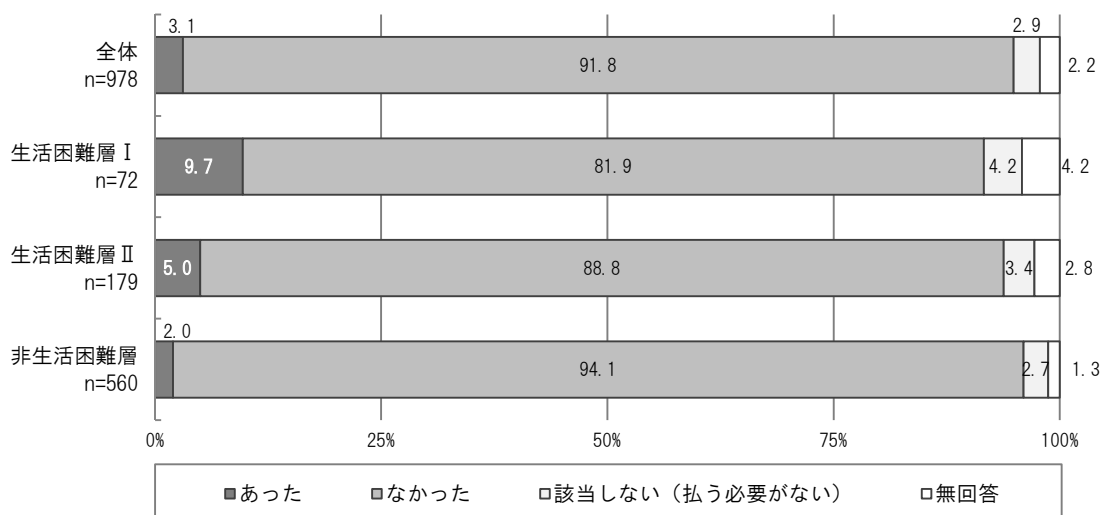


図 8-5-2⑤ サービス・料金を支払えなかったこと ⑤家賃（中2）

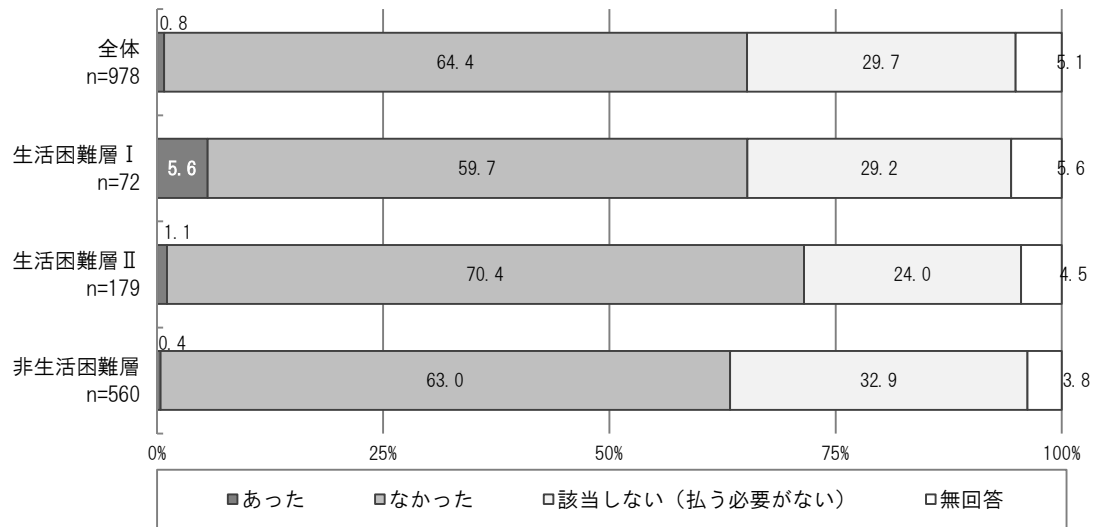


図 8-5-2⑥ サービス・料金を支払えなかったこと ⑥住宅ローン（中2）

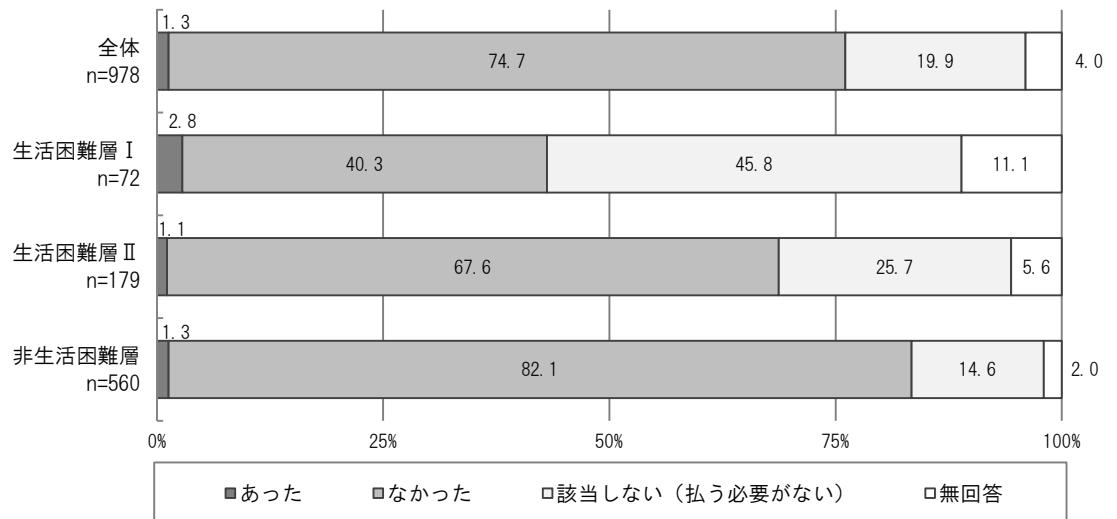
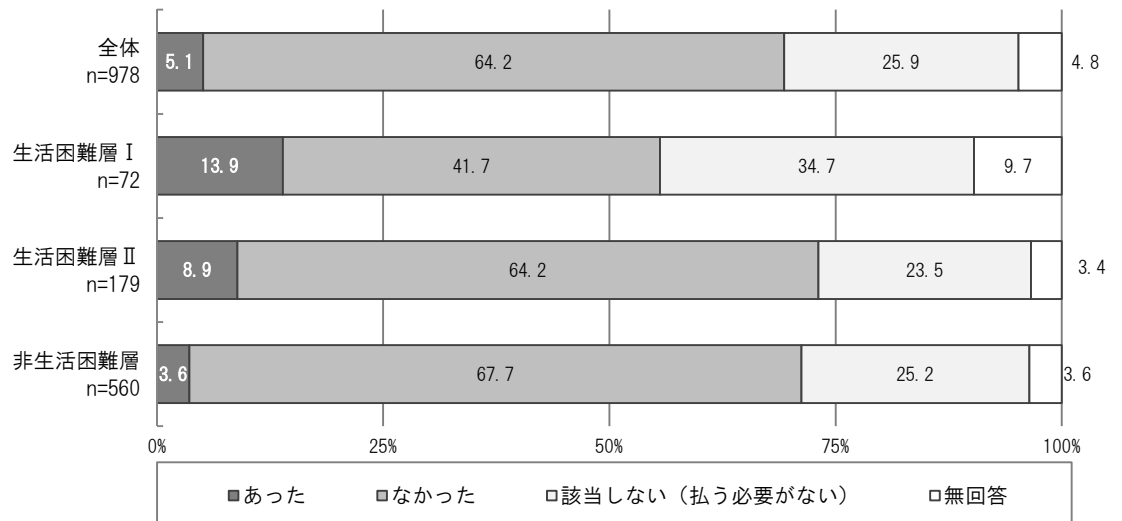


図 8-5-2⑦ サービス・料金を支払えなかったこと ⑦その他の債務（中2）



(6) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問28>

子どもの経験のうち、「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」については、「経済的にできない」が、小5保護者 17.7%、中2保護者 12.9%となっている。
生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰ及びⅡの多くの項目について「経済的にできない」の割合が高くなっている。

図 8-6-1① 子どもの経験 ①毎月お小遣いを渡す(小5)

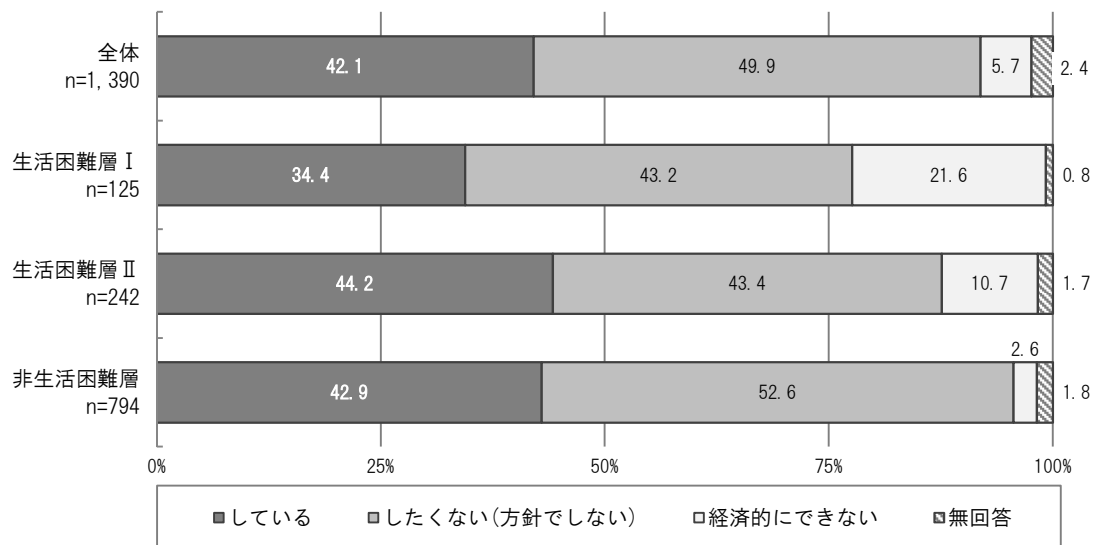


図 8-6-1② 子どもの経験 ②毎年新しい洋服・靴を買う(小5)

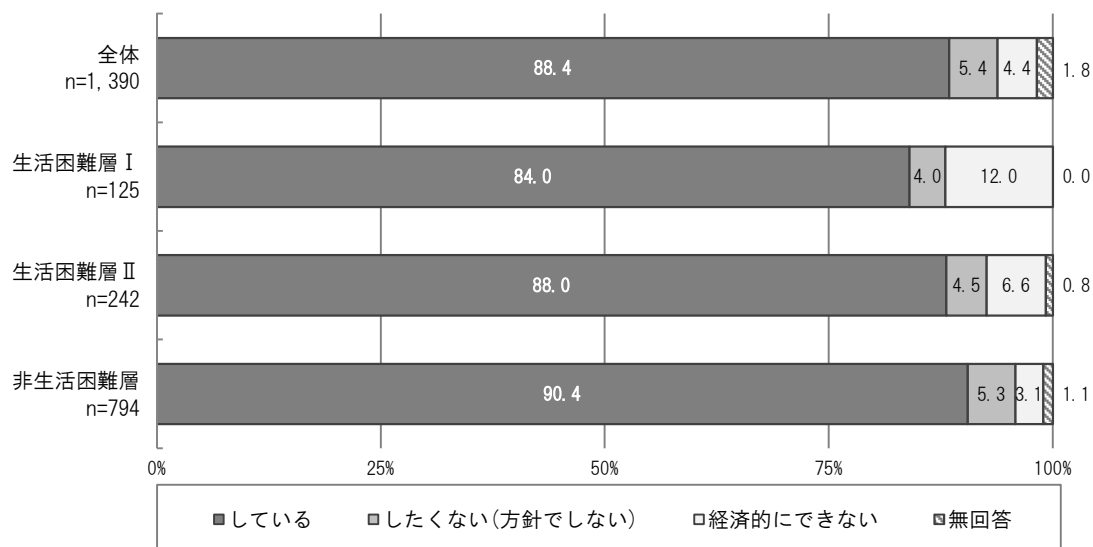


図 8-6-1③ 子どもの経験 ③習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる（小5）

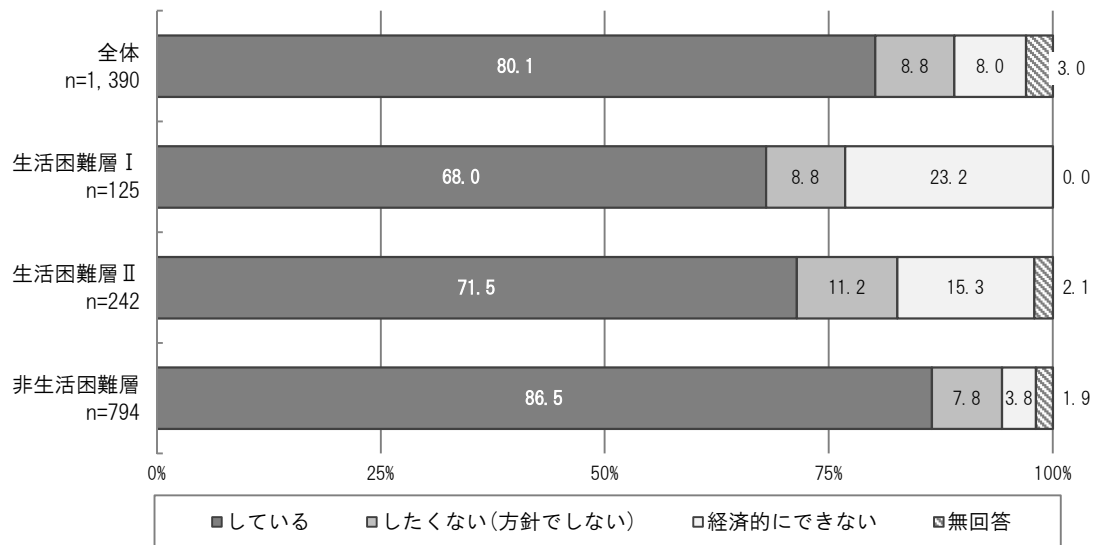


図 8-6-1④ 子どもの経験 ④学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）（小5）

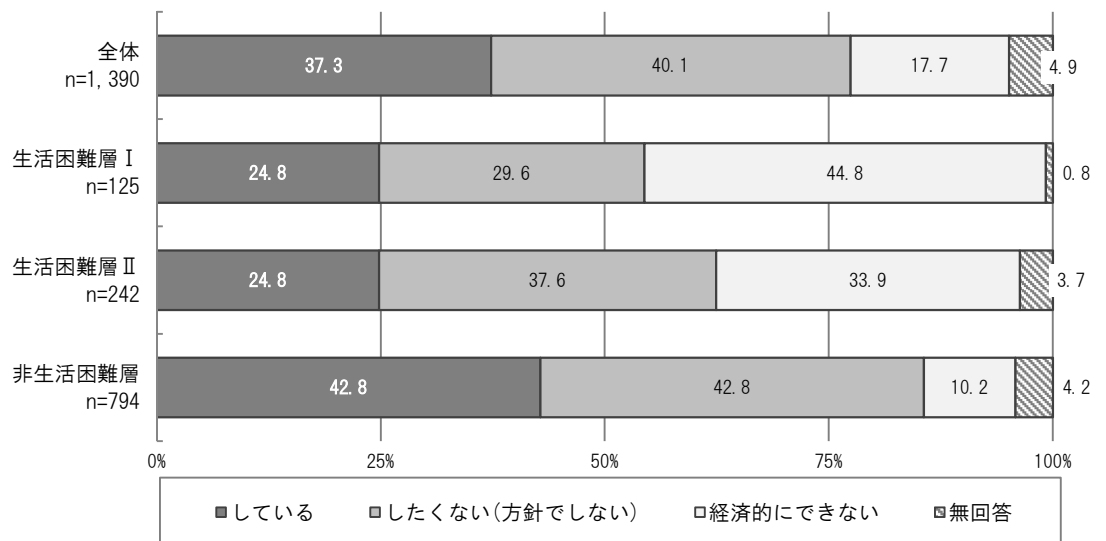


図 8-6-1⑤ 子どもの経験 ⑤お誕生日のお祝いをする（小5）

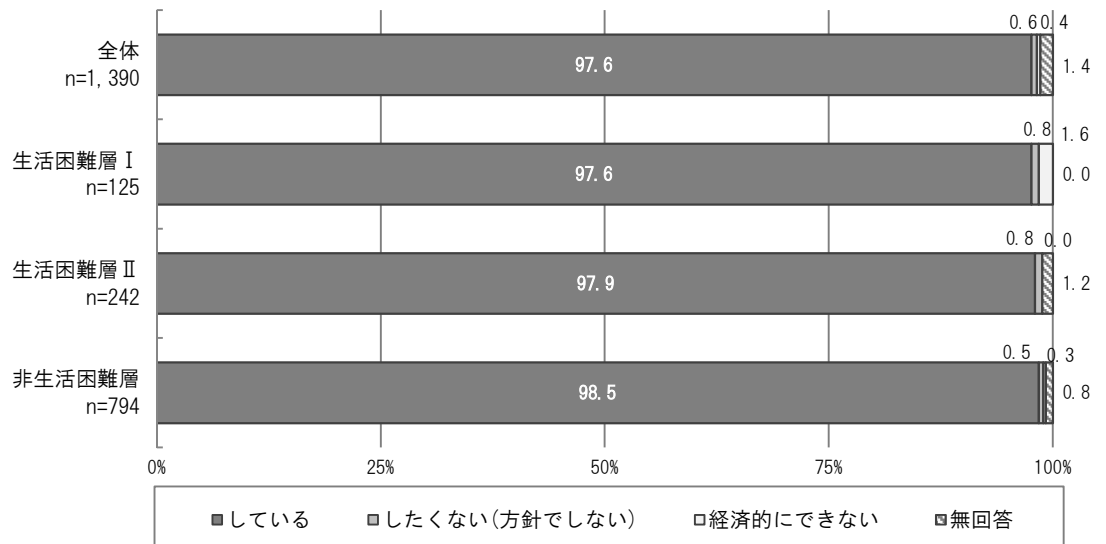


図 8-6-1⑥ 子どもの経験 ⑥ 1年に1回以上家族旅行に行く（小5）

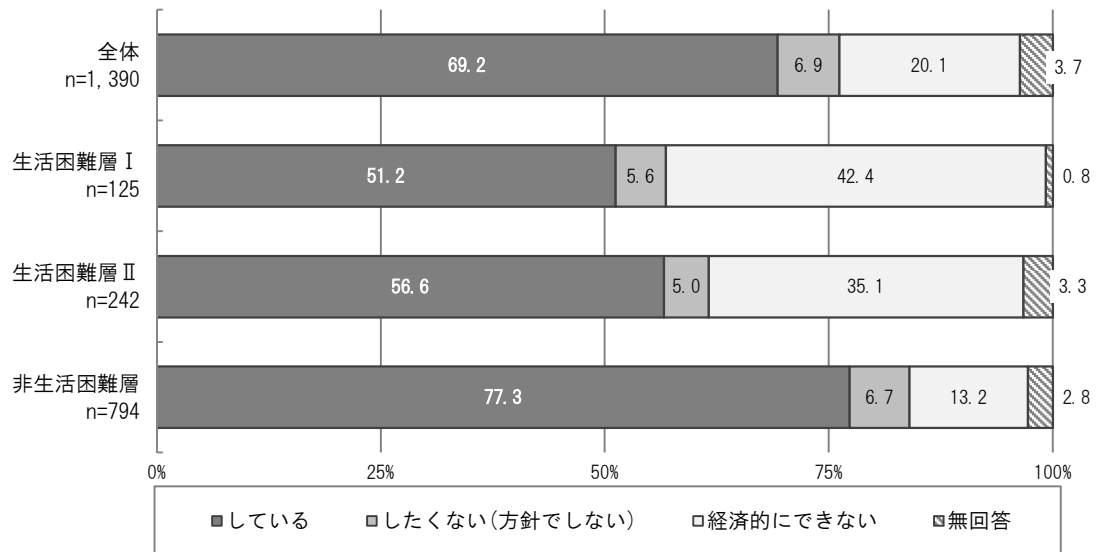


図 8-6-1⑦ 子どもの経験 ⑦ クリスマスのプレゼントをあげる（小5）

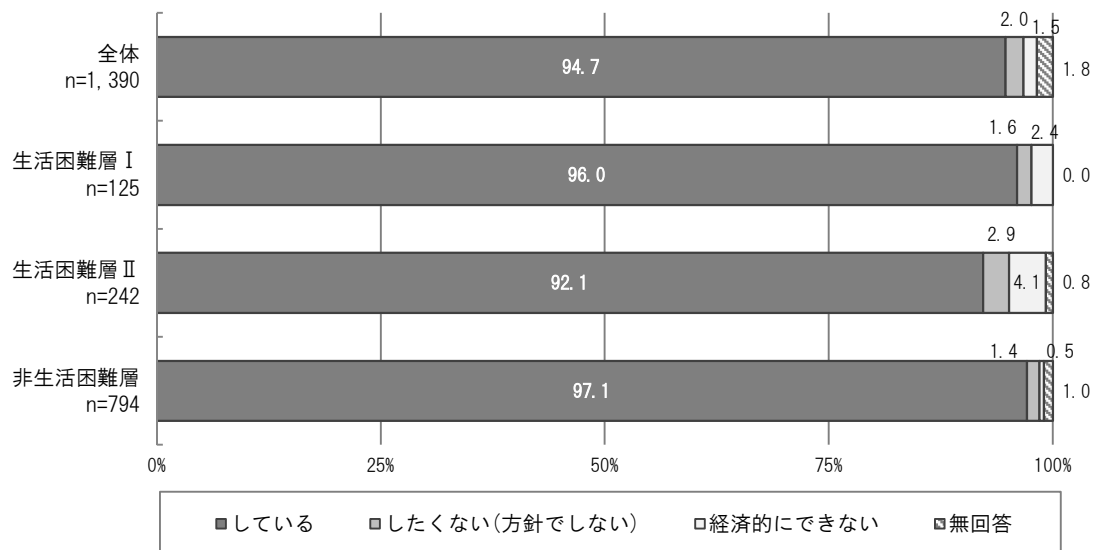


図 8-6-1⑧ 子どもの経験 ⑧ 正月のお年玉をあげる（小5）

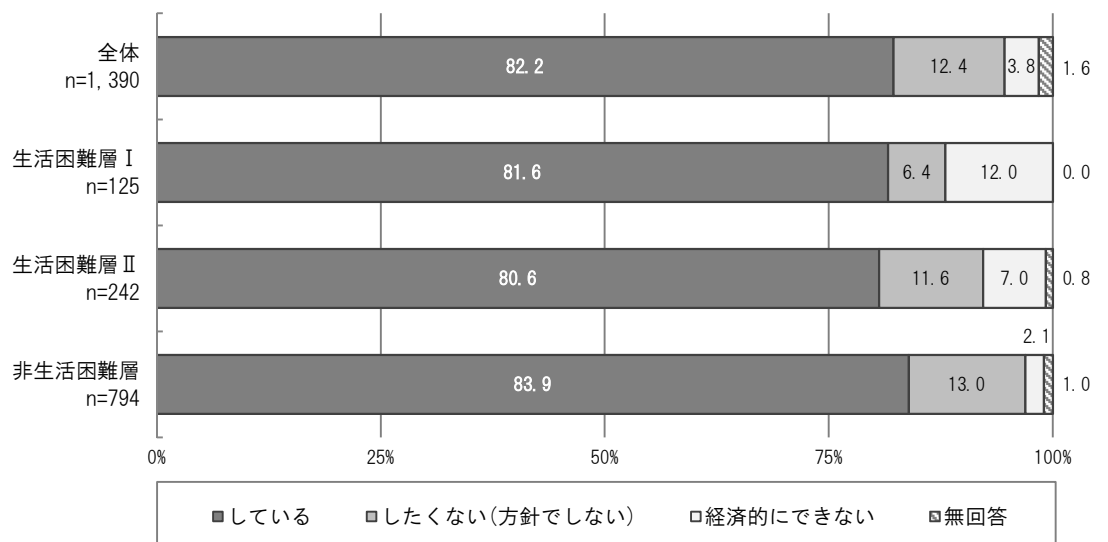


図 8-6-1⑨ 子どもの経験 ⑨子どもの学校行事などへ親が参加する（小5）

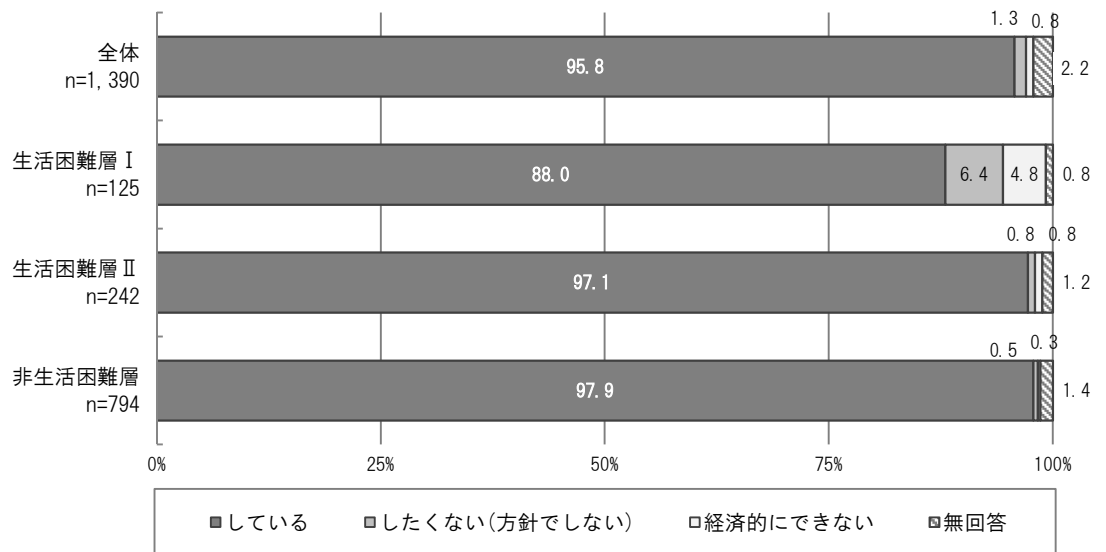


図 8-6-2① 子どもの経験 ①毎月お小遣いを渡す（中2）

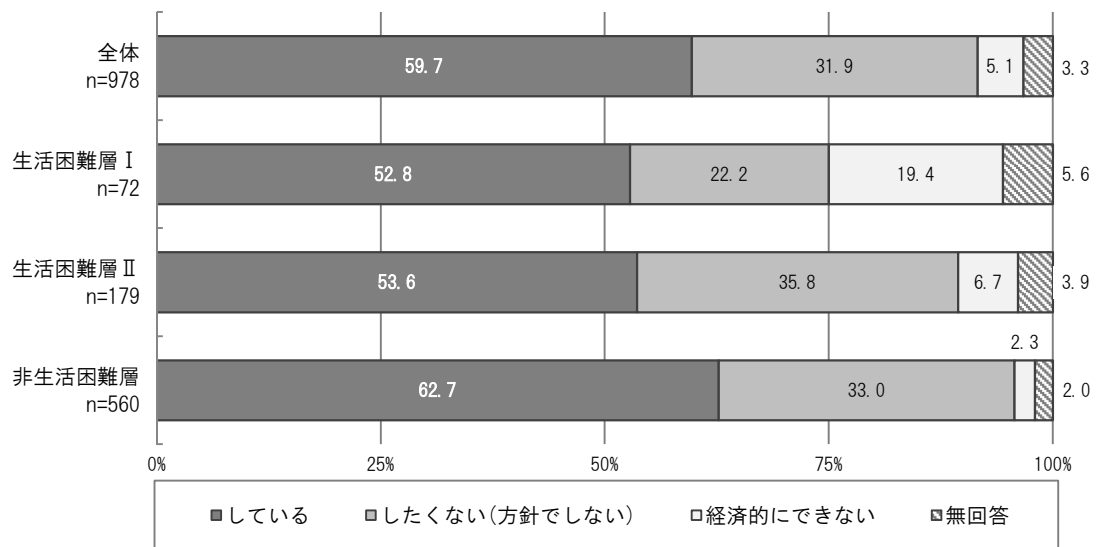


図 8-6-2② 子どもの経験 ②毎年新しい洋服・靴を買う（中2）

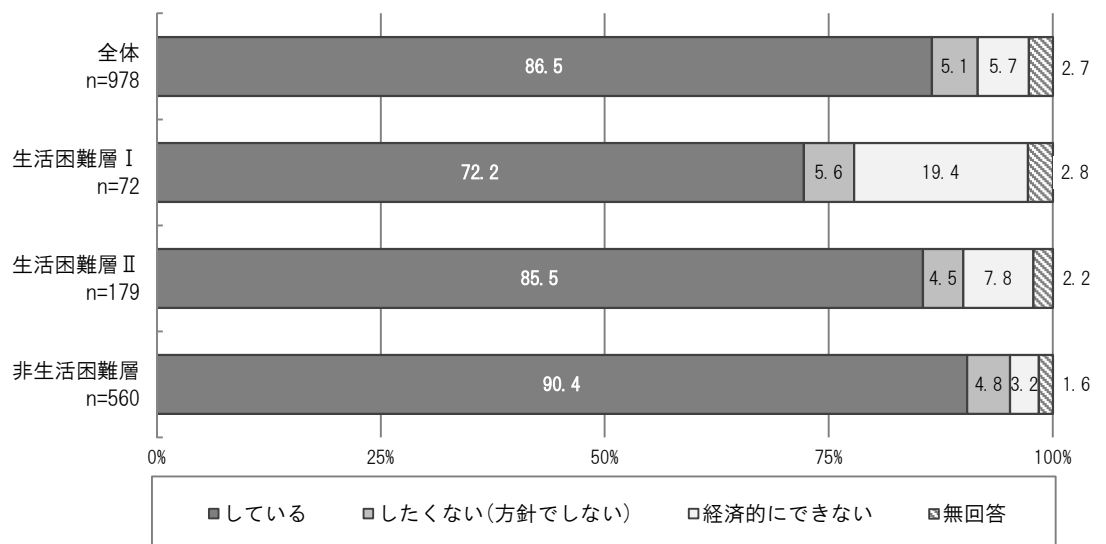


図 8-6-2③ 子どもの経験 ③習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる（中2）

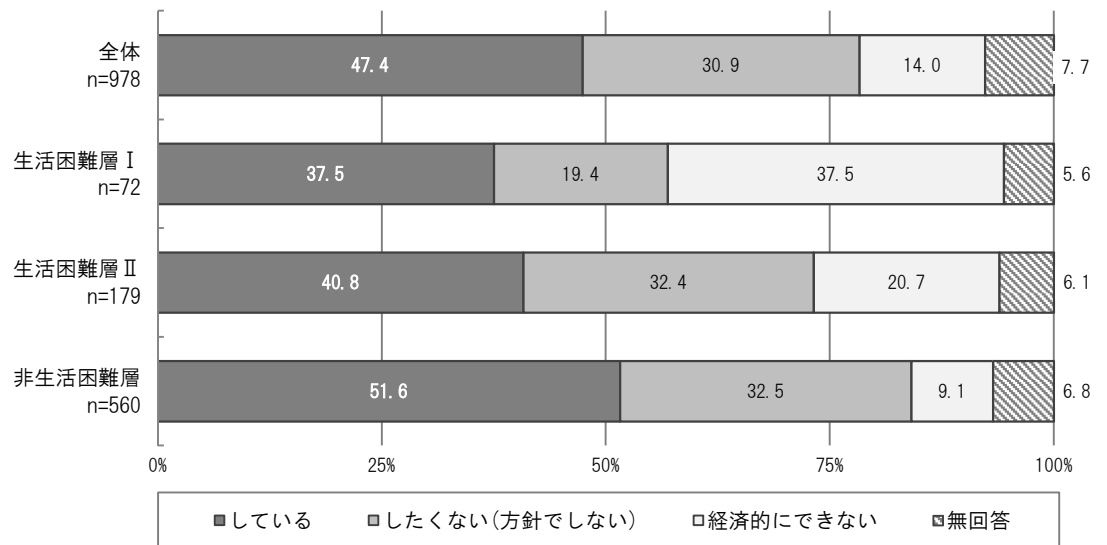


図 8-6-2④ 子どもの経験 ④学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）（中2）

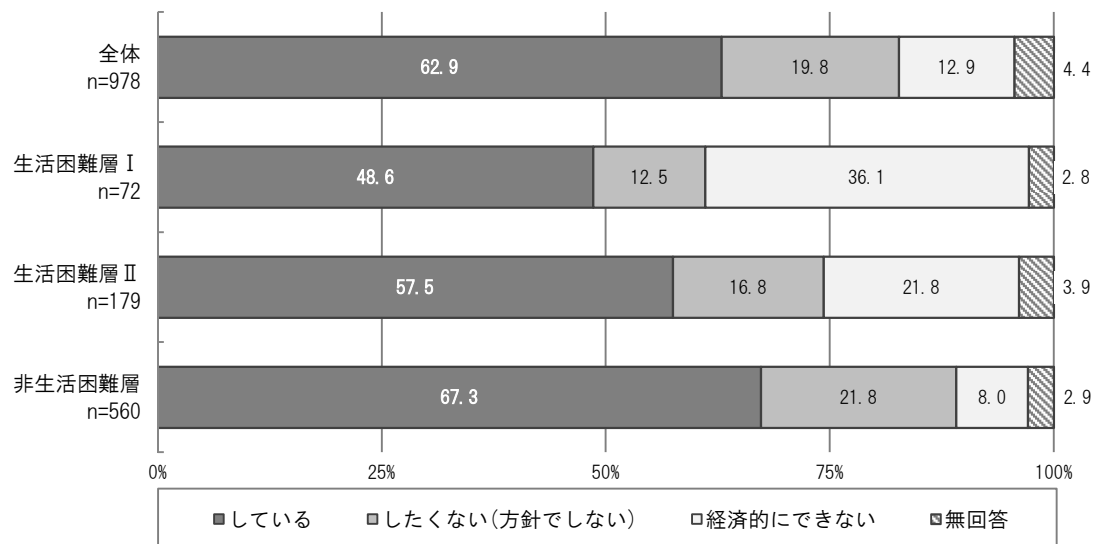


図 8-6-2⑤ 子どもの経験 ⑤お誕生日のお祝いをする（中2）

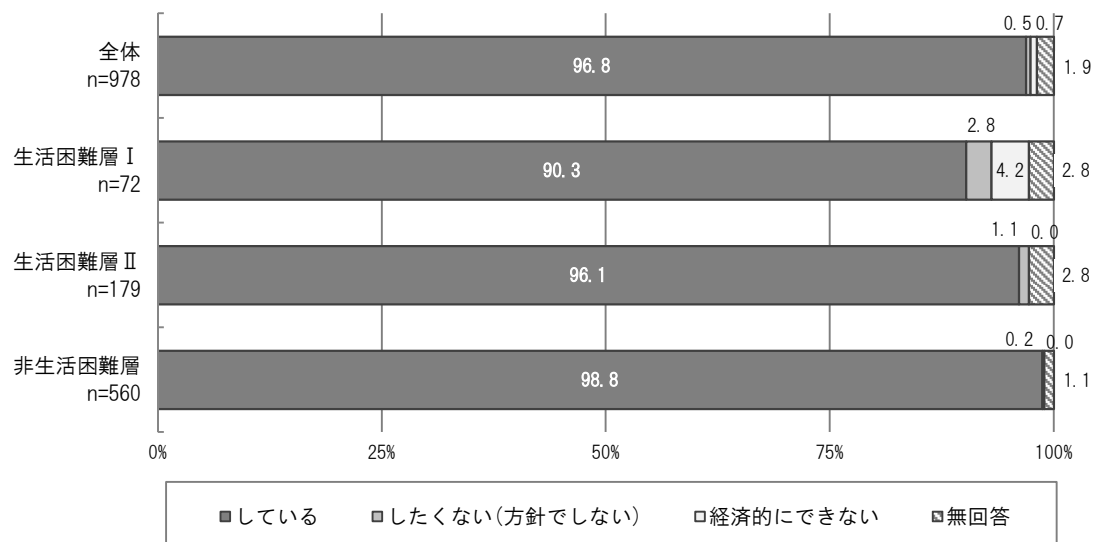


図 8-6-2⑥ 子どもの経験 ⑥ 1年に1回以上家族旅行に行く(中2)

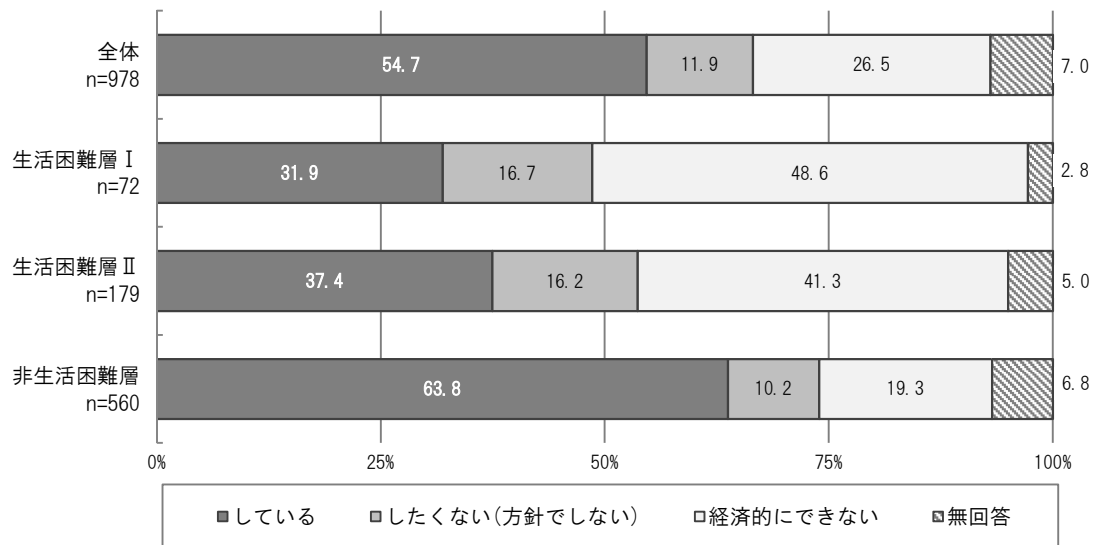


図 8-6-2⑦ 子どもの経験 ⑦ クリスマスのプレゼントをあげる(中2)

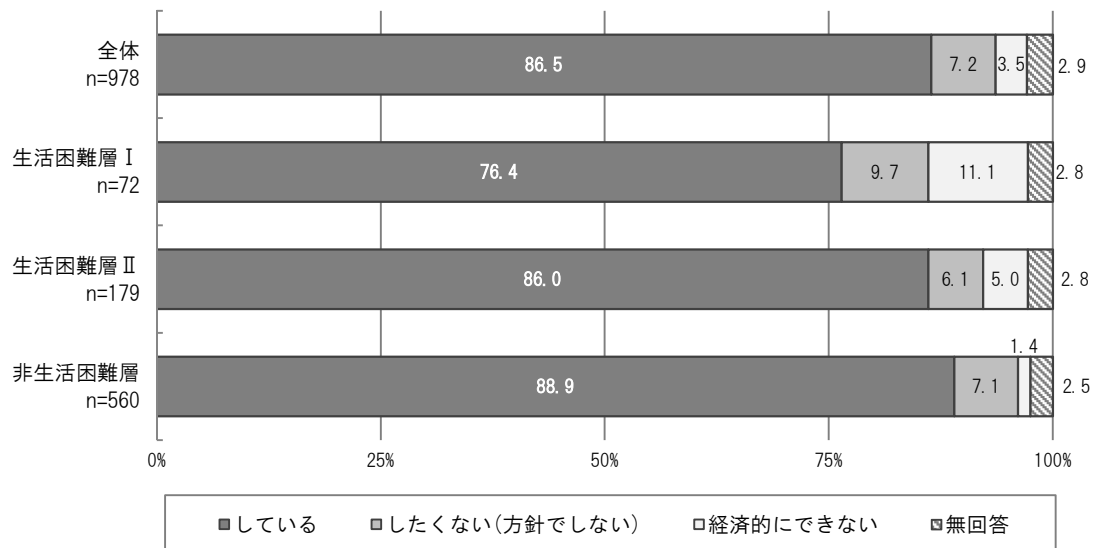


図 8-6-2⑧ 子どもの経験 ⑧ 正月のお年玉をあげる(中2)

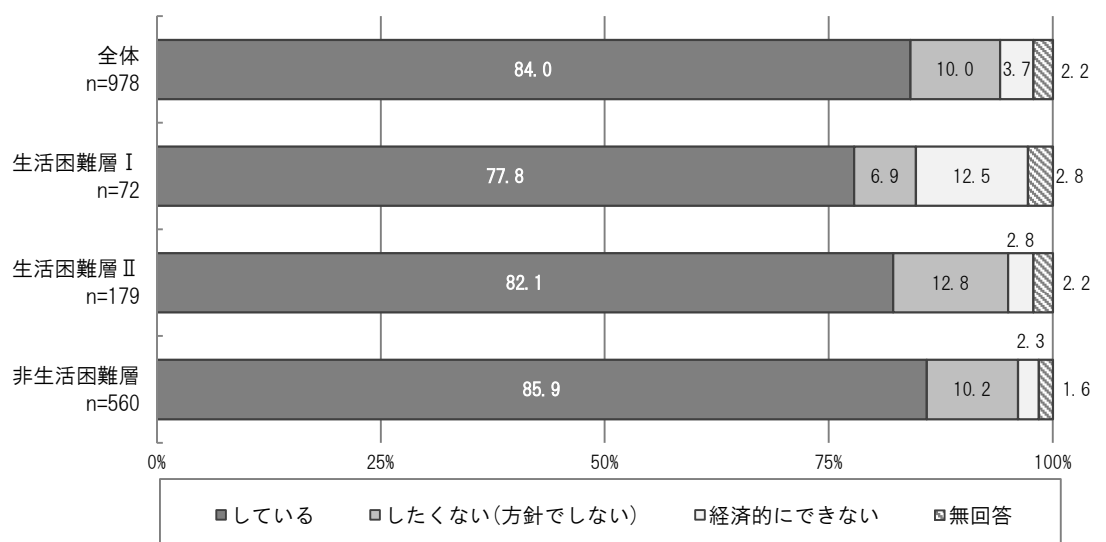
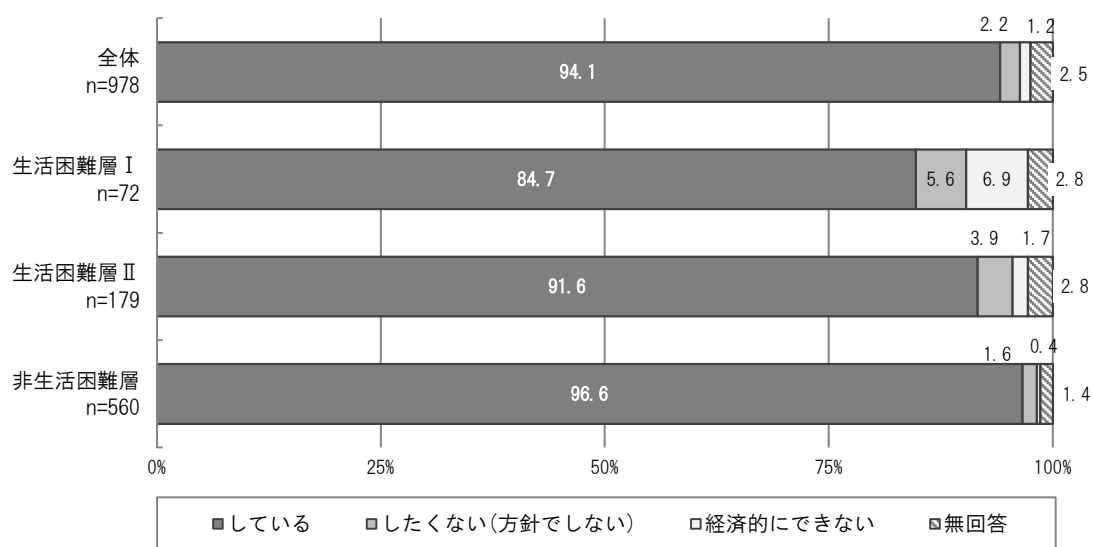


図 8-6-2⑨ 子どもの経験 ⑨子どもの学校行事などへ親が参加する（中2）



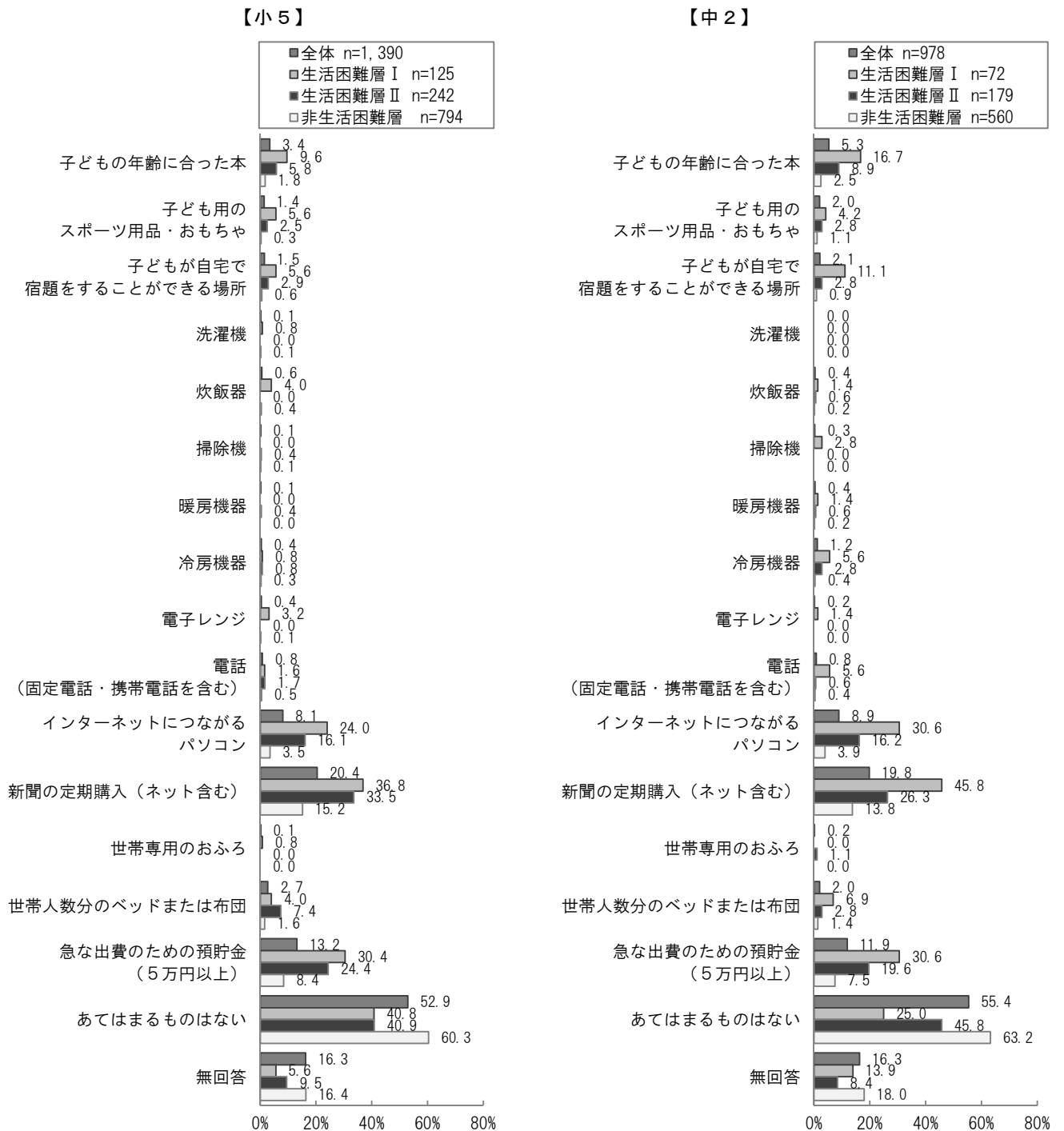
(7) 次のもののうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○) <問 29>

経済的理由のためにないものについては、「新聞の定期購入」が、小5保護者 20.4%、中2保護者 19.8%、「急な出費のための預貯金」が、小5保護者 13.2%、中2保護者 11.9%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「インターネットにつながるパソコン」が、非生活困難層よりも約20~26ポイント高くなっている。

図 8-7-1・図 8-7-2 経済的理由のためにないもの



9 公的支援の利用状況について

(1) あなたは、子どもに関する施策等の情報を①どのような方法で受け取っていますか。また、②今後、受け取りたいですか。(①②それぞれ、あてはまる番号すべてに○)
 <問 30>

施策等の情報の受け取り方法については、いずれも「学校からのお便り」が最も高く、小5保護者 87.7%、中2保護者 84.7%となっており、次いで「広報よこすか」が、小5保護者 70.5%、中2保護者 67.6%となっている。

今後受け取りたい方法については、いずれも「学校からのお便り」が最も高く、小5保護者 65.6%、中2保護者 63.6%となっており、次いで「広報よこすか」が、小5保護者 51.8%、中2保護者 50.8%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「広報よこすか」が、受け取り方法・今後受け取りたい方法ともに、非生活困難層よりも約 12~25 ポイント低くなっている。

図 9-1-1・図 9-1-2 施策等の情報の受け取り方法

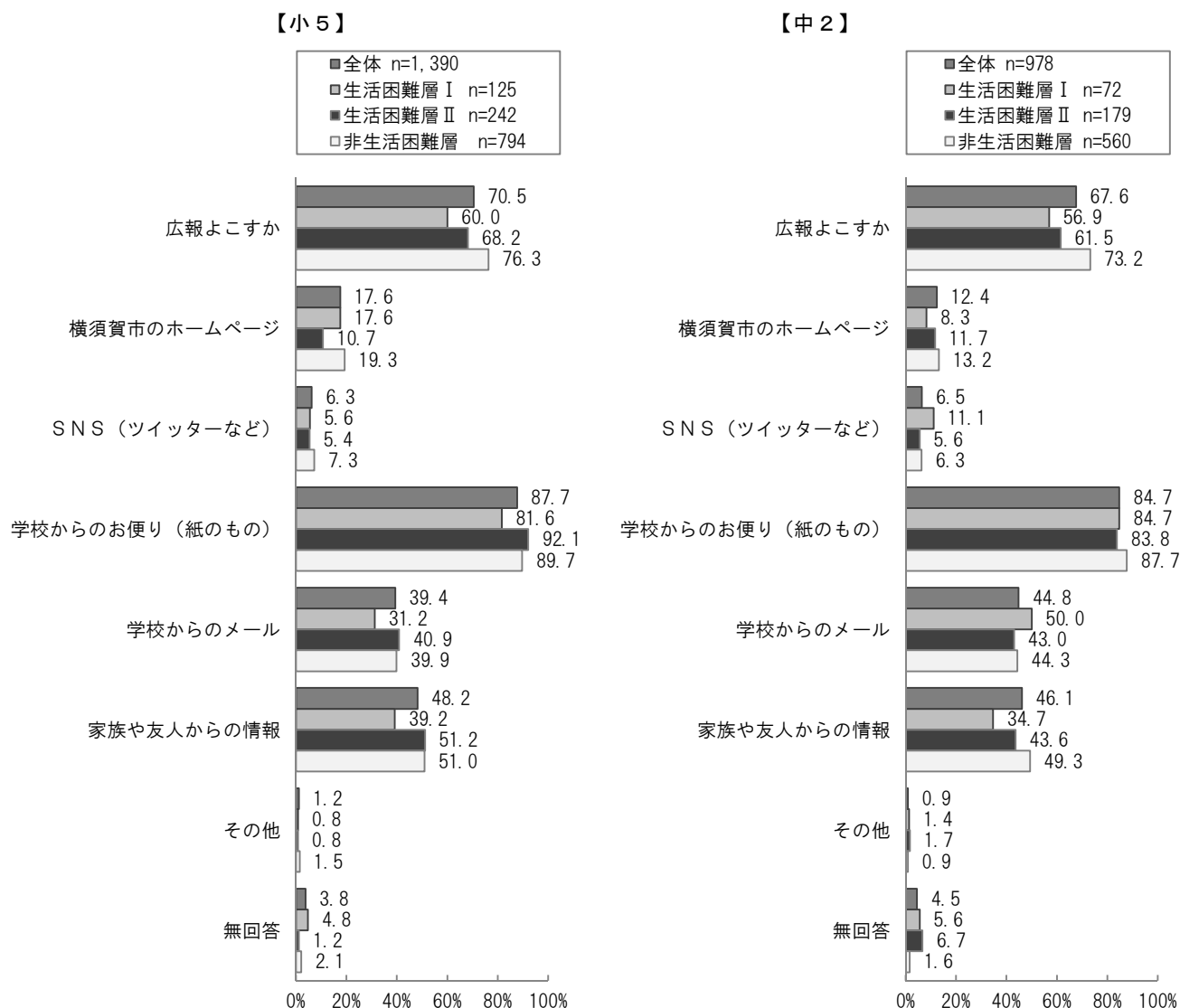
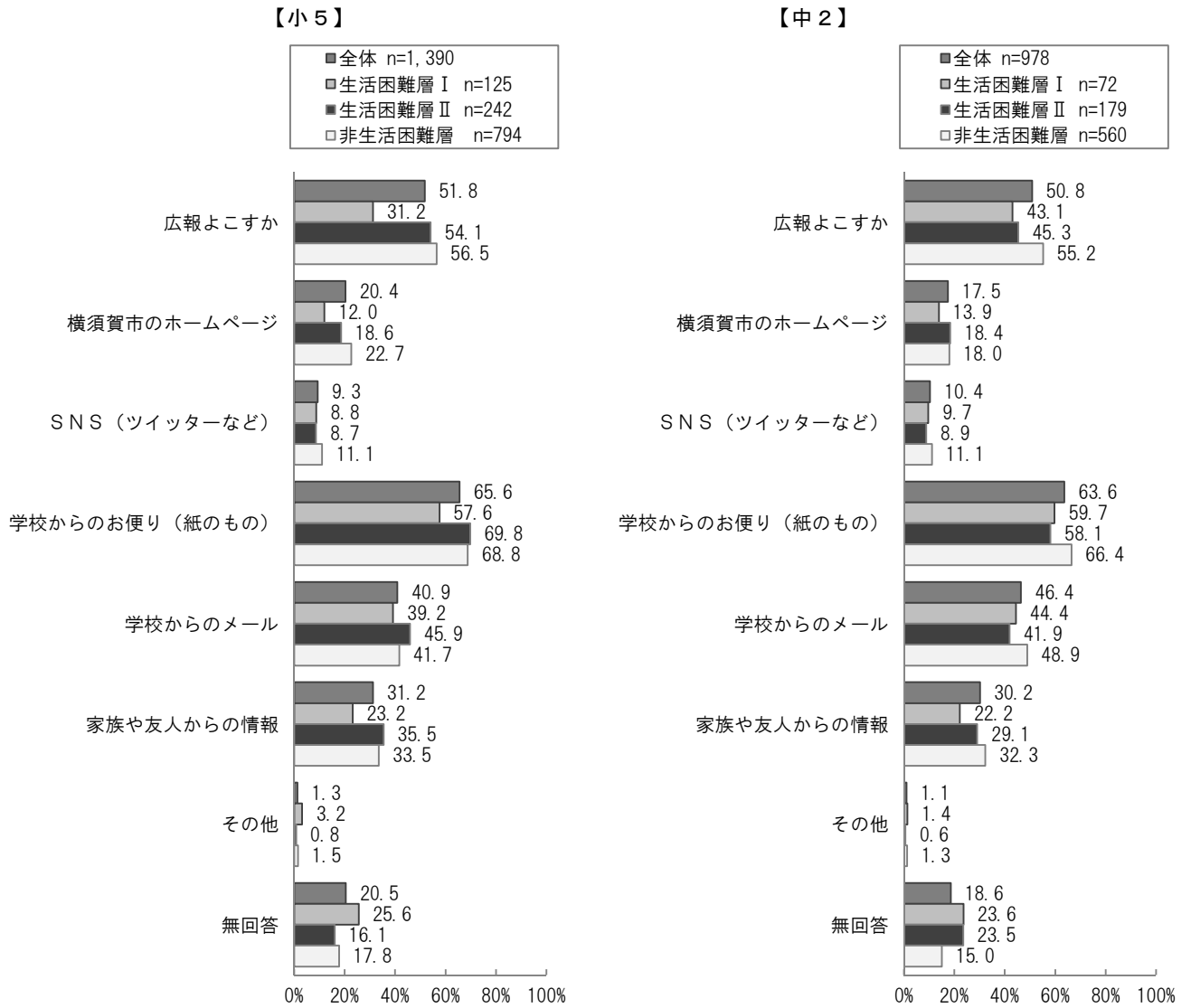


図 9-1-3・図 9-1-4 施策等の情報を今後受け取りたい方法



(2) お子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。
 利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問31>

支援制度等の利用状況のうち、「利用したことがある」ものについては、いずれも「青少年の家」が最も高く、小5保護者 55.2%、中2保護者 57.0%となっている。「ショートステイ事業」「学校以外（NPO等）が実施する学習支援」「地域の方々が実施する子ども食堂」については、小5・中2いずれも「制度等について全く知らなかった」が3割を占めている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「⑧地域の方々が実施する子ども食堂」で「利用したことがない（利用の仕方がわからなかった）」が、非生活困難層よりも約7～14ポイント高くなっている。

図 9-2-1① 支援制度等の利用状況 ①ファミリー・サポート・センター（小5）

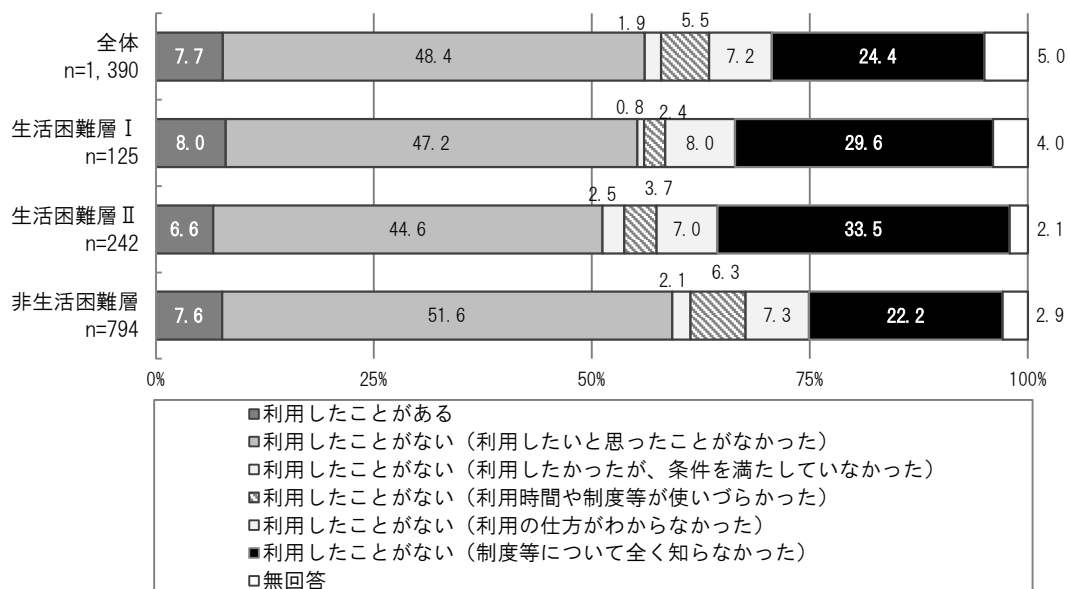


図 9-2-1② 支援制度等の利用状況 ②病児・病後児保育センター（小5）

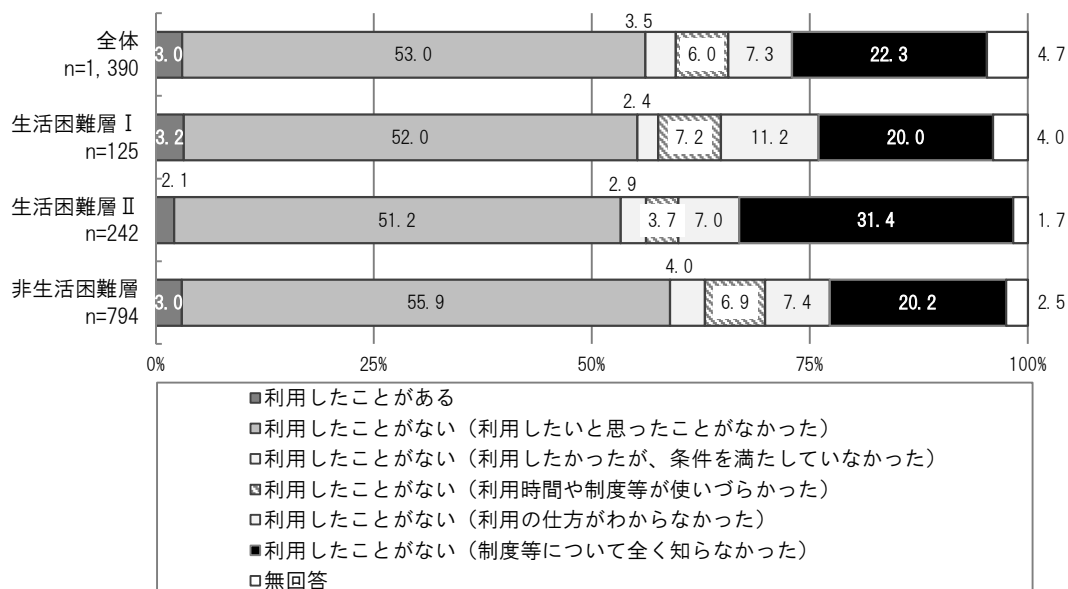


図 9-2-1③ 支援制度等の利用状況 ③ショートステイ事業（小5）

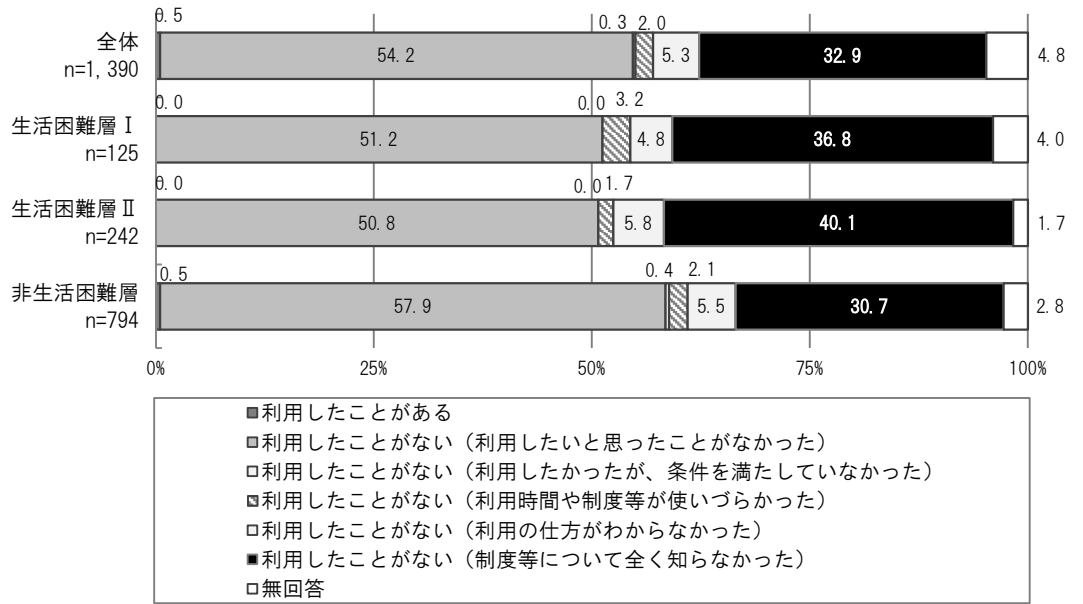


図 9-2-1④ 支援制度等の利用状況 ④放課後児童クラブ（小5）

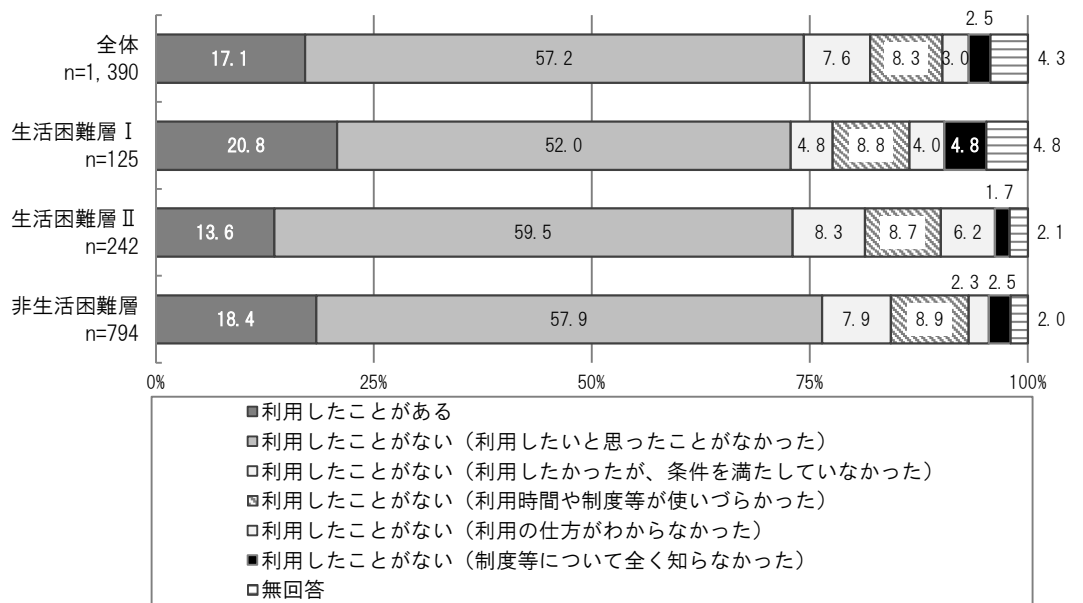


図 9-2-1⑤ 支援制度等の利用状況 ⑤青少年の家（小5）

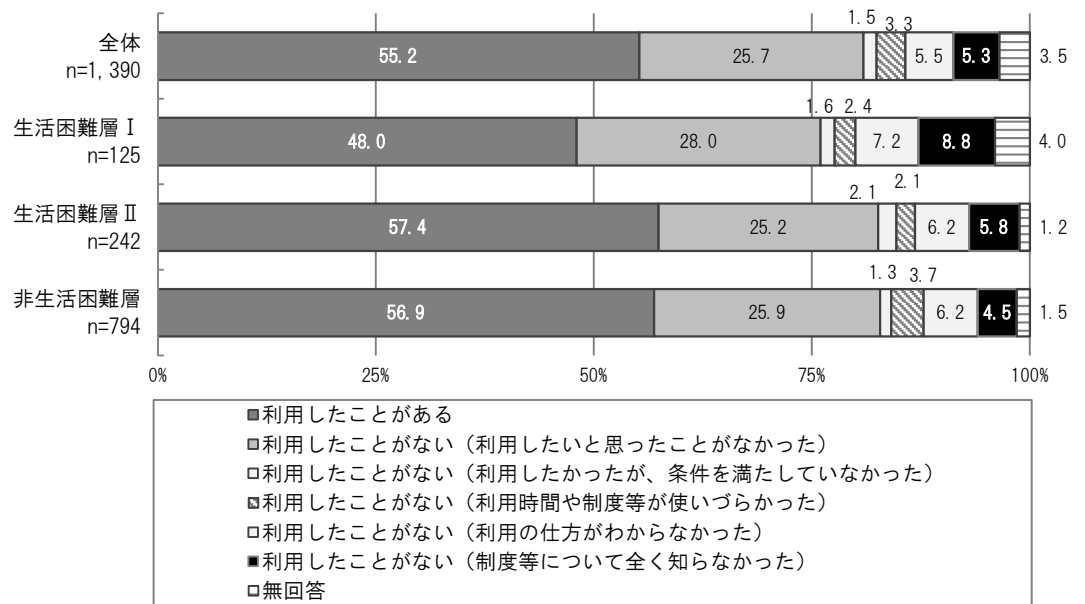


図 9-2-1⑥ 支援制度等の利用状況 ⑥わいわいスクール、放課後子ども教室（小5）

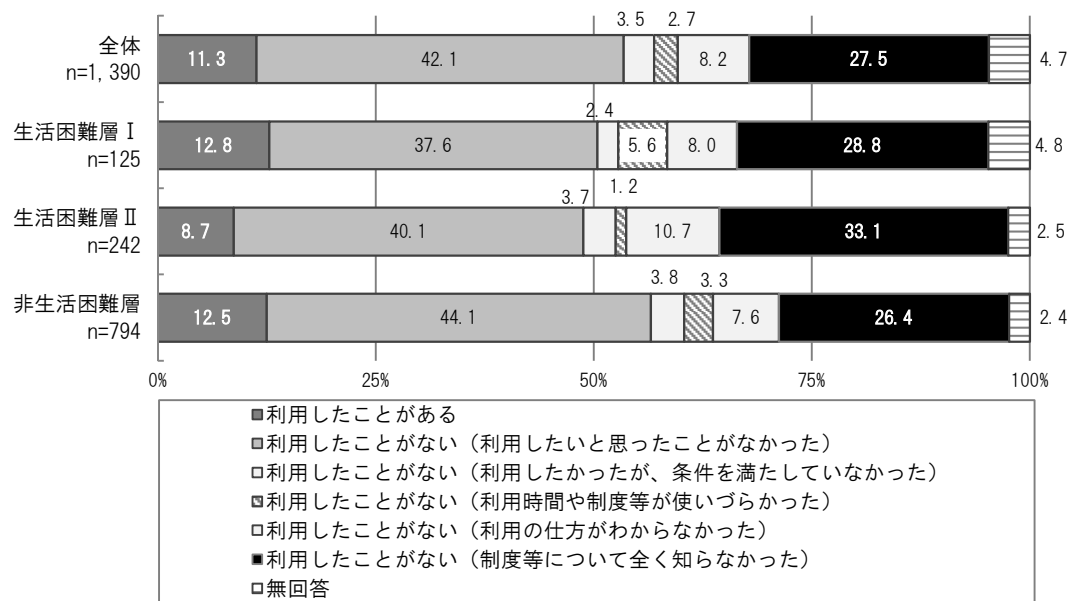


図 9-2-1⑦ 支援制度等の利用状況 ⑦学校以外（NPO等）が実施する学習支援（小5）

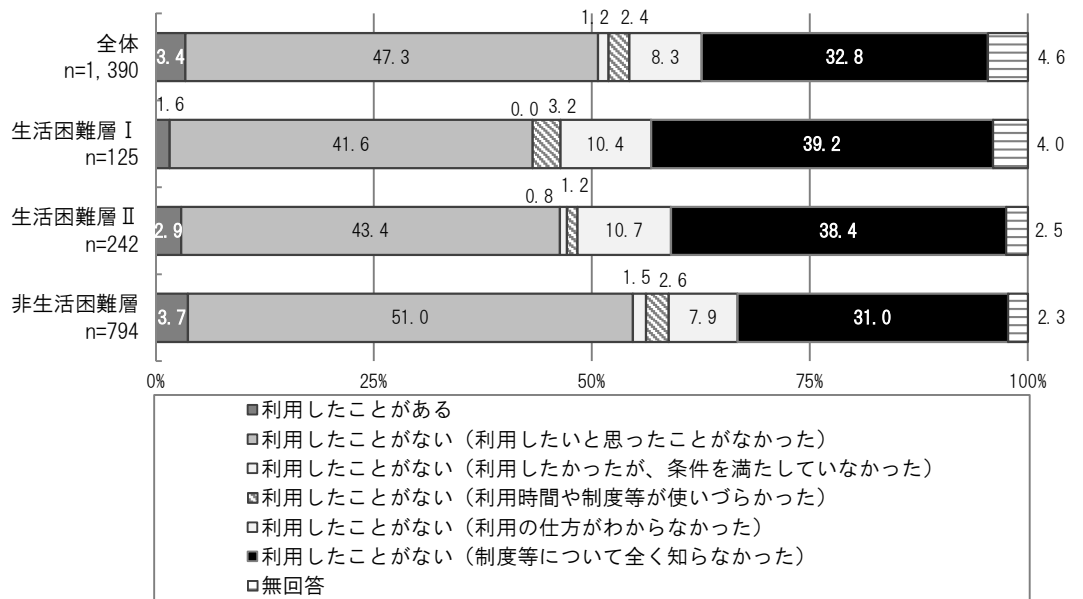


図 9-2-1⑧ 支援制度等の利用状況 ⑧地域の方々が実施する子ども食堂（小5）

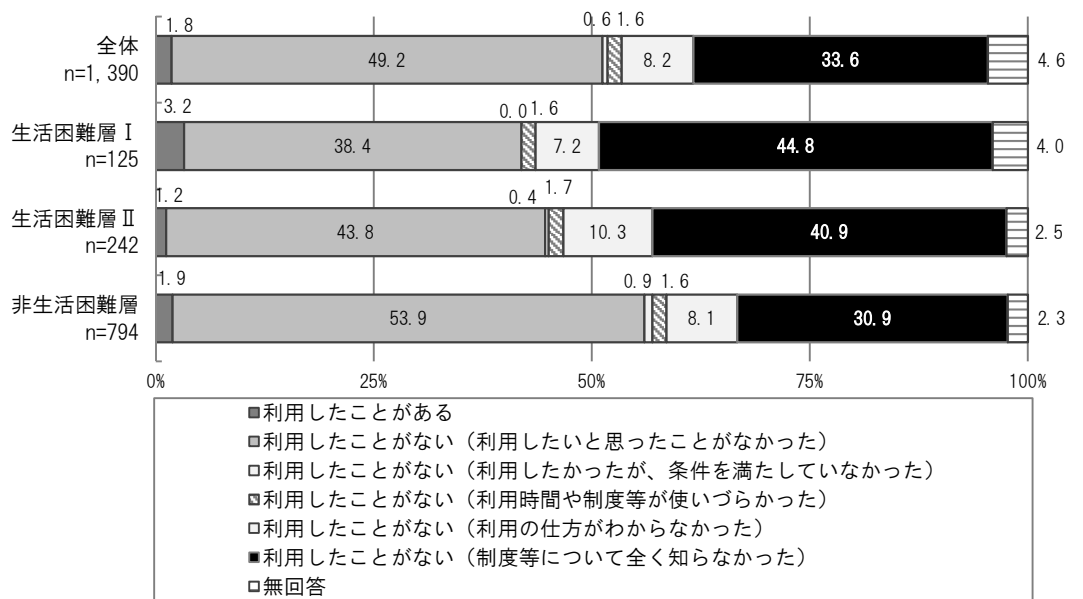


図 9-2-2① 支援制度等の利用状況 ①ファミリー・サポート・センター（中2）

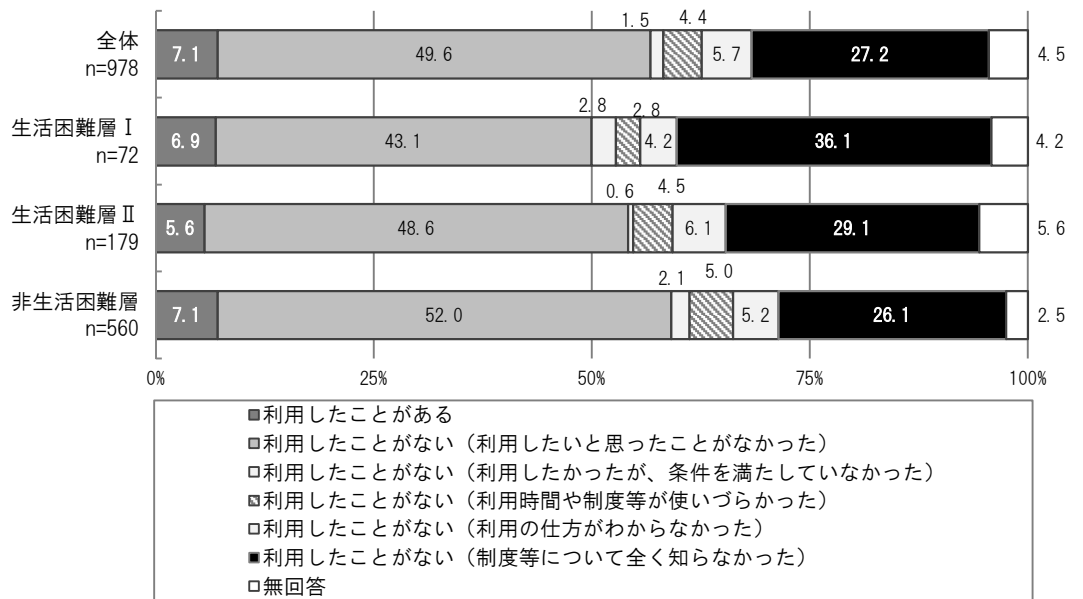


図 9-2-2② 支援制度等の利用状況 ②病児・病後児保育センター（中2）

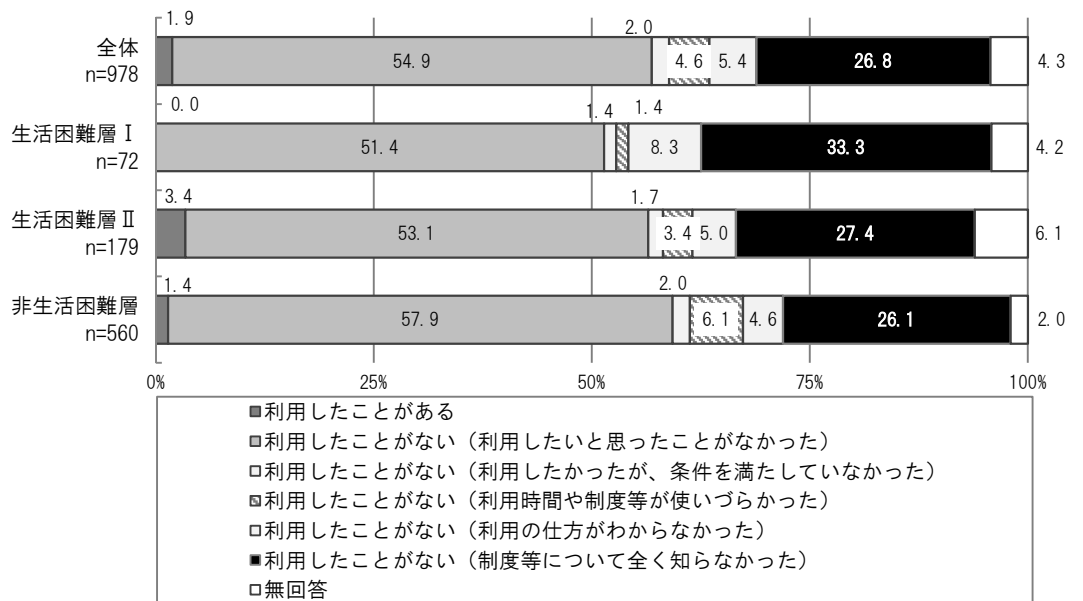


図 9-2-2③ 支援制度等の利用状況 ③ショートステイ事業（中2）

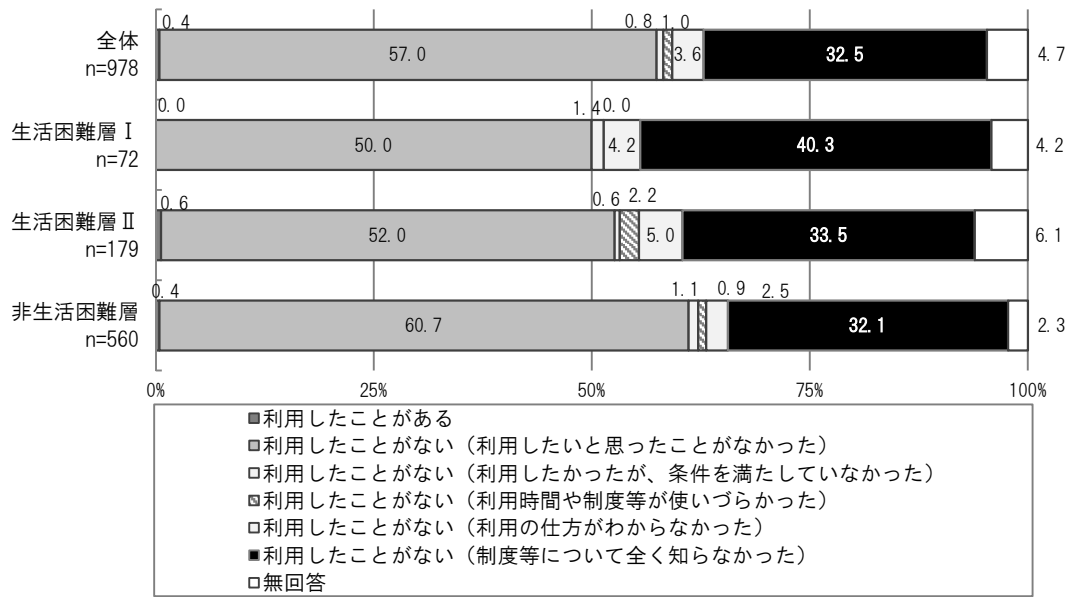


図 9-2-2④ 支援制度等の利用状況 ④放課後児童クラブ（中2）

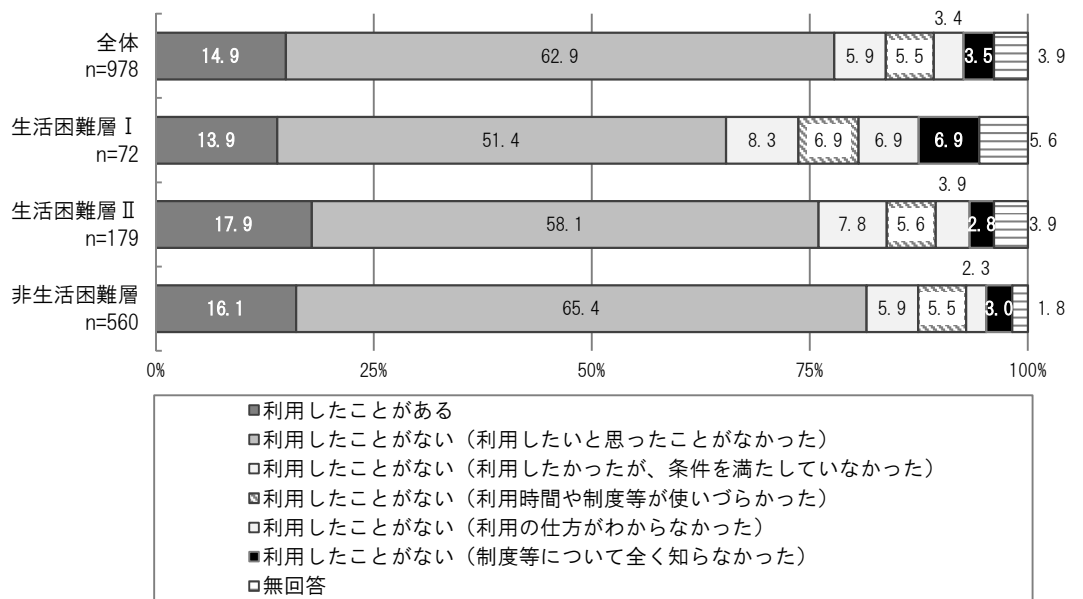


図 9-2-2⑤ 支援制度等の利用状況 ⑤青少年の家（中2）

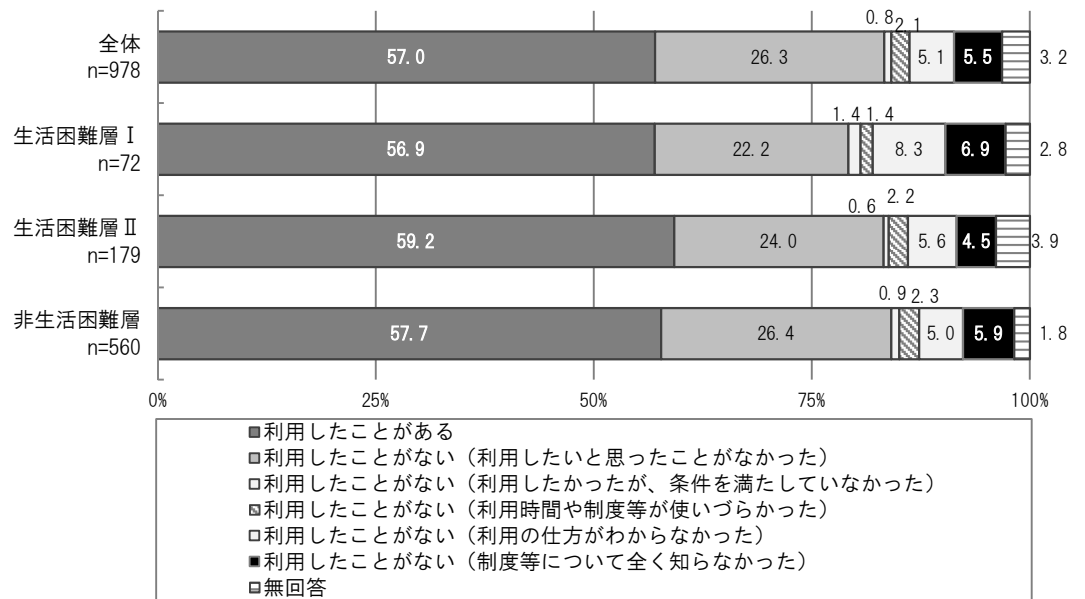


図 9-2-2⑥ 支援制度等の利用状況 ⑥わいわいスクール、放課後子ども教室（中2）

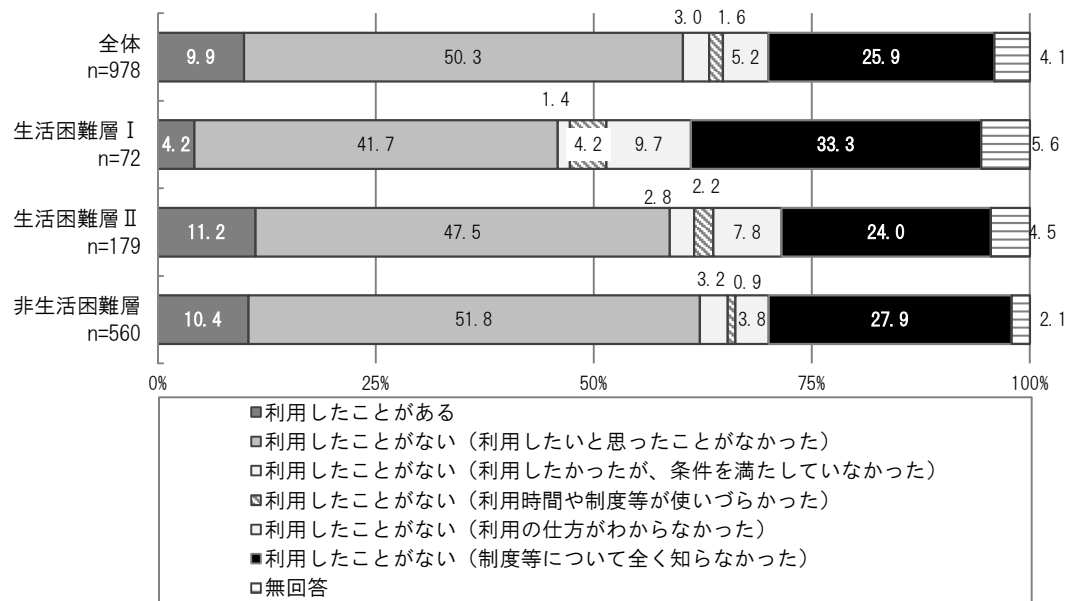


図 9-2-2⑦ 支援制度等の利用状況 ⑦学校以外（NPO等）が実施する学習支援（中2）

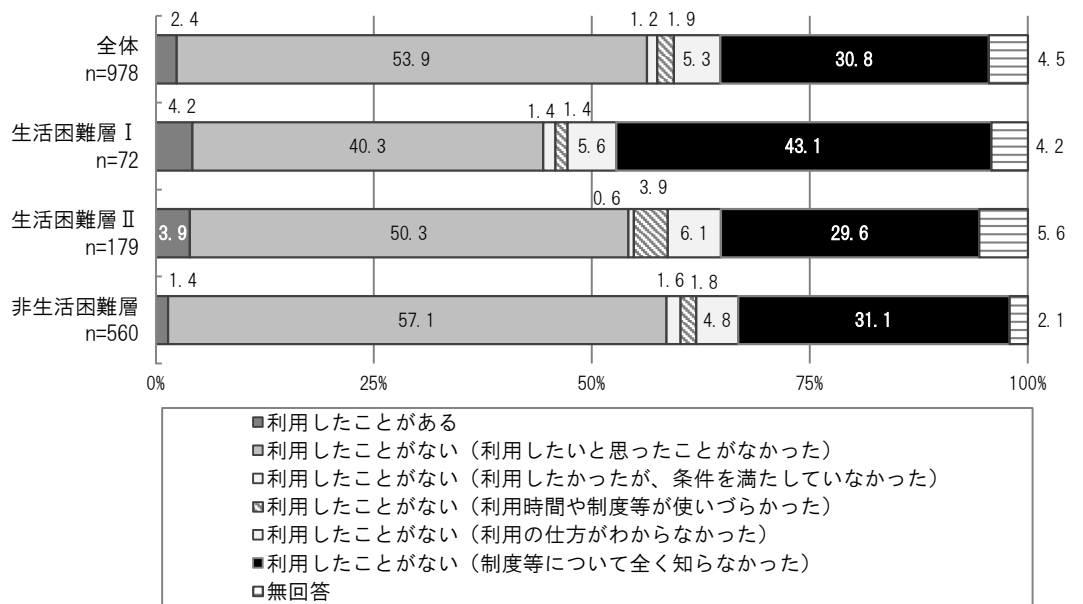
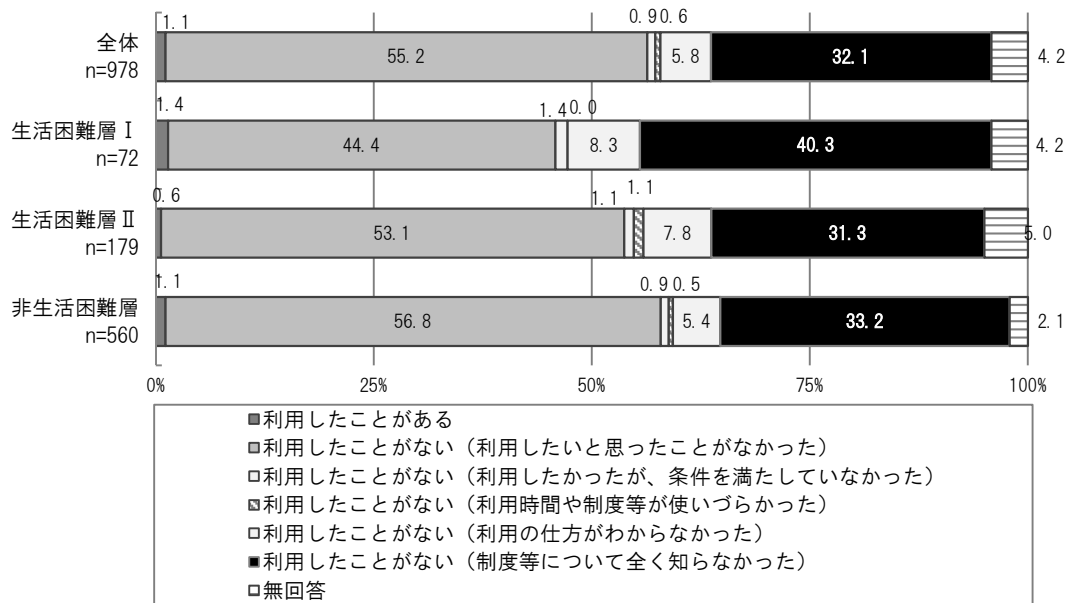


図 9-2-2⑧ 支援制度等の利用状況 ⑧地域の方々が実施する子ども食堂（中2）



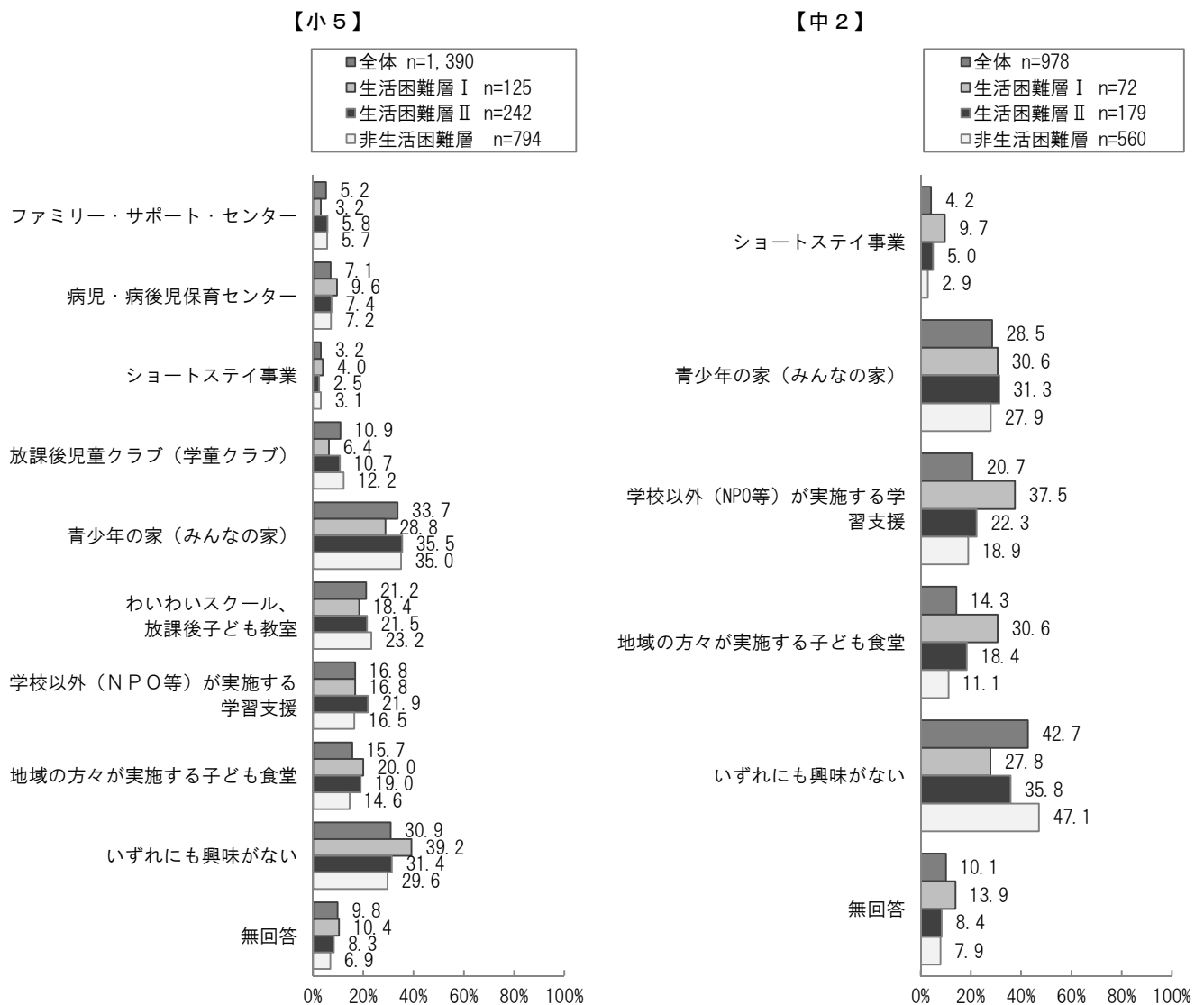
(3) 現在、これらの支援制度等を利用したいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○) <問 31-1>

利用したい支援制度については、「青少年の家」が、小5保護者 33.7%、中2保護者 28.5%となっており、「いずれにも興味がない」が、小5保護者 30.9%、中2保護者 42.7%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「地域の方々が実施する子ども食堂」が、非生活困難層よりも約6~19ポイント高くなっている。

図 9-3-1・図 9-3-2 利用したい支援制度



(4) あなたのご家庭では、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問32>

支援制度等の利用状況のうち、「利用したことがある」ものについては、いずれも「児童扶養手当」が最も高く、小5保護者 13.2%、中2保護者 15.6%となっている。
生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「④児童扶養手当」を「利用したことがある」が、非生活困難層よりも約41~47ポイント高くなっている。

図9-4-1① 支援制度等の利用状況 ①生活福祉資金（小5）

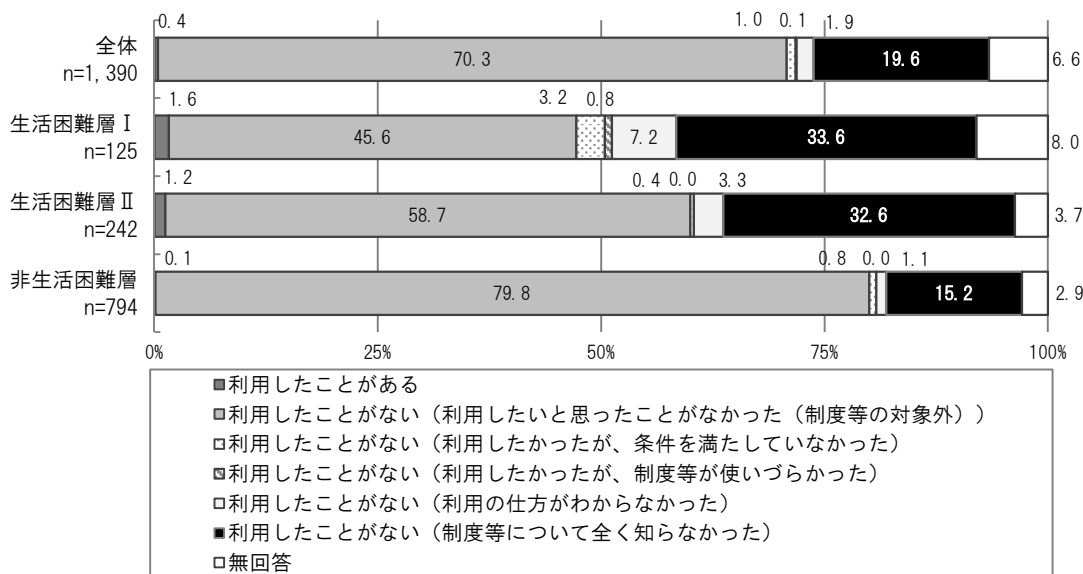


図9-4-1② 支援制度等の利用状況 ②生活保護（小5）

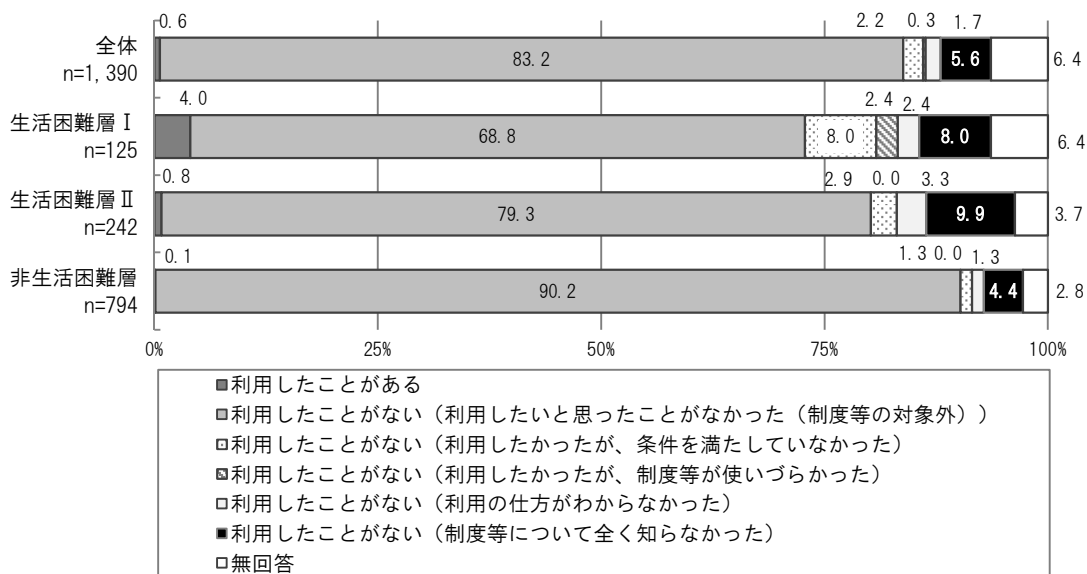


図 9-4-1③ 支援制度等の利用状況 ③母子及び父子福祉資金（小5）

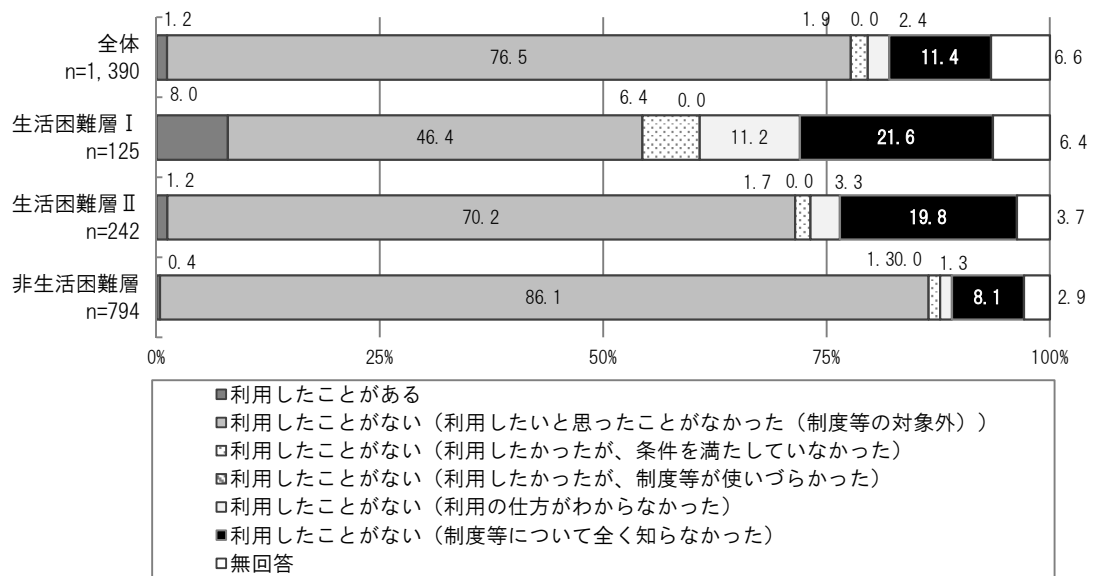


図 9-4-1④ 支援制度等の利用状況 ④児童扶養手当（小5）

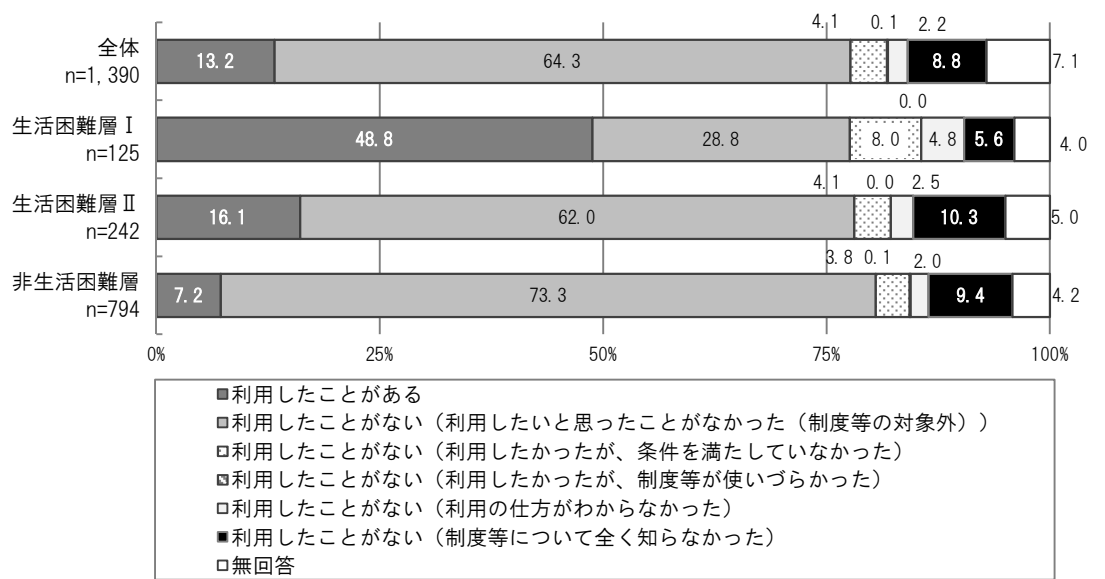


図 9-4-2① 支援制度等の利用状況 ①生活福祉資金（中2）

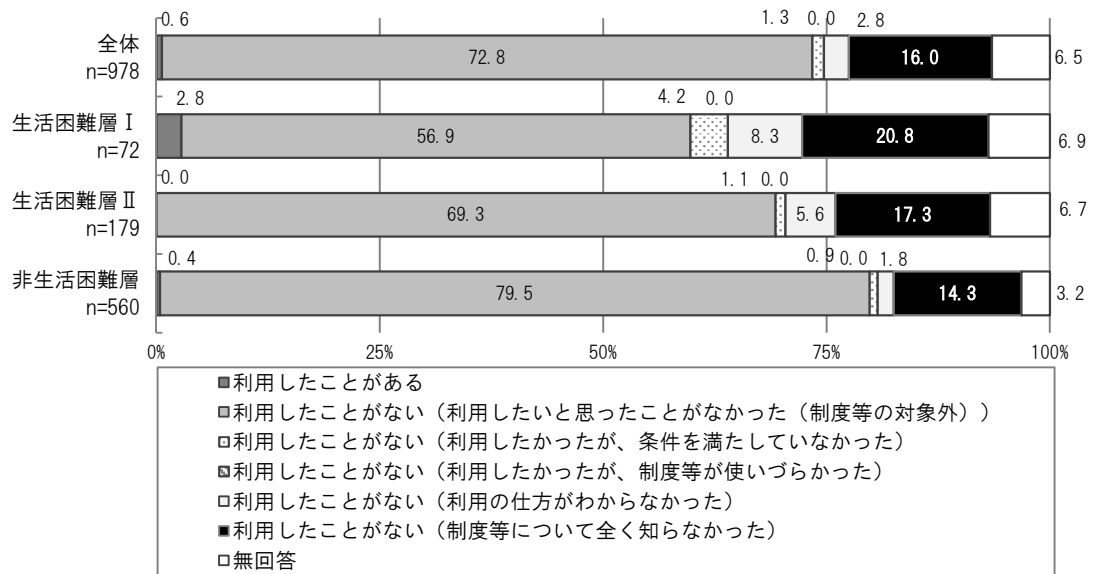


図 9-4-2② 支援制度等の利用状況 ②生活保護（中2）

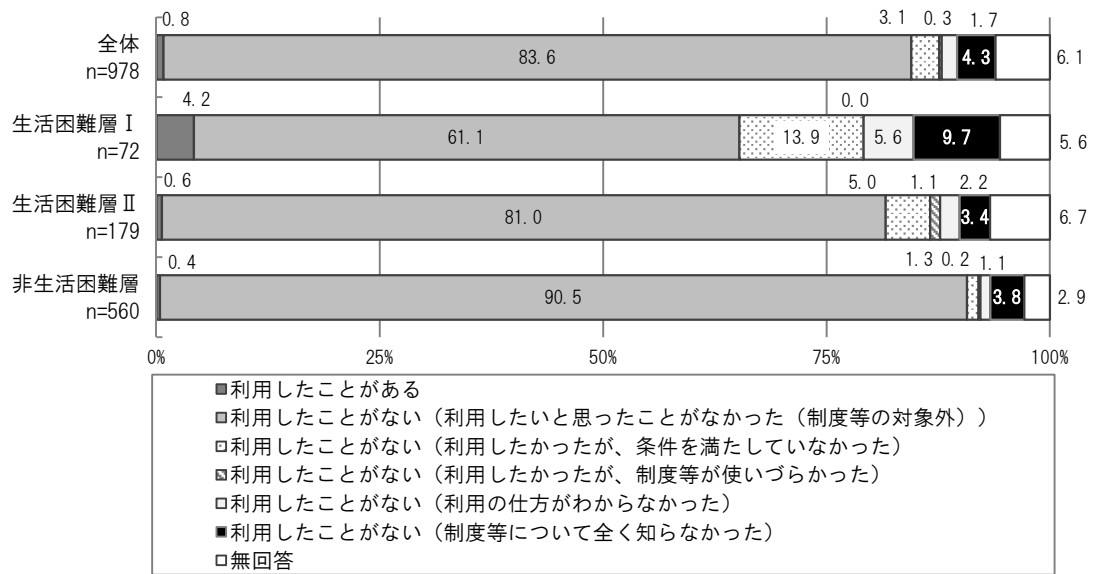


図 9-4-2③ 支援制度等の利用状況 ③母子及び父子福祉資金（中2）

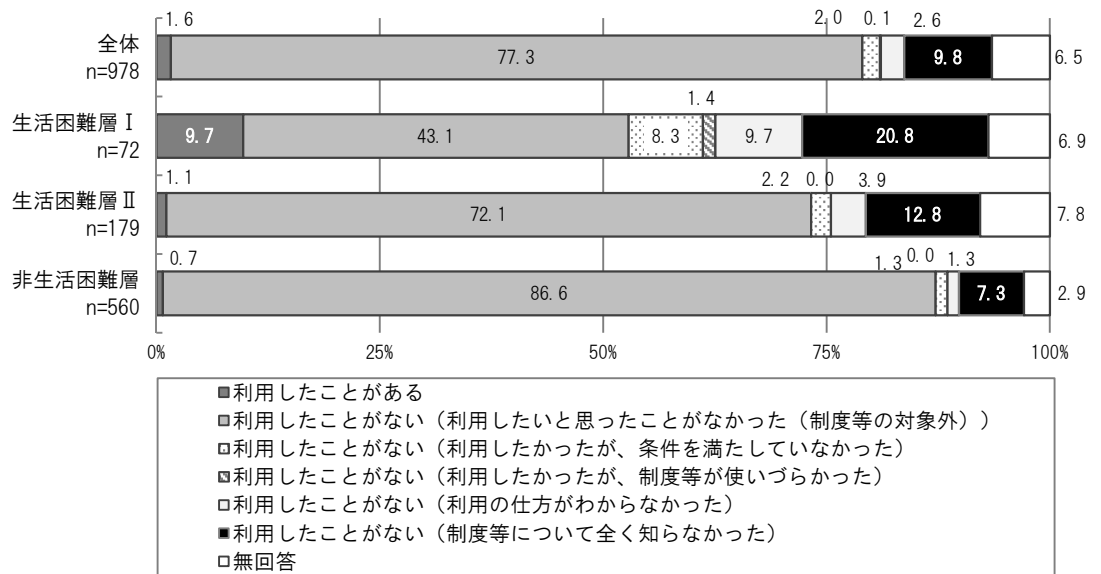
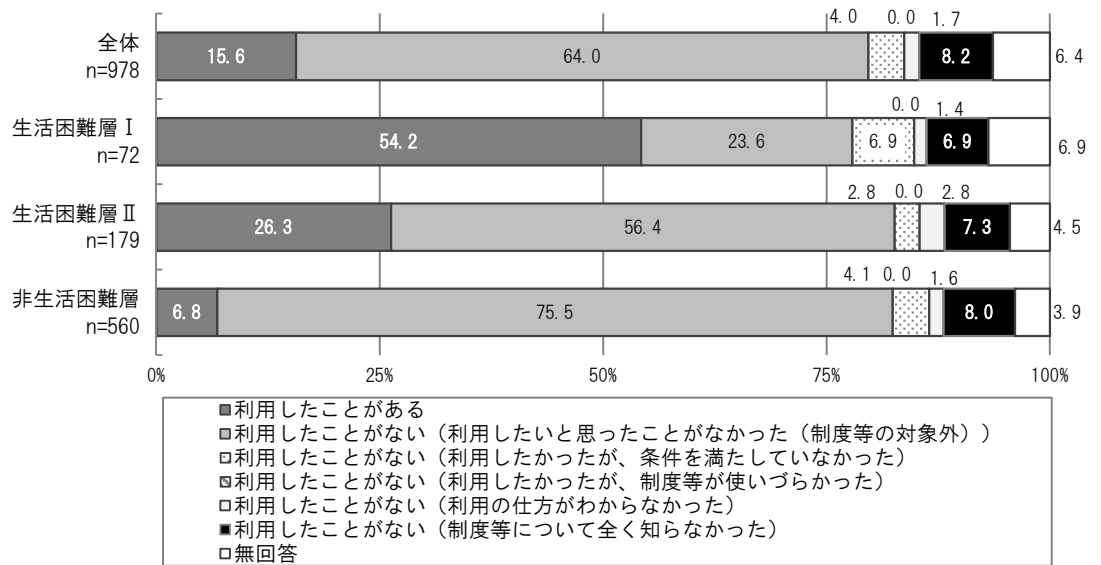


図 9-4-2④ 支援制度等の利用状況 ④児童扶養手当（中2）



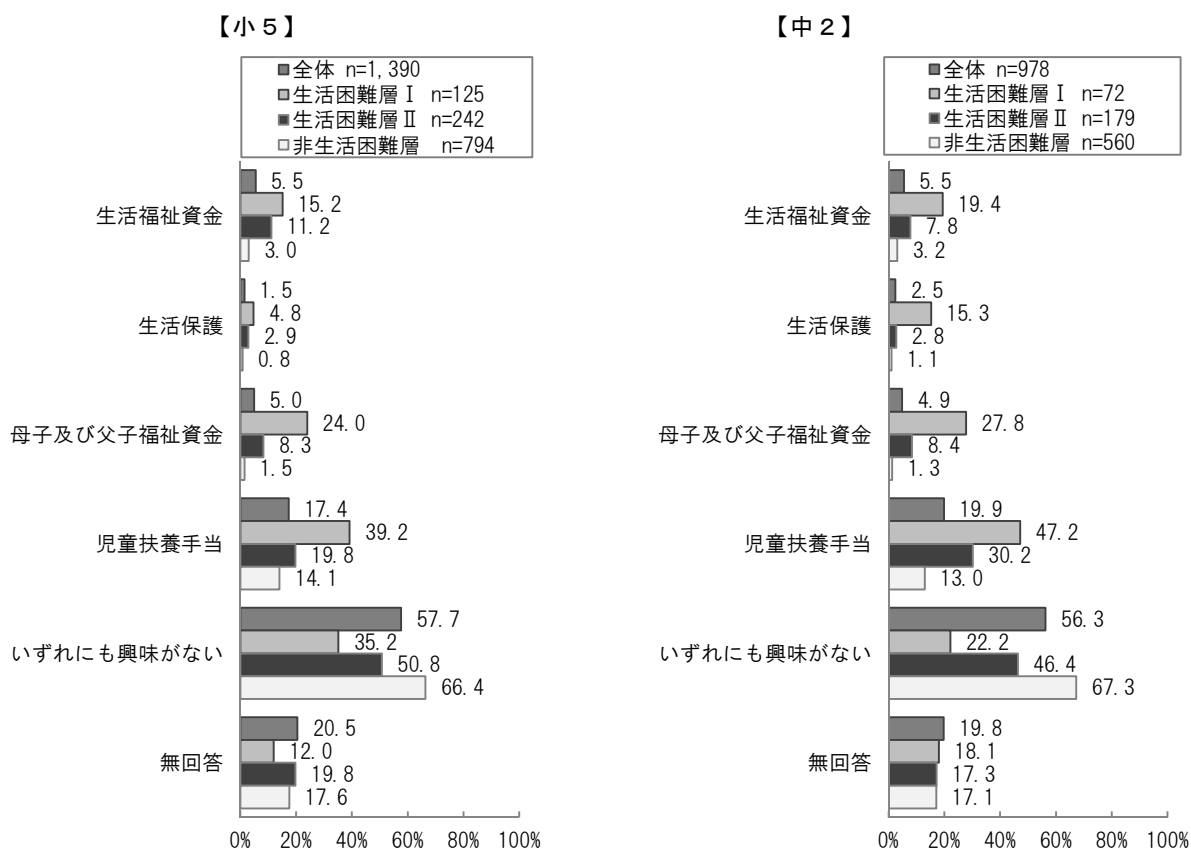
(5) 現在、これらの支援制度等を利用したいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○) <問 32-1>

利用したい支援制度等については、いずれも「いずれにも興味がない」が最も高く、小5保護者 57.7%、中2保護者 56.3%となっており、次いで「児童扶養手当」が、小5保護者 17.4%、中2保護者 19.9%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「児童扶養手当」が、非生活困難層よりも約25～34ポイント高くなっている。

図 9-5-1・図 9-5-2 利用したい支援制度



(6) あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親せき、同僚など）がいますか。（あてはまる番号1つに○）〈問33〉

本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人については、いずれも「いる」が、小5保護者 92.2%、中2保護者 91.6%となっており、「いない」が、小5保護者 6.0%、中2保護者 6.9%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、中2の生活困難層Ⅰでは「いる」が、非生活困難層よりも約14ポイント低くなっている。

図 9-6-1 本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（小5）

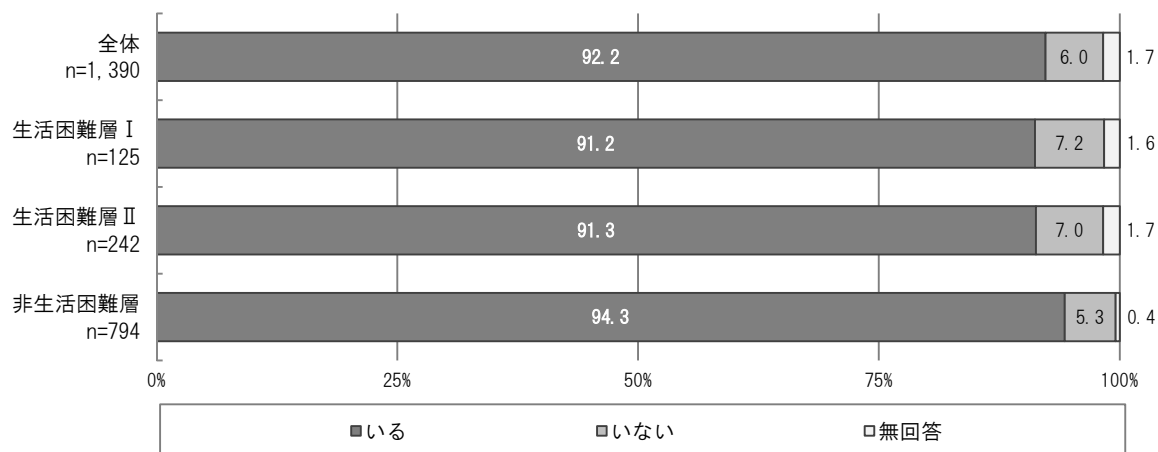
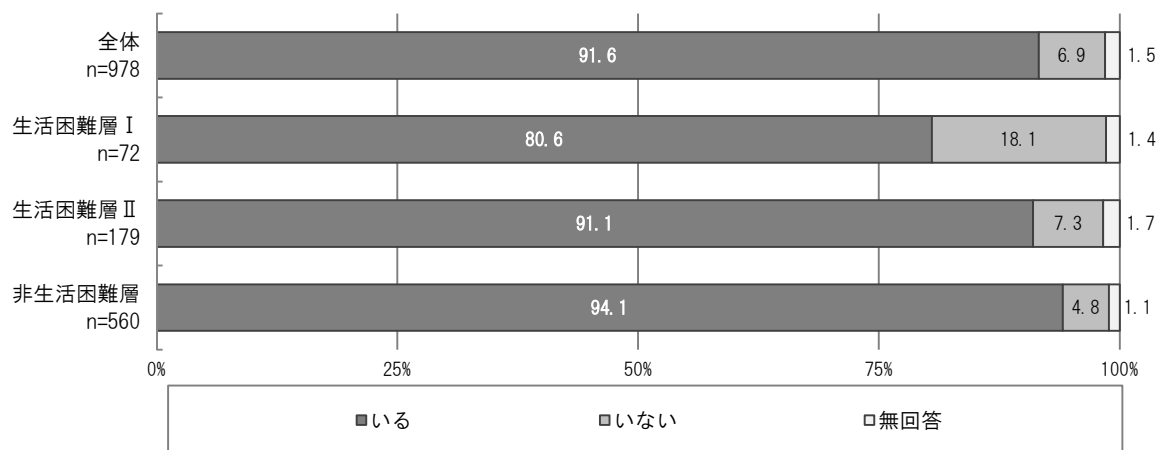


図 9-6-2 本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（中2）



(7) あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <問34>

支援制度等の利用状況のうち、「相談したことがある」ものについては、いずれも「学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」が最も高く、小5保護者45.1%、中2保護者41.4%となっており、次いで「ハローワーク」が、小5保護者23.2%、中2保護者25.4%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Iでは「①市役所の窓口」に「相談したことがある」が、非生活困難層よりも約19~22ポイント高くなっている。

図9-7-1① 公的機関への相談 ①市役所の窓口(小5)

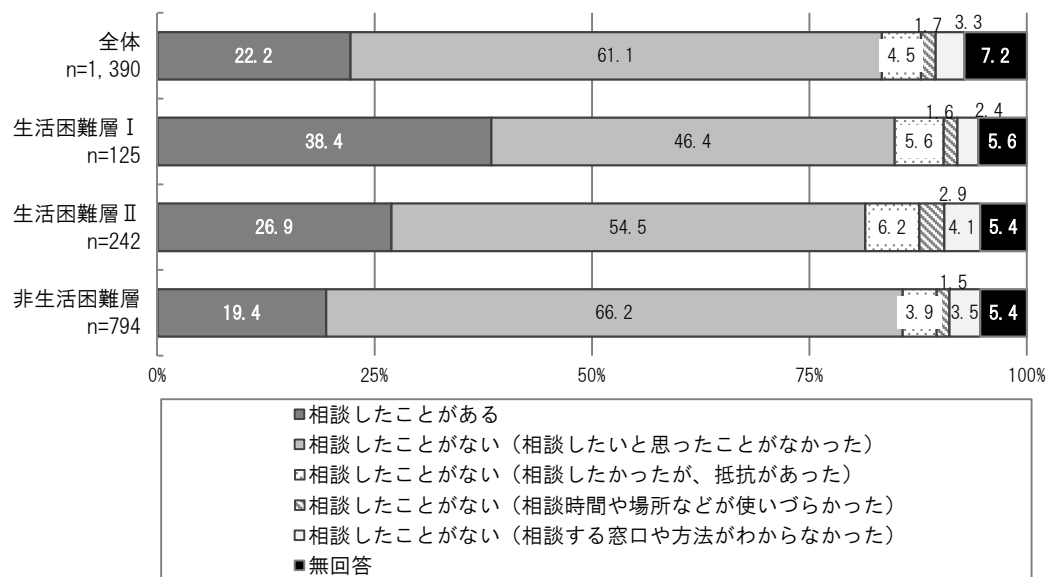


図9-7-1② 公的機関への相談 ②学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど(小5)

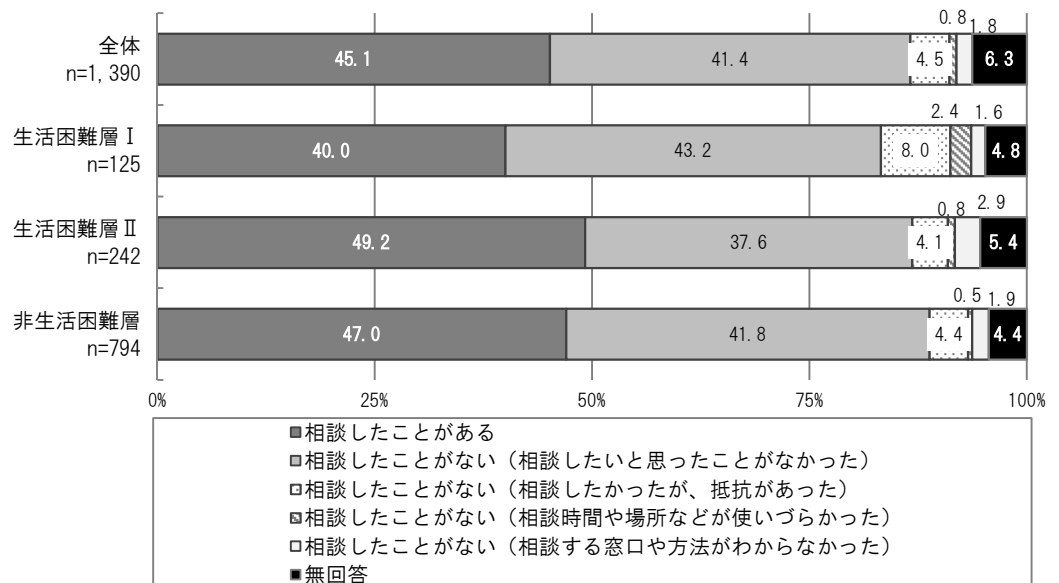


図 9-7-1③ 公的機関への相談 ③民生委員・児童委員（小5）

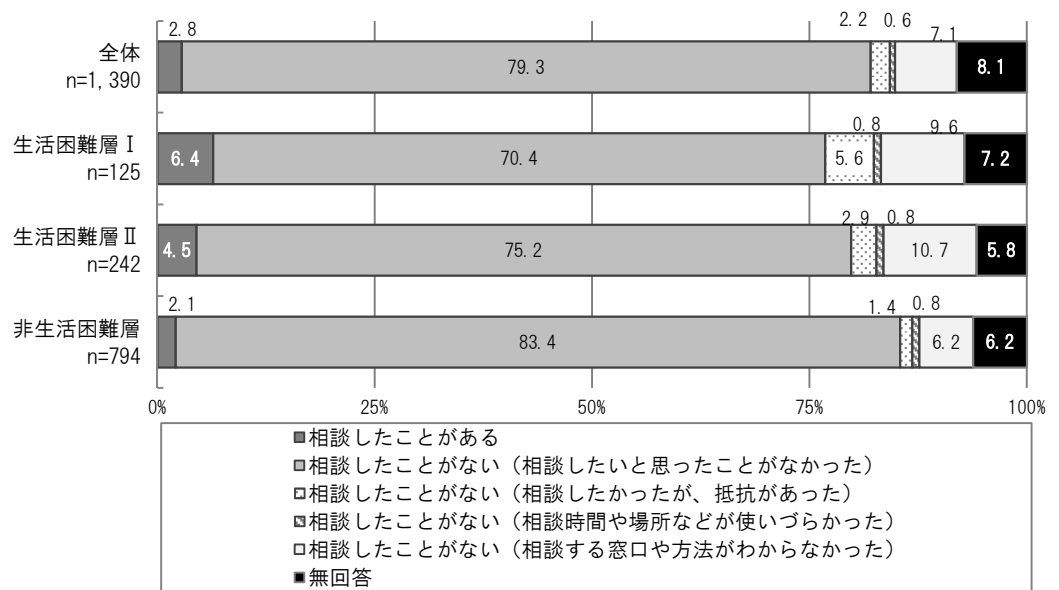


図 9-7-1④ 公的機関への相談 ④健康福祉センター（小5）

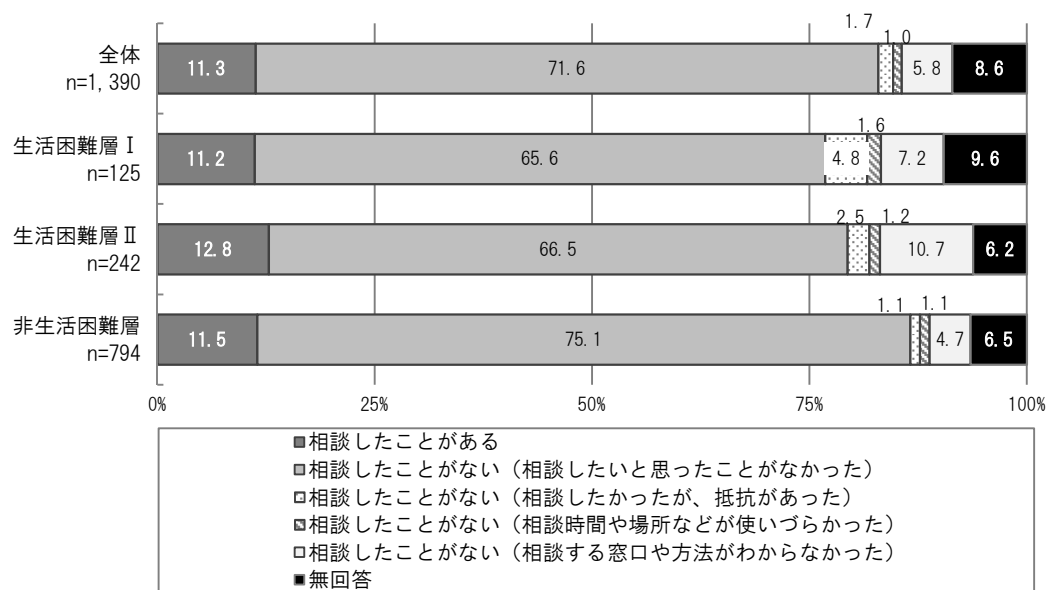


図 9-7-1⑤ 公的機関への相談 ⑤ハローワーク（小5）

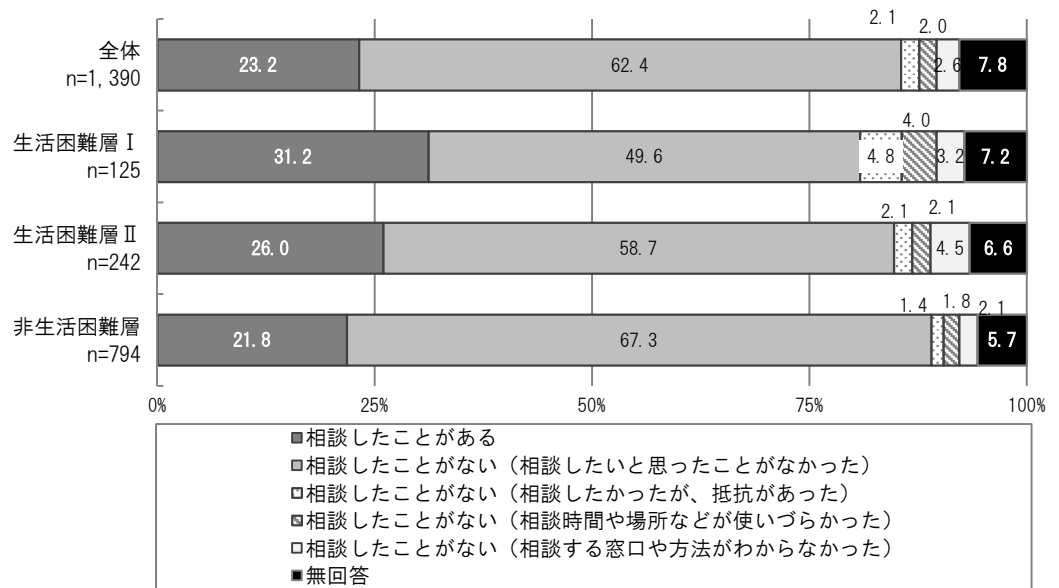


図 9-7-1⑥ 公的機関への相談 ⑥上記以外の公的機関（小5）

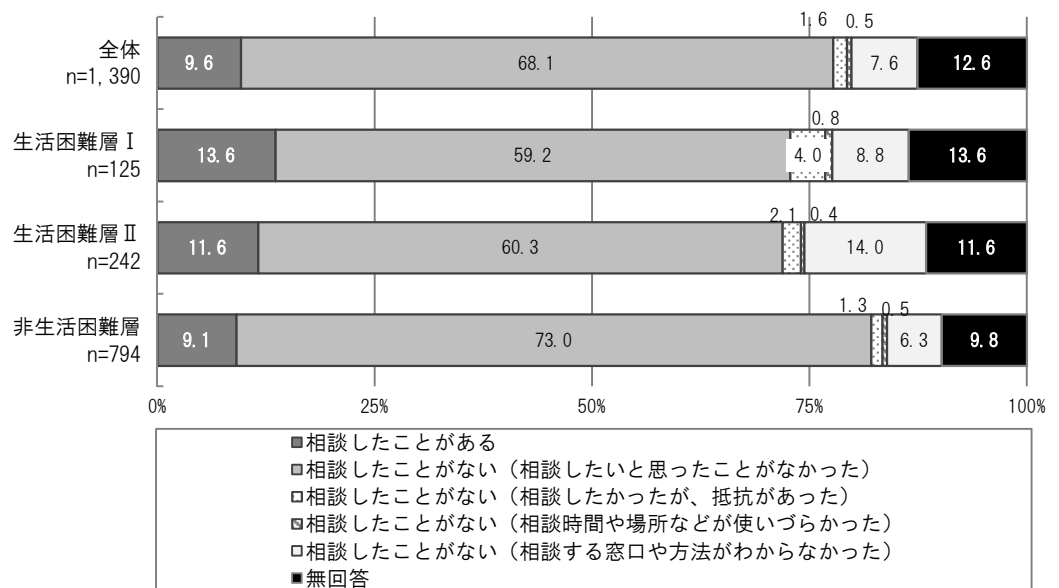


図 9-7-2① 公的機関への相談 ①市役所の窓口（中2）

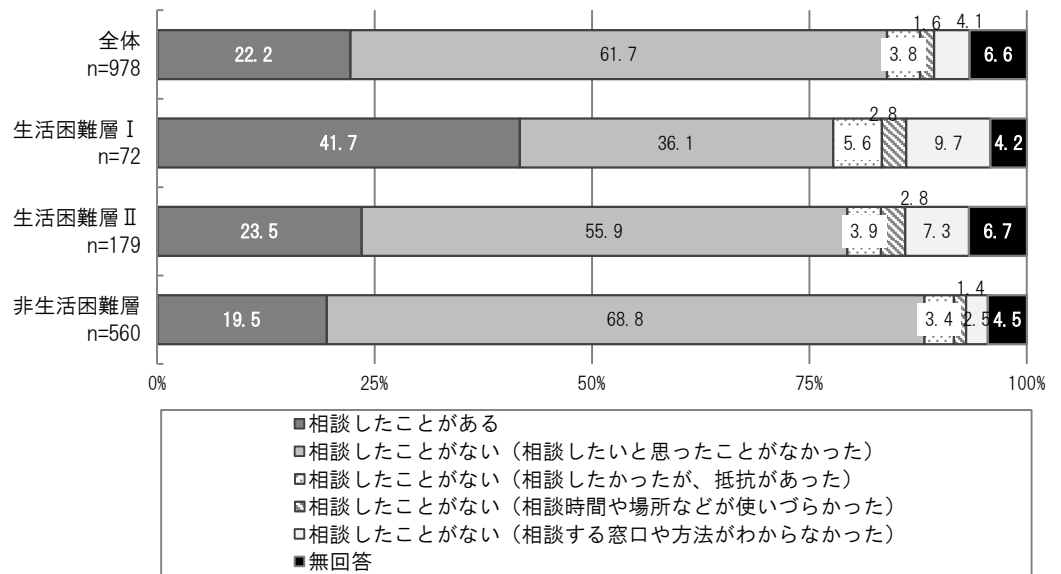


図 9-7-2② 公的機関への相談 ②学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど（中2）

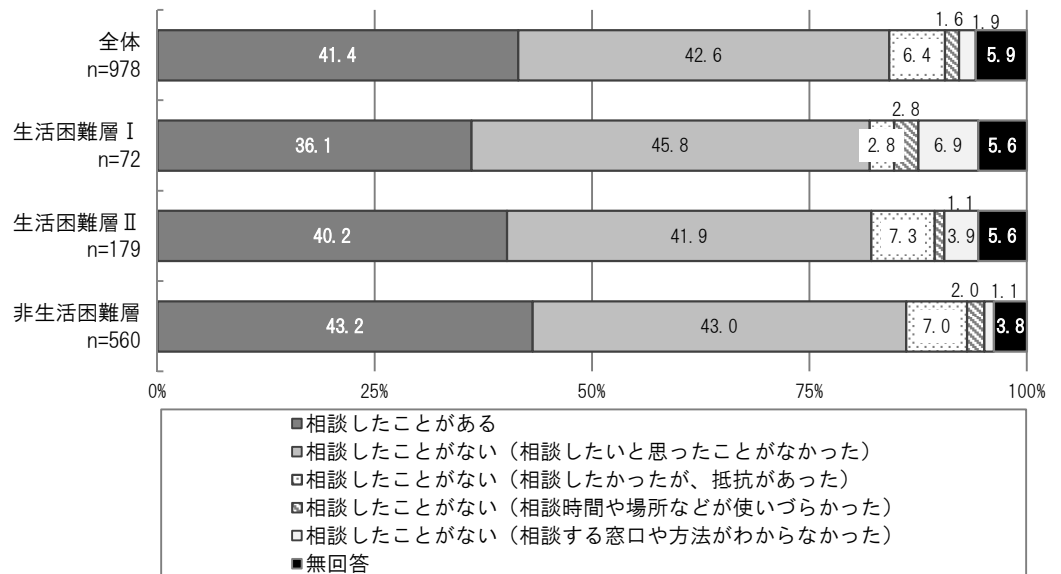


図 9-7-2③ 公的機関への相談 ③民生委員・児童委員（中2）

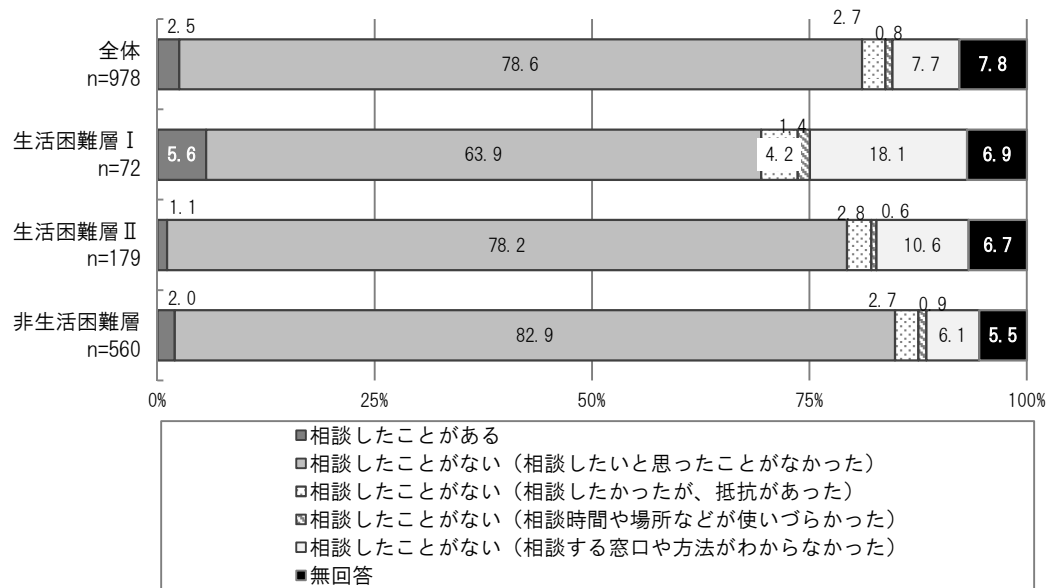


図 9-7-2④ 公的機関への相談 ④健康福祉センター（中2）

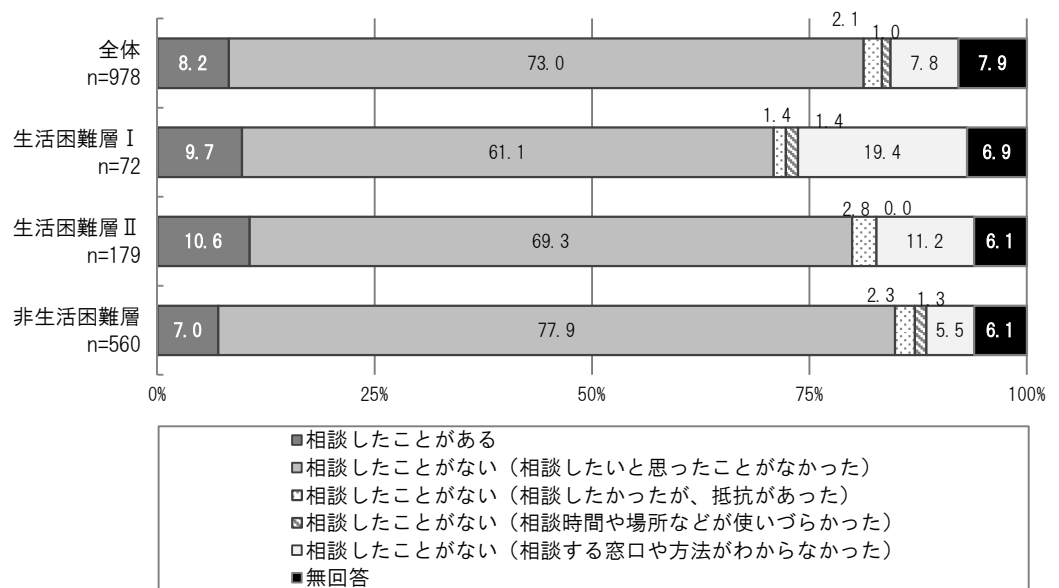


図 9-7-2⑤ 公的機関への相談 ⑤ハローワーク（中2）

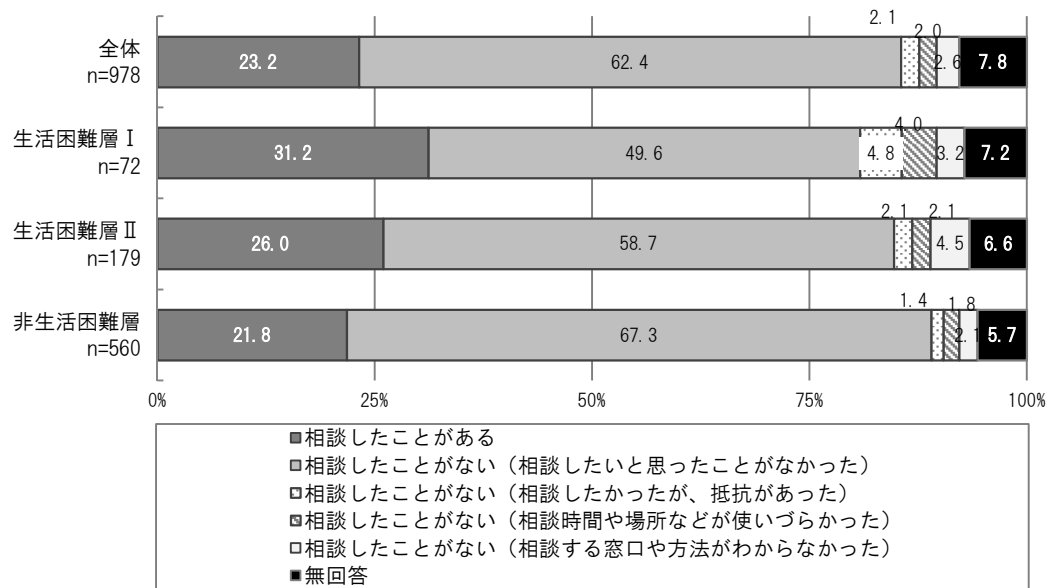
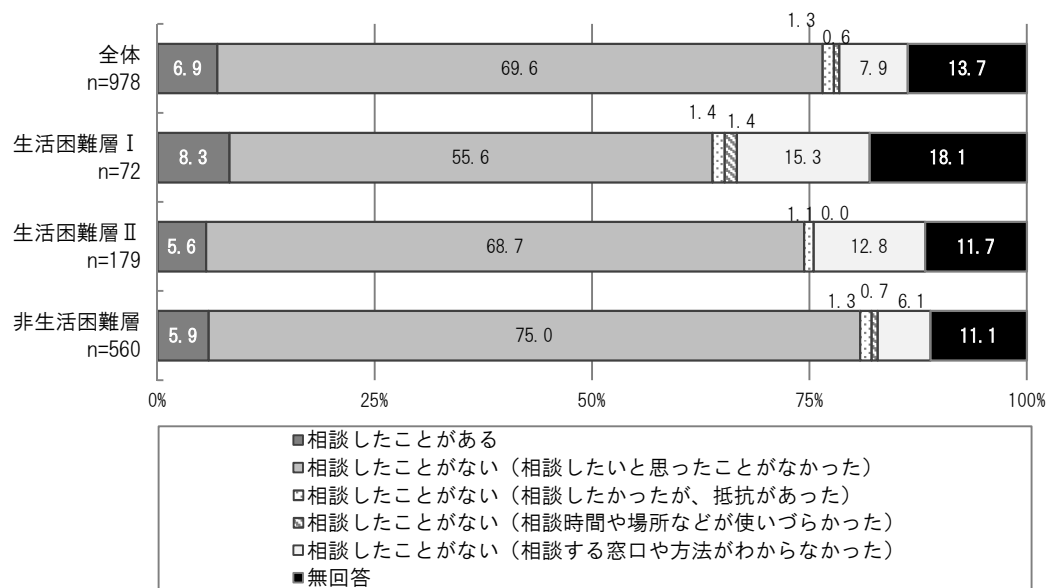


図 9-7-2⑥ 公的機関への相談 ⑥上記以外の公的機関（中2）



10 自由回答

(1) 子育てで困っていることや、子育て支援に関してなど、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。〈問 35〉

子育てで困っていることや、子育て支援に関しての意見について、小5保護者では1,390人中416人から自由回答が寄せられた。「教育費」が14.9%と最も高く、次いで「放課後の居場所」が12.7%、「給食」が7.9%となっている。

中2保護者では978人中291人から自由回答が寄せられた。「教育費」が28.9%と最も高く、「医療・医療費」が11.0%、「学校教育・教師」が8.6%となっている。

図 10-1 子育てで困っていることや、子育て支援に関する意見（小5）

| | 件数 | 割合（％） |
|----------------|-----|-------|
| 子育て環境について | | |
| 子育ての仕方 | 17 | 4.1 |
| 放課後の居場所 | 53 | 12.7 |
| 子どもの居場所・あそび場 | 21 | 5.0 |
| 子どもの体験 | 5 | 1.2 |
| 子どもの友人関係・いじめ | 5 | 1.2 |
| 保護者間の人間関係 | 1 | 0.2 |
| ひとり親家庭 | 10 | 2.4 |
| 発達支援・障害支援 | 19 | 4.6 |
| 保護者や子ども向けイベント | 1 | 0.2 |
| 病気や急な時の対応 | 8 | 1.9 |
| 学校について | | |
| 学校教育・教師 | 21 | 5.0 |
| 給食 | 33 | 7.9 |
| 部活動・クラブ活動・習い事等 | 5 | 1.2 |
| 学力・進学 | 9 | 2.2 |
| 不登校 | 2 | 0.5 |
| その他、学校への要望 | 10 | 2.4 |
| 子育て支援等について | | |
| 市の子育て支援 | 8 | 1.9 |
| 市の施設 | 3 | 0.7 |
| 相談 | 14 | 3.4 |
| 子育て等の情報 | 8 | 1.9 |
| 一時預かり | 9 | 2.2 |
| その他、市への要望 | 23 | 5.5 |
| 医療・経済的問題について | | |
| 医療・医療費 | 28 | 6.7 |
| 教育費 | 62 | 14.9 |
| その他、経済的問題 | 8 | 1.9 |
| その他 | | |
| 将来への不安 | 3 | 0.7 |
| 仕事と子育ての関係 | 17 | 4.1 |
| 記入世帯以外の周囲の家族 | 1 | 0.2 |
| 移動への支援 | 2 | 0.5 |
| 防犯・安全 | 6 | 1.4 |
| 地域との関係 | 3 | 0.7 |
| その他 | 9 | 2.2 |
| 特になし | 45 | 10.8 |
| 全 体 | 416 | |

図 10-2 子育てで困っていることや、子育て支援に関する意見（中2）

| | 件数 | 割合 (%) |
|----------------|-----|--------|
| 子育て環境について | | |
| 子育ての仕方 | 16 | 5.5 |
| 放課後の居場所 | 10 | 3.4 |
| 子どもの居場所・あそび場 | 6 | 2.1 |
| 子どもの友人関係・いじめ | 4 | 1.4 |
| 保護者間の人間関係 | 1 | 0.3 |
| ひとり親家庭 | 11 | 3.8 |
| 発達支援・障害支援 | 5 | 1.7 |
| 保護者や子ども向けイベント | 1 | 0.3 |
| 学校について | | |
| 学校教育・教師 | 25 | 8.6 |
| 給食 | 14 | 4.8 |
| 部活動・クラブ活動・習い事等 | 7 | 2.4 |
| 学力・進学 | 8 | 2.7 |
| 不登校 | 4 | 1.4 |
| その他、学校への要望 | 14 | 4.8 |
| 子育て支援等について | | |
| 市の子育て支援 | 8 | 2.7 |
| 市の施設 | 6 | 2.1 |
| 相談 | 11 | 3.8 |
| 子育て等の情報 | 7 | 2.4 |
| その他、市への要望 | 8 | 2.7 |
| 医療・経済的問題について | | |
| 医療・医療費 | 32 | 11.0 |
| 教育費 | 84 | 28.9 |
| その他、経済的問題 | 9 | 3.1 |
| その他 | | |
| 将来への不安 | 4 | 1.4 |
| 仕事と子育ての関係 | 7 | 2.4 |
| 記入世帯以外の周囲の家族 | 1 | 0.3 |
| 移動への支援 | 4 | 1.4 |
| 防犯・安全 | 4 | 1.4 |
| 地域との関係 | 2 | 0.7 |
| その他 | 1 | 0.3 |
| 特になし | 36 | 12.4 |
| 全 体 | 291 | |

第 4 章

児童・生徒調査

1 普段の生活について

(1) あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <小5・中2 問1>

使うことができるものについて、「ある」ものは「自宅で宿題をすることができる場所」が最も高く、小5は94.8%、中2は95.2%となっている。「ない(ほしい)」ものは「携帯音楽プレーヤーなど」が最も高く、小5は34.4%、中2は24.0%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰ及びⅡでは「ある」ものとして、「インターネットにつながるパソコン」が非生活困難層よりも約9~15ポイント低くなっている。また、中2の生活困難層Ⅰでは「ない(ほしい)」ものは「携帯電話、スマートフォン」が、非生活困難層よりも約14ポイント高くなっている。

図 1-1-1 使うことができるもの ① 自分だけの本(小5)

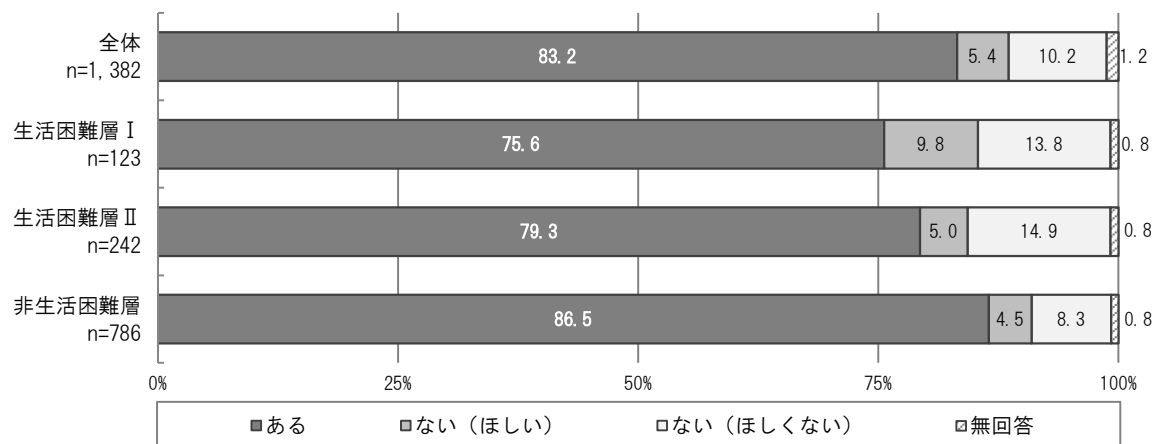


図 1-1-2 使うことができるもの ② 子ども部屋(小5)

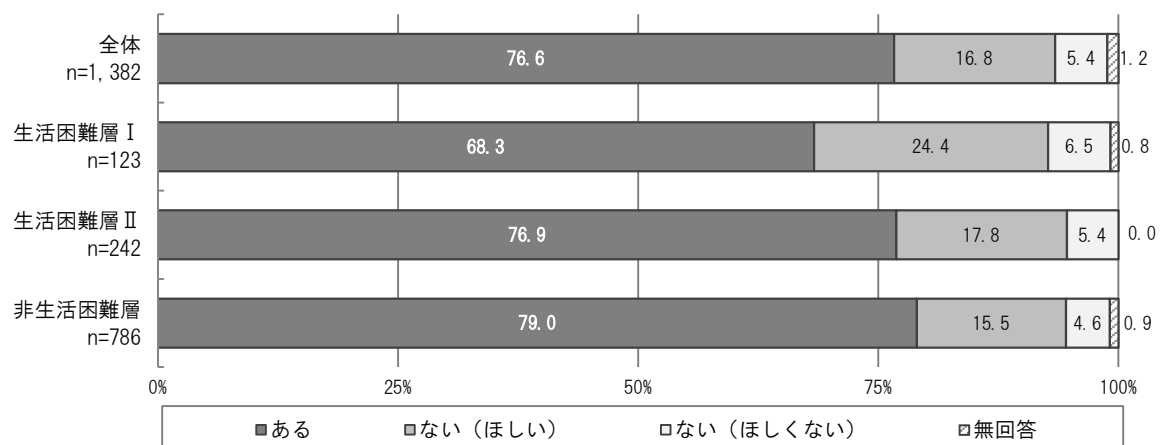


図 1-1-3 使うことができるもの ③ インターネットにつながるパソコン (小5)

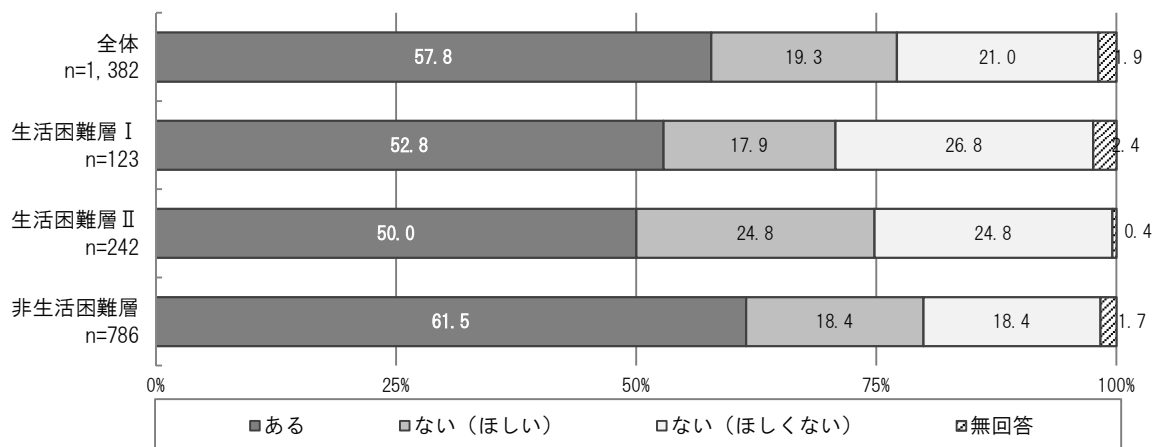


図 1-1-4 使うことができるもの ④ 自宅で宿題をすることができる場所 (小5)

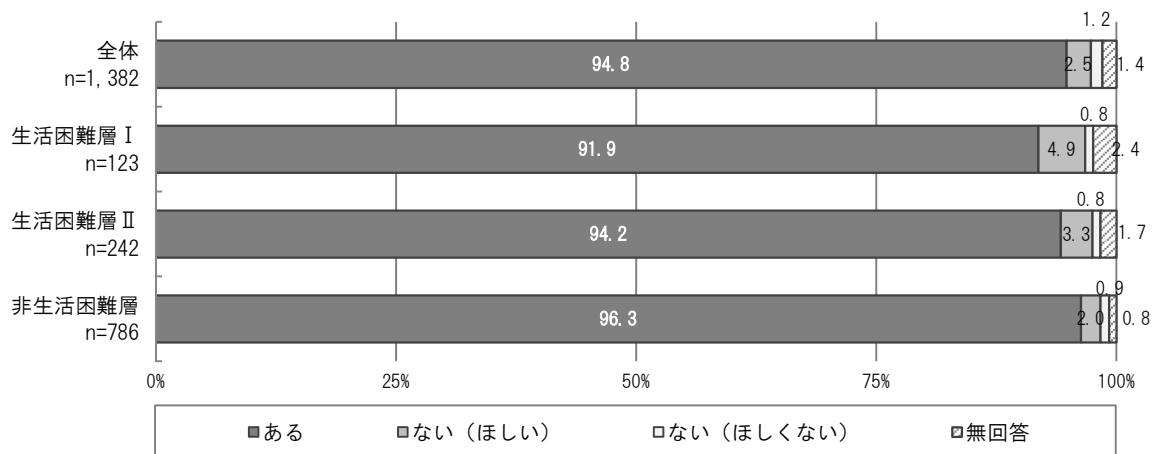


図 1-1-5 使うことができるもの ⑤ 自分専用の勉強机 (小5)

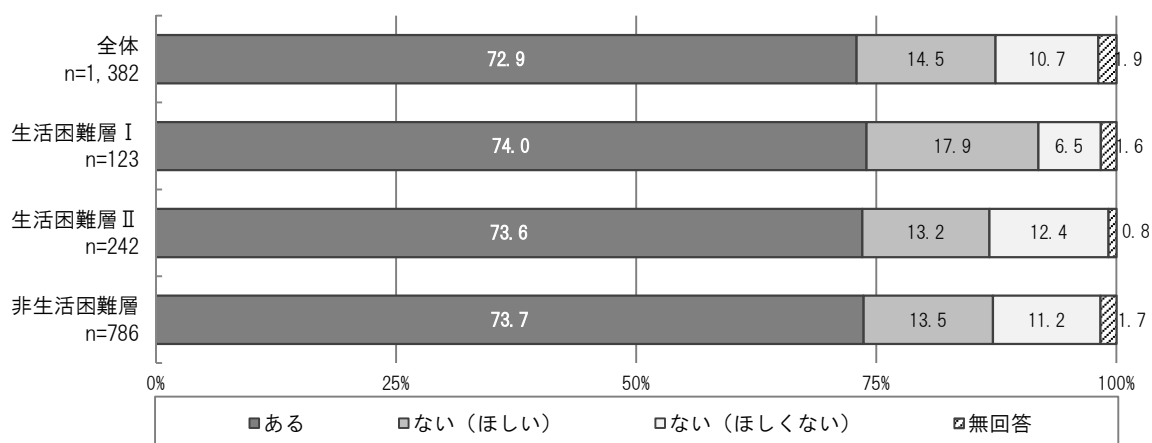


図 1-1-6 使うことができるもの ⑥ スポーツ用品 (小5)

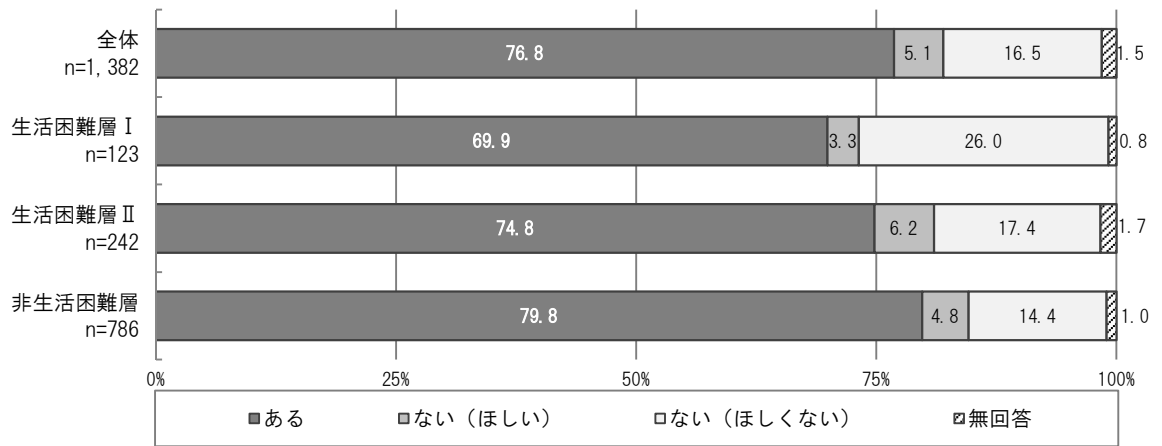


図 1-1-7 使うことができるもの ⑦ ゲーム機 (小5)

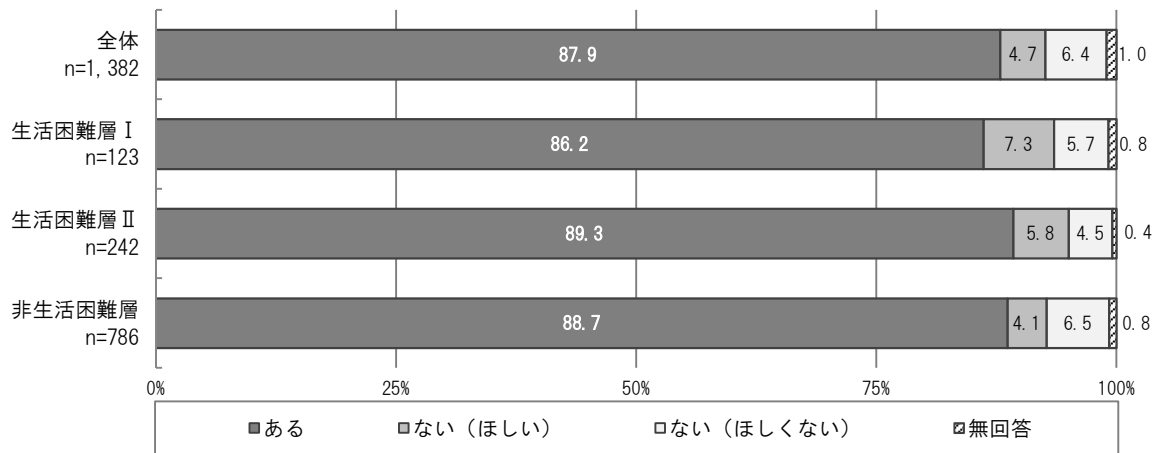


図 1-1-8 使うことができるもの ⑧ まわりの友だちが持っているおもちゃ、文房具 (小5)

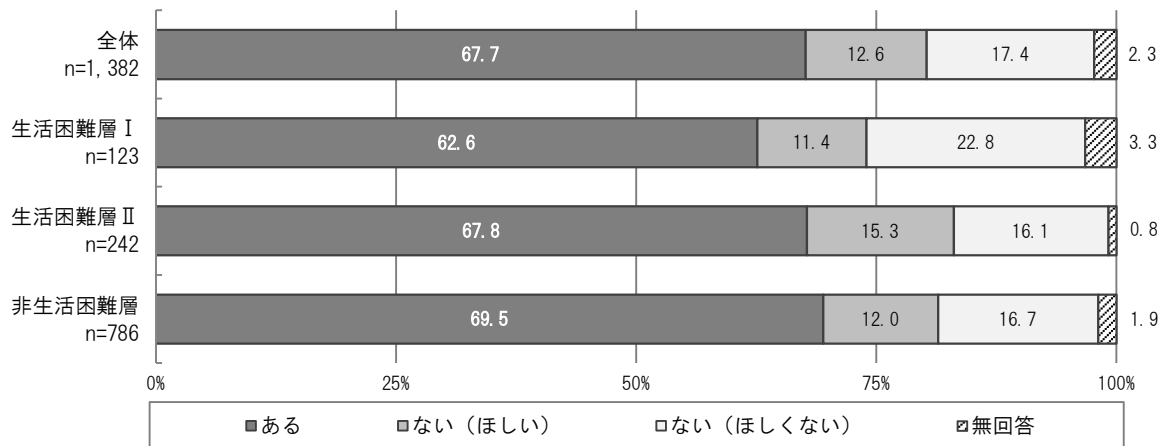


図 1-1-9 使うことができるもの ⑨ 自転車（小5）

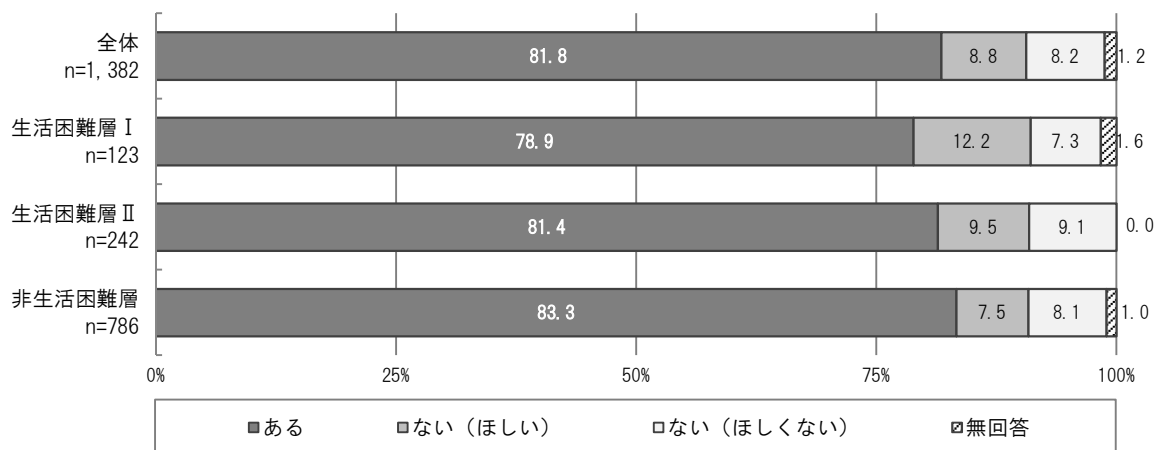


図 1-1-10 使うことができるもの ⑩ おやつ、おもちゃ、文房具を買うおこづかい（小5）

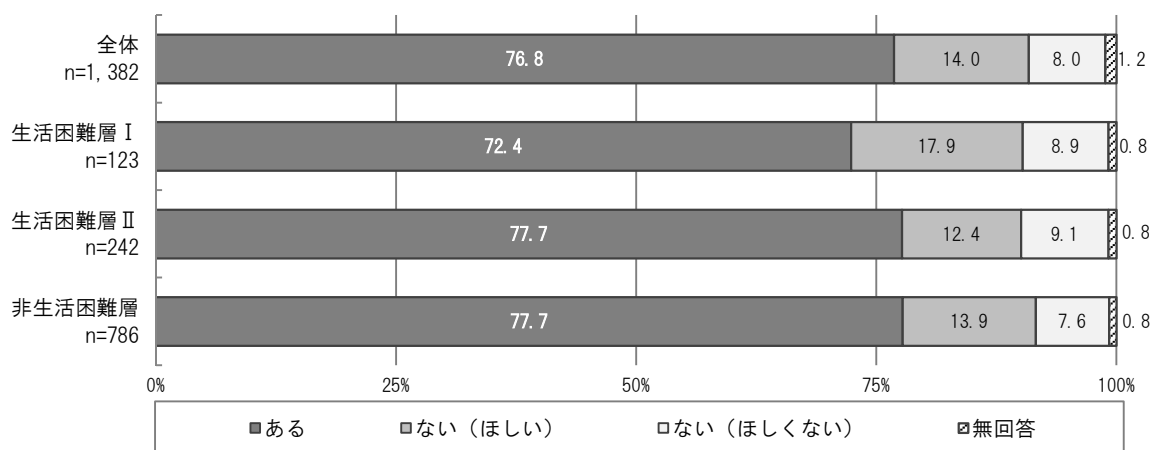


図 1-1-11 使うことができるもの ⑪ 友だちが着ているのと同じような服（小5）

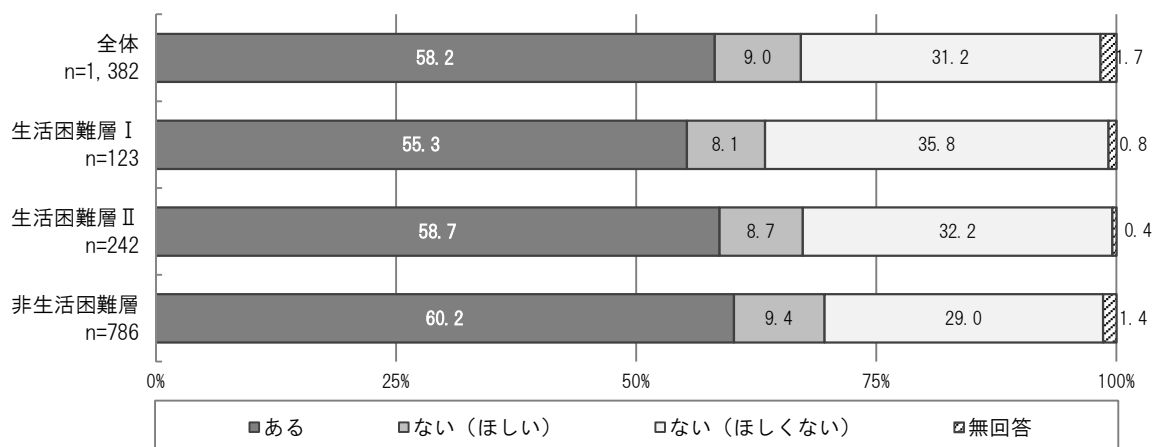


図 1-1-12 使うことができるもの ⑫ ふだん、はく靴2足以上（小5）

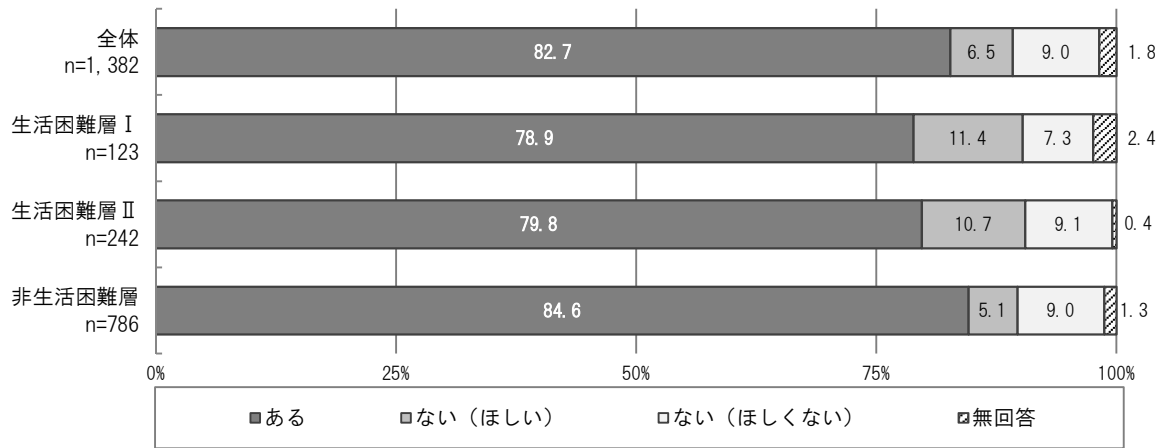


図 1-1-13 使うことができるもの ⑬ けいたい電話、スマートフォン（小5）

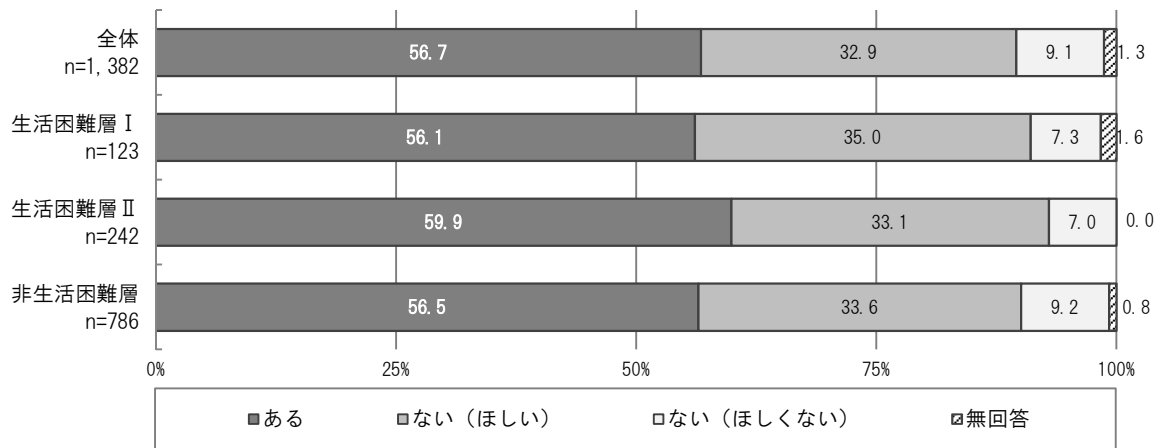


図 1-1-14 使うことができるもの ⑭ けいたい音楽プレーヤーなど（小5）

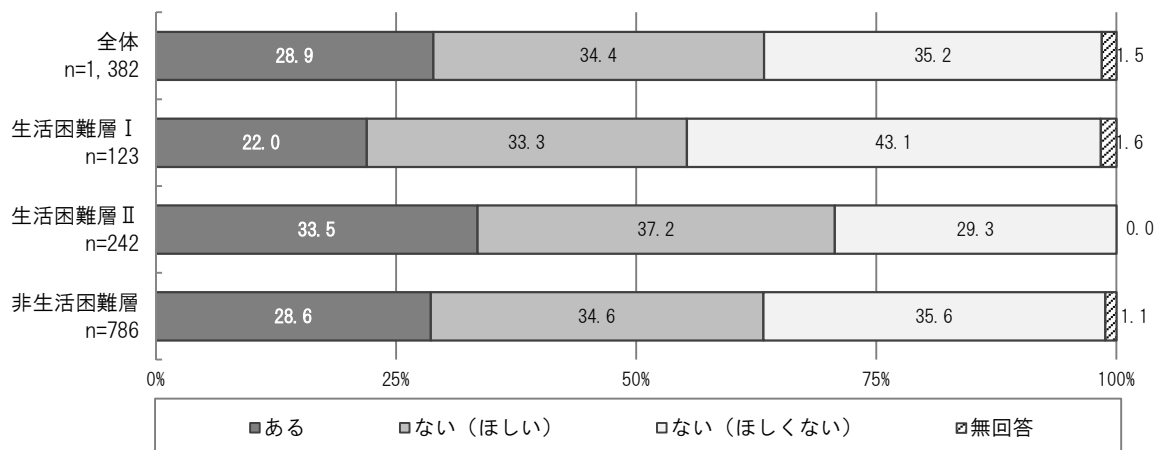


図 1-1-15 使うことができるもの ① 自分だけの本（中2）

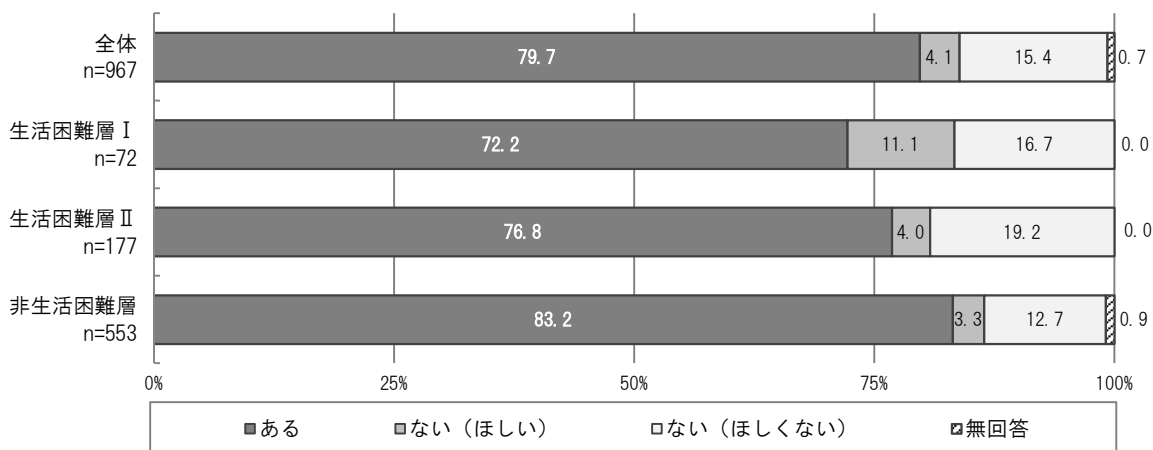


図 1-1-16 使うことができるもの ② 子ども部屋（中2）

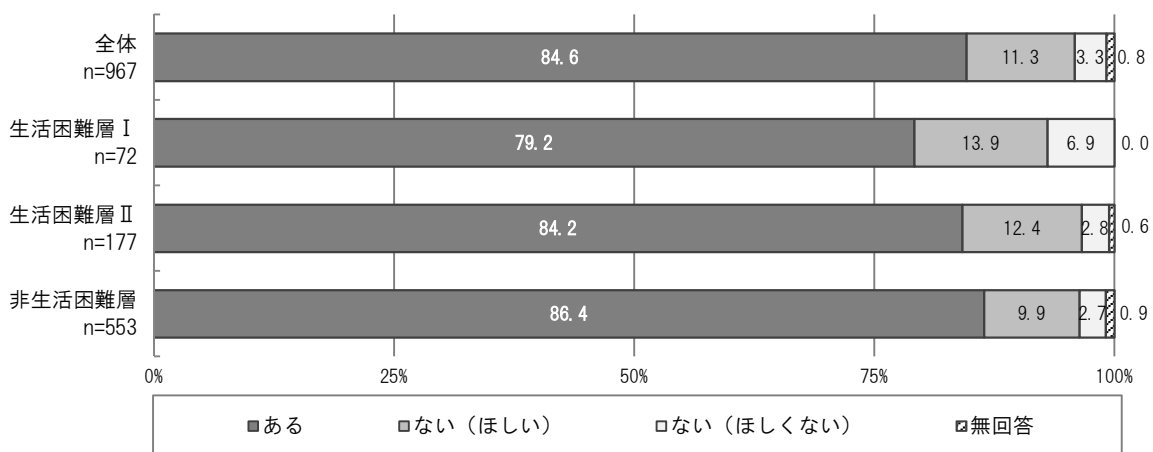


図 1-1-17 使うことができるもの ③ インターネットにつながるパソコン（中2）

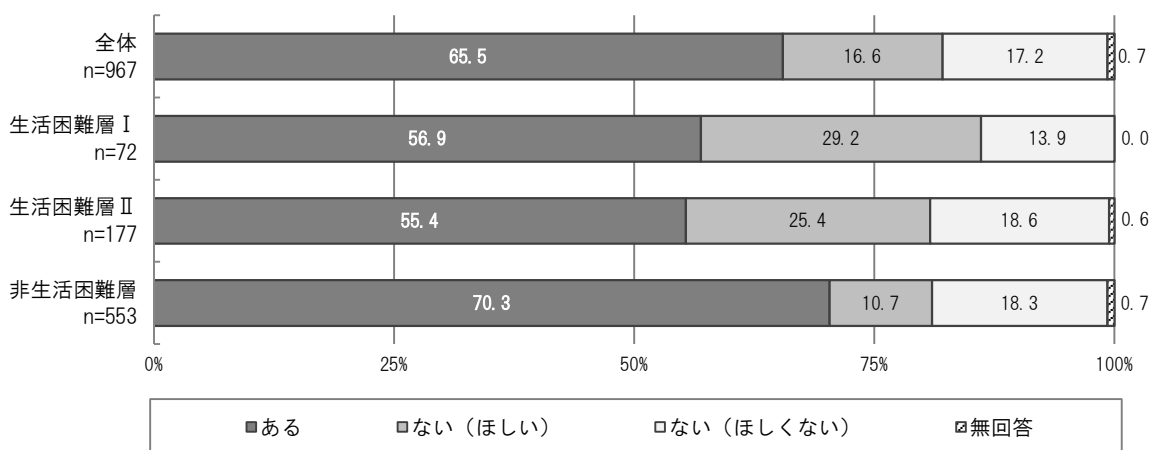


図 1-1-18 使うことができるもの ④ 自宅で宿題をすることができる場所 (中2)

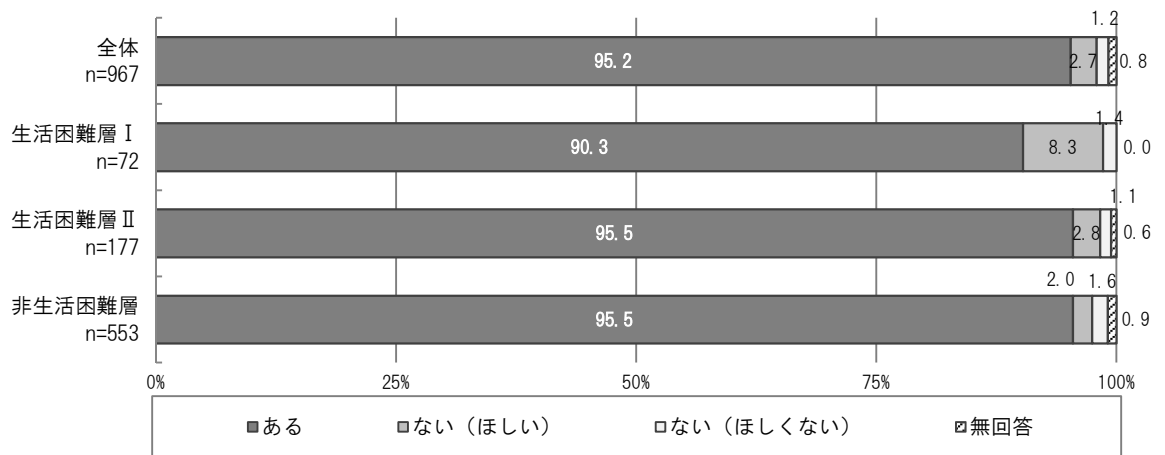


図 1-1-19 使うことができるもの ⑤ 自分専用の勉強机 (中2)

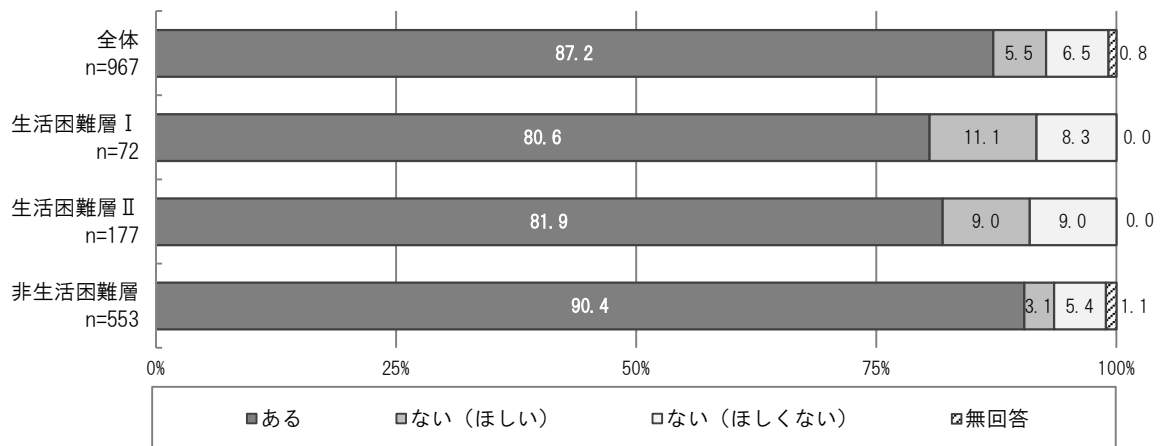


図 1-1-20 使うことができるもの ⑥ スポーツ用品 (中2)

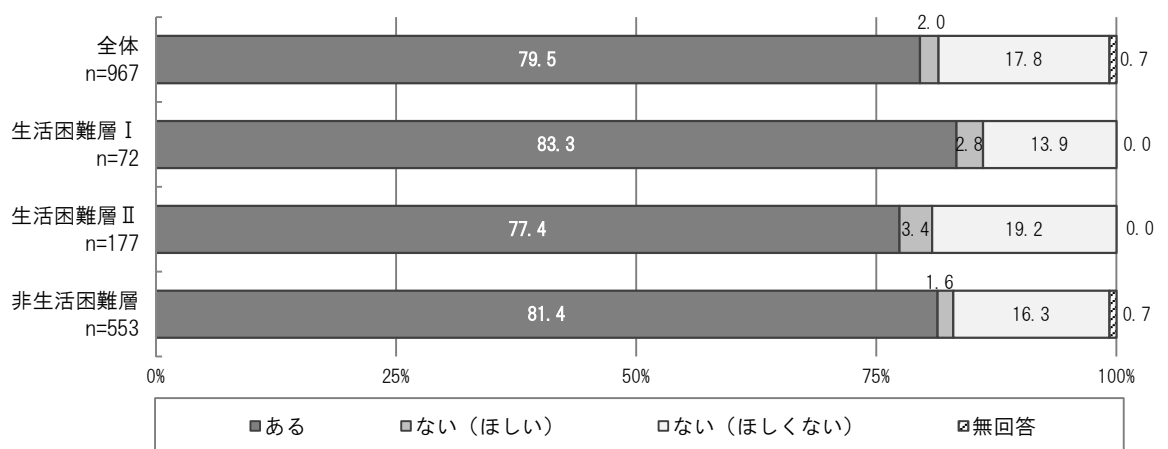


図 1-1-21 使うことができるもの ⑦ ゲーム機（中2）

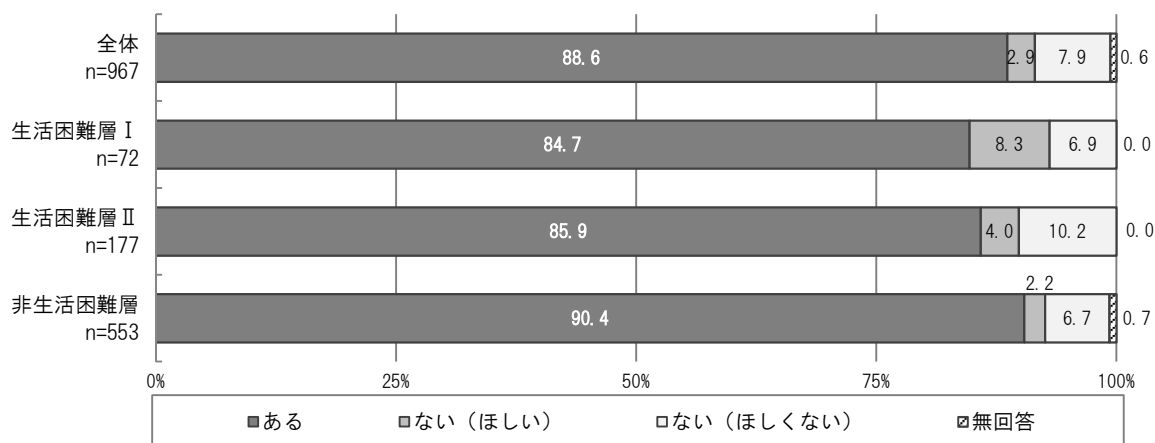


図 1-1-22 使うことができるもの ⑧ まわりの友だちが持っているおもちゃ、ヘアアクセリ-、文房具、小物等（中2）

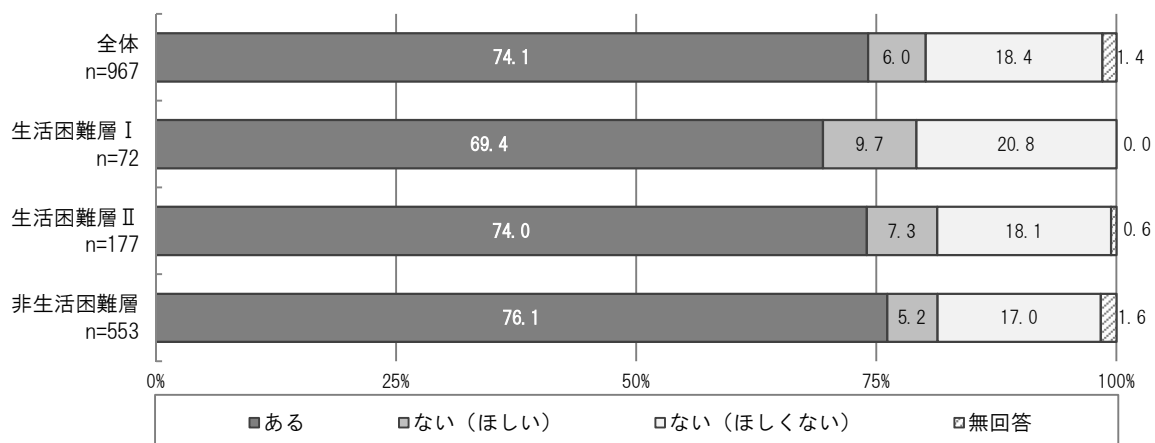


図 1-1-23 使うことができるもの ⑨ 自転車（中2）

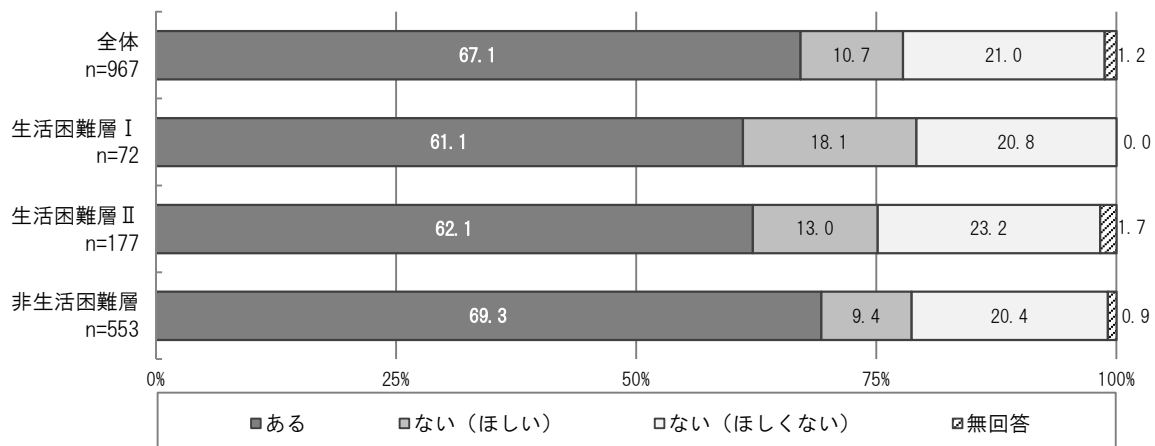


図 1-1-24 使うことができるもの ⑩ おやつ、おもちゃ、アクセサリー、文房具、小物等を買うおこづかい（中2）

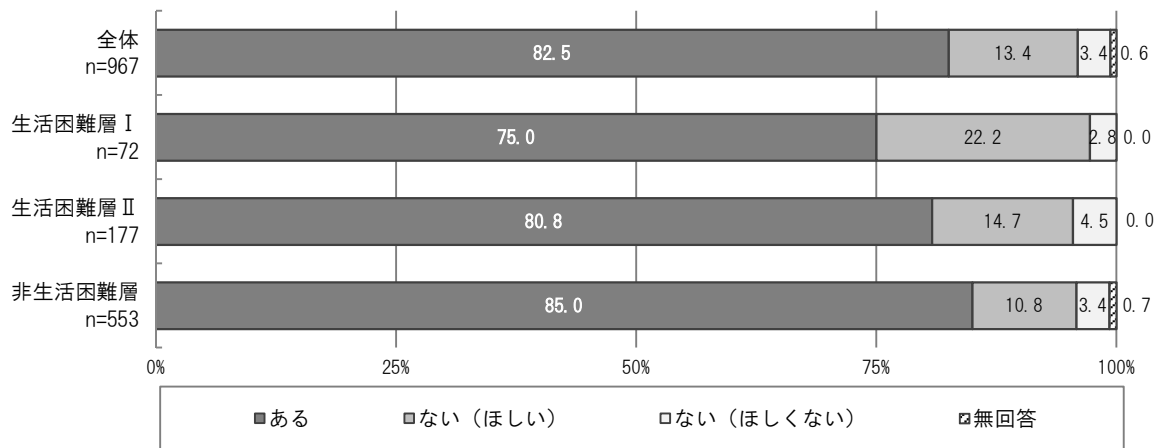


図 1-1-25 使うことができるもの ⑪ 友だちが着ているのと同じような服（中2）

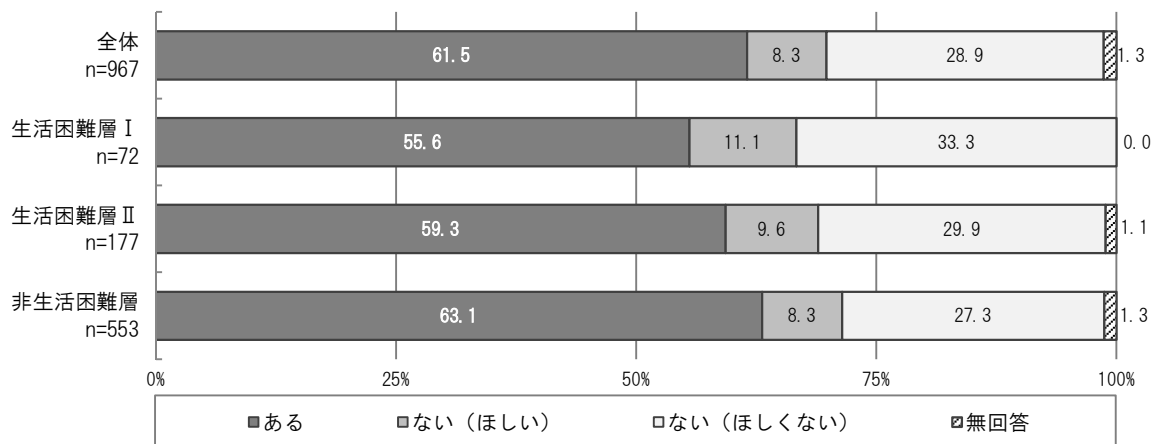


図 1-1-26 使うことができるもの ⑫ ふだん、はく靴2足以上（中2）

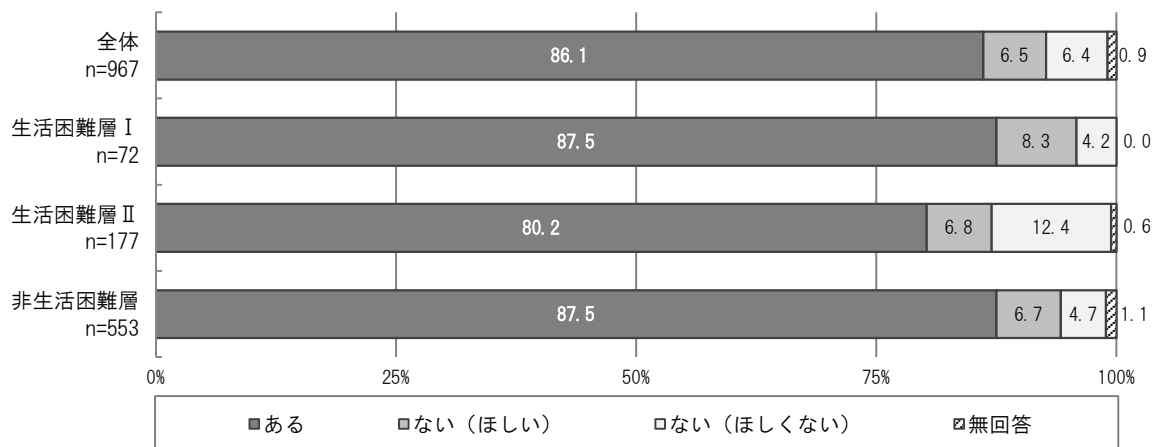


図 1-1-27 使うことができるもの ⑬ 携帯電話、スマートフォン（中2）

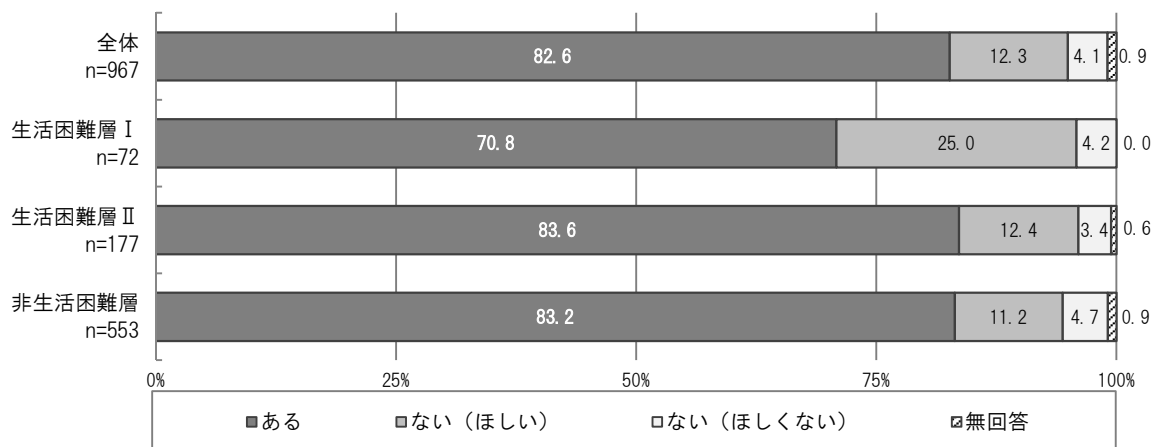
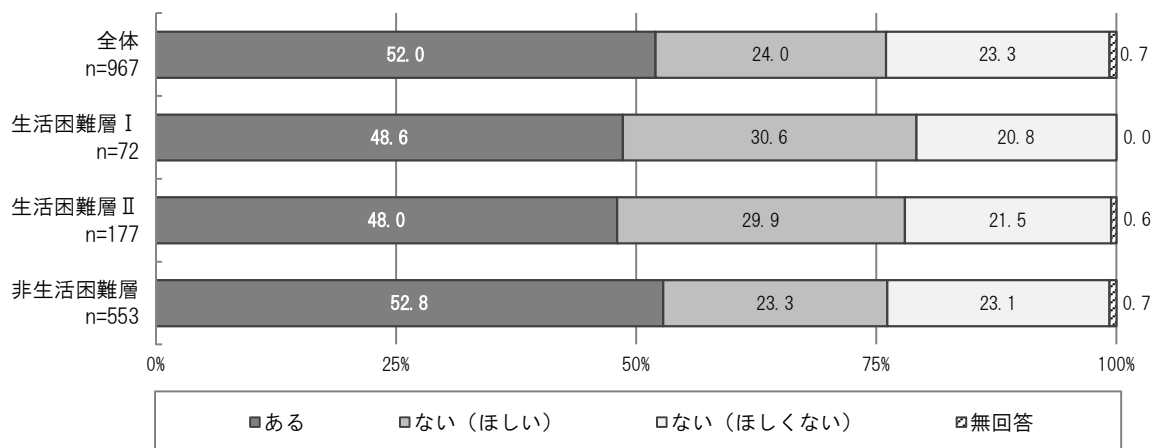


図 1-1-28 使うことができるもの ⑭ 携帯音楽プレーヤーなど（中2）



(2) 平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)はだれと過ごしますか。
 一緒に過ごす時間が一番長い人に○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)
 <小5・中2 問2>

帰宅後に一緒に過ごす人について、小5では「家族」が49.3%と最も高く、次いで「学校の友だち」が24.7%となっている。

中2では「学校の友だち」が49.5%と最も高く、次いで「家族」が34.1%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、小5の生活困難層Iでは「家族」が、非生活困難層よりも10ポイント高くなっている。

図 1-2-1 帰宅後に一緒に過ごす人(小5)

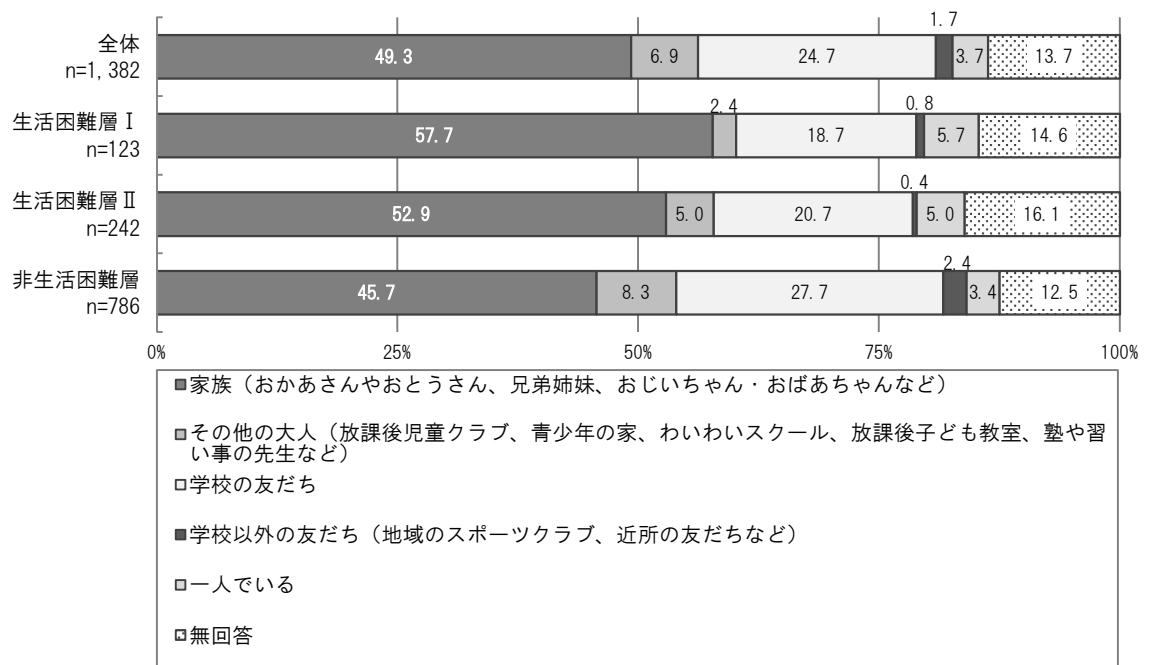
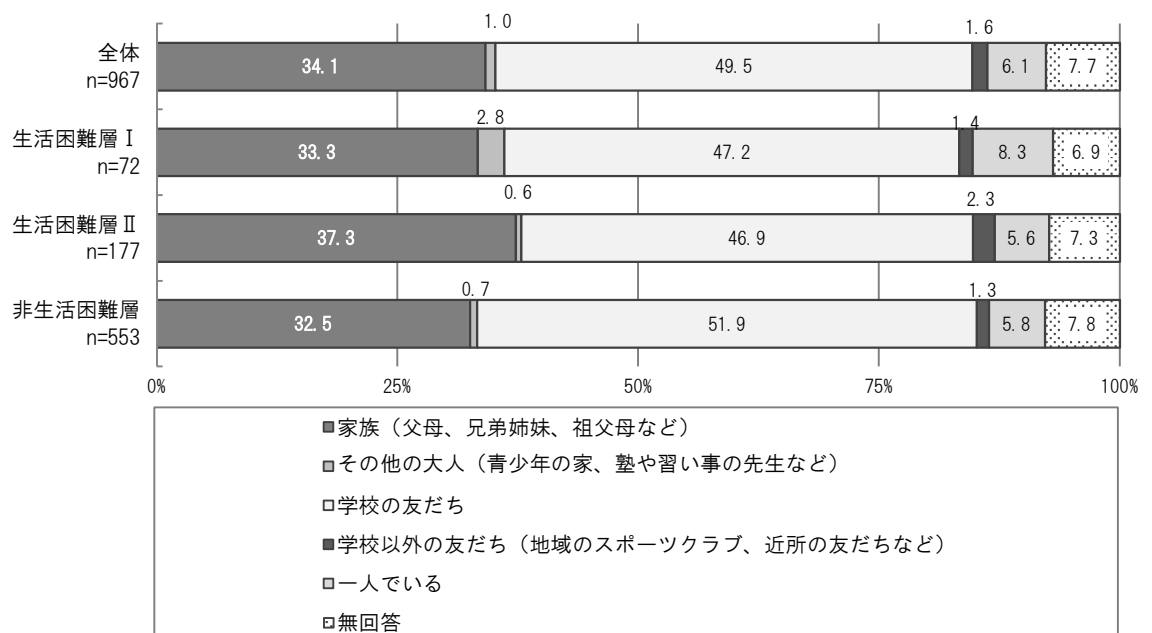


図 1-2-2 帰宅後に一緒に過ごす人(中2)



(3) 平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。
 1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。
 （それぞれ、あてはまる番号1つに○）〈小5・中2 問3〉

放課後に過ごす場所について、「毎日」過ごす場所は「自分の家」が小5は42.8%、中2は50.9%、「学校（クラブ活動など）」が小5は8.7%、中2は51.0%となっている。
 生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「毎日」過ごす場所は「自分の家」が、非生活困難層よりも約6ポイント高くなっている。

図 1-3-1 放課後に過ごす場所 ① 自分の家（小5）

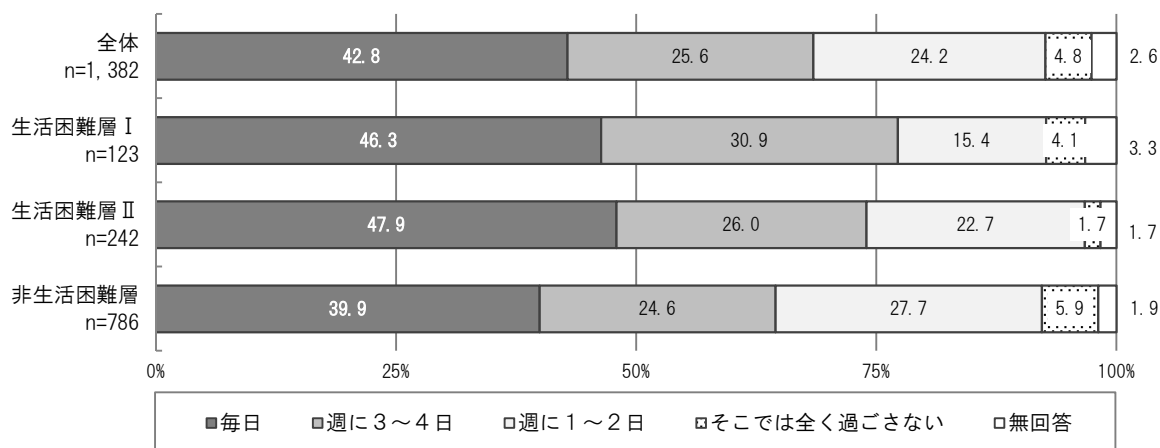


図 1-3-2 放課後に過ごす場所 ② 友だちの家（小5）

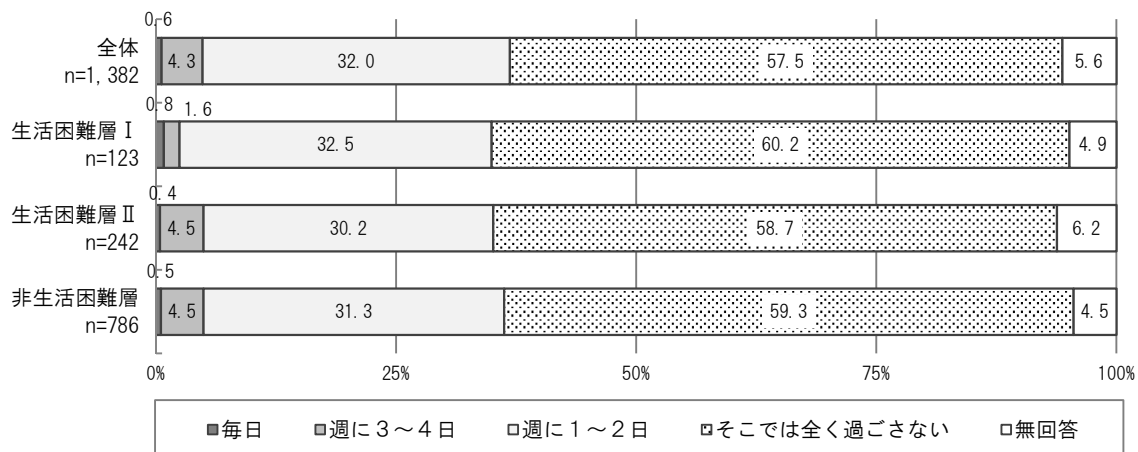


図 1-3-3 放課後に過ごす場所 ③ 塾や習い事 (小5)

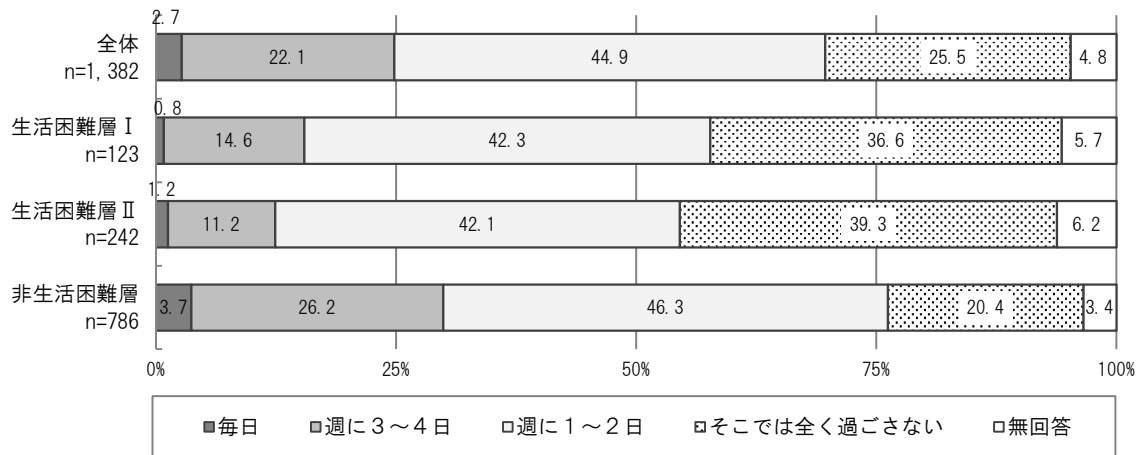


図 1-3-4 放課後に過ごす場所 ④ 学校 (小5)

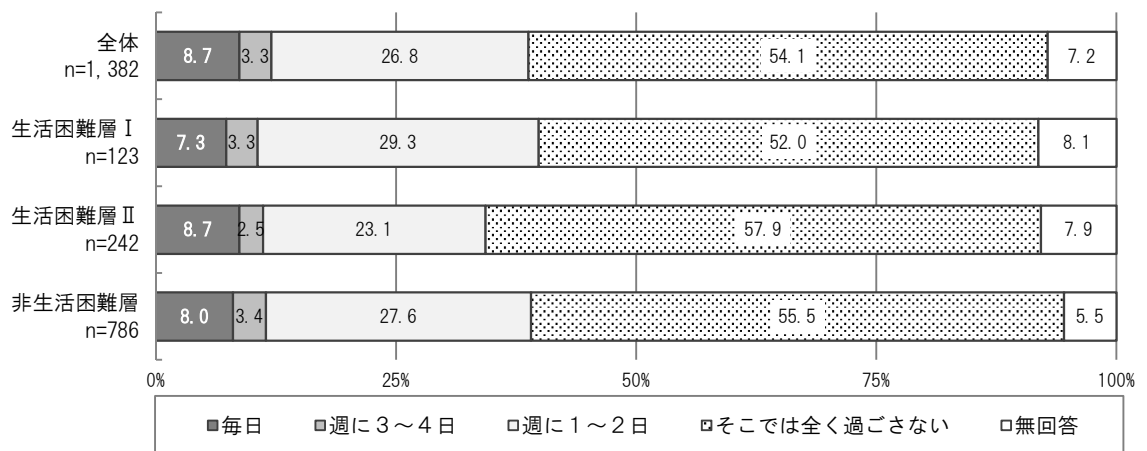


図 1-3-5 放課後に過ごす場所 ⑤ 学校外のスポーツクラブの活動の場 (小5)

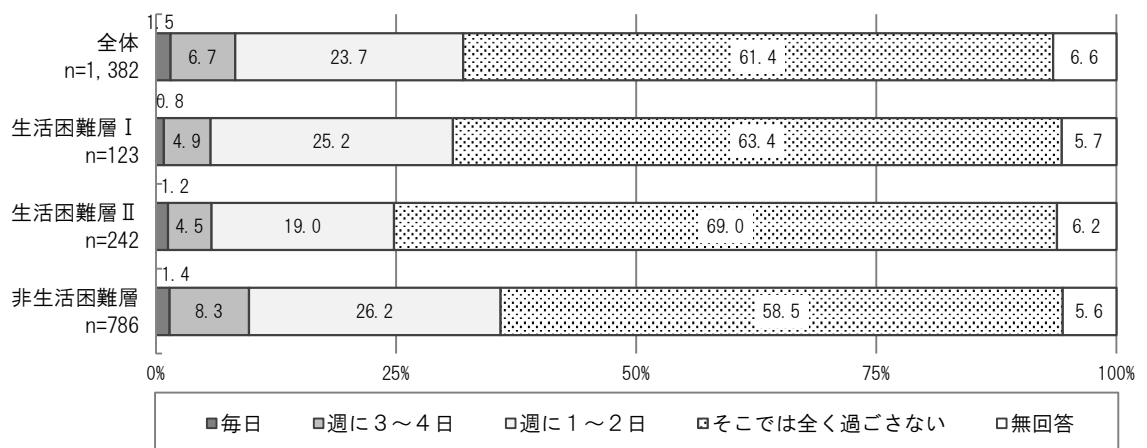


図 1-3-6 放課後に過ごす場所 ⑥ ファーストフード店やショッピングセンター、ファミリーレストランなど（小5）

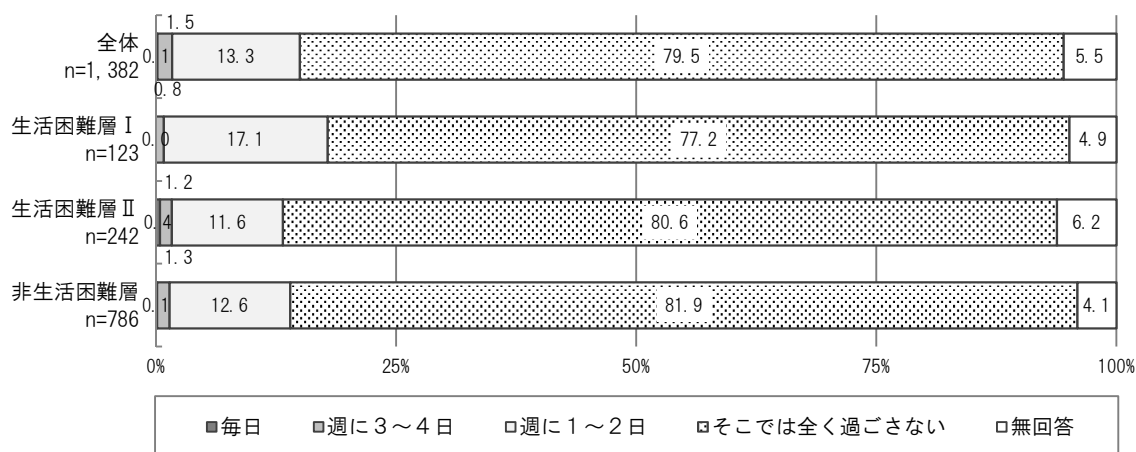


図 1-3-7 放課後に過ごす場所 ⑦ ゲームセンター（小5）

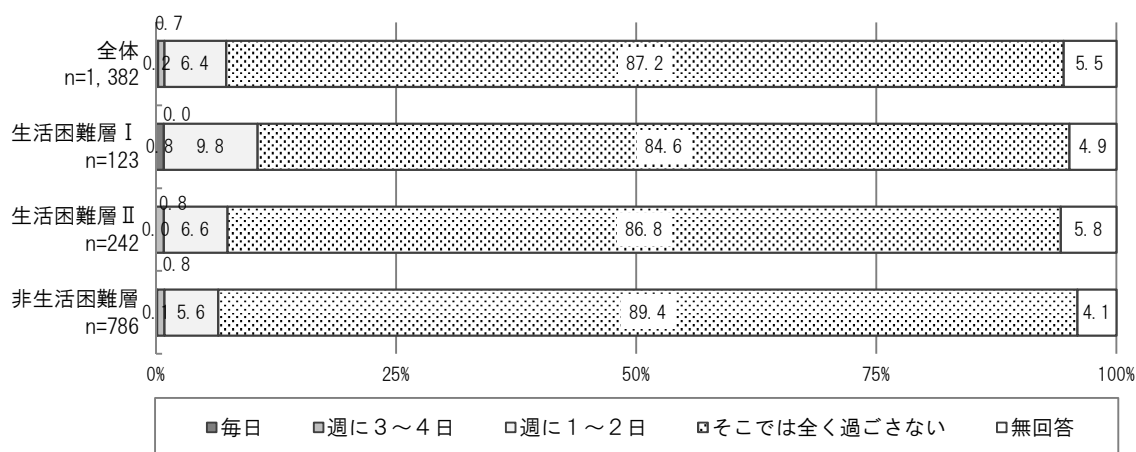


図 1-3-8 放課後に過ごす場所 ⑧ 放課後児童クラブ（小5）

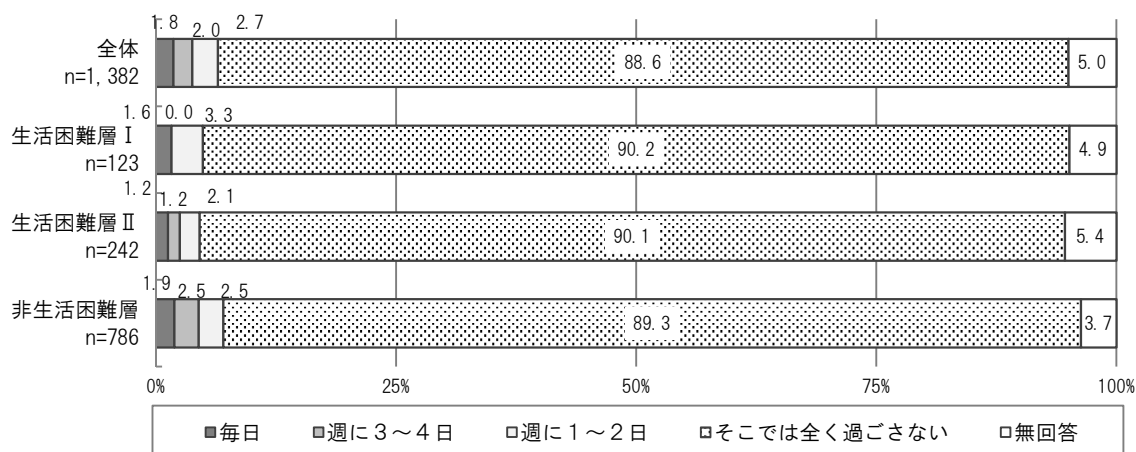


図 1-3-9 放課後に過ごす場所 ⑨ わいわいスクール、放課後子ども教室（小5）

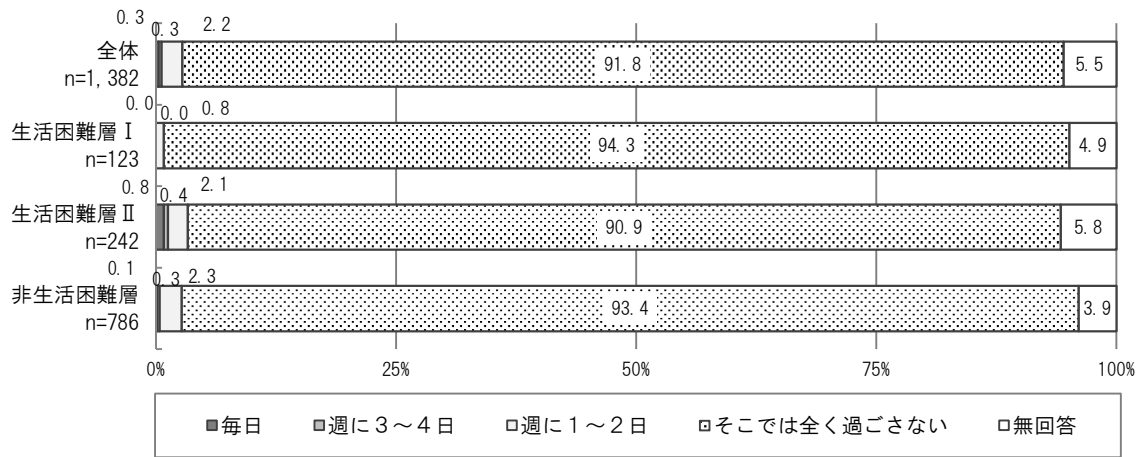


図 1-3-10 放課後に過ごす場所 ⑩ 青少年の家（小5）

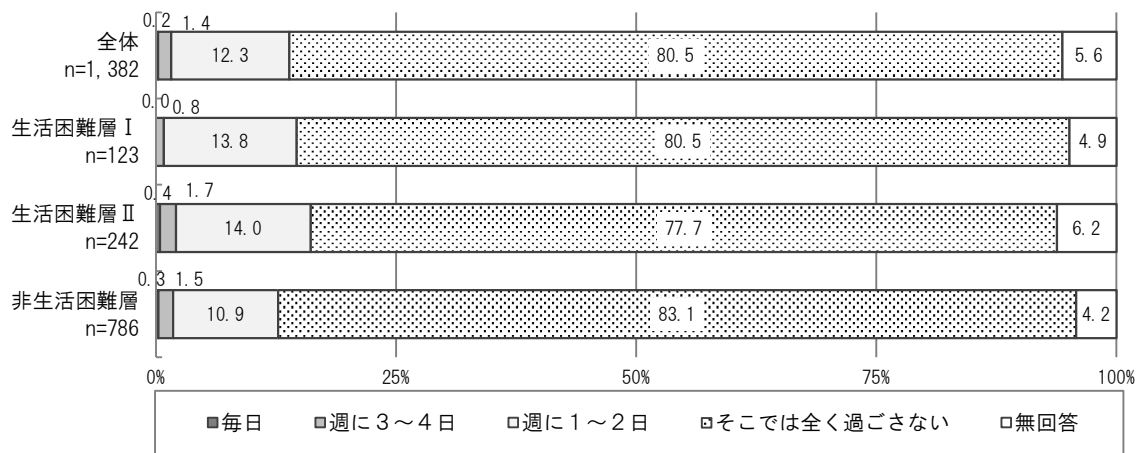


図 1-3-11 放課後に過ごす場所 ⑪ 公園（小5）

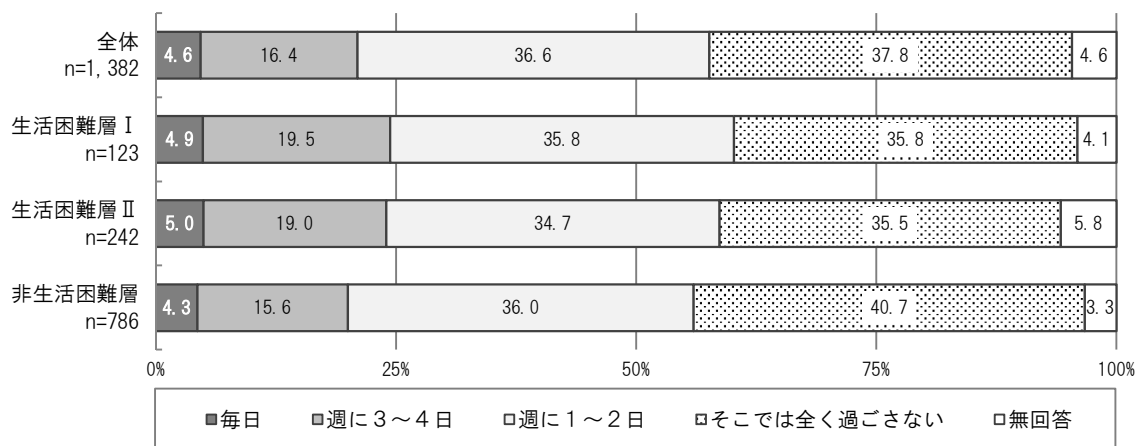


図 1-3-12 放課後に過ごす場所 ⑫ 図書館（小5）

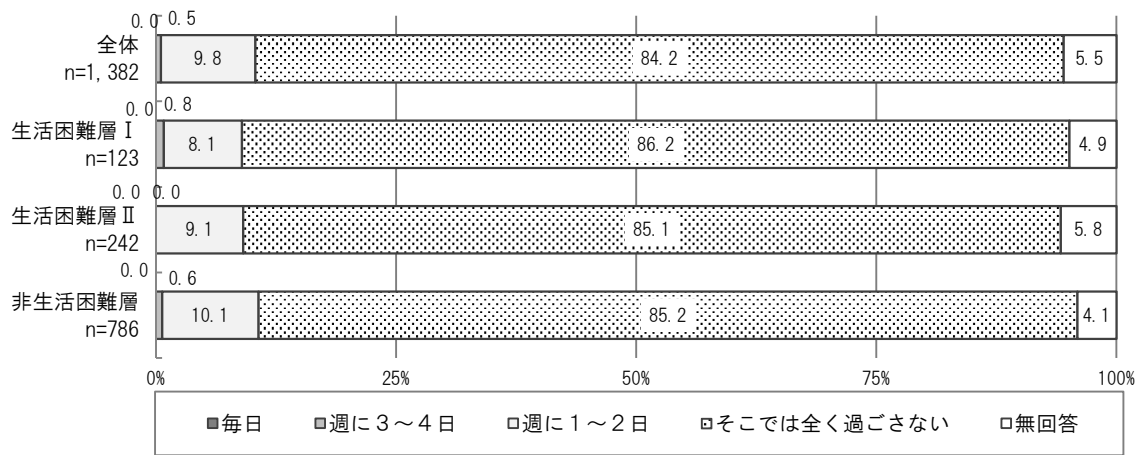


図 1-3-13 放課後に過ごす場所 ⑬ その他（小5）

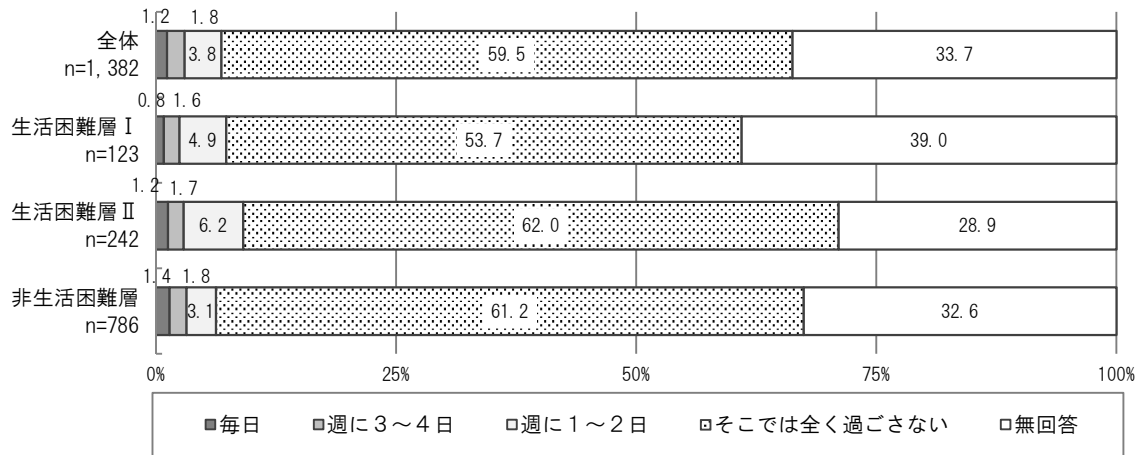


図 1-3-14 放課後に過ごす場所 ① 自分の家（中2）

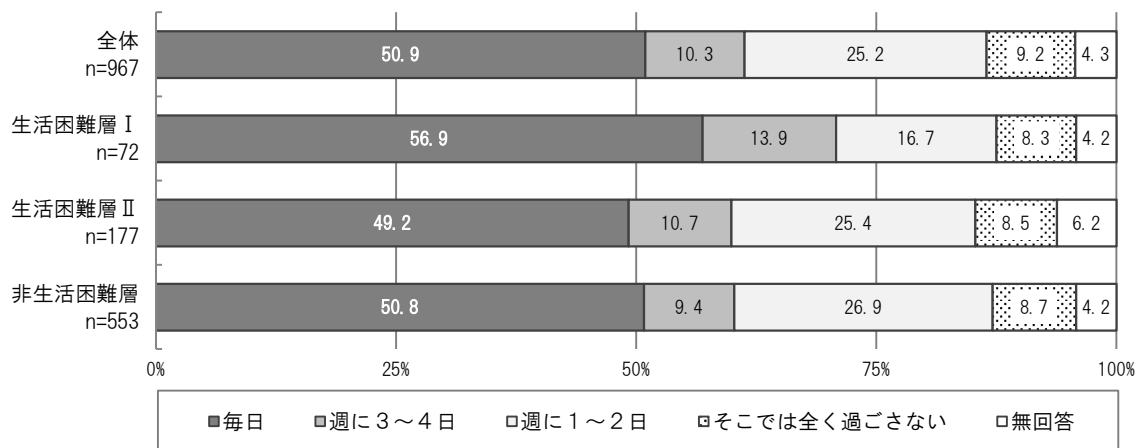


図 1-3-15 放課後に過ごす場所 ② 友だちの家 (中2)

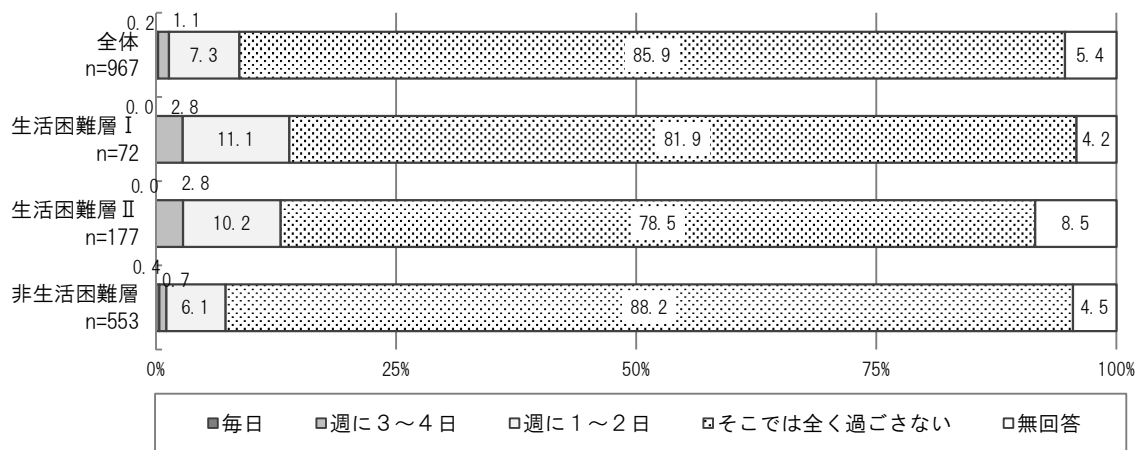


図 1-3-16 放課後に過ごす場所 ③ 塾や習い事 (中2)

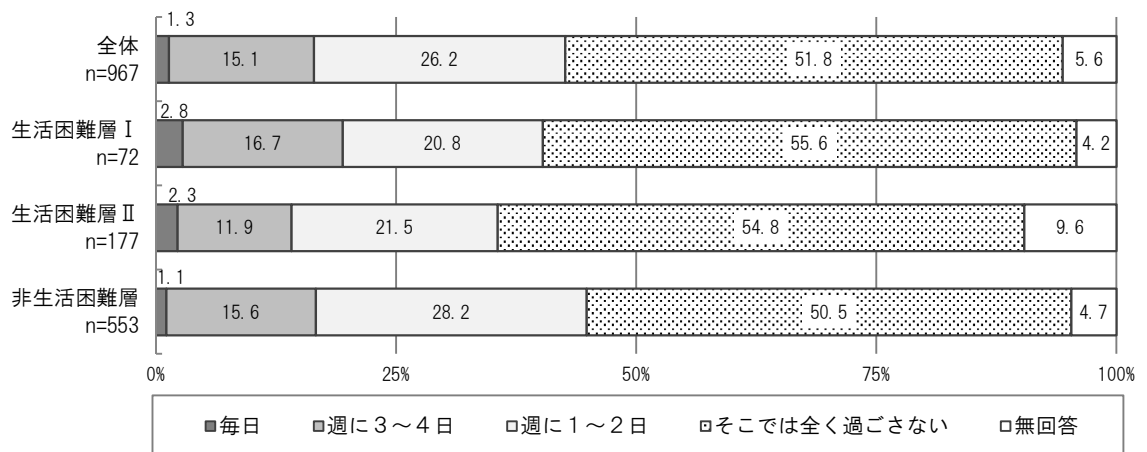


図 1-3-17 放課後に過ごす場所 ④ 学校 (中2)

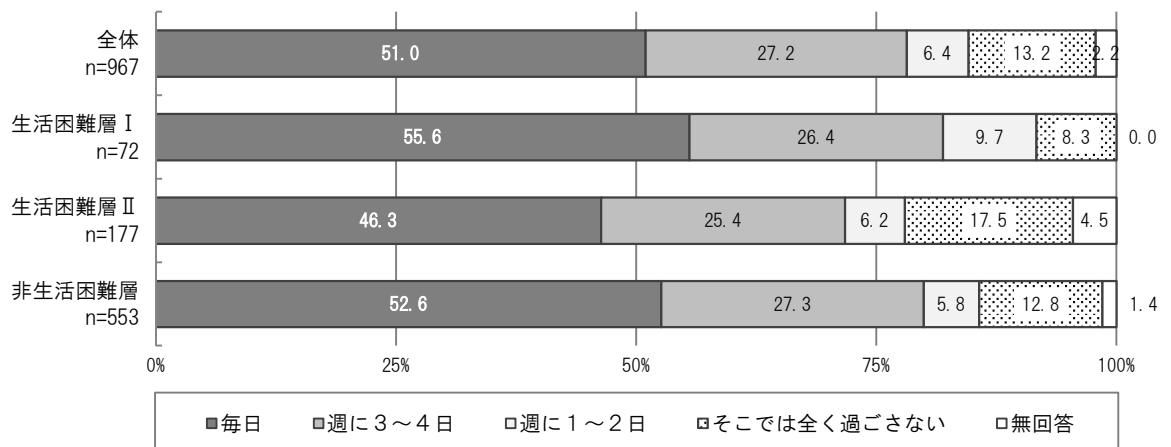


図 1-3-18 放課後に過ごす場所 ⑤ 学校外のスポーツクラブの活動の場（中2）

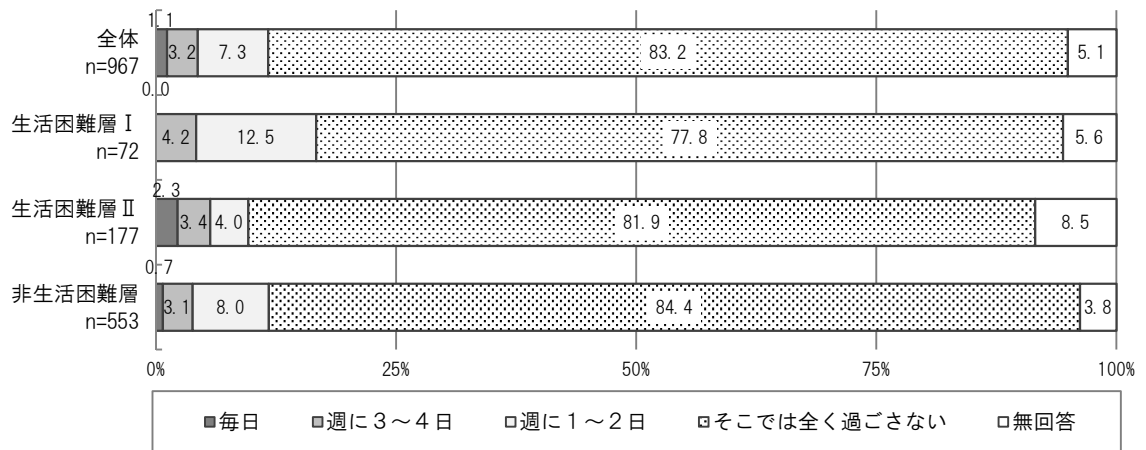


図 1-3-19 放課後に過ごす場所 ⑥ ファーストフード店やショッピングセンター、ファミリーレストランなど（中2）

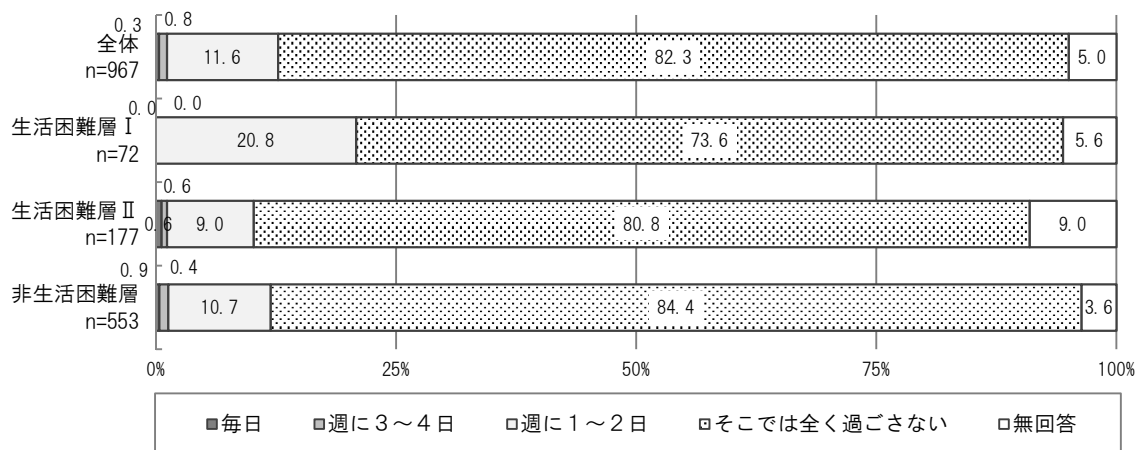


図 1-3-20 放課後に過ごす場所 ⑦ ゲームセンター（中2）

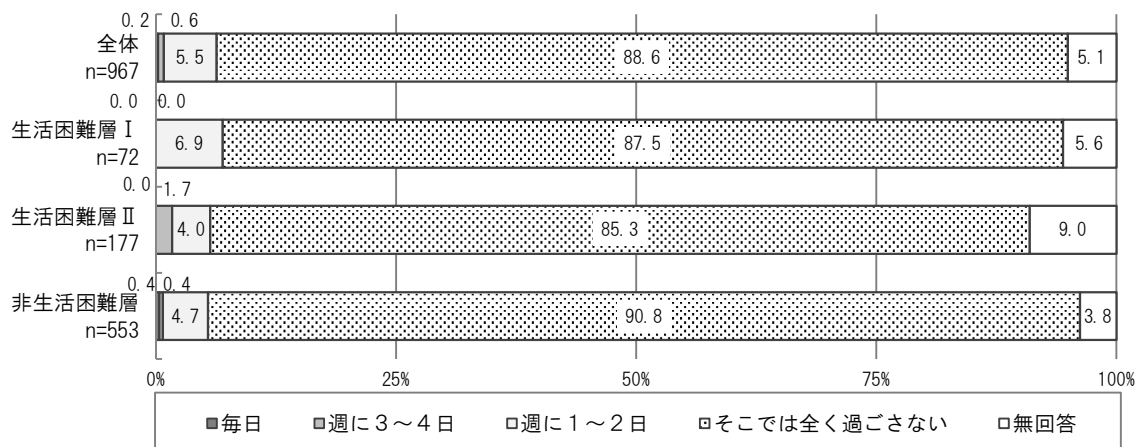


図 1-3-21 放課後に過ごす場所 ⑧ 公園 (中 2)

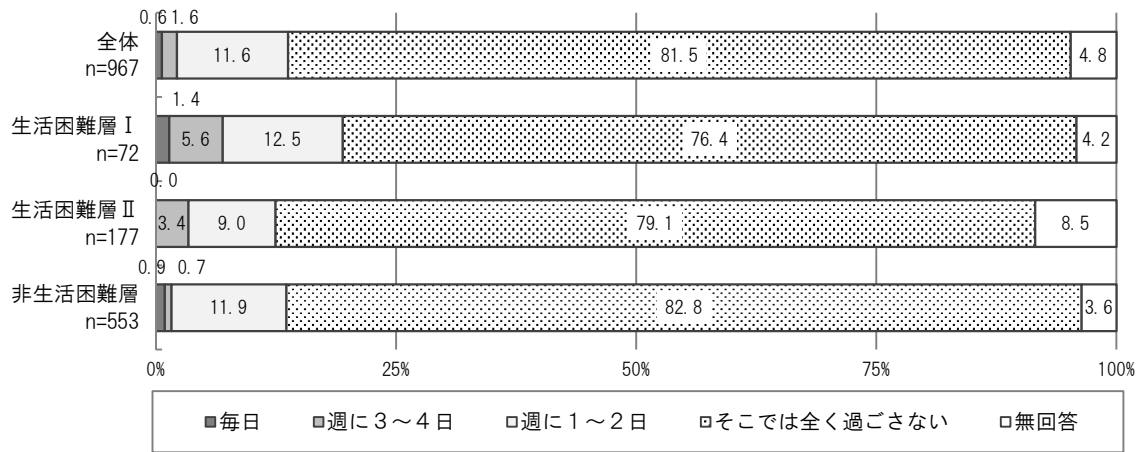


図 1-3-22 放課後に過ごす場所 ⑨ 青少年の家 (中 2)

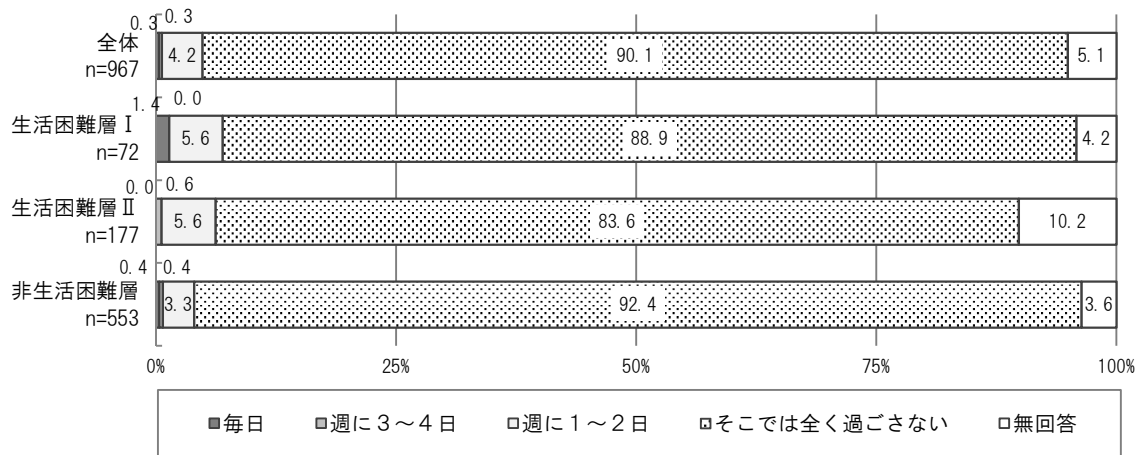


図 1-3-23 放課後に過ごす場所 ⑩ 図書館 (中 2)

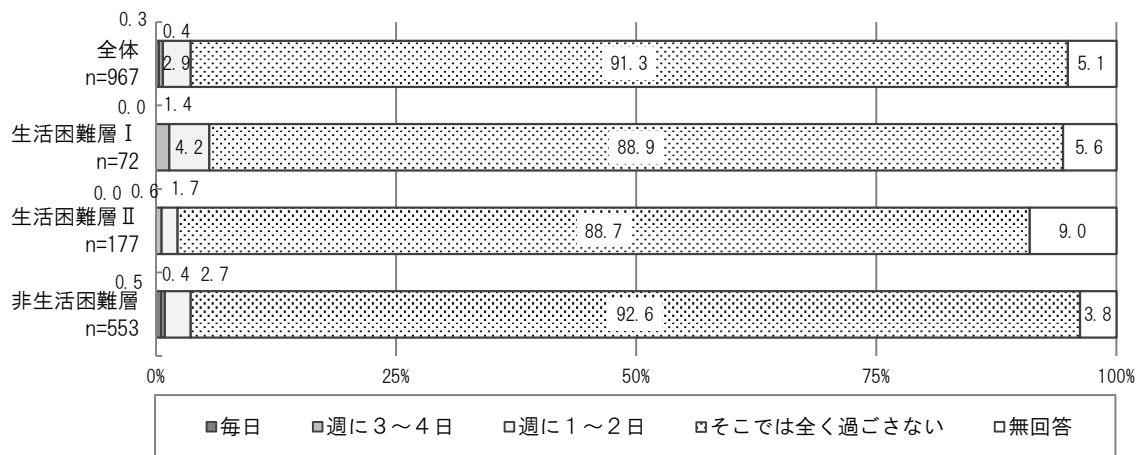
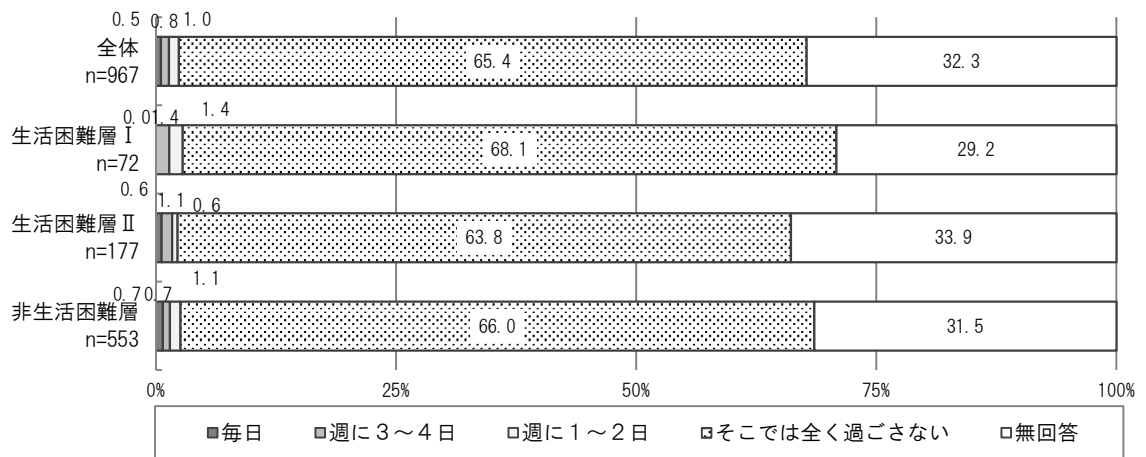


図 1-3-24 放課後に過ごす場所 ⑪ その他（中2）

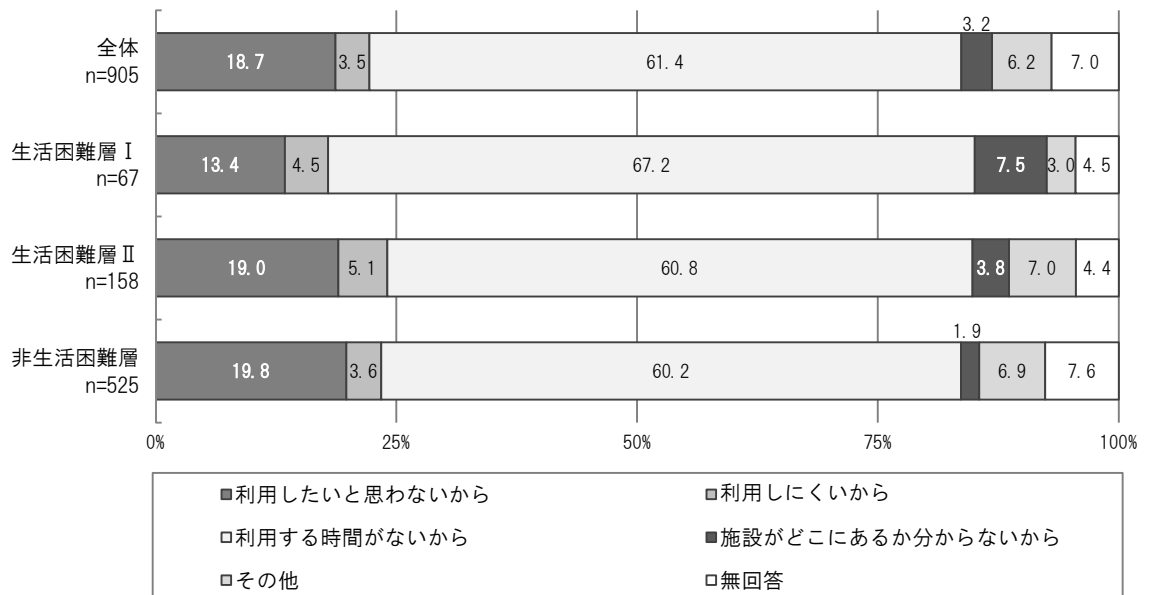


(4) (問3で(⑨青少年の家(みんなの家)、⑩図書館)に「そこでは全く過ごさない」と答えた人)その理由は何ですか(あてはまる番号1つに○) <中2 問3-1>

青少年の家・図書館で過ごさない理由について、「利用する時間がないから」が61.4%と最も高く、次いで「利用したいと思わないから」が18.7%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「利用したいと思わないから」が、非生活困難層よりも約6ポイント高くなっている。

図 1-4 青少年の家・図書館で過ごさない理由(中2)



(5) 問3の場所の中であなたが一番落ち着く居場所はどこですか。1つだけ選んで、その番号をカッコの中に入れてください。〈小5・中2 問4〉

一番落ち着く居場所について、いずれも「自分の家」が最も高く、小5は83.2%、中2は84.5%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、中2の生活困難層Ⅰでは「自分の家」が、非生活困難層よりも約18ポイント低くなっている。

図 1-5-1 一番落ち着く居場所（小5）

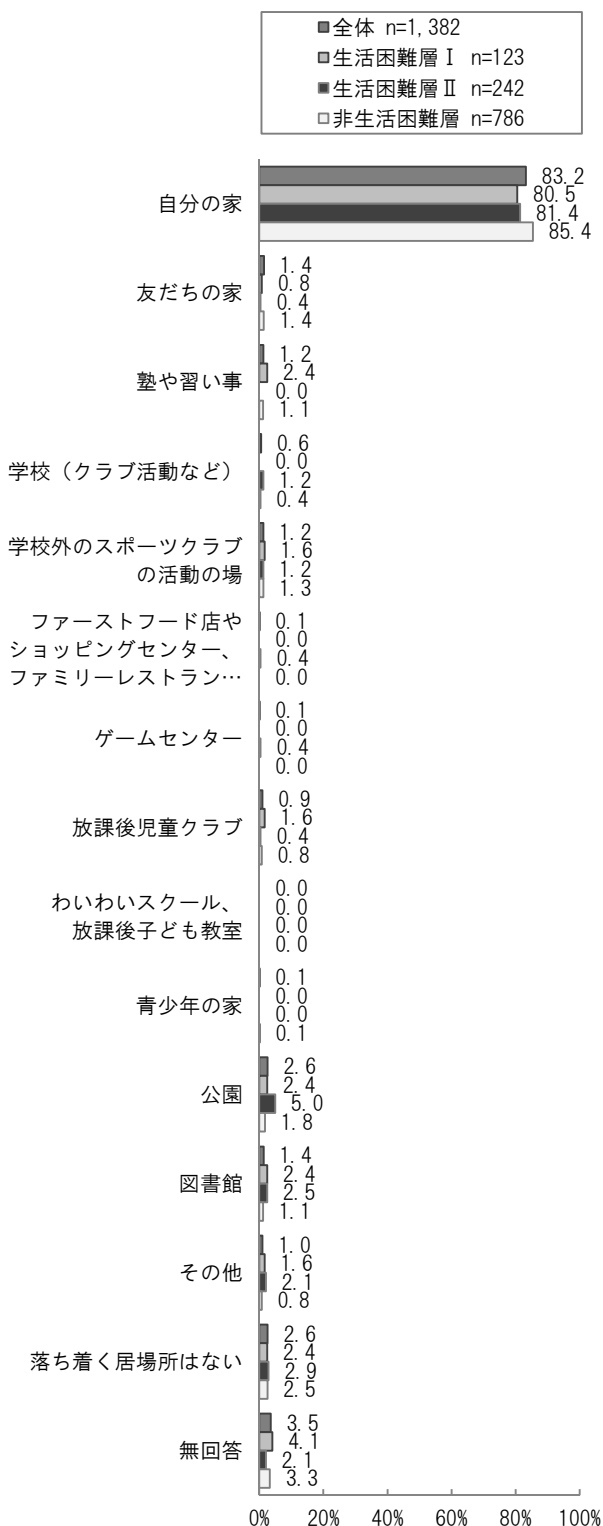
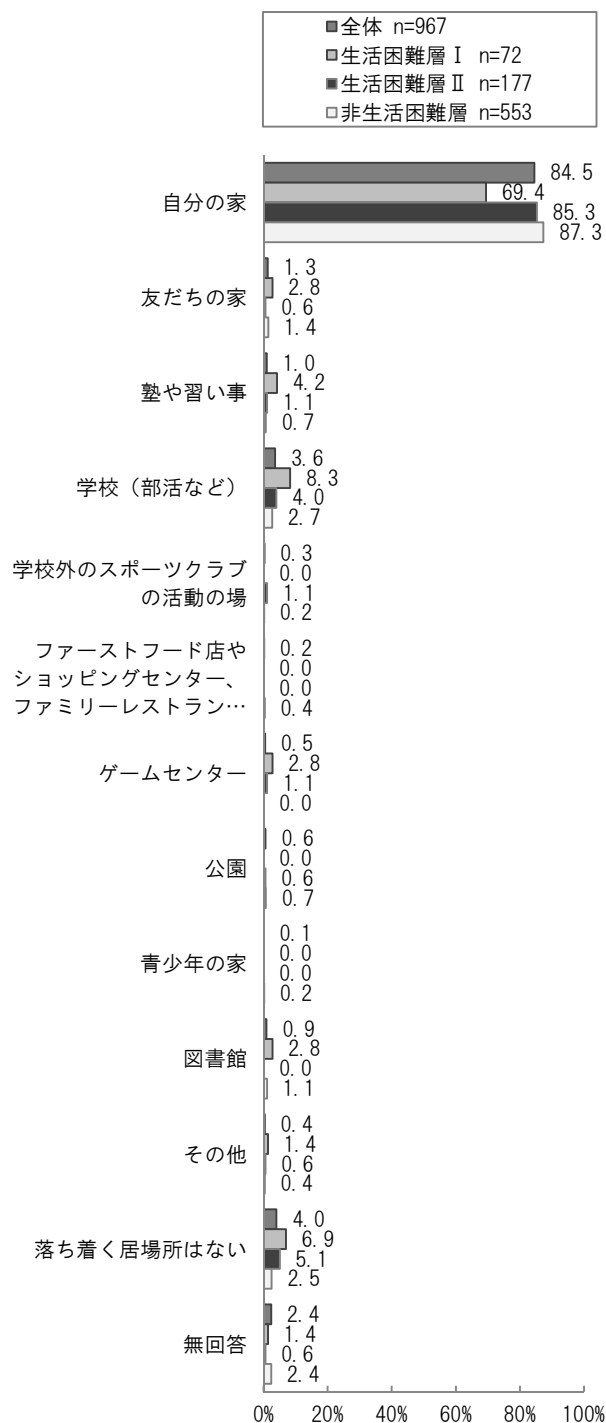


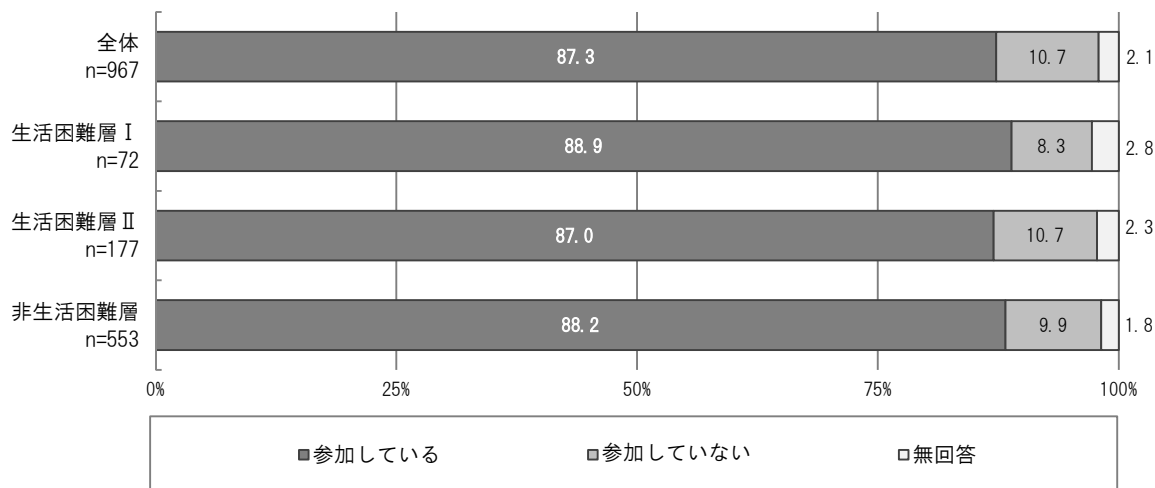
図 1-5-2 一番落ち着く居場所（中2）



(6) 学校の部活動に参加していますか。(あてはまる番号1つに○) <中2 問5>

部活動について、「参加している」が87.3%、「参加していない」が10.7%となっている。

図 1-6 部活動 (中2)

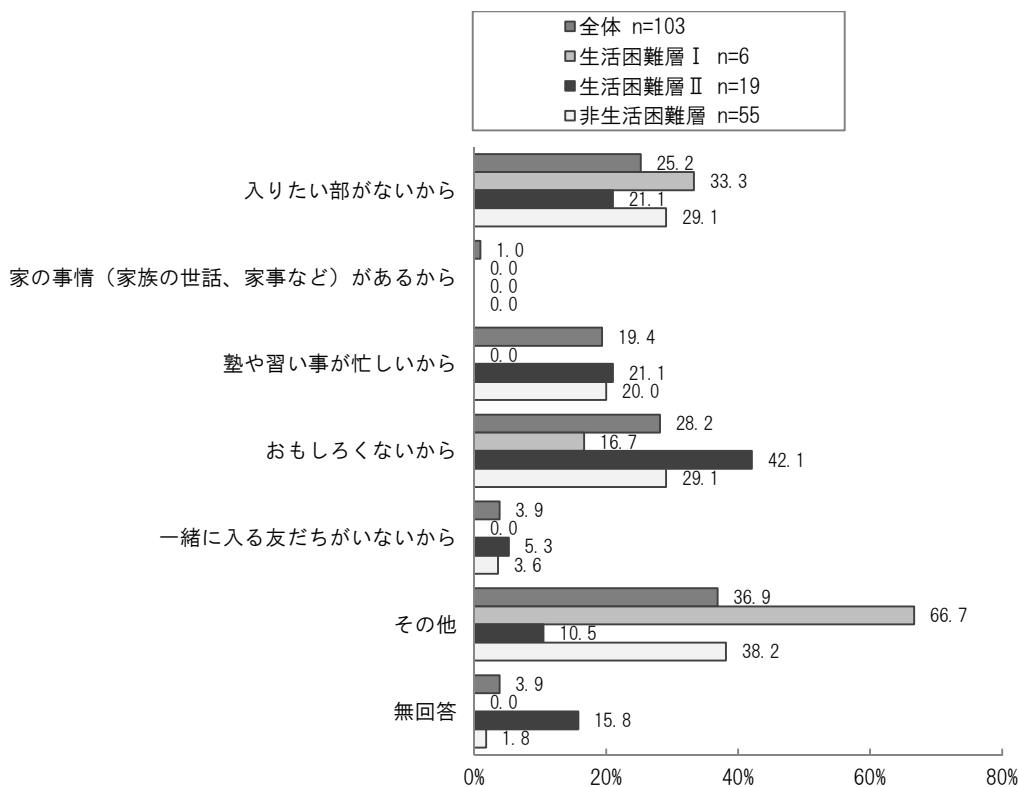


(7) 部活動に参加しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

<中2 問5-1>

部活動に参加しない理由について、「おもしろくないから」が28.2%、「入りたい部がないから」が25.2%となっている。

図 1-7 部活動に参加しない理由 (中2)



(8) 休日（学校がお休みの日）はだれと過ごしますか。一緒に過ごす時間が一番長い人に○をつけてください。（あてはまる番号1つに○）〈小5 問5・中2 問6〉

休日に一緒に過ごす人について、小5では「家族」が78.9%と最も高く、次いで「学校以外の友だち」が7.8%となっている。

中2では「家族」が59.6%と最も高く、次いで「学校の友だち」が29.7%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「家族」が、非生活困難層よりも約5～9ポイント低くなっている。

図 1-8-1 休日に一緒に過ごす人（小5）

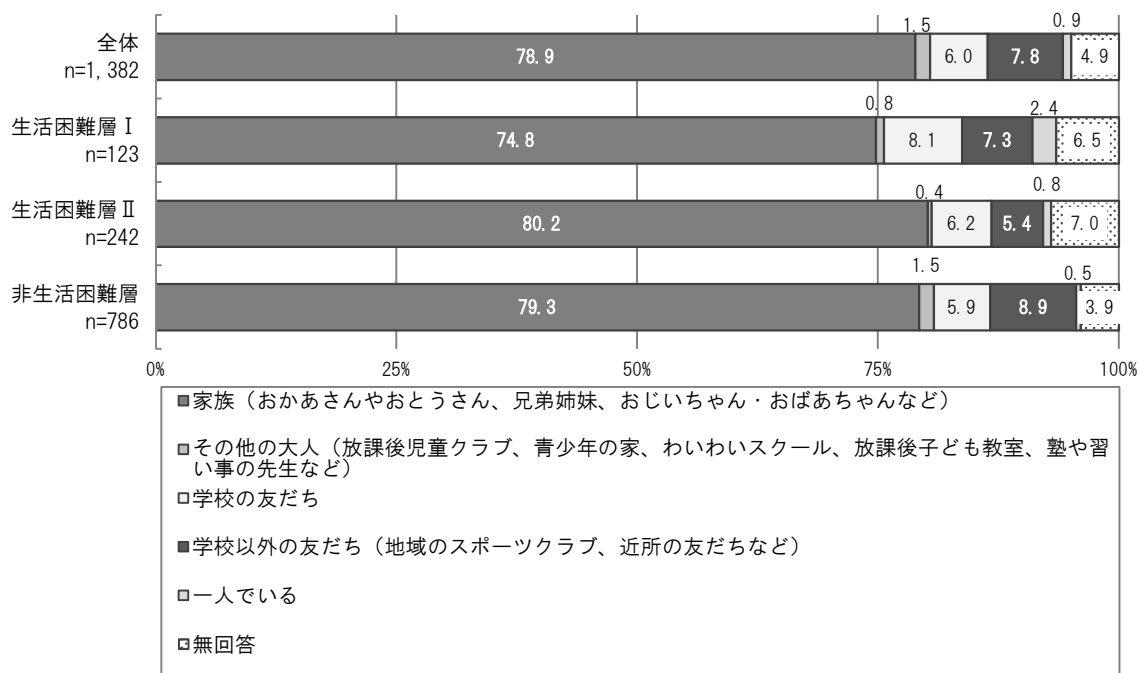
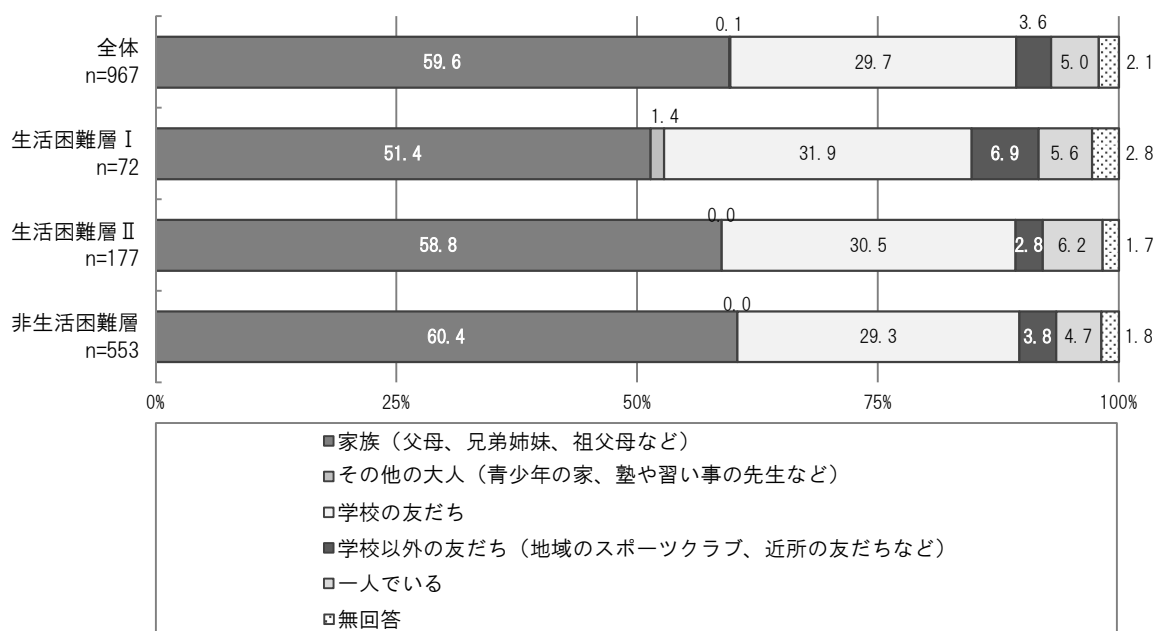


図 1-8-2 休日に一緒に過ごす人（中2）



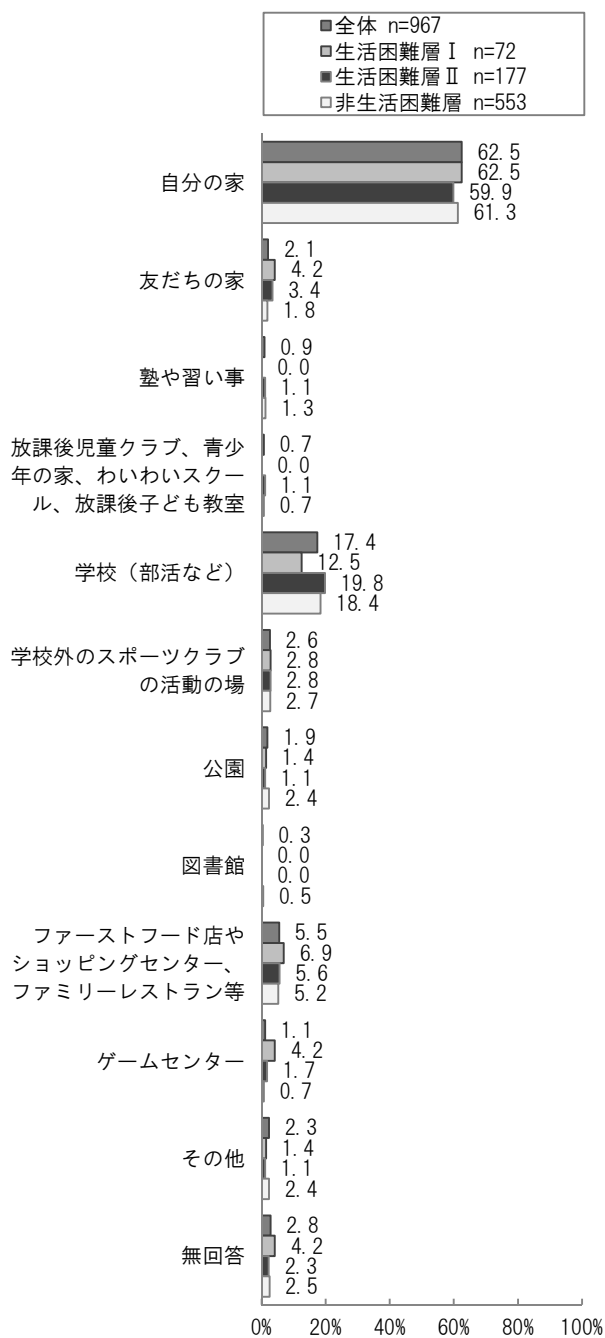
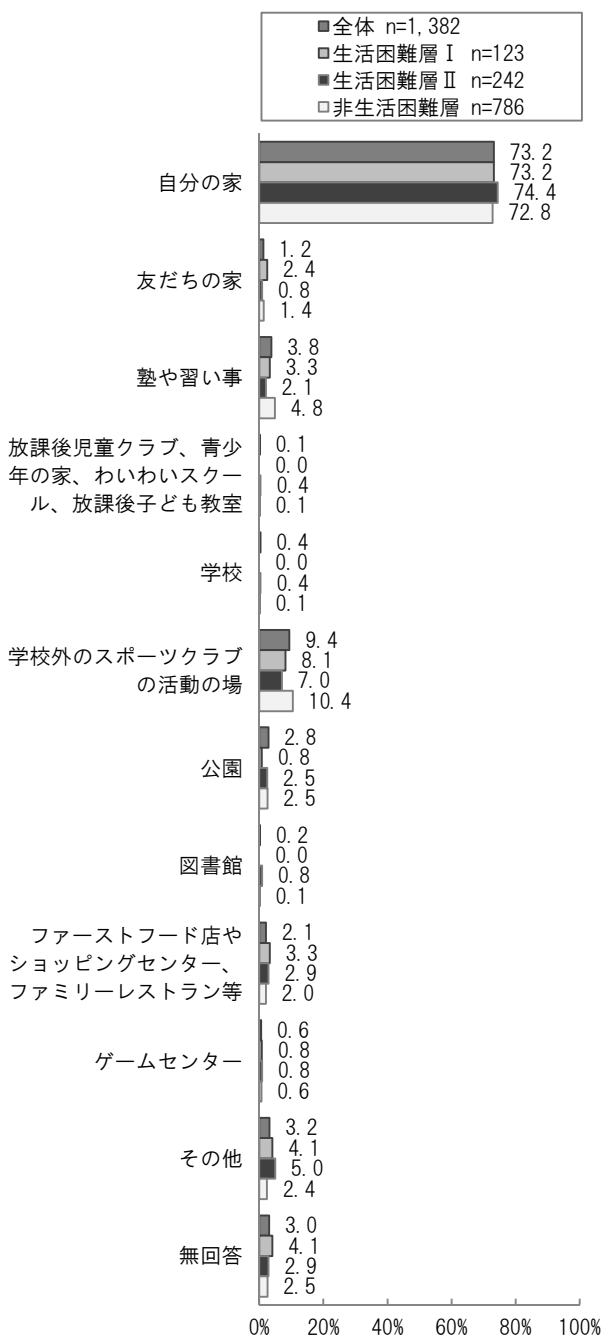
(9) 休日（学校がお休みの日）はどこで過ごしますか。一番長く過ごす場所に○をつけてください。（あてはまる番号1つに○）〈小5 問6・中2 問7〉

休日過ごす場所について、いずれも「自分の家」が最も高く、小5は73.2%、中2は62.5%となっており、次いで小5では「学校外のスポーツクラブの活動の場」が9.4%、中2では「学校（部活など）」が17.4%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、中2の生活困難層Ⅰでは「学校」が、非生活困難層よりも約6ポイント低くなっている。

図 1-9-1 休日過ごす場所（小5）

図 1-9-2 休日過ごす場所（中2）



(10) 以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

<小5 問7・中2 問8>

日常の活動について、小5では「テレビを見る」で「2時間以上」が41.5%となっており、「兄弟姉妹の世話や家族の介護」で「ぜんぜんしない」が67.0%となっている。
 中2でも「テレビを見る」で「2時間以上」が30.5%となっており、「公園で遊ぶ」で「ぜんぜんしない」が75.3%となっている。

図 1-10-1 日常の活動 ① ゲーム機で遊ぶ (小5)

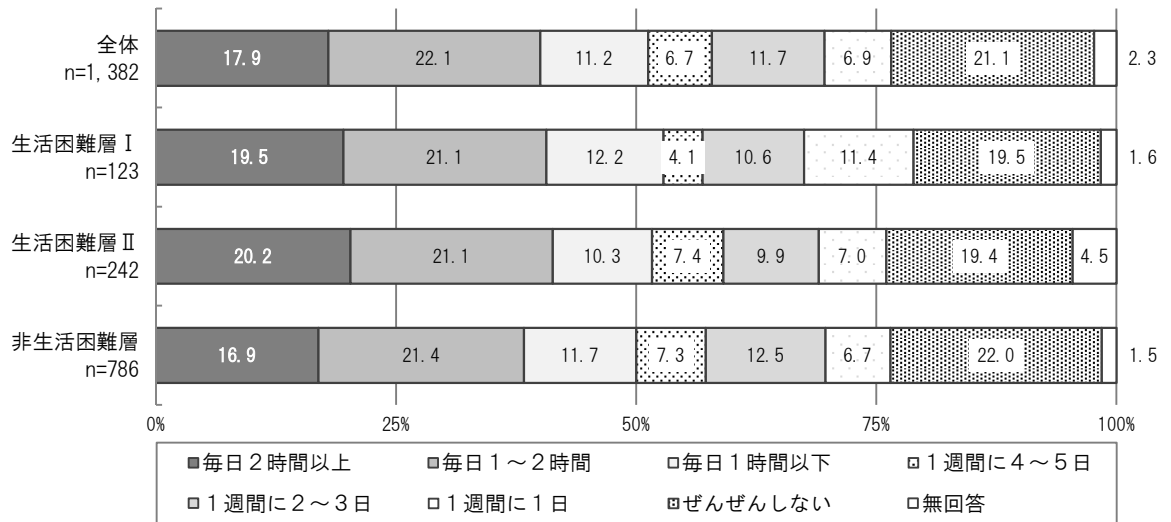


図 1-10-2 日常の活動 ② テレビを見る (小5)

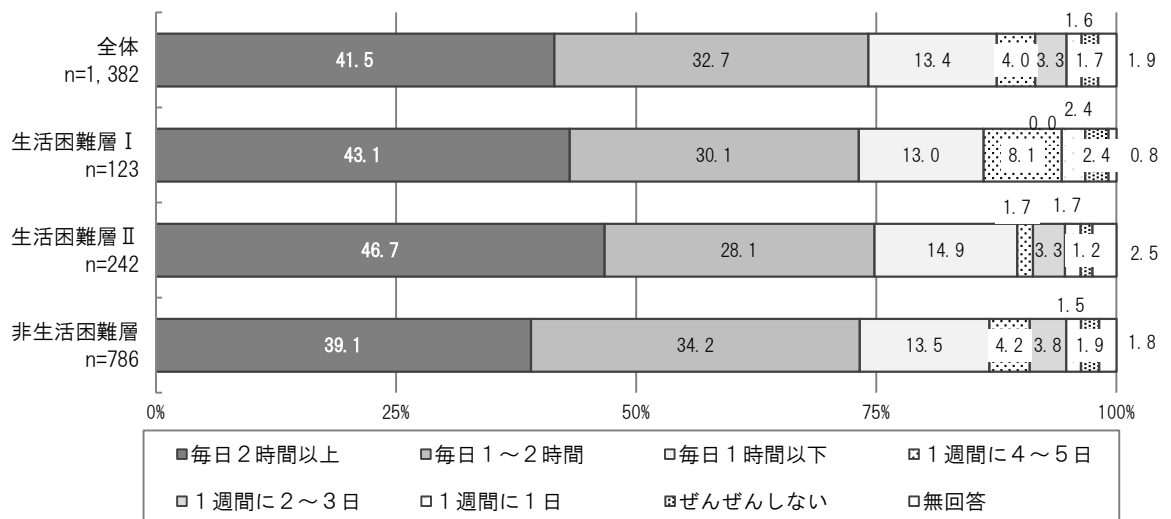


図 1-10-3 日常の活動 ③ インターネットを見る (小5)

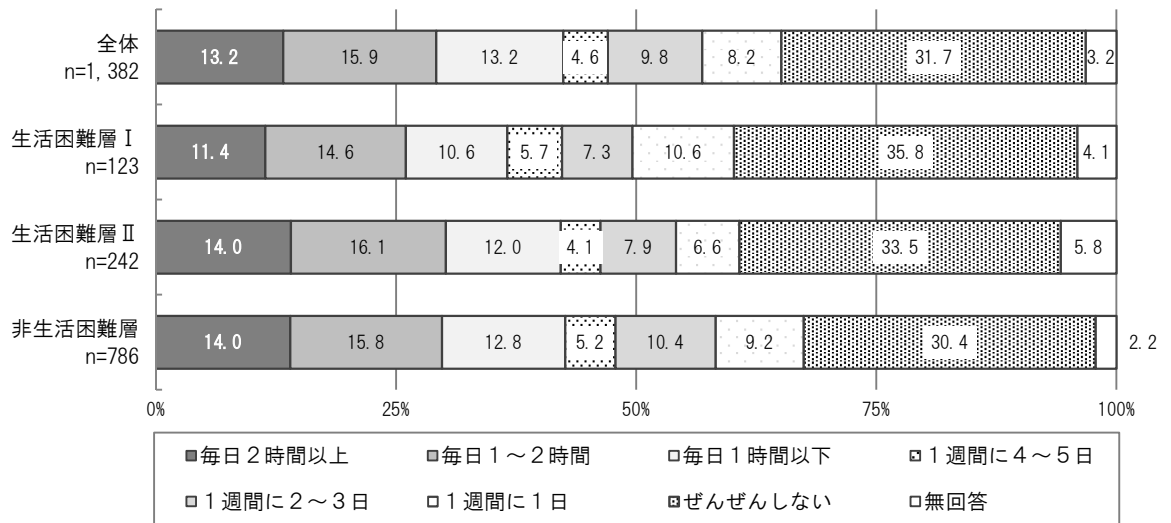


図 1-10-4 日常の活動 ④ スマートフォン、けいたい電話でメールやLINEをする (小5)

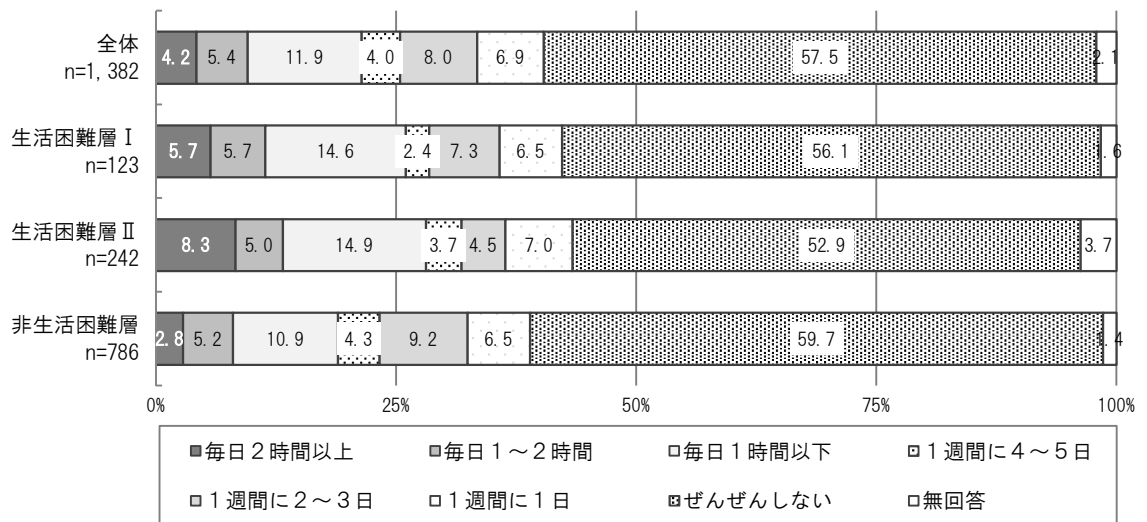


図 1-10-5 日常の活動 ⑤ 室内でのほかの活動 (小5)

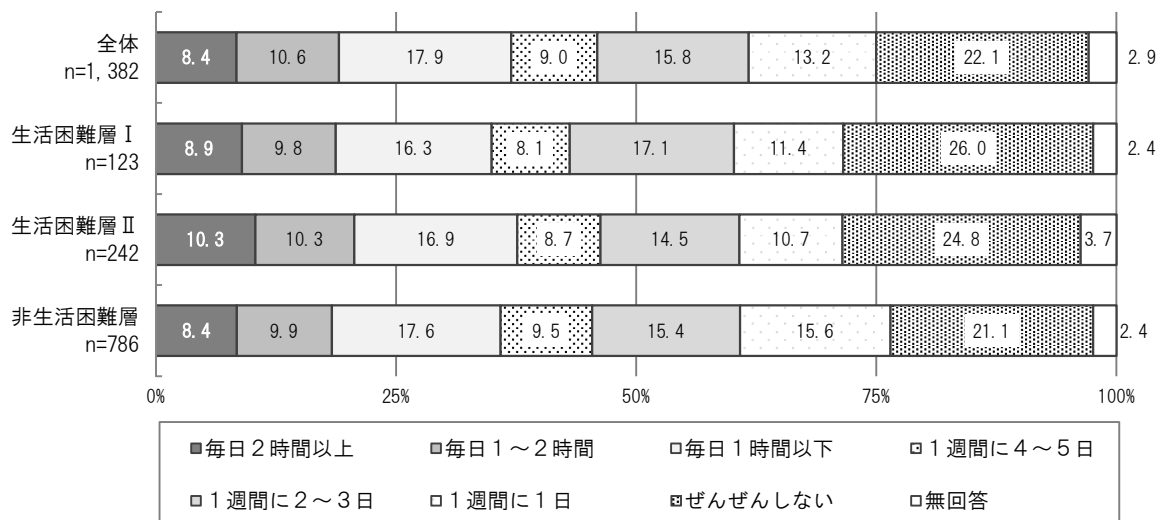


図 1-10-6 日常の活動 ⑥ 公園で遊ぶ (小5)

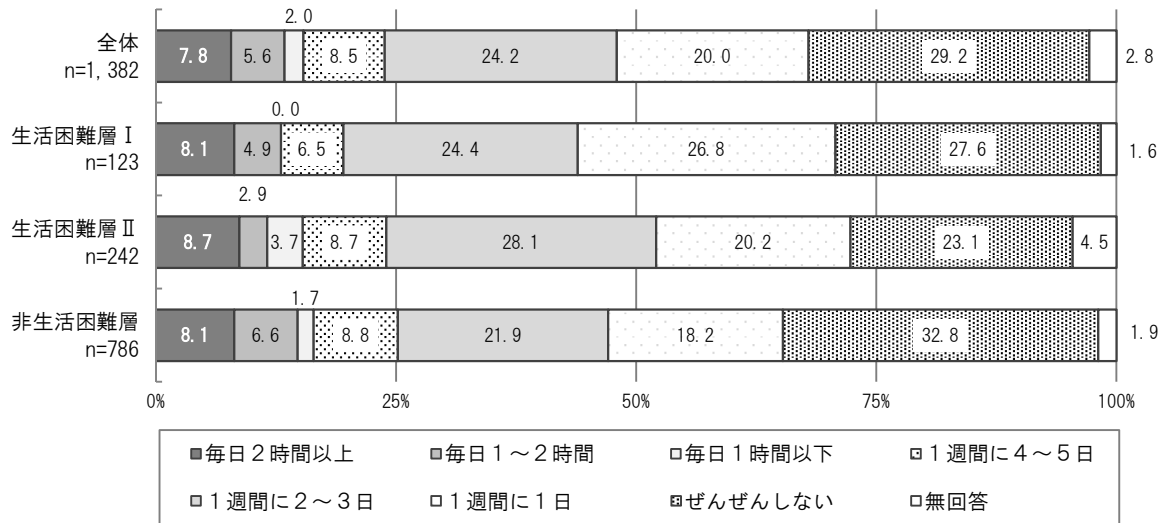


図 1-10-7 日常の活動 ⑦ 塾や習い事 (小5)

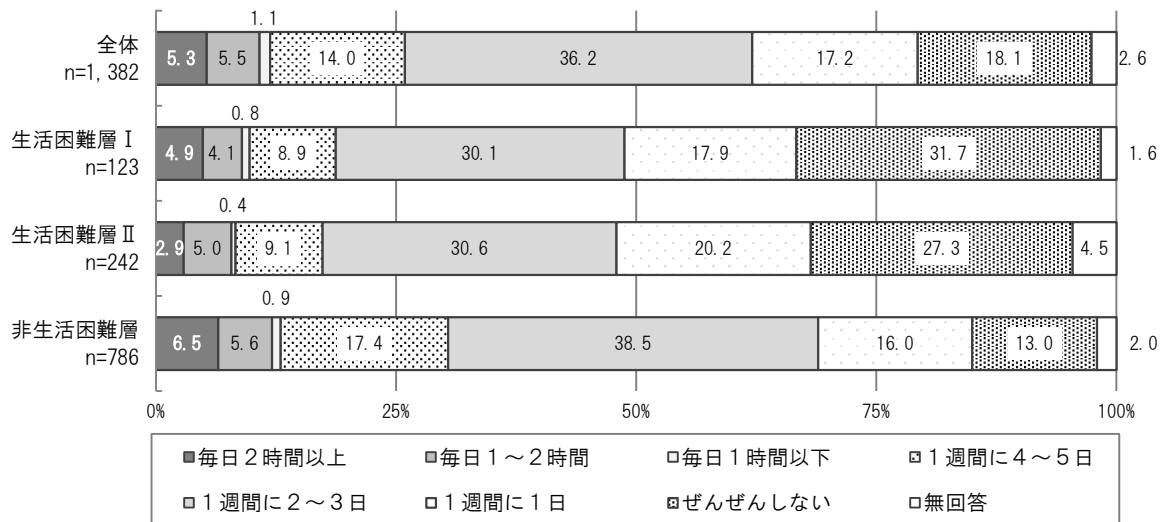


図 1-10-8 日常の活動 ⑧ 家事 (小5)

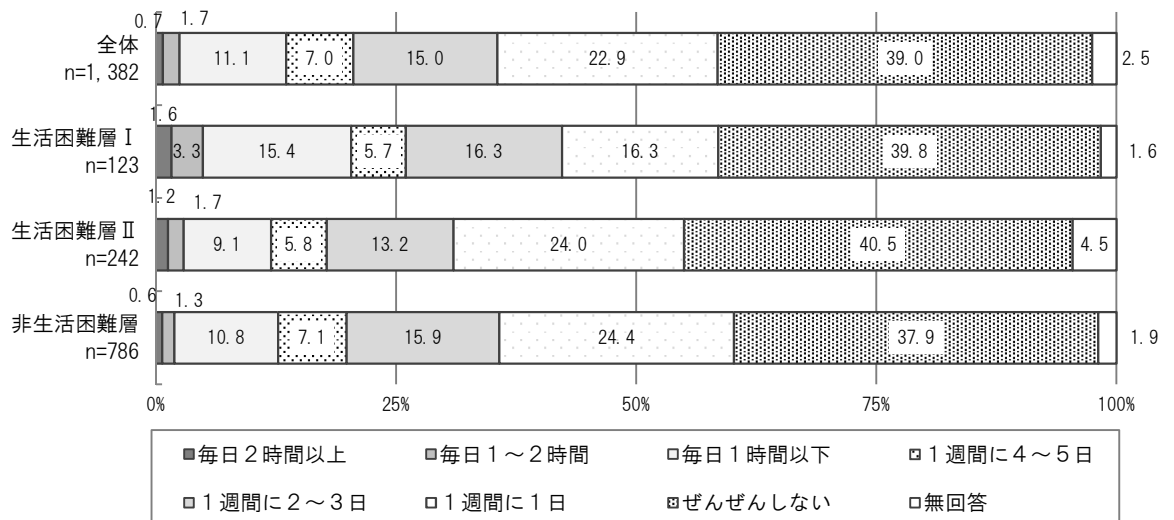


図 1-10-9 日常の活動 ⑨ きょうだいの世話や家族の介護（小5）

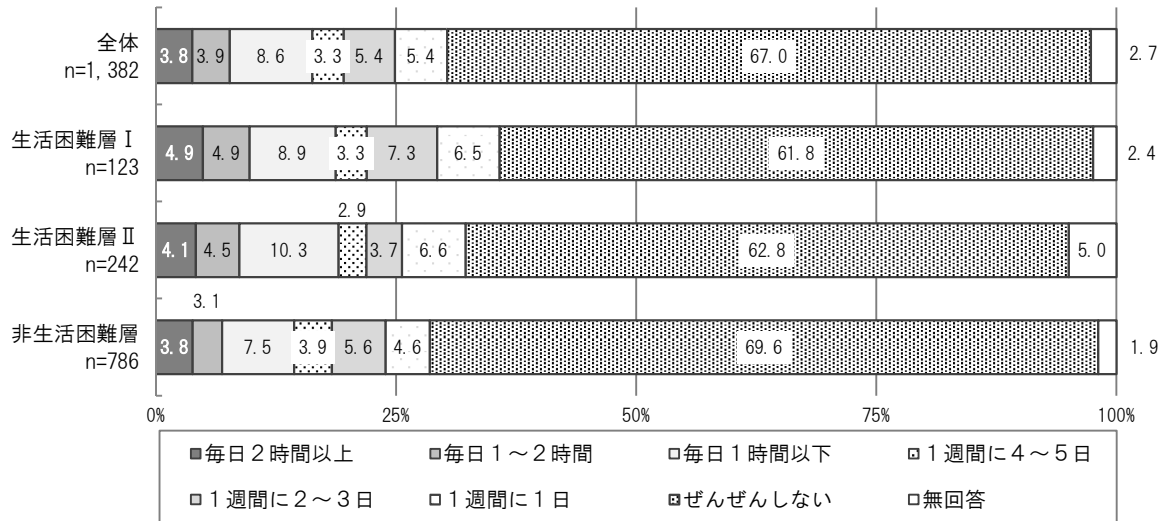


図 1-10-10 日常の活動 ⑩ ゲーム機で遊ぶ（中2）

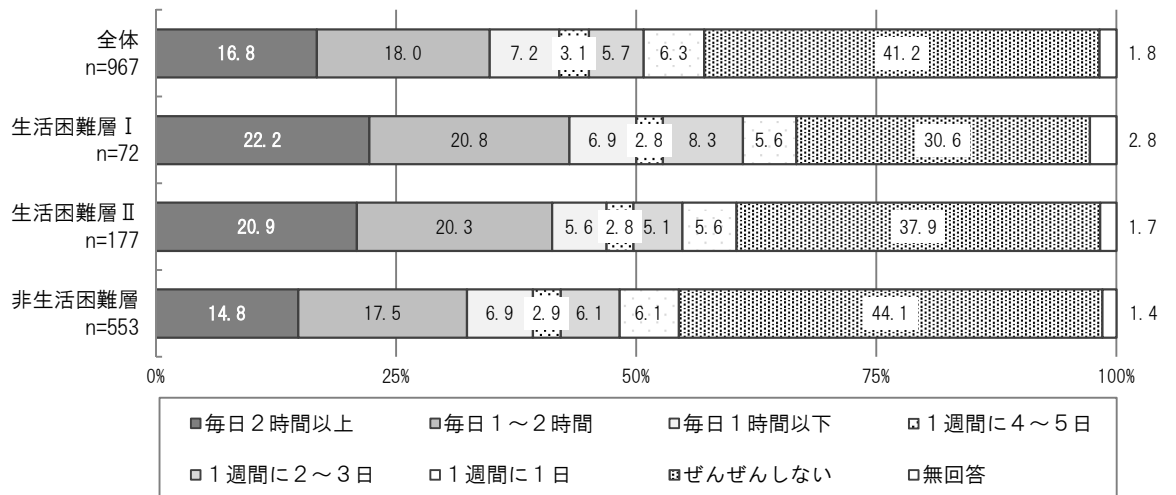


図 1-10-11 日常の活動 ⑪ テレビを見る（中2）

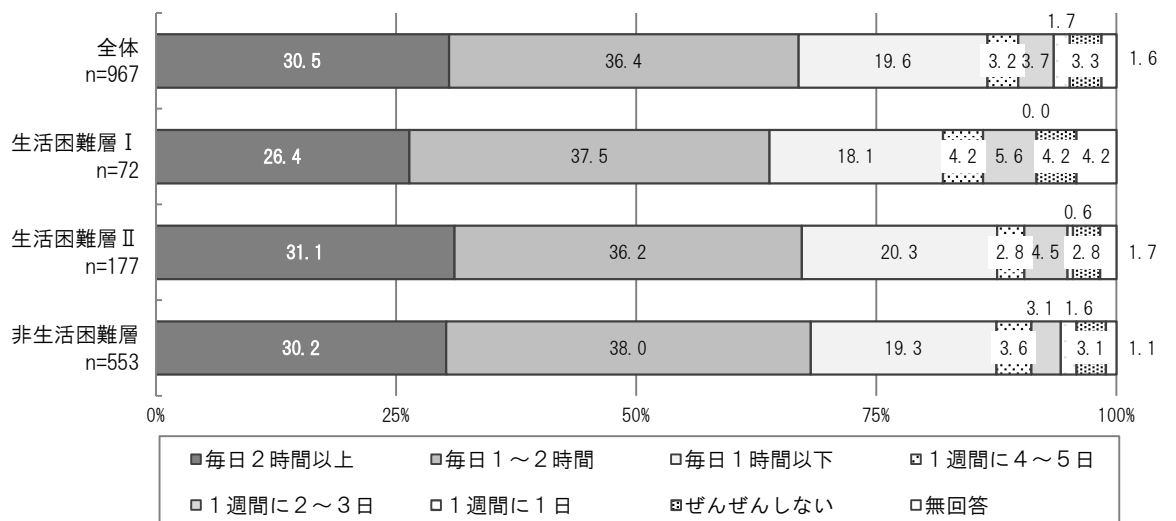


図 1-10-12 日常の活動 ③インターネットを見る（中2）

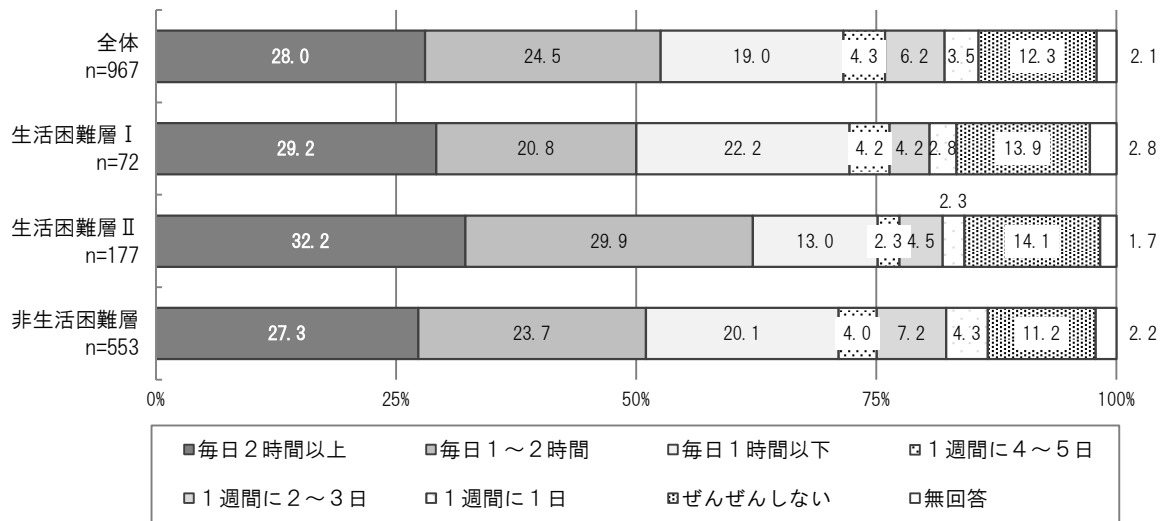


図 1-10-13 日常の活動 ④スマートフォン、携帯電話でメールやLINEをする（中2）

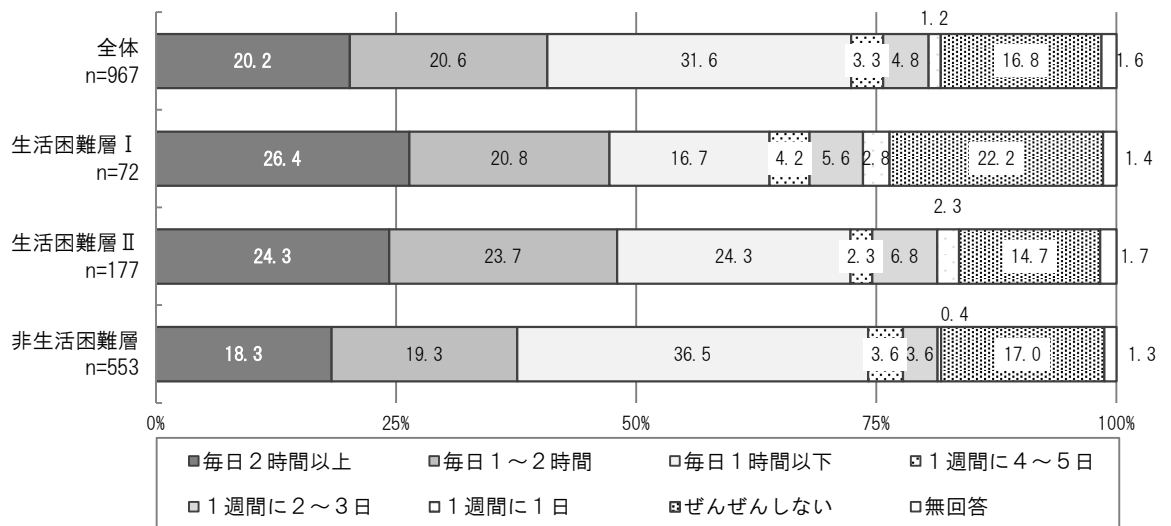


図 1-10-14 日常の活動 ⑤室内でのほかの活動（中2）

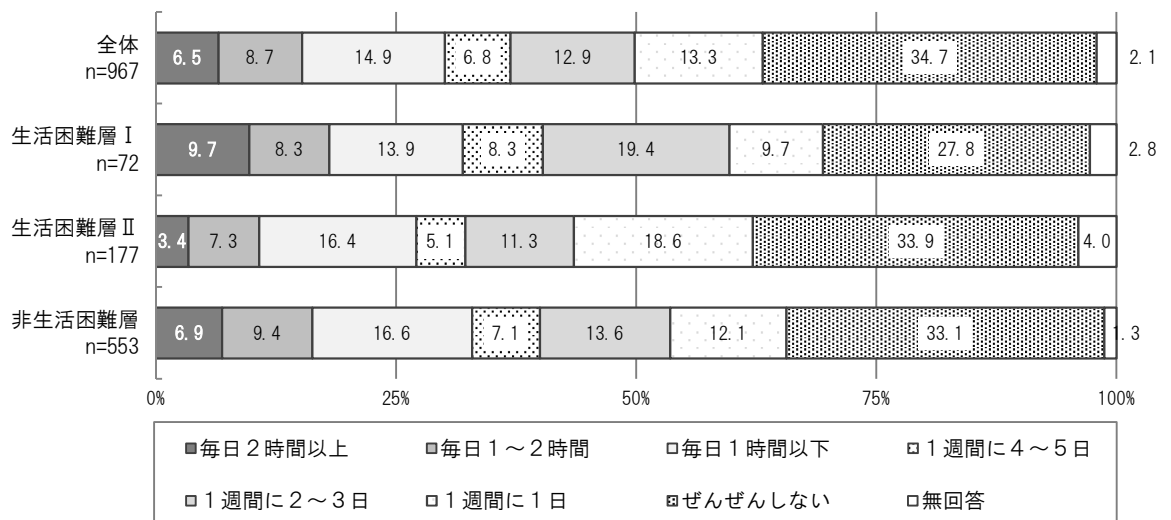


図 1-10-15 日常の活動 ⑥ 公園で遊ぶ (中2)

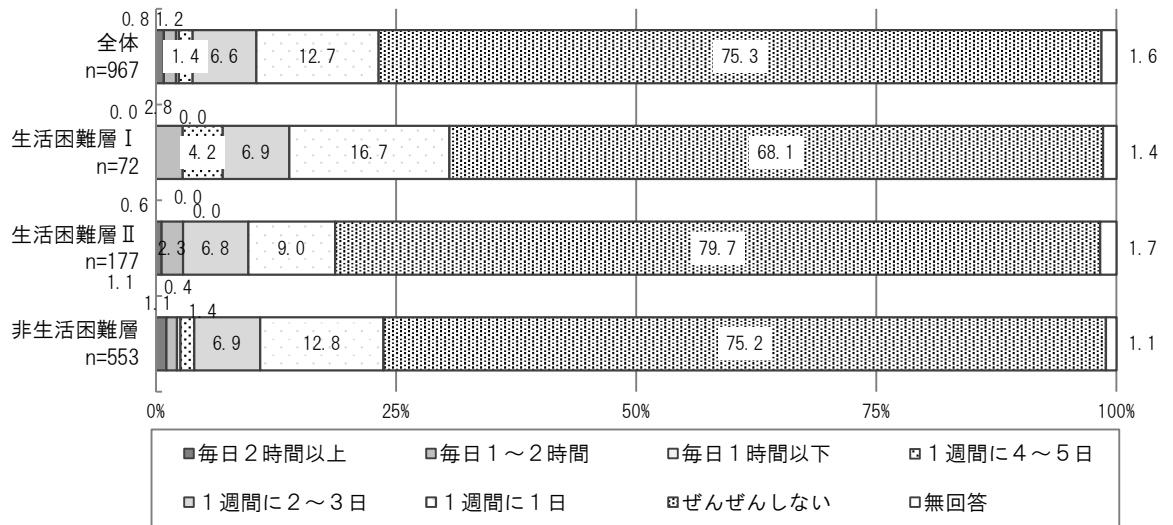


図 1-10-16 日常の活動 ⑦ 塾や習い事 (中2)

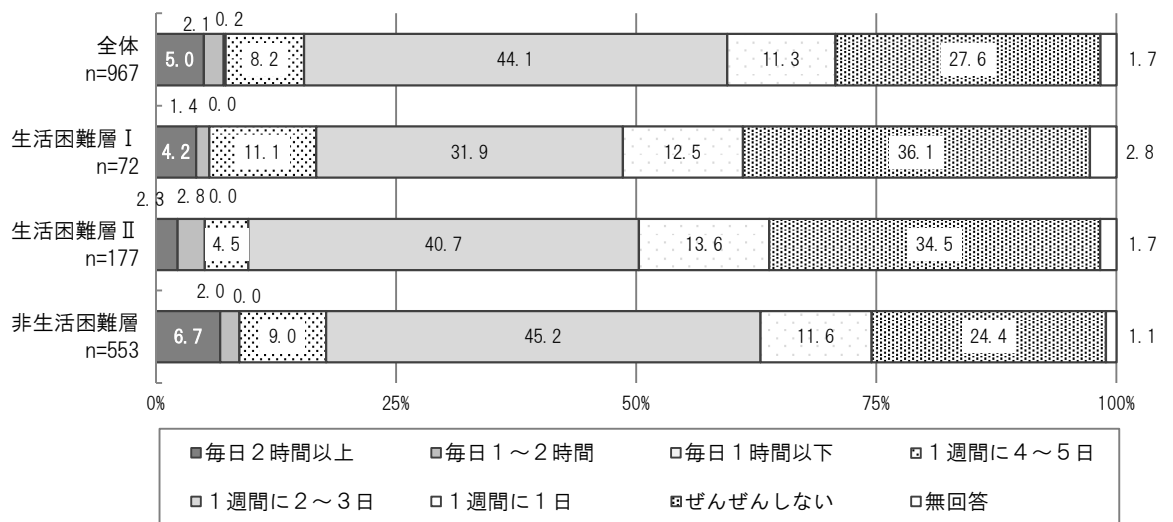


図 1-10-17 日常の活動 ⑧ 家事 (中2)

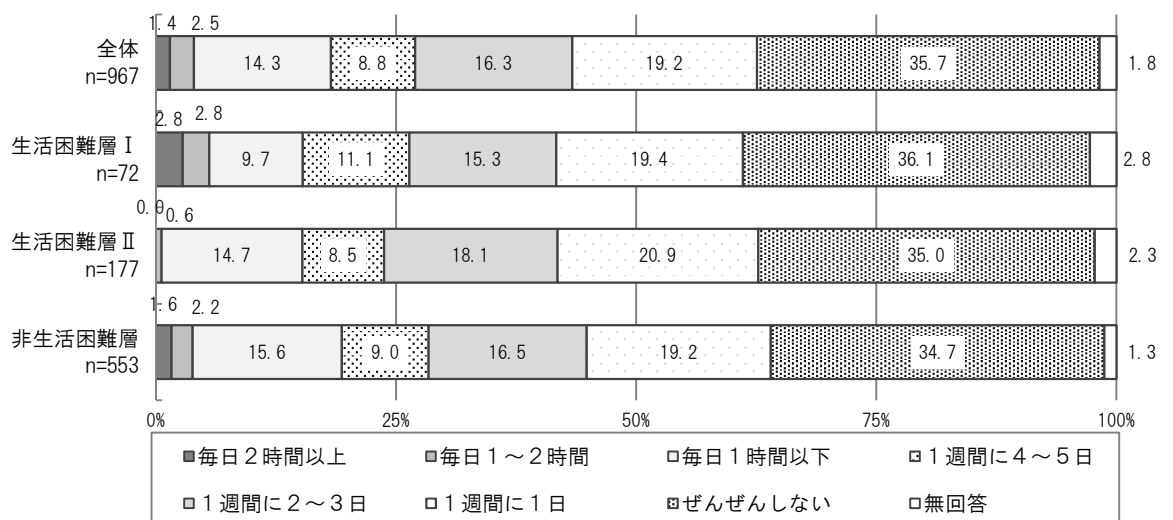
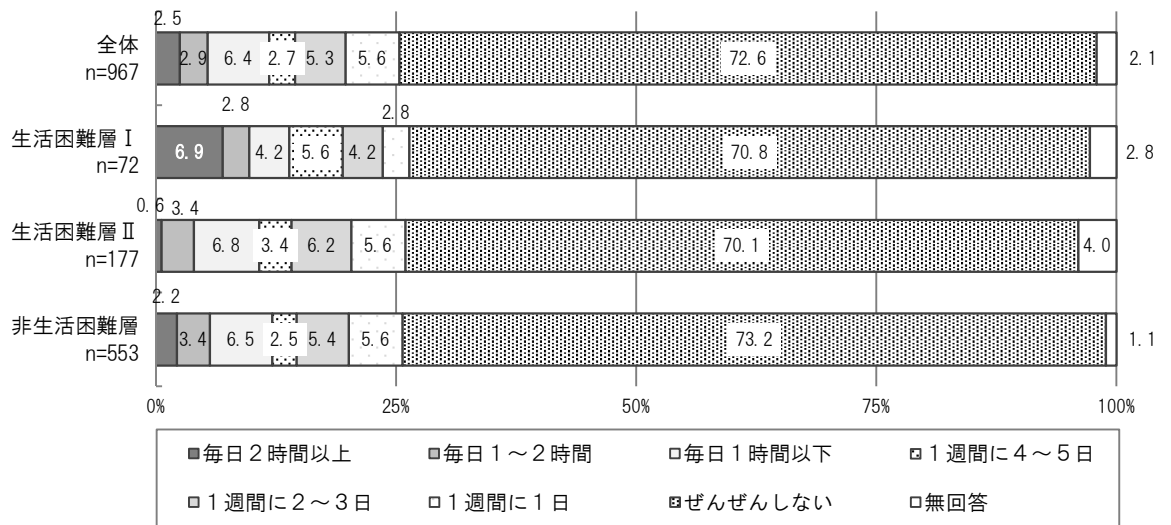


図 1-10-18 日常の活動 ⑨ 兄弟姉妹の世話や家族の介護（中2）



(11) 30分以上からだを動かす遊びや習い事（からだを動かすこと）を、1週間でどれくらいしますか。（あてはまる番号1つに○）〈小5 問8・中2 問9〉

30分以上からだを動かしているかについて、小5では「週に1～2回」が33.3%と最も高く、次いで「週に3～4回」が22.0%となっている。
 中2では「ほぼ毎日」が46.1%と最も高く、次いで「週に5～6回」が17.4%となっている。

図 1-11-1 30分以上からだを動かしているか（小5）

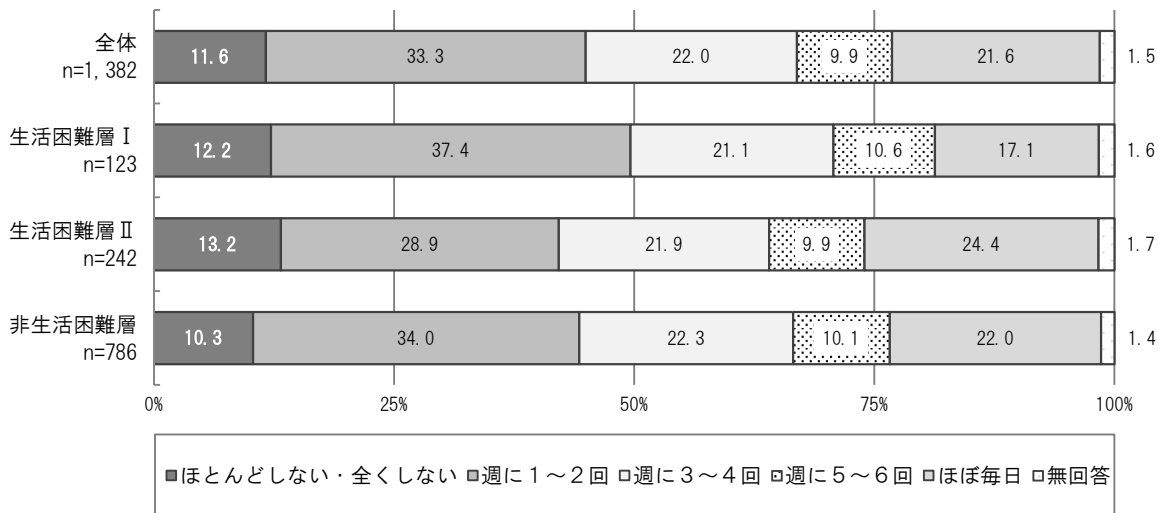
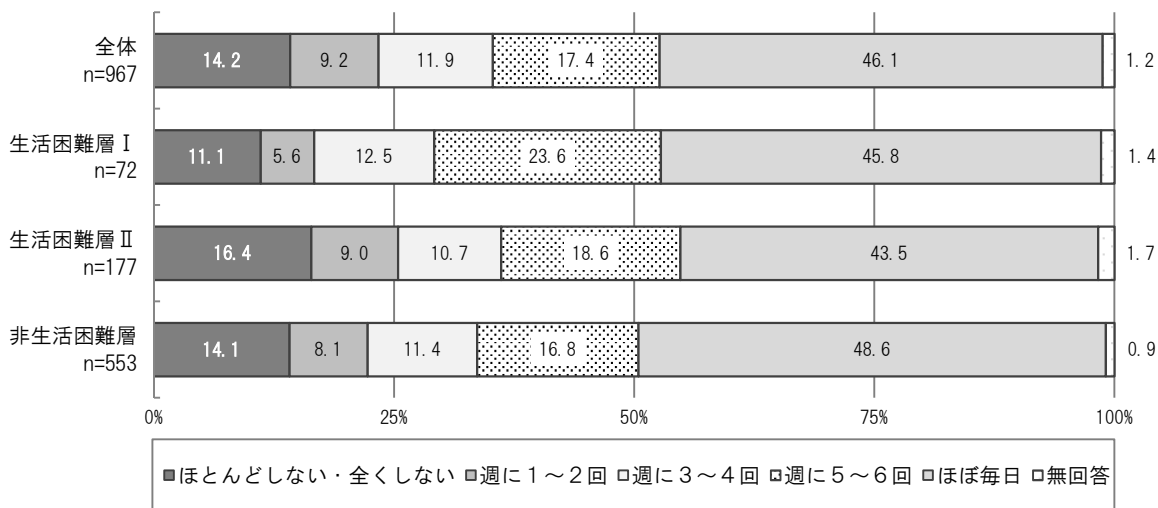


図 1-11-2 30分以上からだを動かしているか（中2）



(12) この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。

(あてはまる番号1つに○) <小5 問9・中2 問10>

本を何冊読んだかについて、小5では「2～3冊」が27.4%と最も高く、次いで「4～7冊」が21.1%となっている。
 中2では「読まなかった」が35.4%と最も高く、次いで「1冊」が24.9%となっている。

図 1-12-1 本を何冊読んだか (小5)

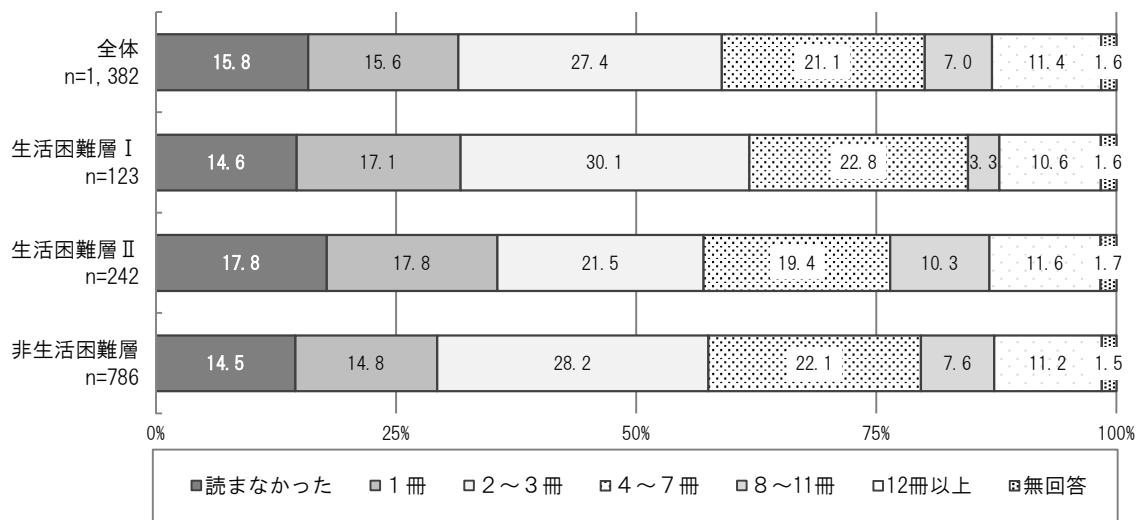
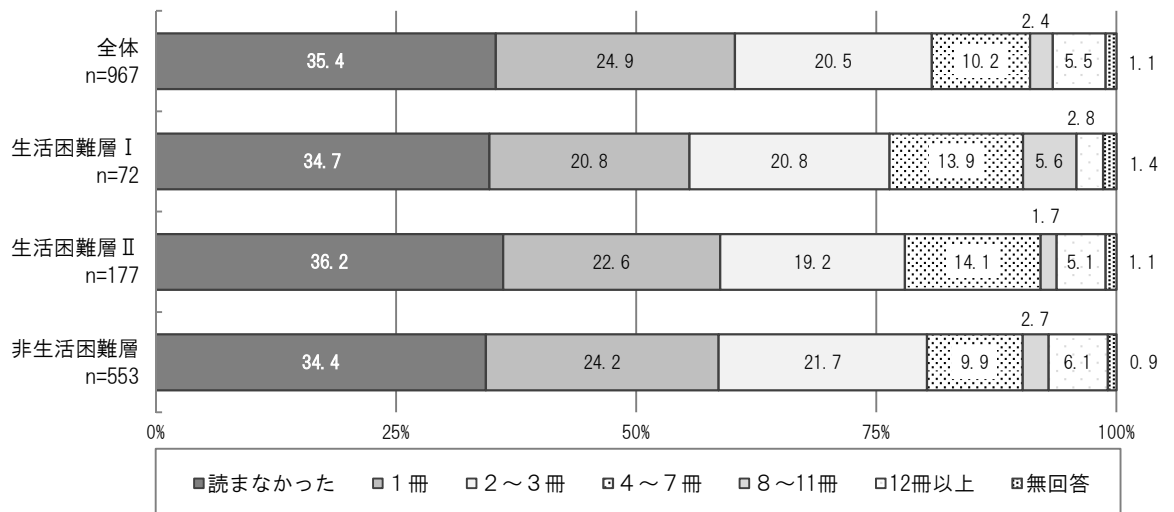


図 1-12-2 本を何冊読んだか (中2)



(13) ふだん、楽しいことや悲しいこと、困っていることや悩みごとを、他の人にどれくらい話しますか。もっとも近いものに○をつけてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <小5 問10・中2 問11>

話し相手について、小5では「よく話す」は「親」が54.4%と最も高く、次いで「学校の友だち」が38.6%となっている。中2では「よく話す」は「学校の友だち」が54.1%と最も高く、次いで「親」が49.1%となっている。

図 1-13-1 話し相手 ① 親 (小5)

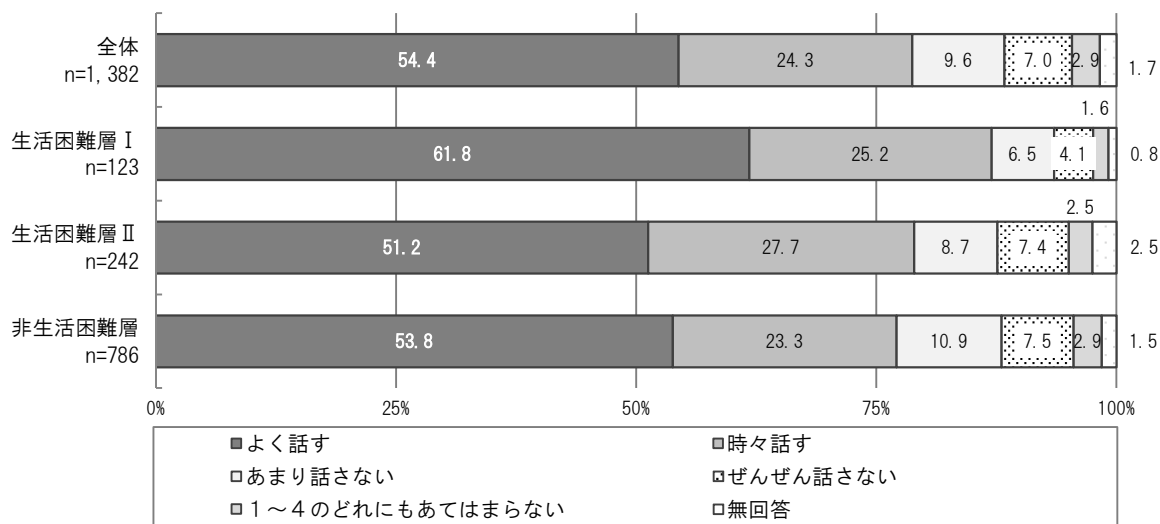


図 1-13-2 話し相手 ② きょうだい (小5)

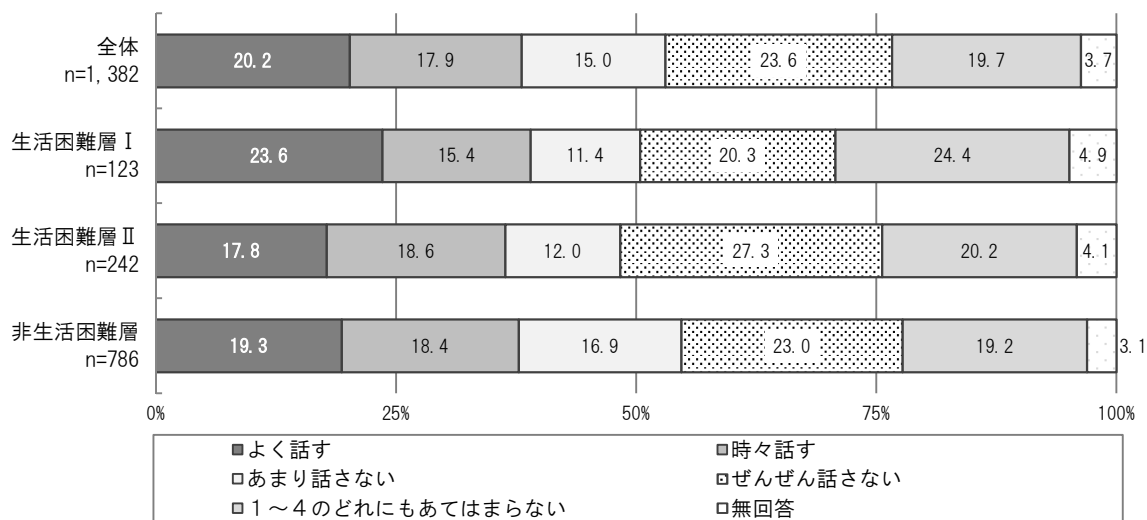


図 1-13-3 話し相手 ③ その他の家族（小5）

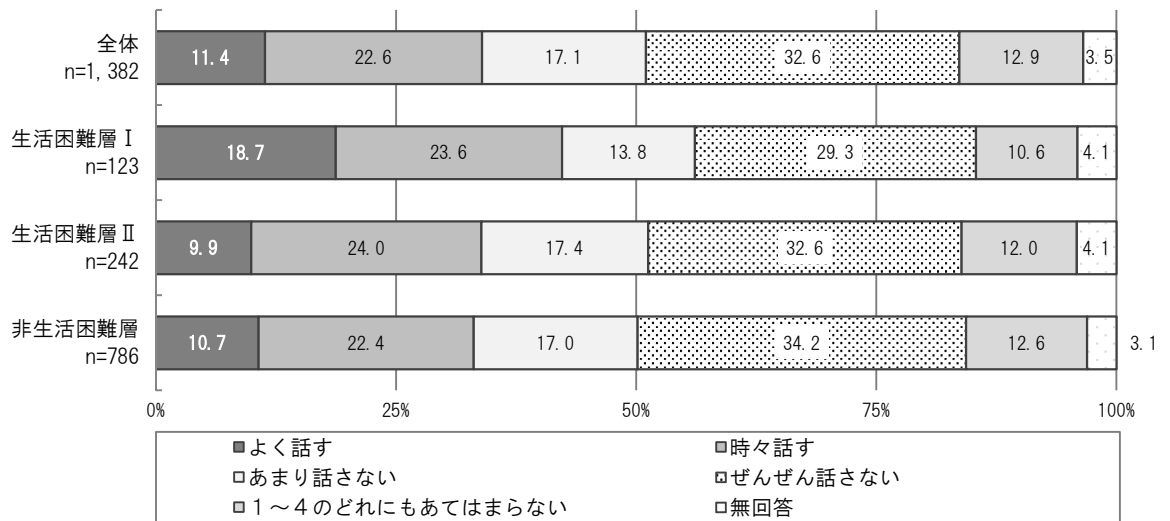


図 1-13-4 話し相手 ④ 学校の先生（小5）

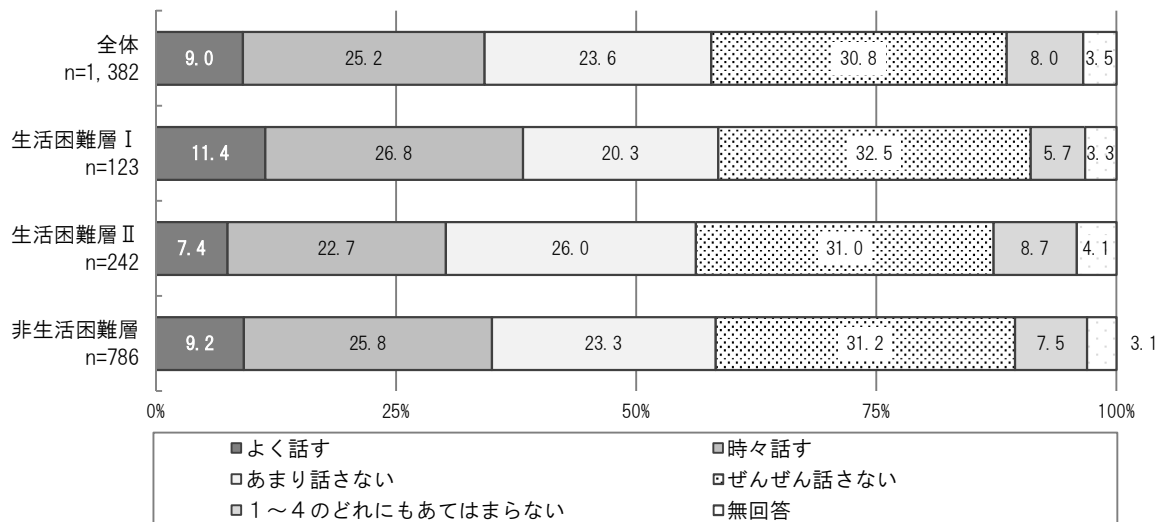


図 1-13-5 話し相手 ⑤ 放課後児童クラブ、青少年の家、わいわいスクール、放課後子ども教室の大人（小5）

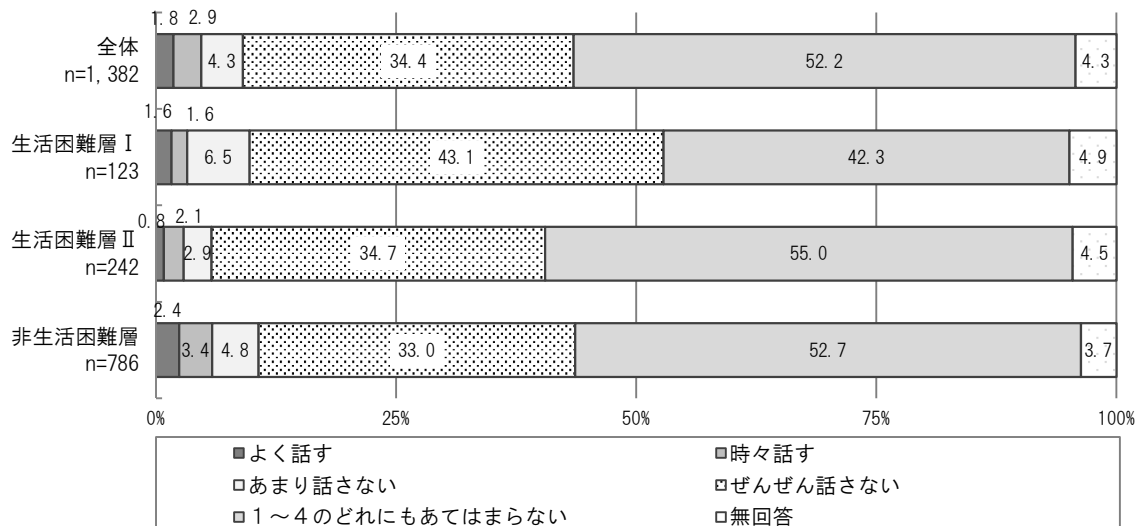


図 1-13-6 話し相手 ⑥ 学校の友だち (小5)

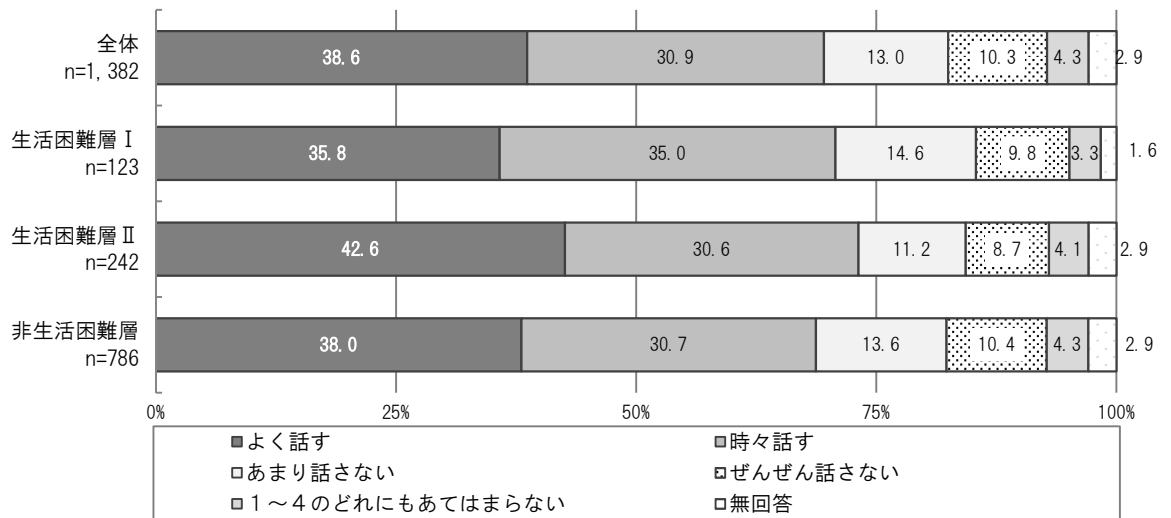


図 1-13-7 話し相手 ⑦ 学校以外の友だち (小5)

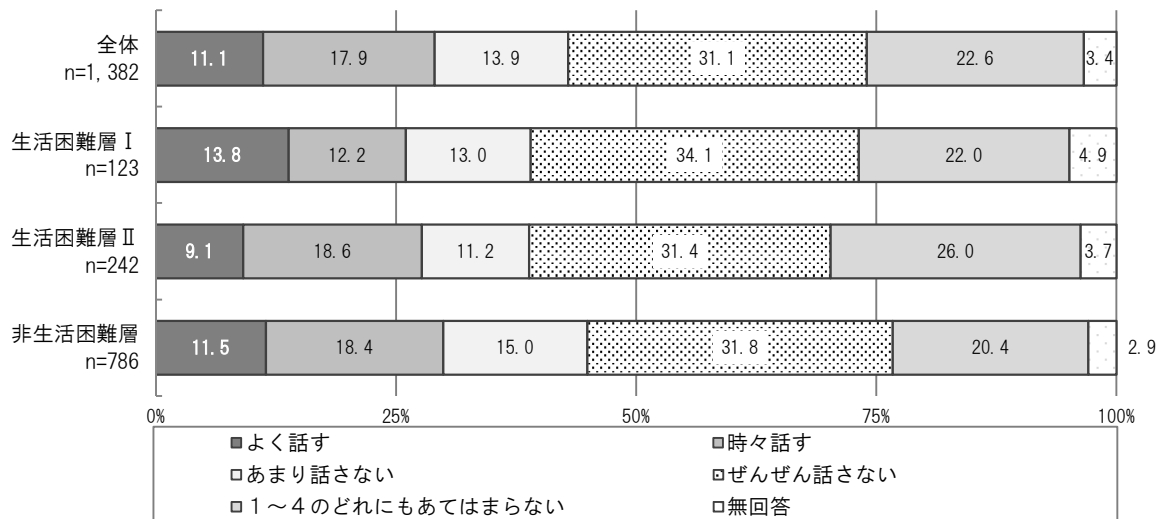


図 1-13-8 話し相手 ⑧ その他の大人 (小5)

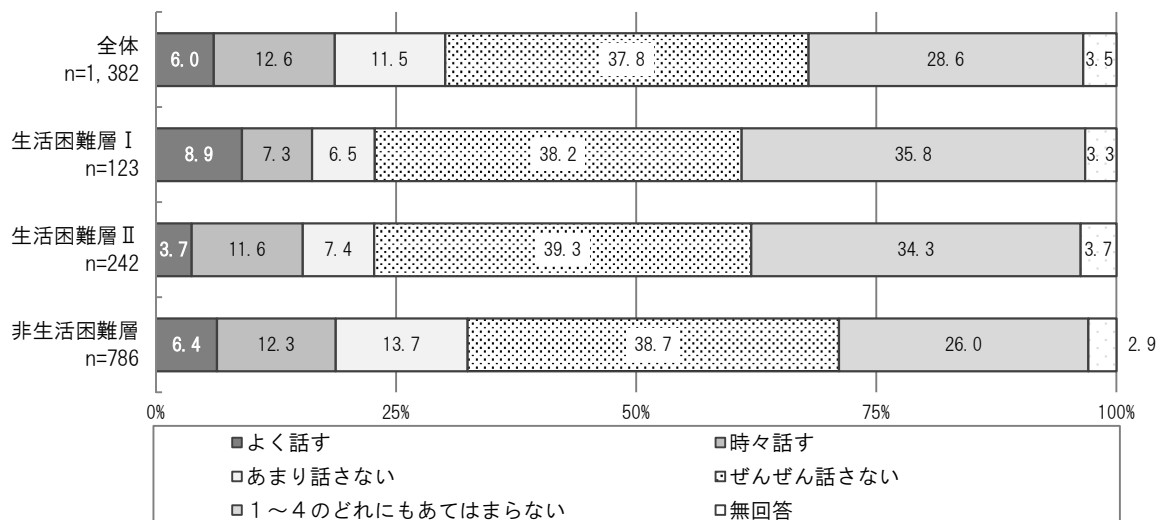


図 1-13-9 話し相手 ① 親（中 2）

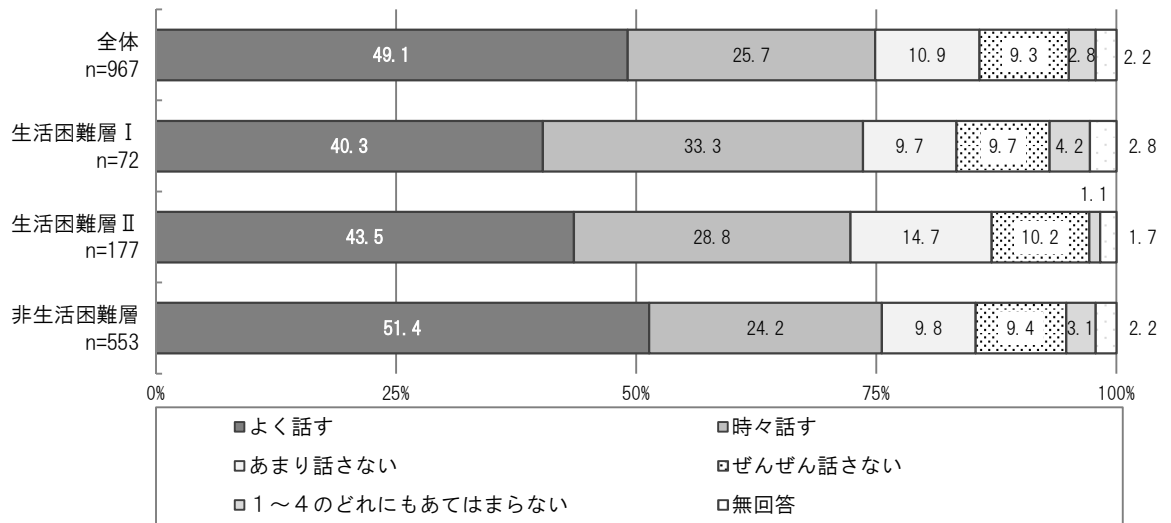


図 1-13-10 話し相手 ② 兄弟姉妹（中 2）

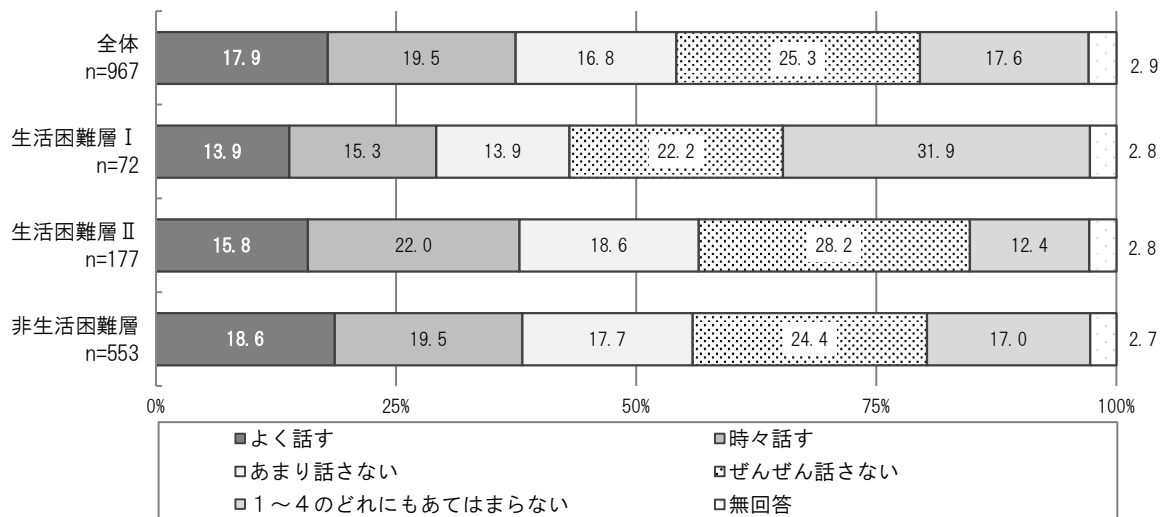


図 1-13-11 話し相手 ③ その他の家族（中 2）

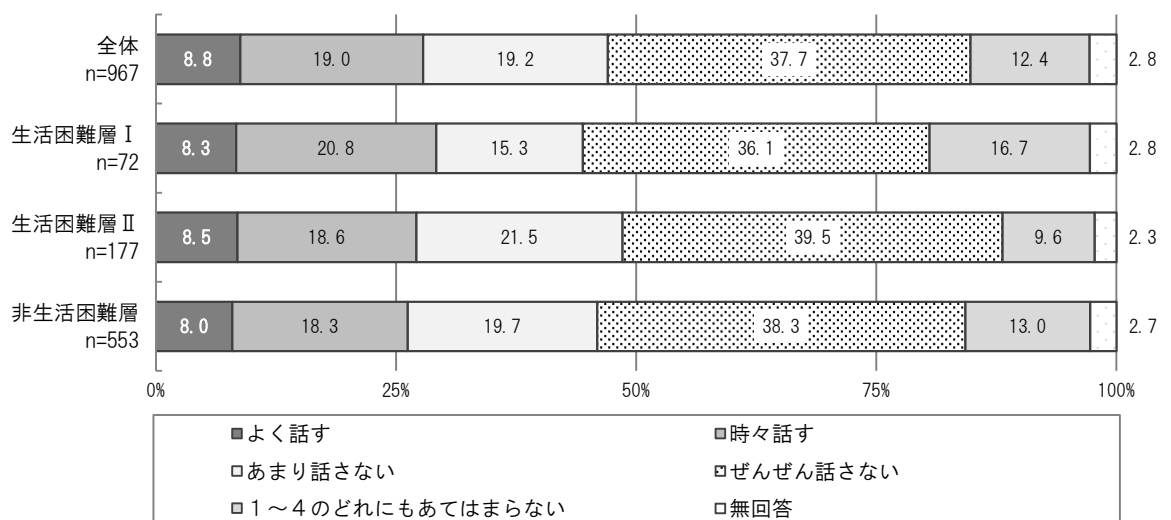


図 1-13-12 話し相手 ④ 学校の先生（中2）

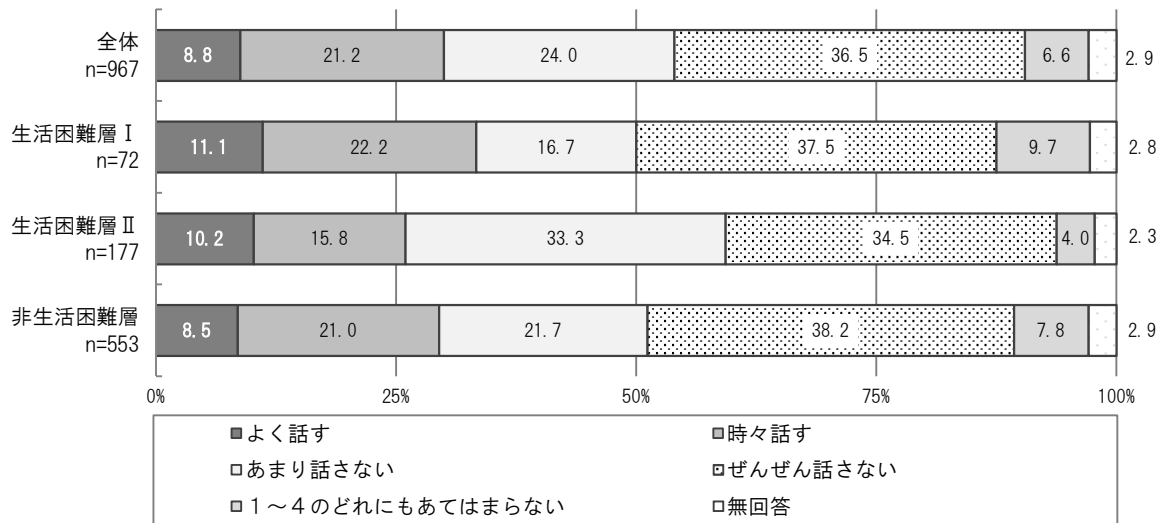


図 1-13-13 話し相手 ⑤ 学校の友だち（中2）

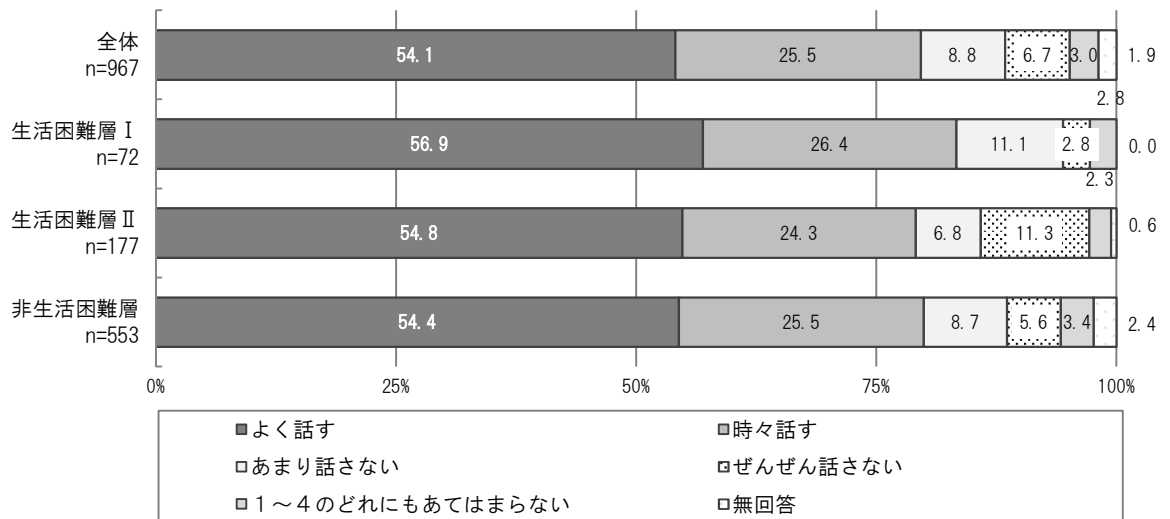


図 1-13-14 話し相手 ⑥ 学校以外の友だち（中2）

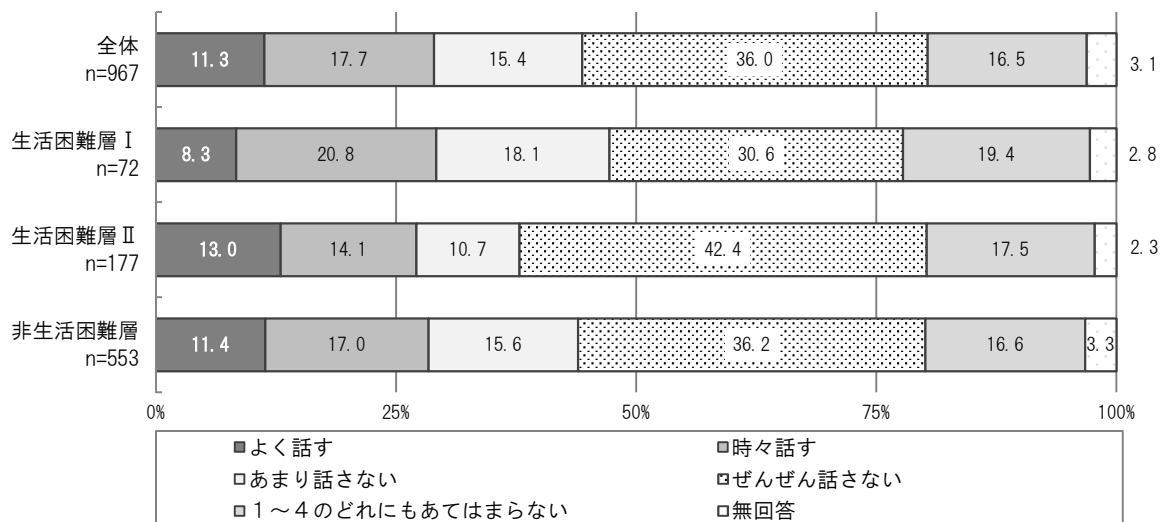
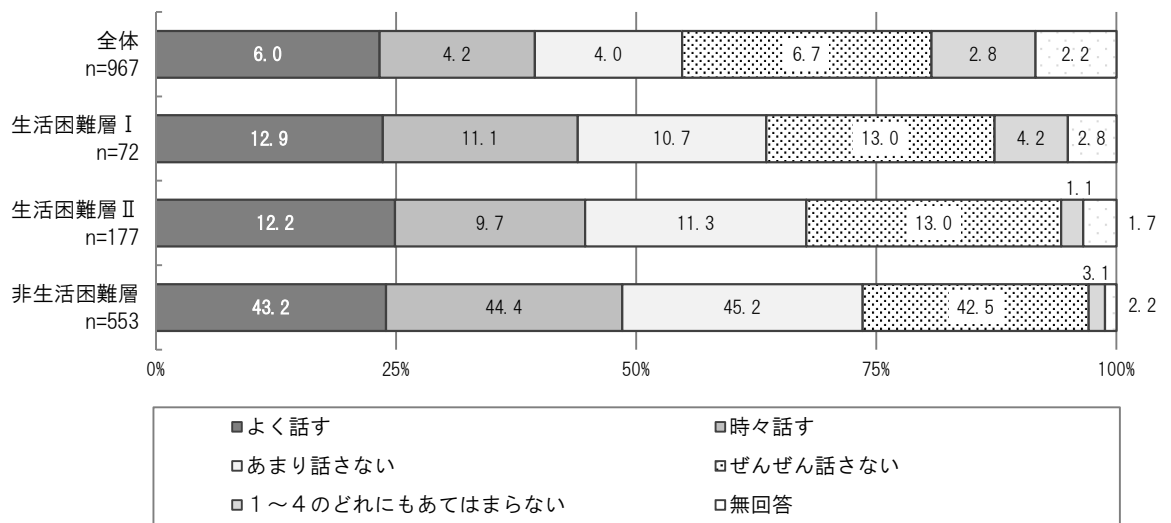


図 1-13-15 話し相手 ⑦ その他の大人（中2）



2 食事のことや健康のことについて

(1) 平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（あてはまる番号1つに○）

<小5 問11・中2 問12>

毎日、朝ごはんを食べるかについて、いずれも「いつも食べる」が最も高く、小5は92.1%、中2は87.6%となっており、次いで「食べるほうが多い（週に3、4日）」が小5は3.3%、中2は5.4%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰ及びⅡでは「いつも食べる」の割合が、非生活困難層よりも低くなっている。

図 2-1-1 毎日、朝ごはんを食べるか（小5）

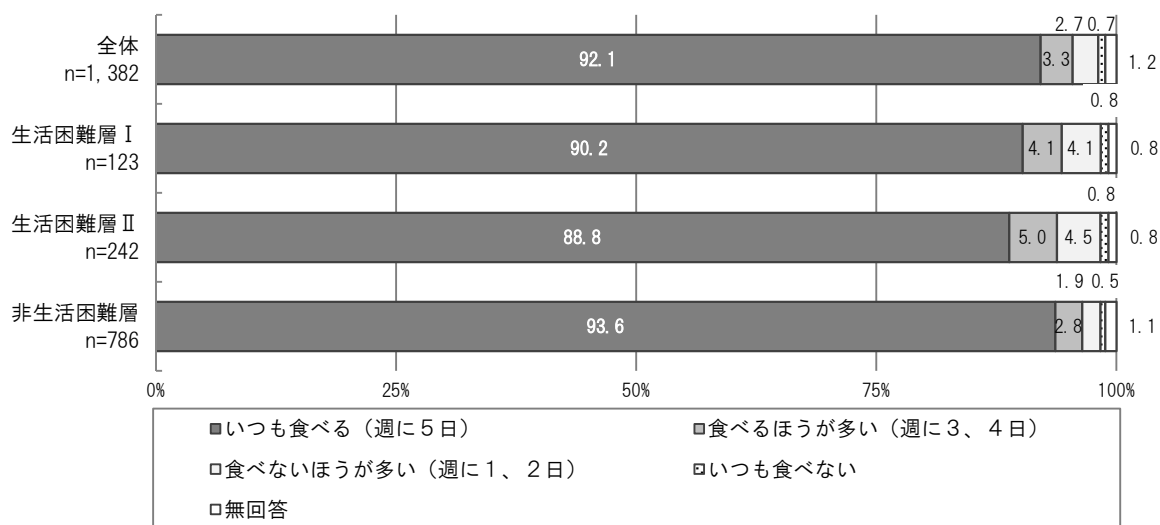
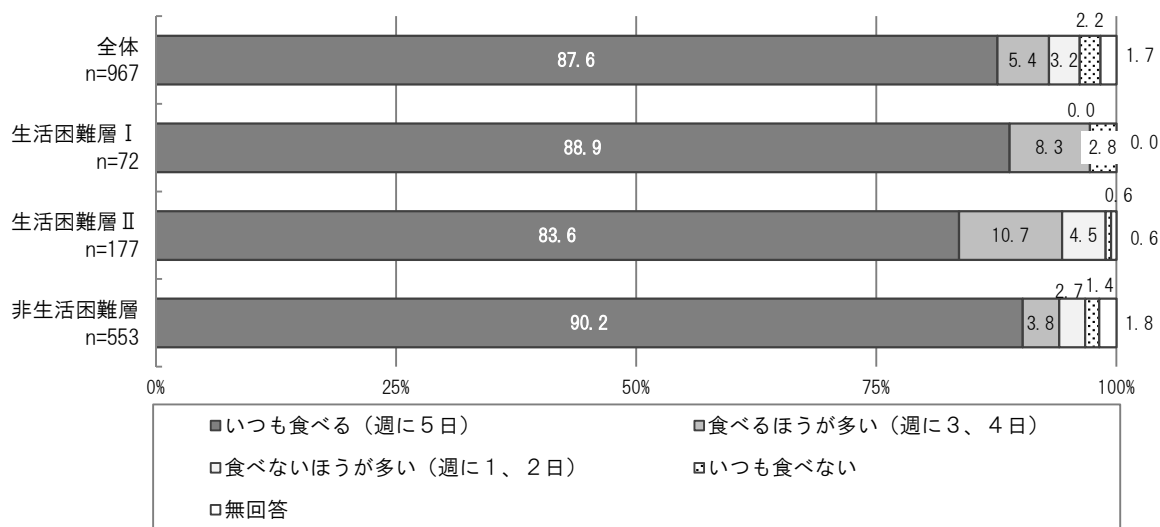


図 2-1-2 毎日、朝ごはんを食べるか（中2）



(2) 平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。

（あてはまる番号すべてに○）＜小5 問12・中2 問13＞

朝ごはんをだれと食べるかについては、小5では「親」と「兄弟姉妹」がともに59.8%となっており、「一人で食べる」が19.4%となっている。

中2では「親」が48.8%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」が46.0%となっており、「一人で食べる」が39.0%となっている。

図 2-2-1 朝ごはんをだれと食べるか（小5）

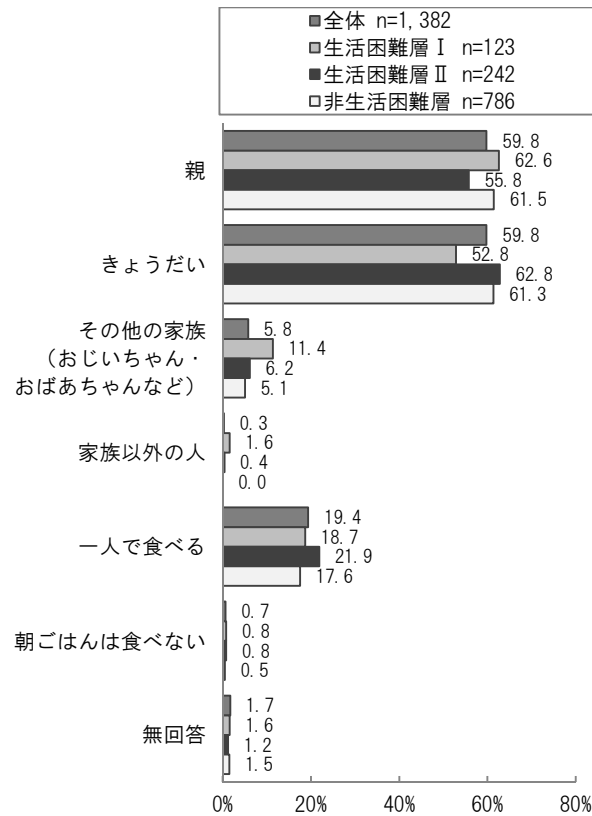
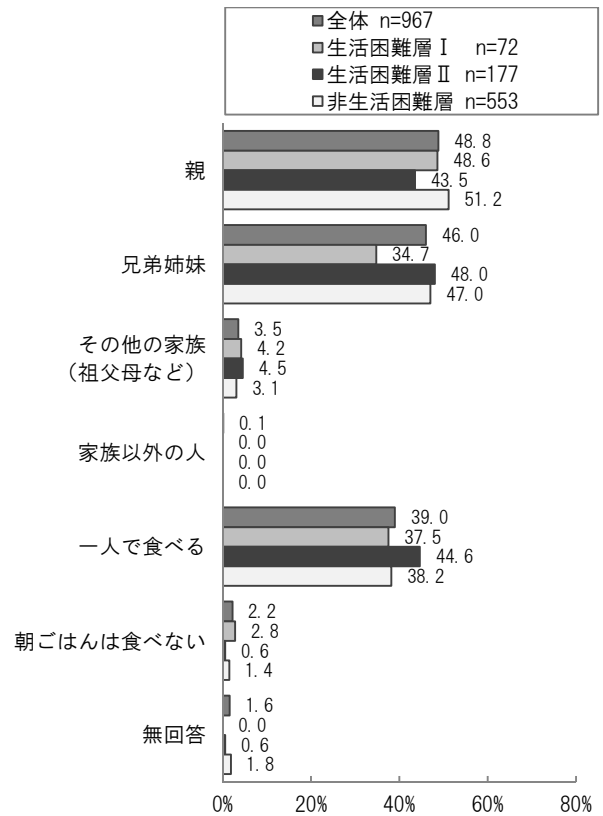


図 2-2-2 朝ごはんをだれと食べるか（中2）



(3) 平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。

（あてはまる番号すべてに○）＜小5 問13・中2 問14＞

夕ごはんをだれと食べるかについては、いずれも「親」が最も高く、小5は90.9%、中2は87.4%となっており、次いで「兄弟姉妹」が小5は61.7%、中2は55.5%となっている。また、「一人で食べる」が小5は3.8%、中2は11.9%となっている。

図 2-3-1 夕ごはんをだれと食べるか（小5）

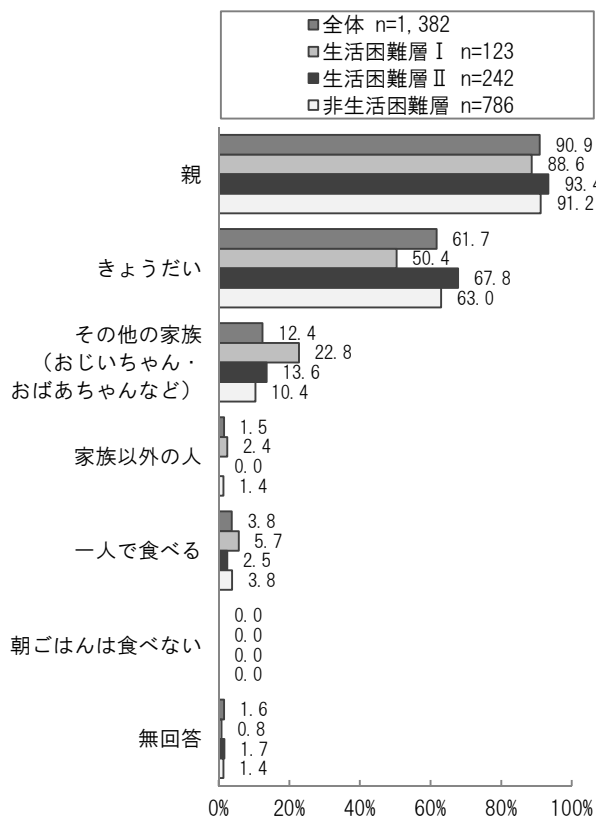
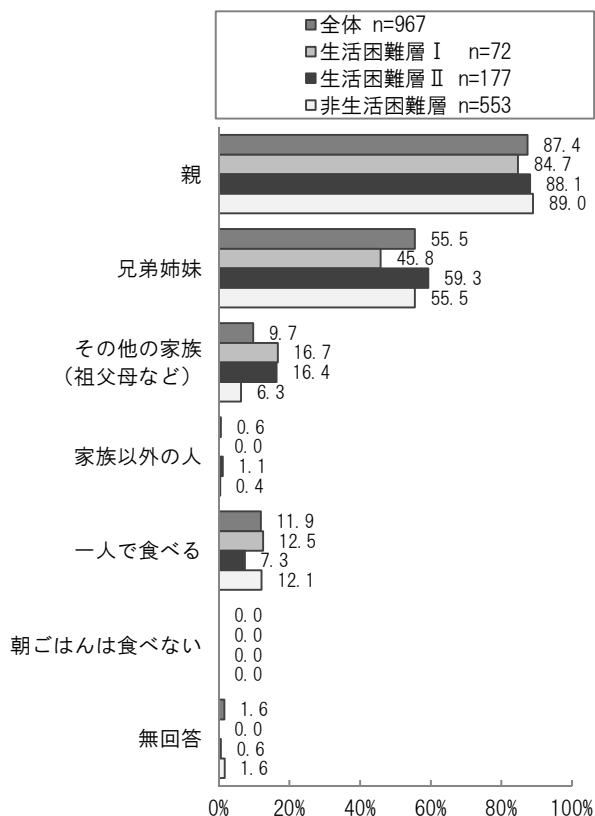


図 2-3-2 夕ごはんをだれと食べるか（中2）



(4) 平日（学校に行く日）、何時に寝ていますか。（あてはまる番号1つに○）

<小5 問14・中2 問15>

平日の就寝時間について、小5では「午後9時台」が36.5%と最も高く、次いで「午後10時台」が35.9%となっている。
 中2では「午後11時台」が38.0%と最も高く、次いで「午後10時台」が29.6%となっている。また、「午前0時以降」と「午前1時より後」を合わせると11.5%となっている。

図 2-4-1 平日の就寝時間（小5）

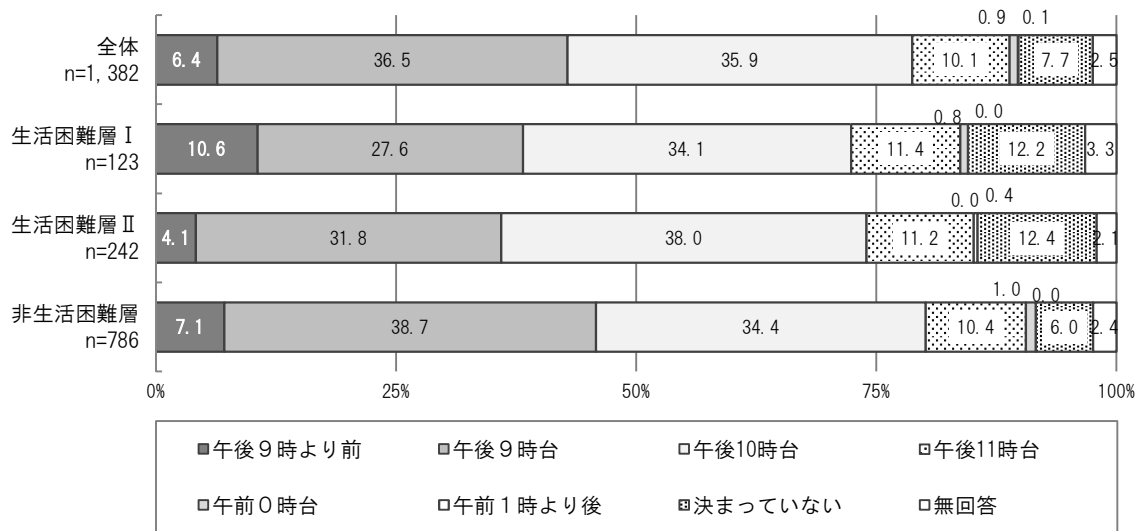
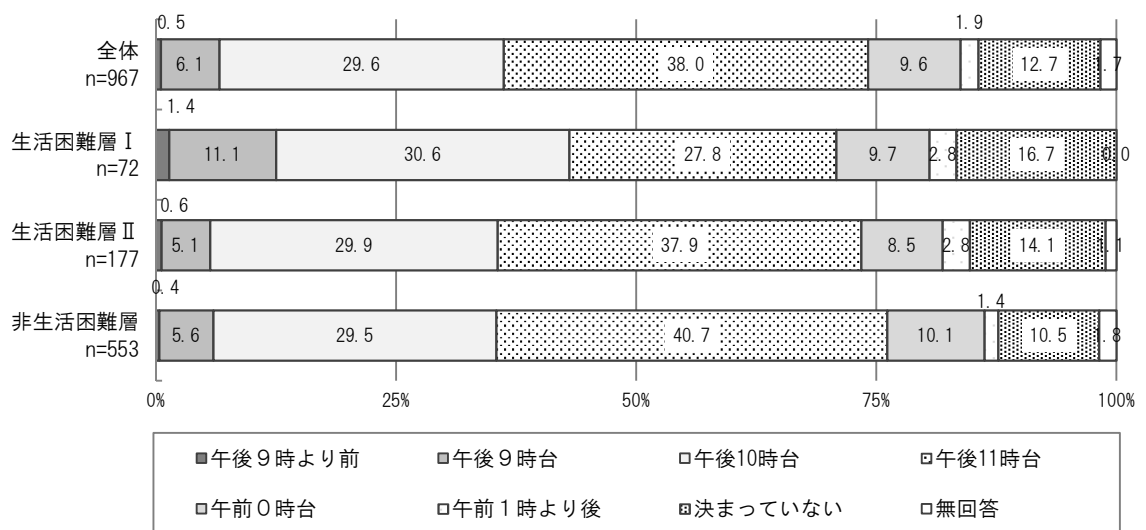


図 2-4-2 平日の就寝時間（中2）



(5) 平日（学校に行く日）、何時間くらい寝ていますか。（あてはまる番号1つに○）

<小5 問15・中2 問16>

平日の睡眠時間について、小5では「8時間～8時間59分」が37.5%と最も高く、次いで「9時間～9時間59分」が34.0%となっている。

中2では「7時間～7時間59分」が37.8%と最も高く、次いで「8時間～8時間59分」が22.1%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、中2の生活困難層Ⅰでは「5時間59分より短い」が、非生活困難層よりも約9ポイント高くなっている。

図 2-5-1 平日の睡眠時間（小5）

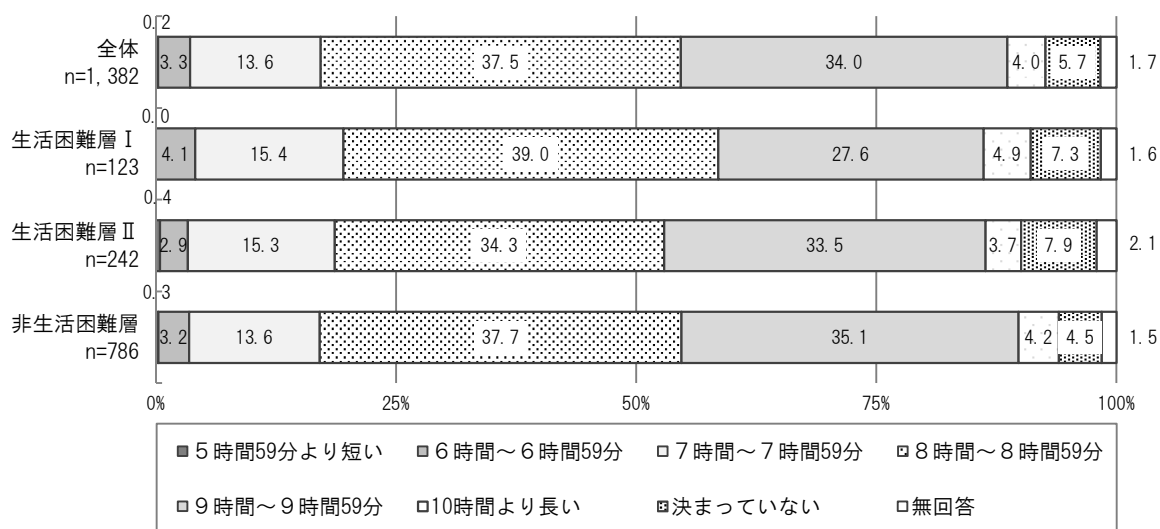
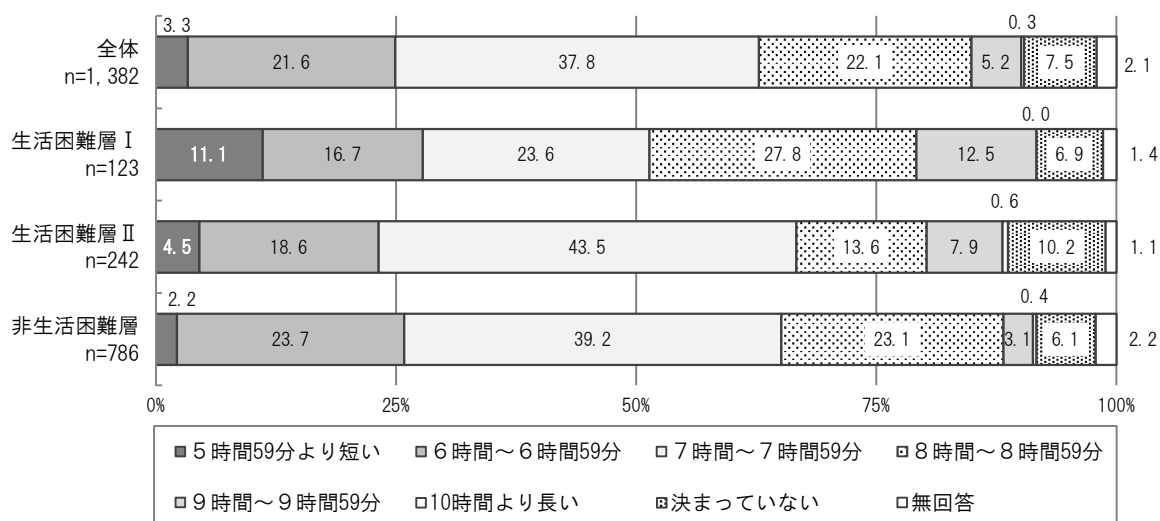


図 2-5-2 平日の睡眠時間（中2）



(6) 現在の健康状態についてどう感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

<小5 問16・中2 問17>

現在の健康状態について、「あまりよくない」が小5は5.4%、中2は6.8%となっており、「よくない」との合計が、小5は6.1%、中2は7.9%となっている。
 生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「よい」が、非生活困難層よりも約8～11ポイント低くなるなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて、「よい」の割合が低くなっている。

図 2-6-1 現在の健康状態（小5）

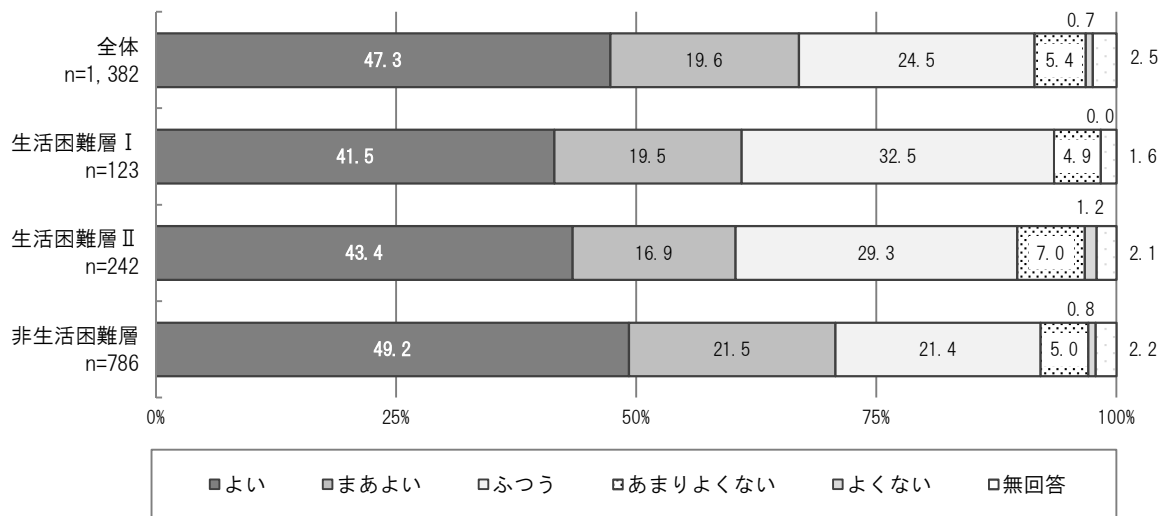
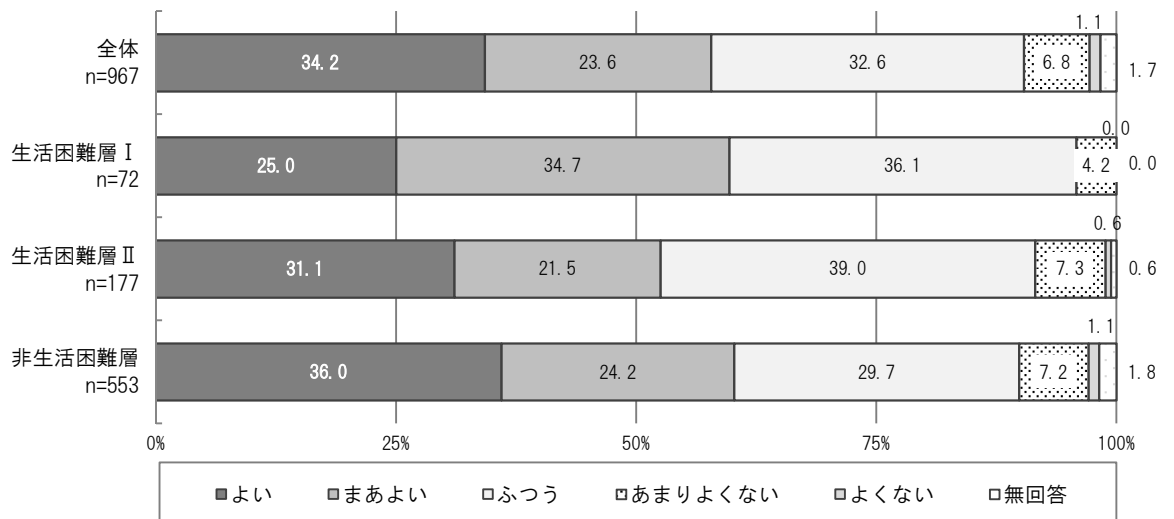


図 2-6-2 現在の健康状態（中2）



(7) 今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。カッコの中に本数を書いてください。〈小5 問17・中2 問18〉

虫歯の本数について、「0本」が、小5は49.2%、中2は44.5%となっているが、「わからない」が、小5は34.9%、中2は48.5%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて、「0本」の割合が低くなっている。

図 2-7-1 虫歯の本数（小5）

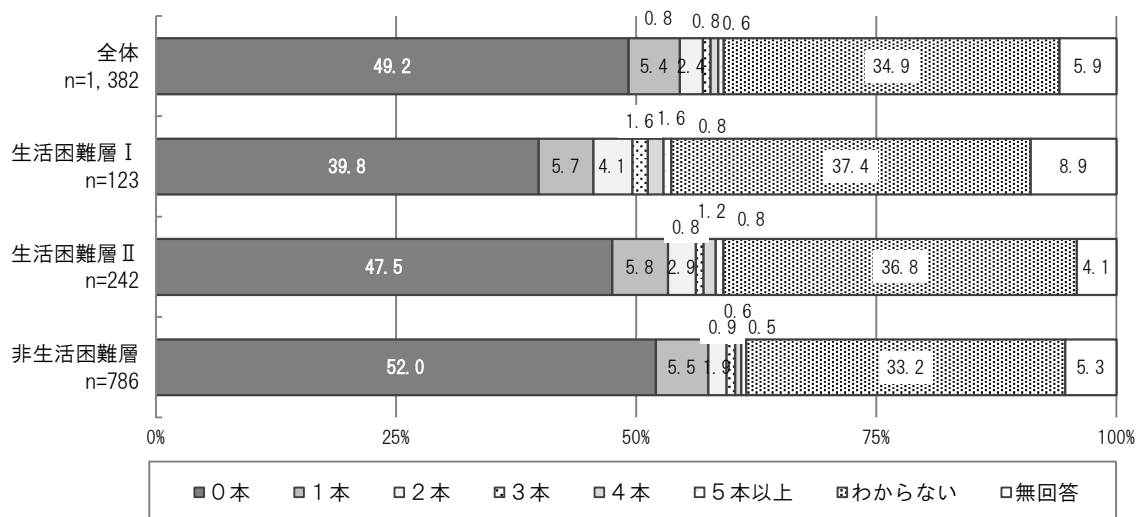
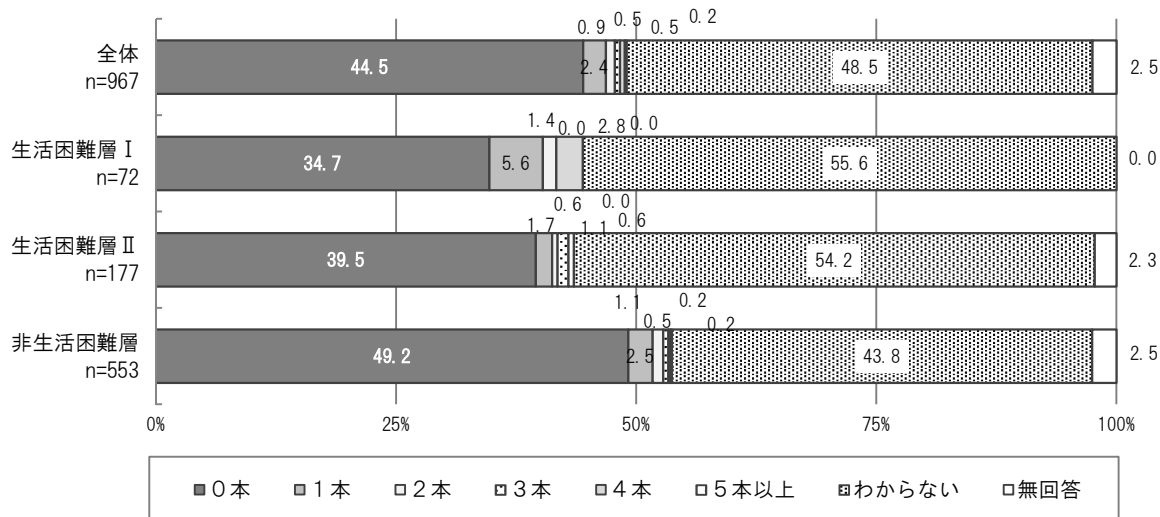


図 2-7-2 虫歯の本数（中2）



3 友だちのことについて

(1) あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。もっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <小5 問18・中2 問19>

友だちとの関係のうち、「友だちに好かれていると思う」について、小5では「あまりそう思わない」が、小5は16.9%、中2は13.9%となっており、「そう思わない」との合計が、小5は21.9%、中2は17.2%となっている。

図 3-1-1 友だちとの関係 ① 友だちといっしょに遊んでいると思う (小5)

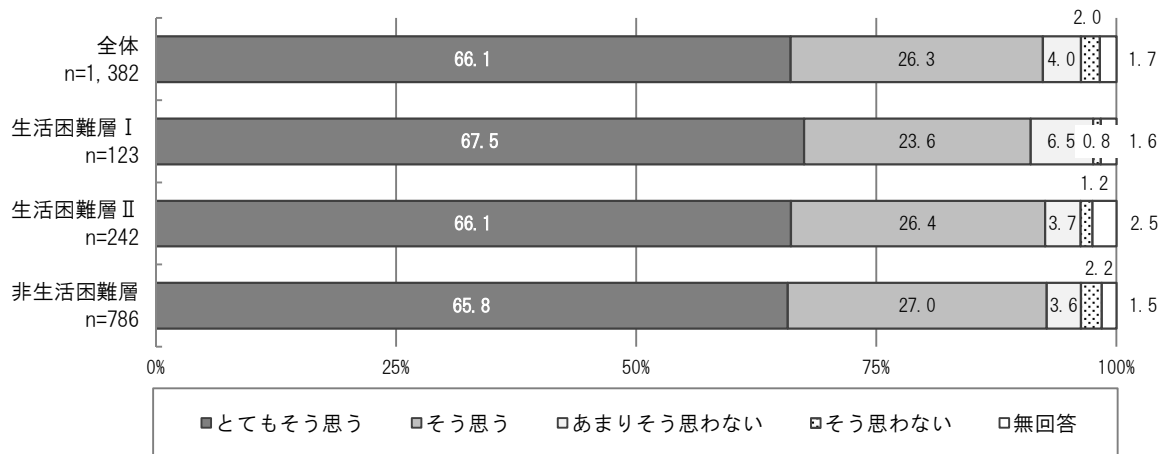


図 3-1-2 友だちとの関係 ② 友だちと仲良くしていると思う (小5)

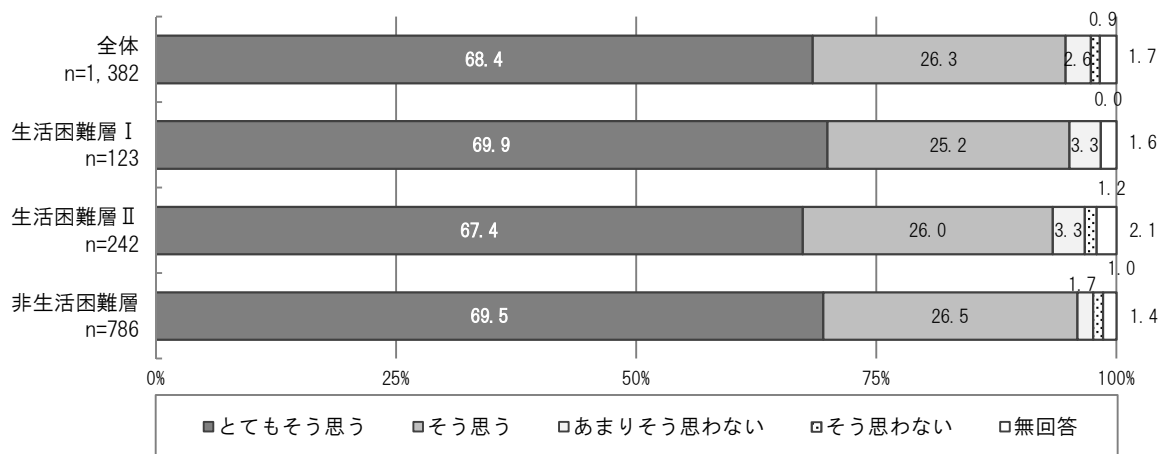


図 3-1-3 友だちとの関係 ③ 友だちに好かれていると思う (小5)

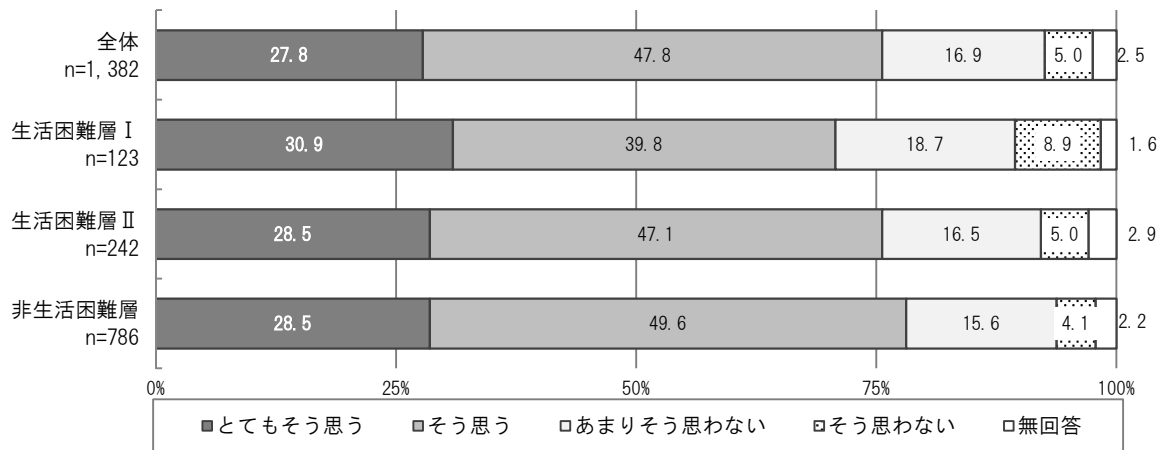


図 3-1-4 友だちとの関係 ① 友だちといっしょに遊んでいると思う (中2)

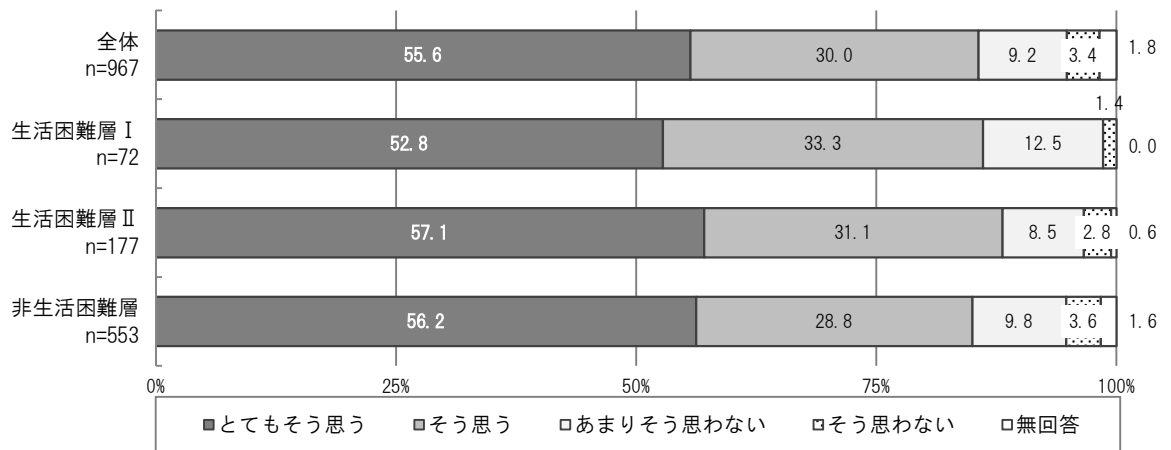


図 3-1-5 友だちとの関係 ② 友だちと仲良くしていると思う (中2)

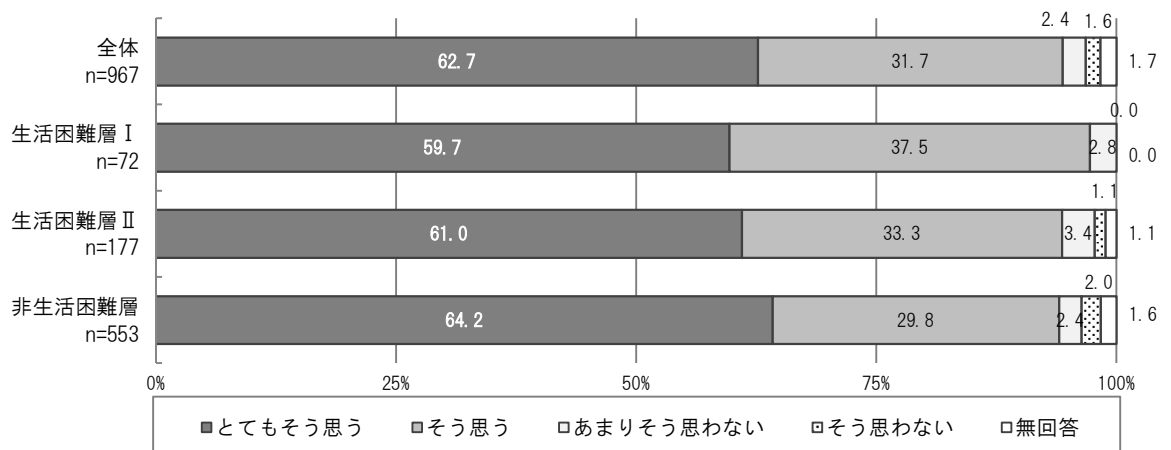
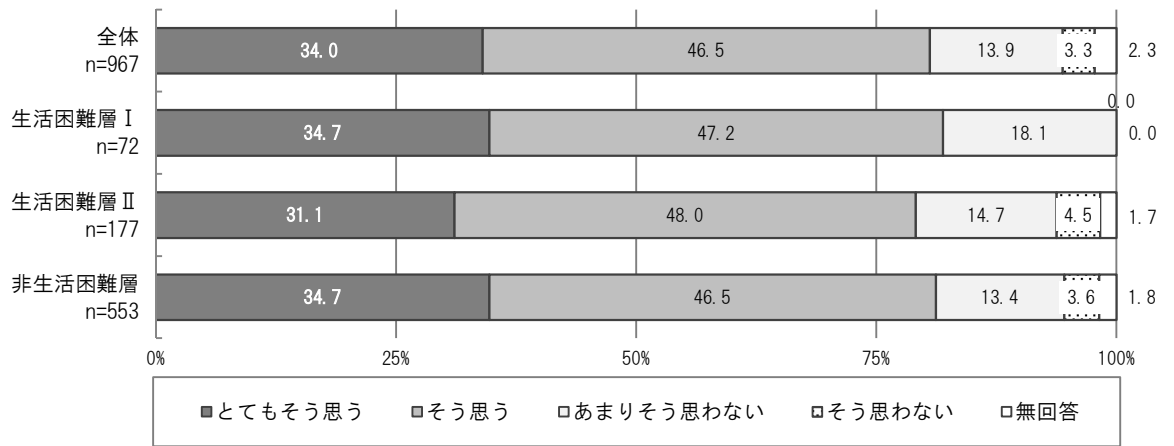


図 3-1-6 友だちとの関係 ③ 友だちに好かれていると思う（中2）



(2) 一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。(あてはまる番号1つに○)

<小5 問19・中2 問20>

一番仲が良い友だちについて、「学校の友だち」が、小5は82.2%、中2は76.3%となっている。

図 3-2-1 一番仲が良い友だち (小5)

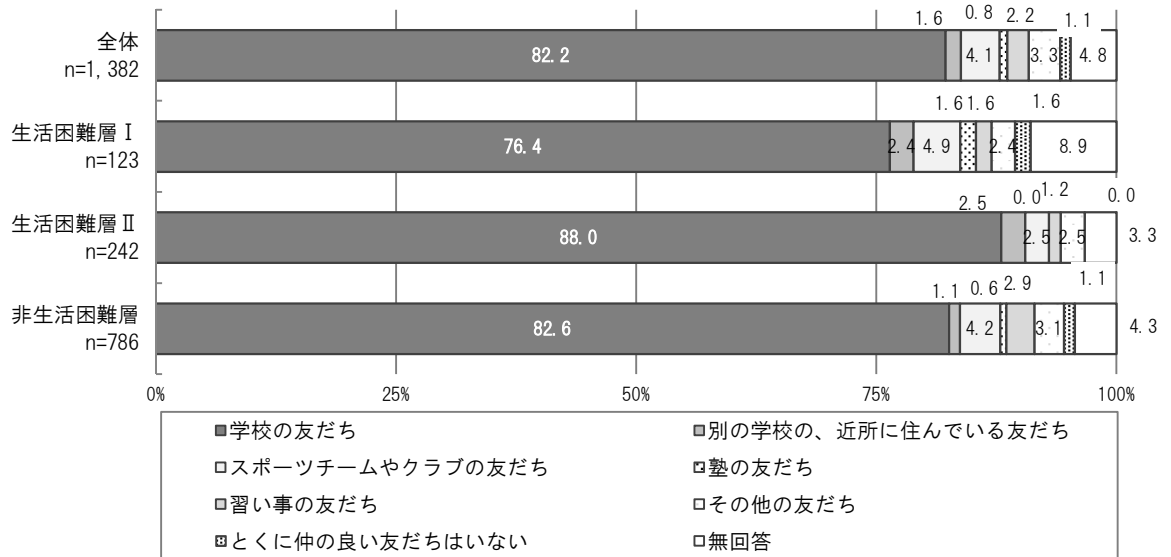
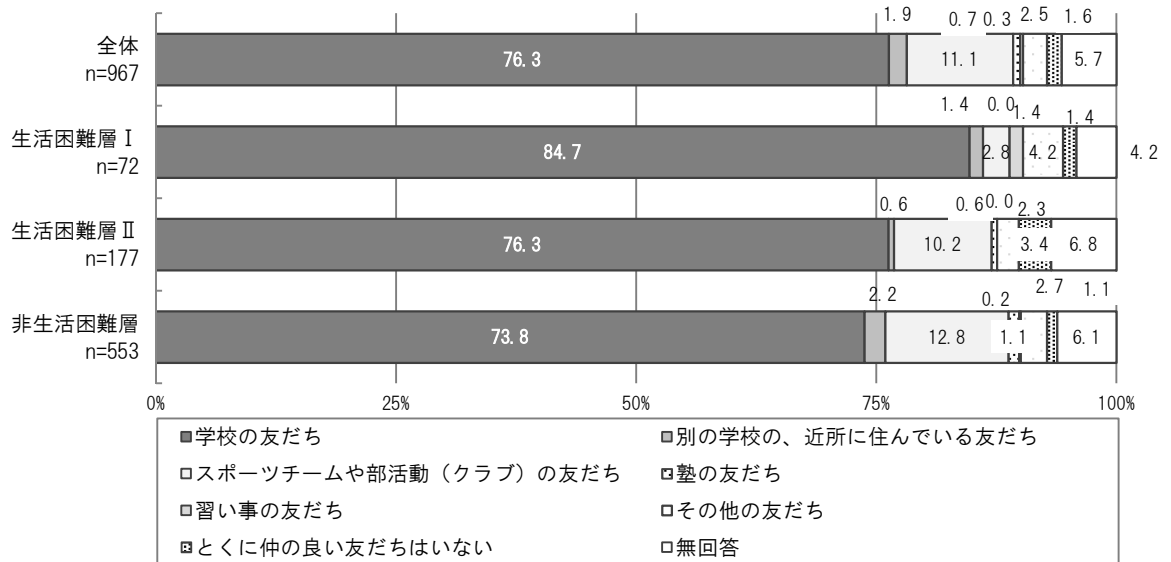


図 3-2-2 一番仲が良い友だち (中2)



4 学校のことや勉強のことについて

(1) あなたの学校生活について、もっとも近いものに○をつけてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <小5 問20・中2 問21>

学校生活で楽しいものについて、「とても楽しみ」なものは、小5では「休み時間」が71.2%と最も高く、中2では「友だちに会うこと」が59.0%と最も高くなっている。

「楽しみではない」ものは、小5では「社会」が30.3%と最も高く、中2では「先生に会うこと」が39.8%と最も高くなっている。

図 4-1-1 学校生活で楽しいもの ① 国語 (小5)

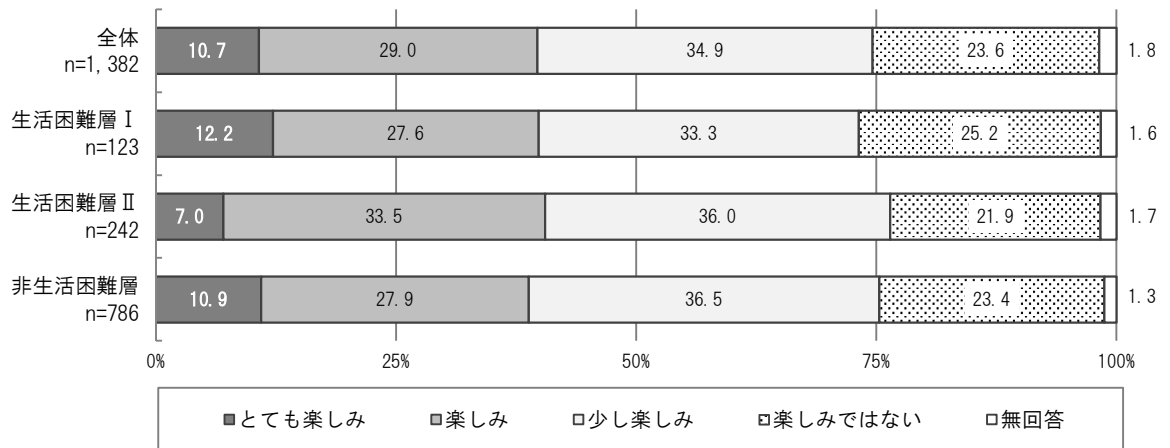


図 4-1-2 学校生活で楽しいもの ② 社会 (小5)

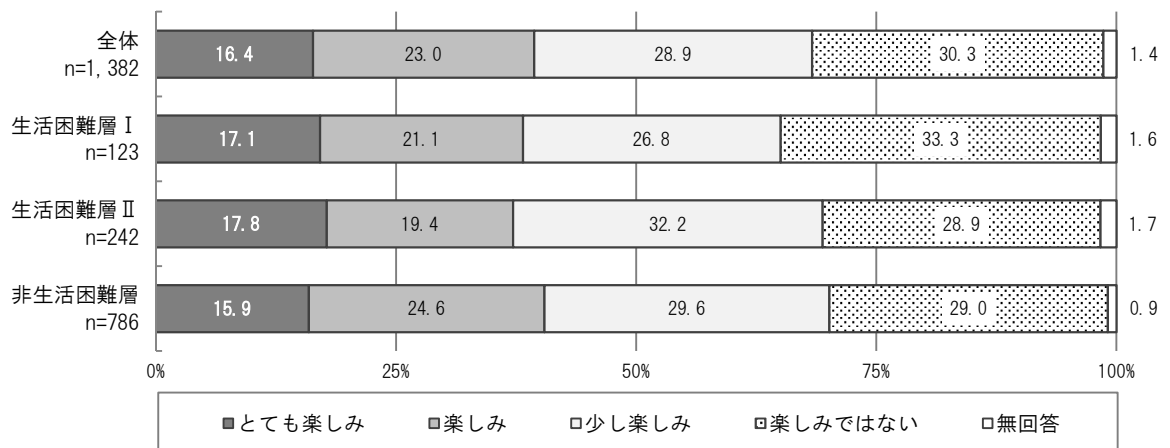


図 4-1-3 学校生活で楽しいもの ③ 算数（小5）

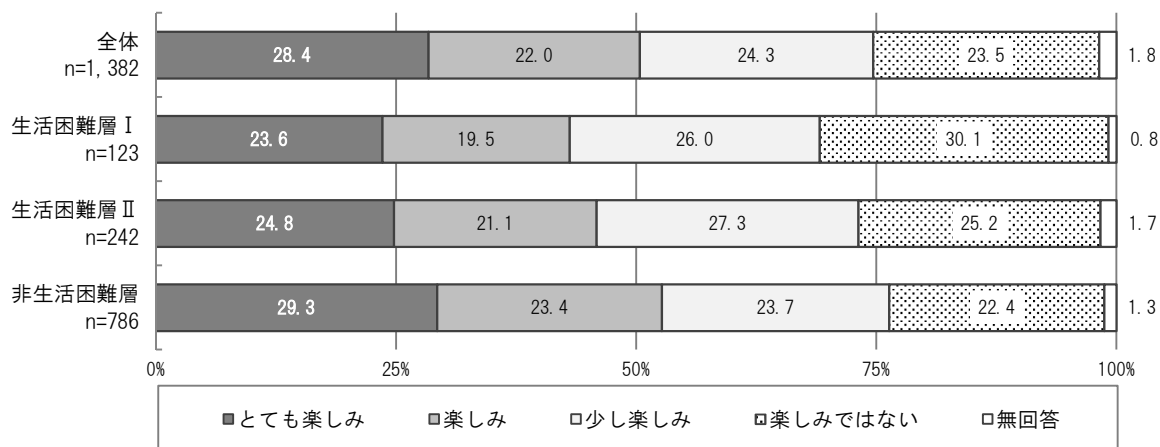


図 4-1-4 学校生活で楽しいもの ④ 理科（小5）

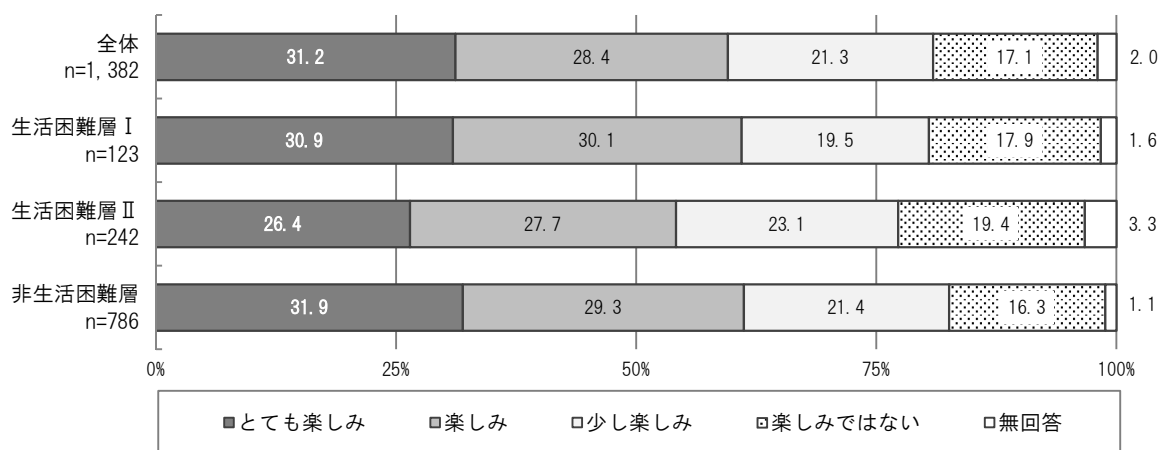


図 4-1-5 学校生活で楽しいもの ⑤ 音楽（小5）

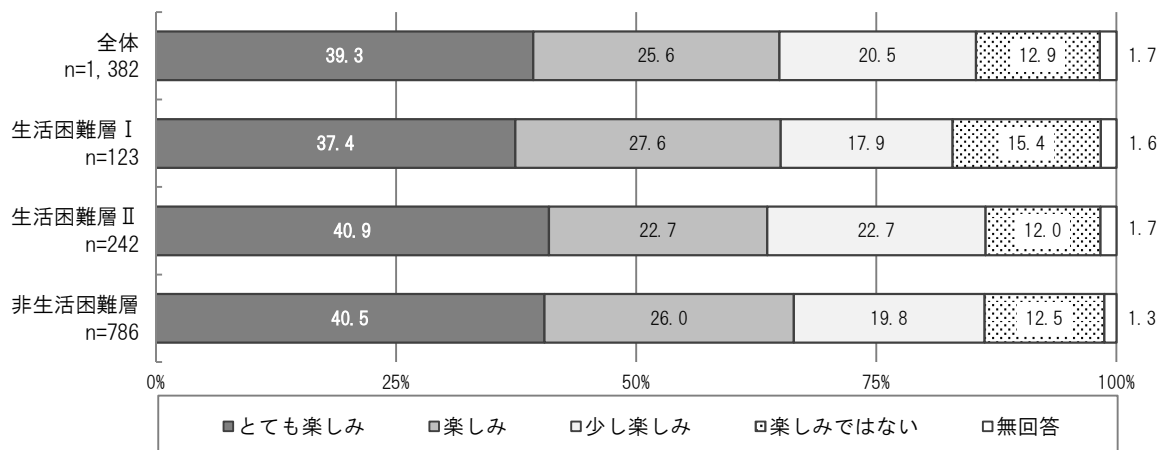


図 4-1-6 学校生活で楽しいもの ⑥ 図工（小5）

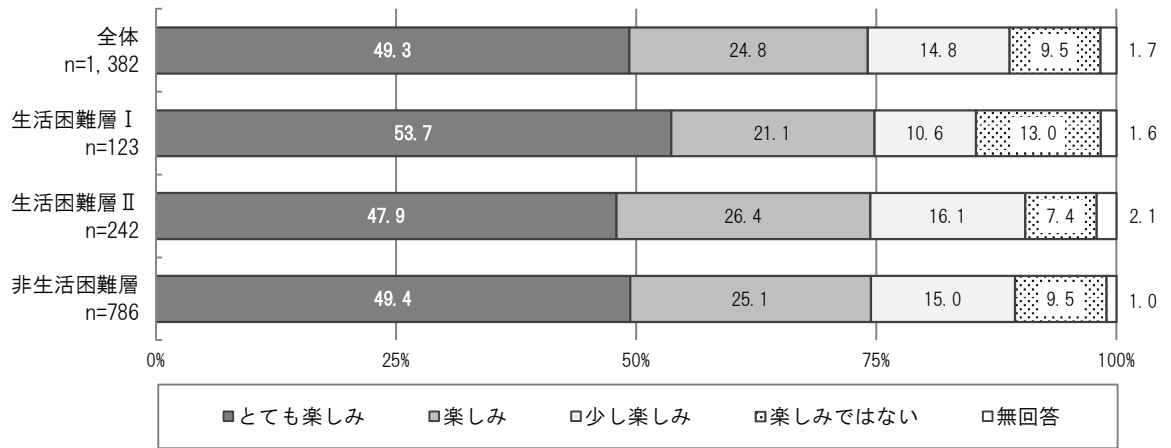


図 4-1-7 学校生活で楽しいもの ⑦ 家庭科（小5）

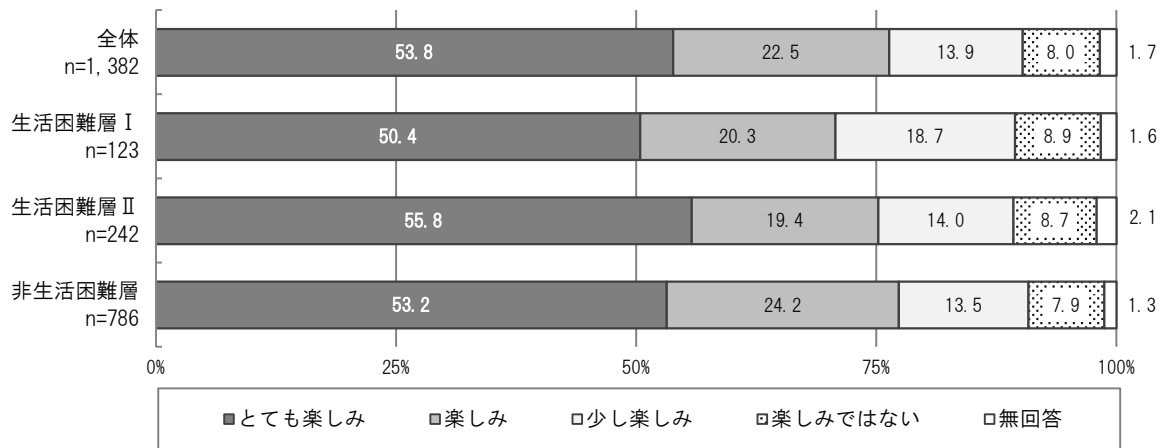


図 4-1-8 学校生活で楽しいもの ⑧ 体育（小5）

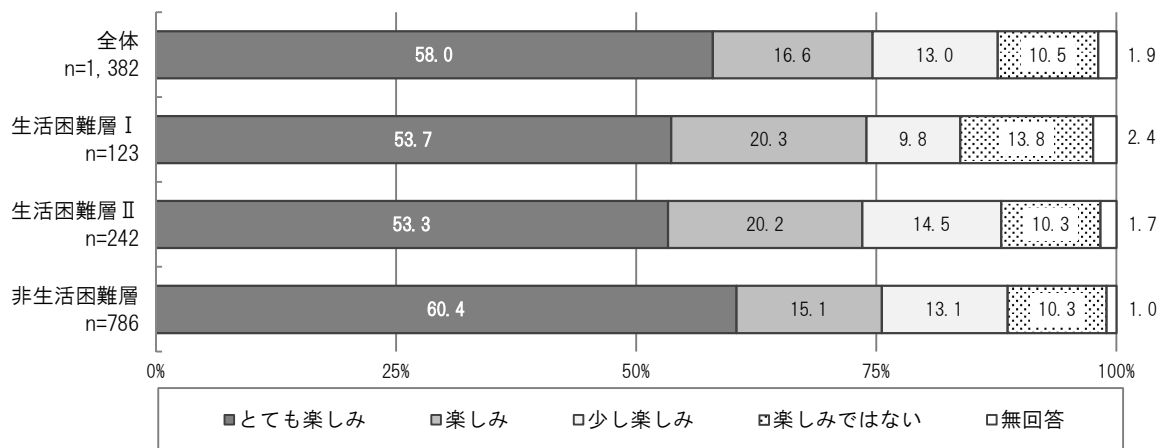


図 4-1-9 学校生活で楽しいもの ⑨ 英語分野 (小5)

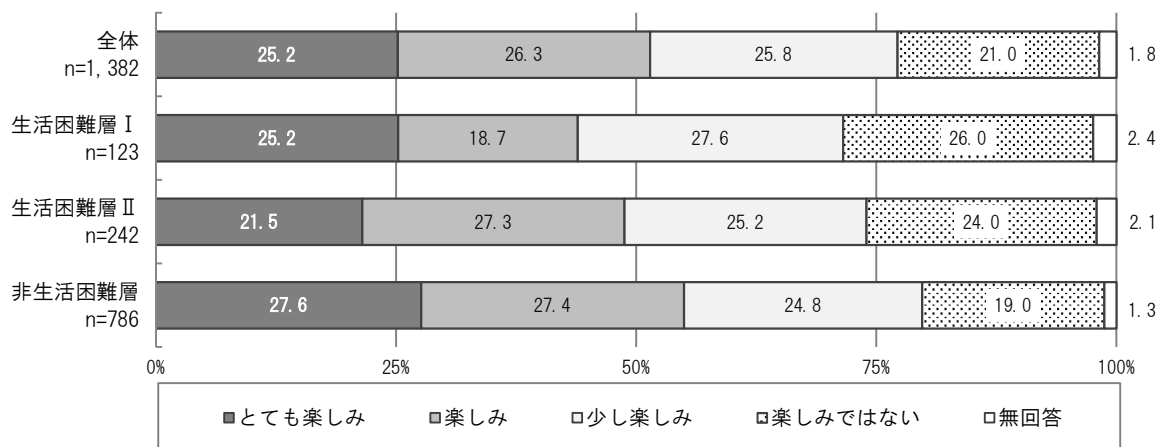


図 4-1-10 学校生活で楽しいもの ⑩ 先生に会うこと (小5)

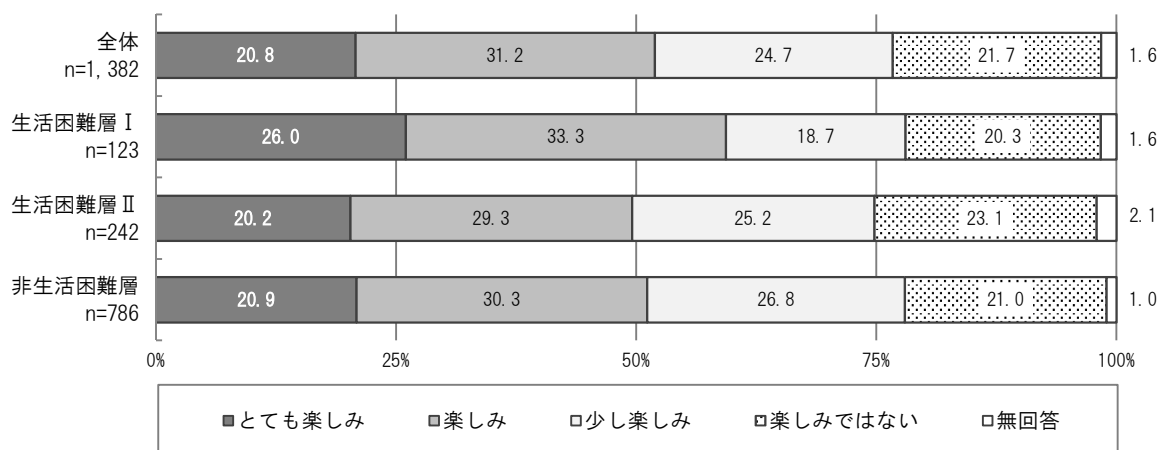


図 4-1-11 学校生活で楽しいもの ⑪ 友だちに会うこと (小5)

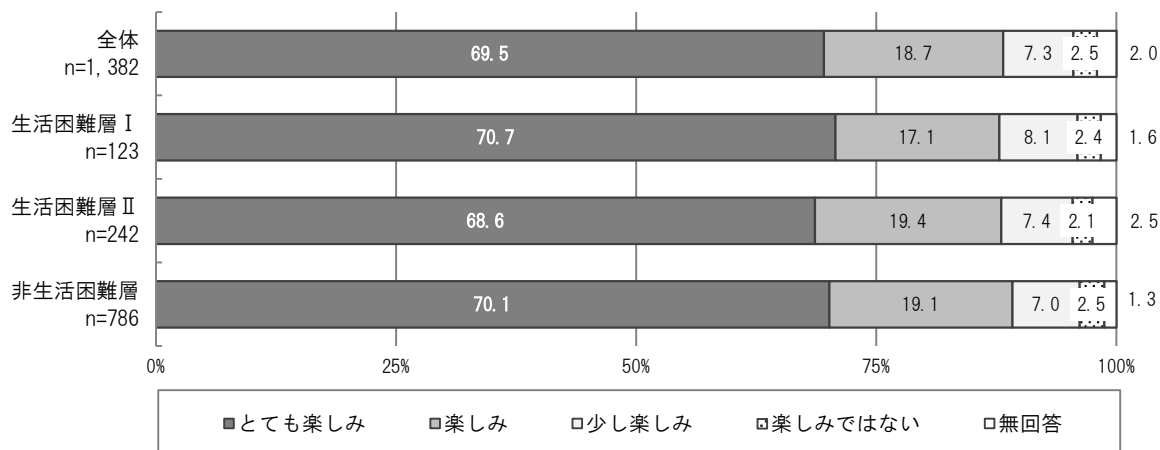


図 4-1-12 学校生活で楽しいもの ⑫ 学校の部活動・クラブ活動（小5）

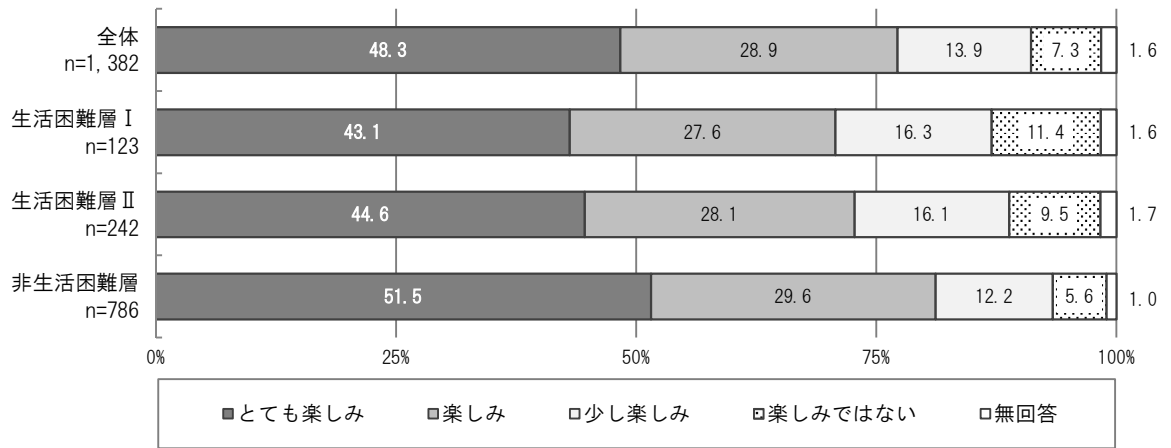


図 4-1-13 学校生活で楽しいもの ⑬ 休み時間（小5）

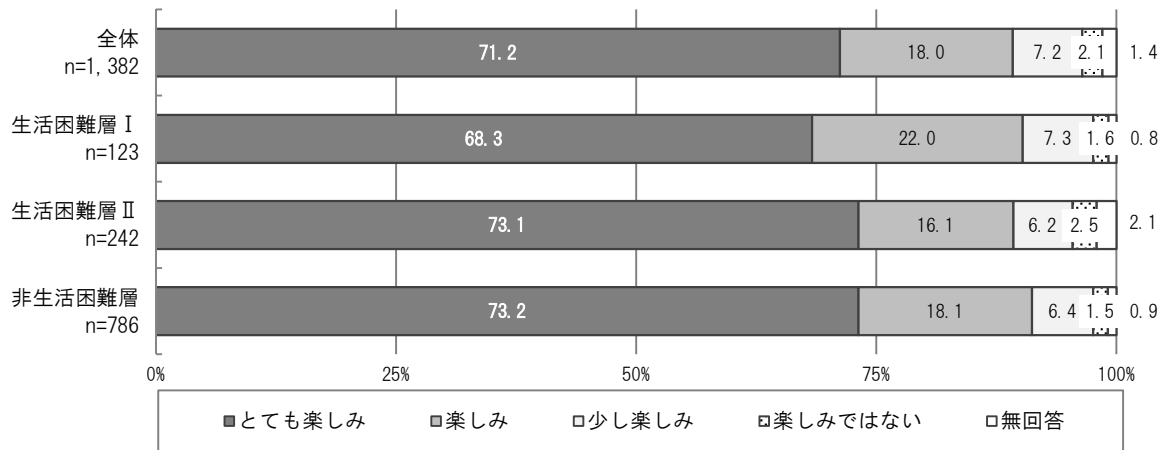


図 4-1-14 学校生活で楽しいもの ⑭ 給食（小5）

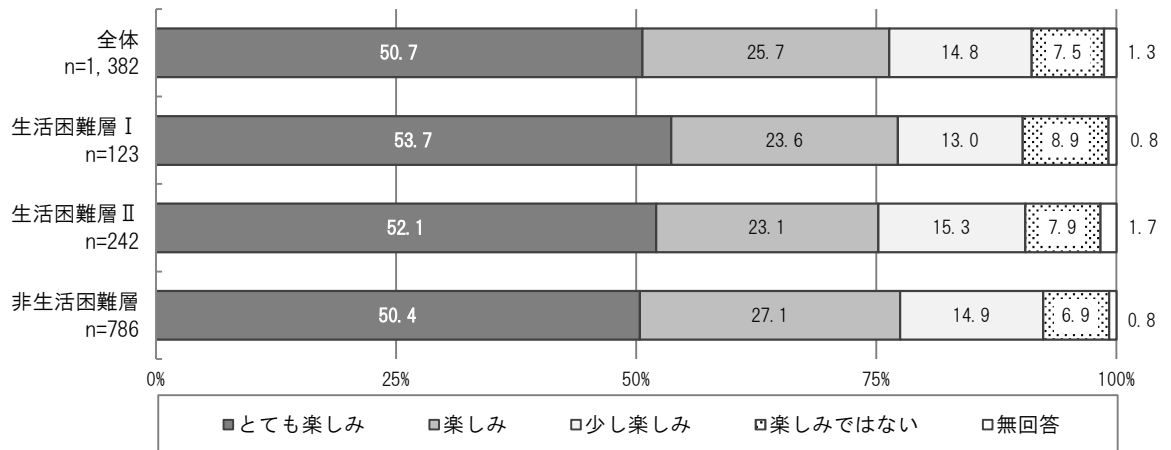


図 4-1-15 学校生活で楽しいもの ① 国語（中2）

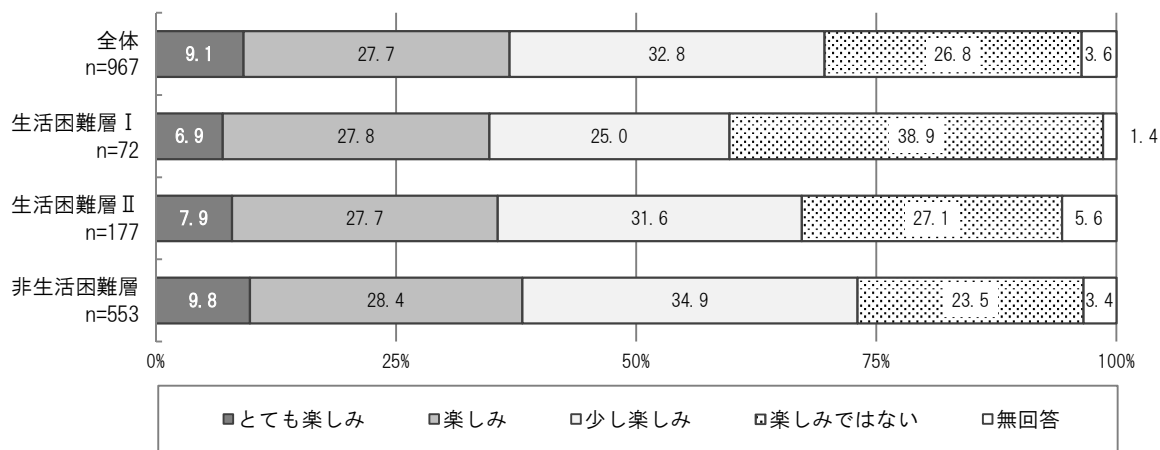


図 4-1-16 学校生活で楽しいもの ② 社会（中2）

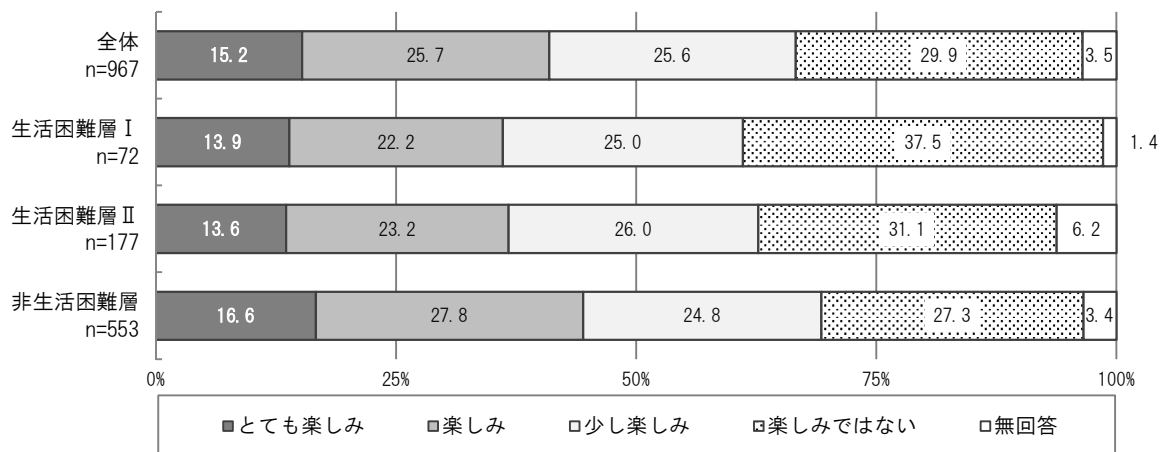


図 4-1-17 学校生活で楽しいもの ③ 数学（中2）

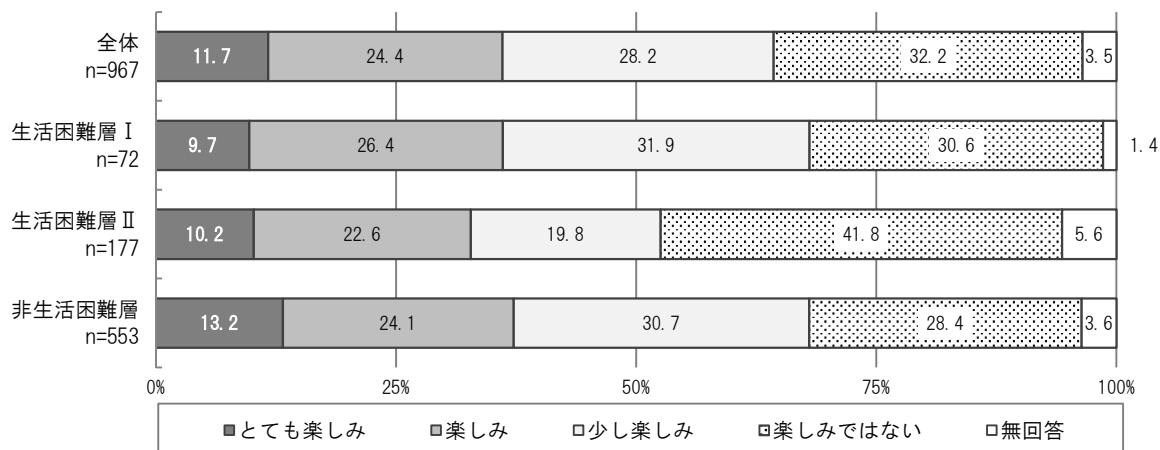


図 4-1-18 学校生活で楽しいもの ④ 理科 (中2)

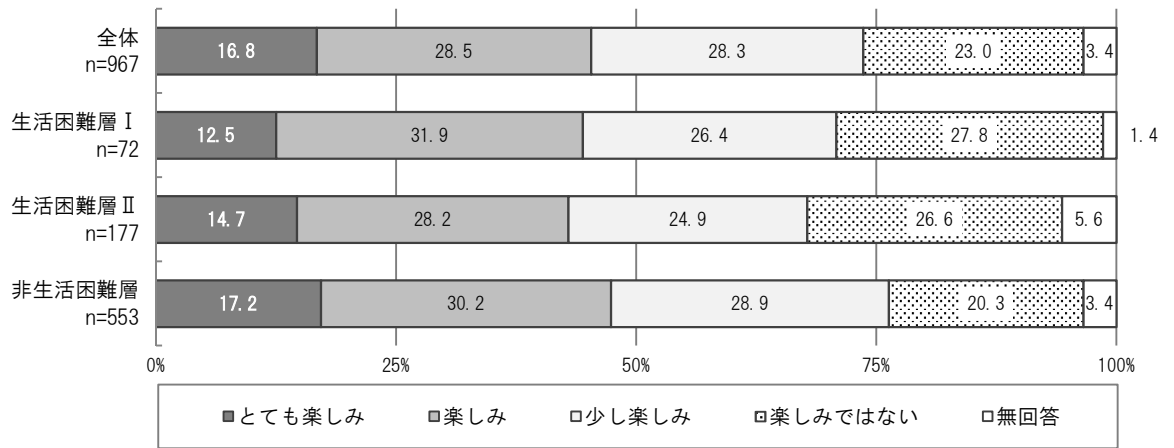


図 4-1-19 学校生活で楽しいもの ⑤ 音楽 (中2)

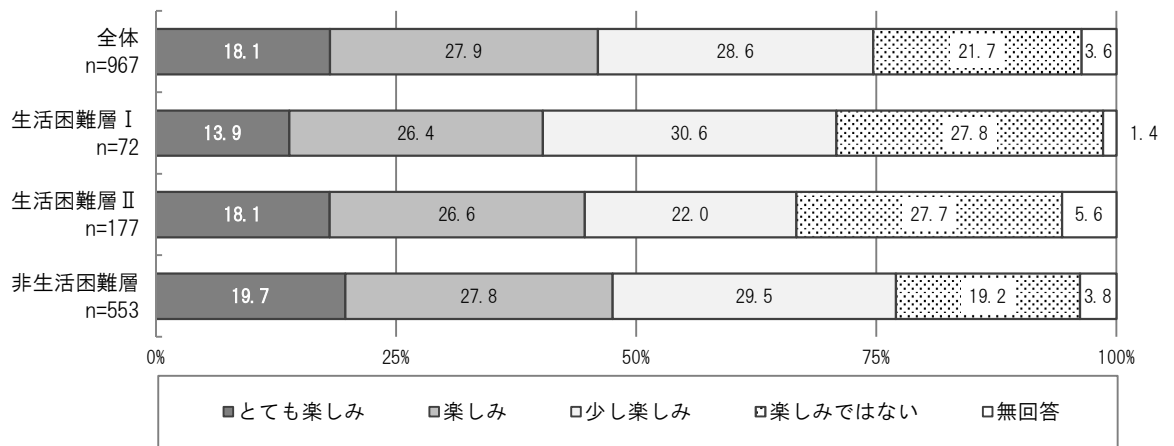


図 4-1-20 学校生活で楽しいもの ⑥ 美術 (中2)

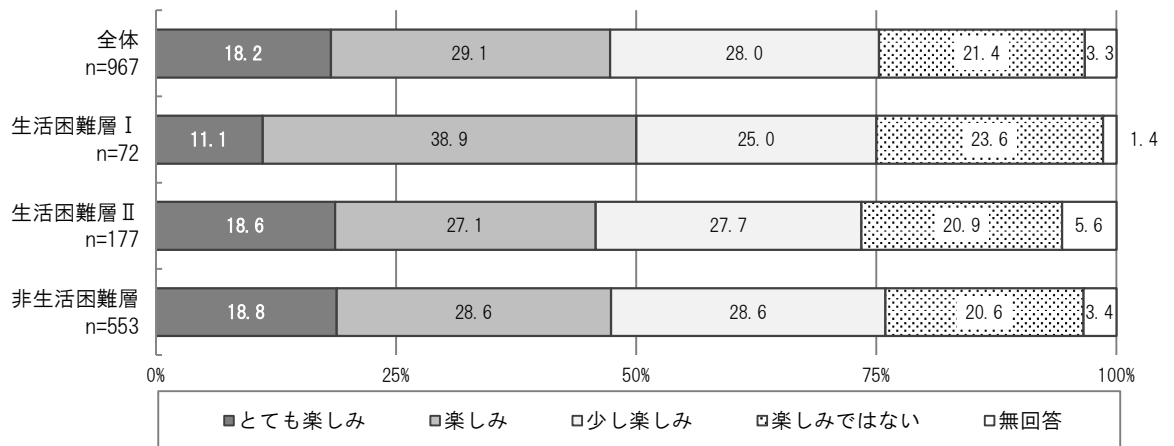


図 4-1-21 学校生活で楽しいもの ⑦ 保健体育（中2）

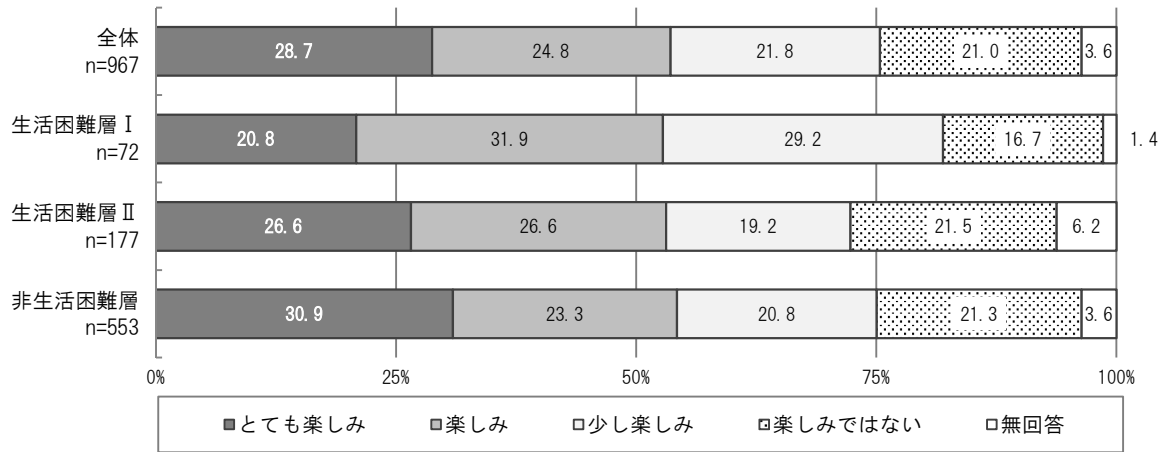


図 4-1-22 学校生活で楽しいもの ⑧ 技術・家庭科（中2）

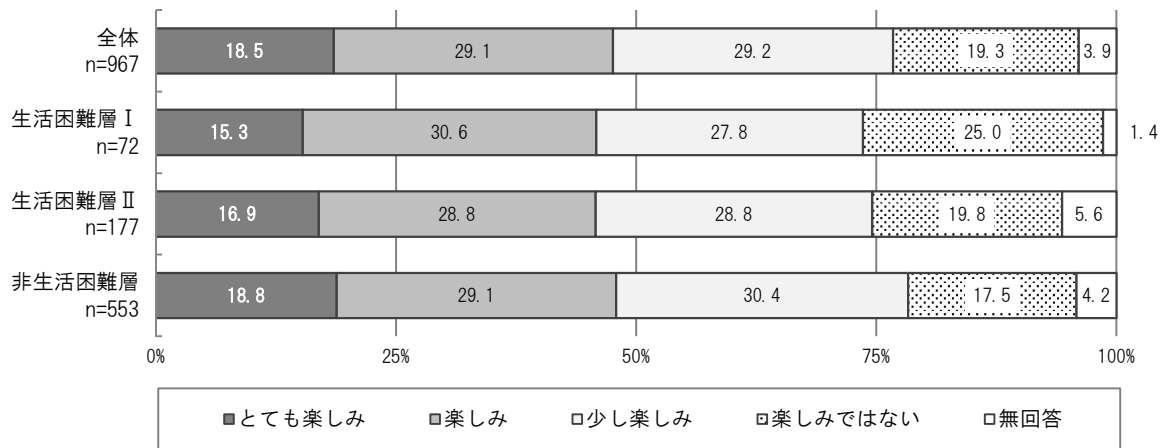


図 4-1-23 学校生活で楽しいもの ⑨ 英語（中2）

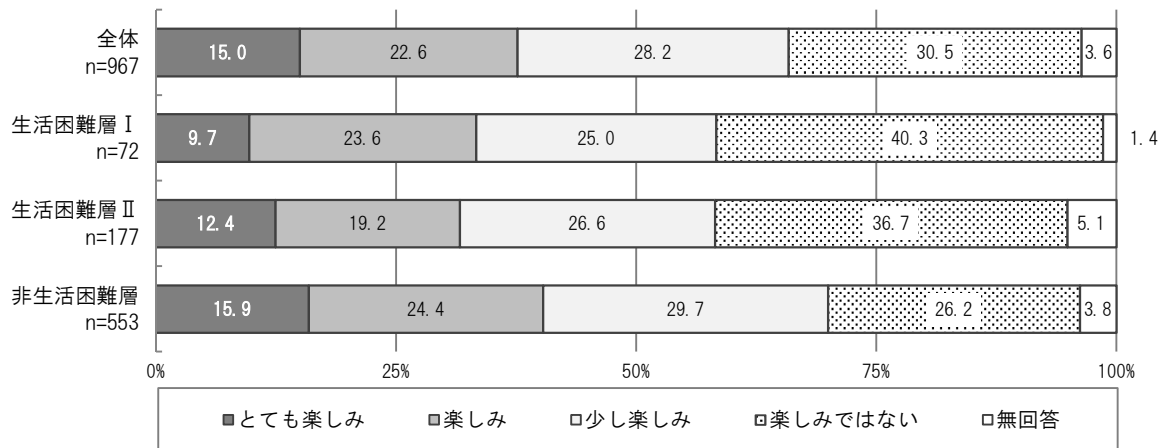


図 4-1-24 学校生活で楽しいもの ⑩ 先生に会うこと（中2）

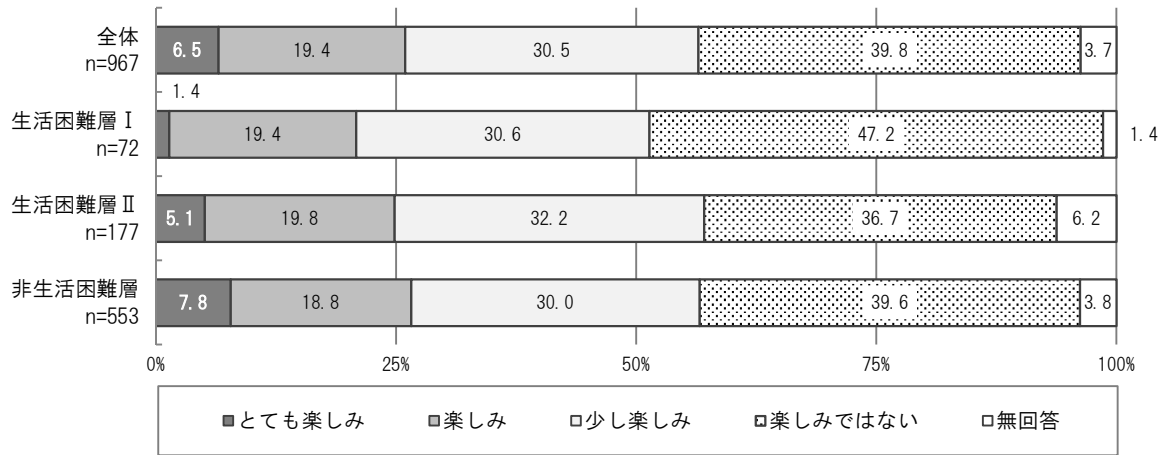


図 4-1-25 学校生活で楽しいもの ⑪ 友だちに会うこと（中2）

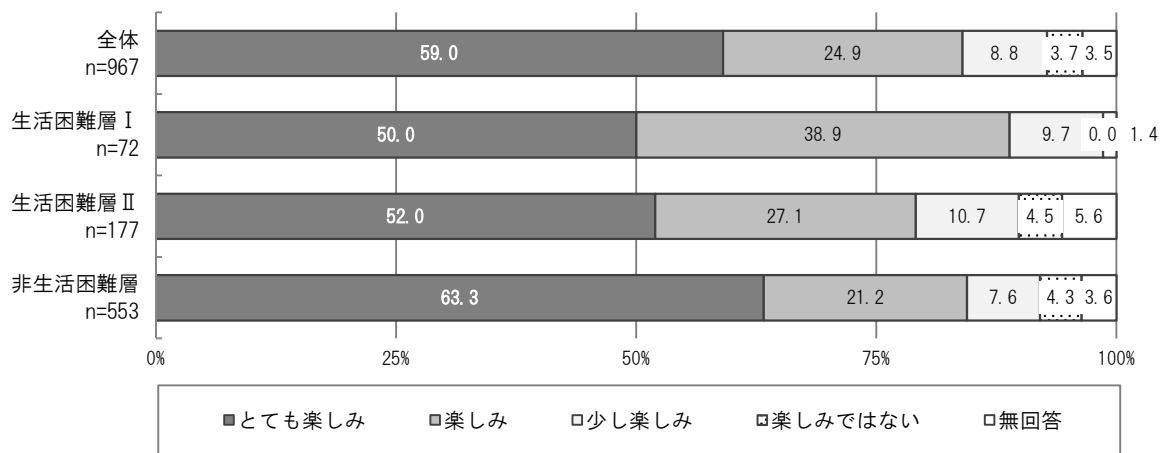


図 4-1-26 学校生活で楽しいもの ⑫ 部活動（中2）

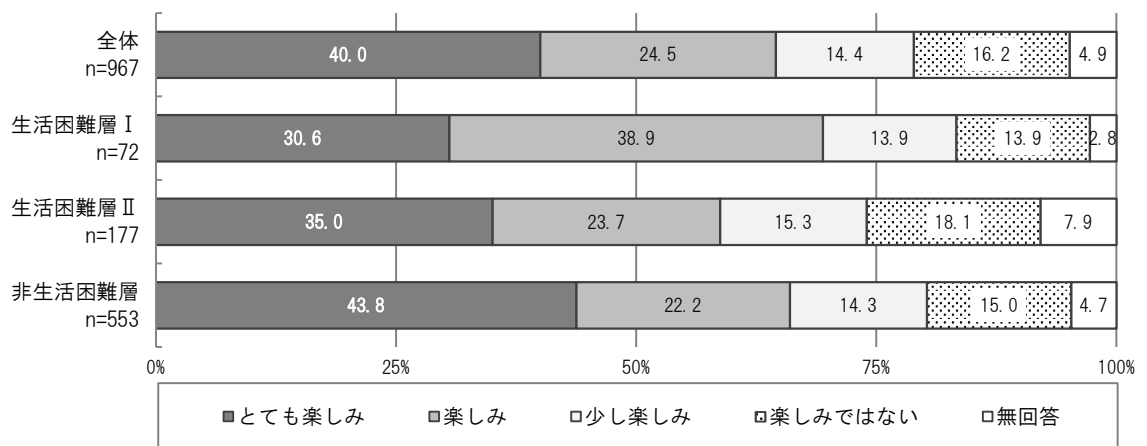


図 4-1-27 学校生活で楽しいもの ⑬ 休み時間（中2）

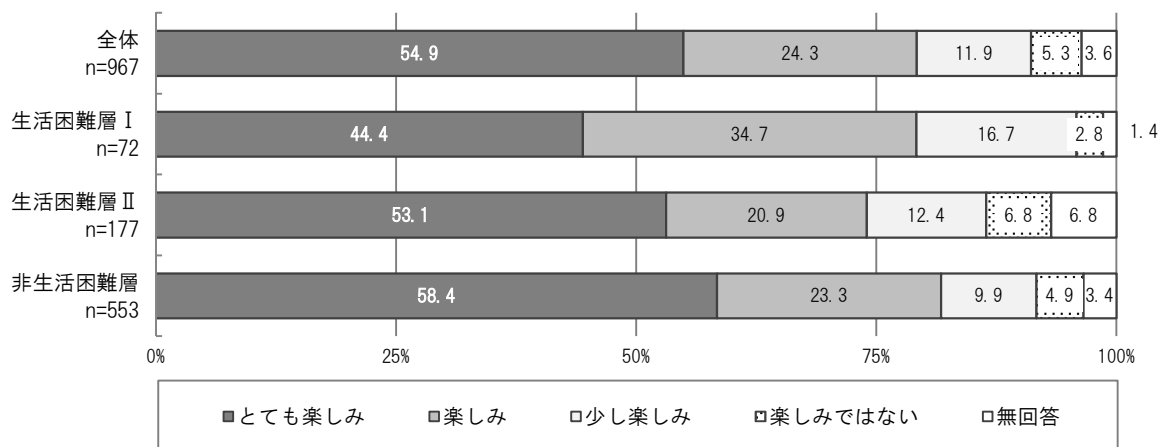
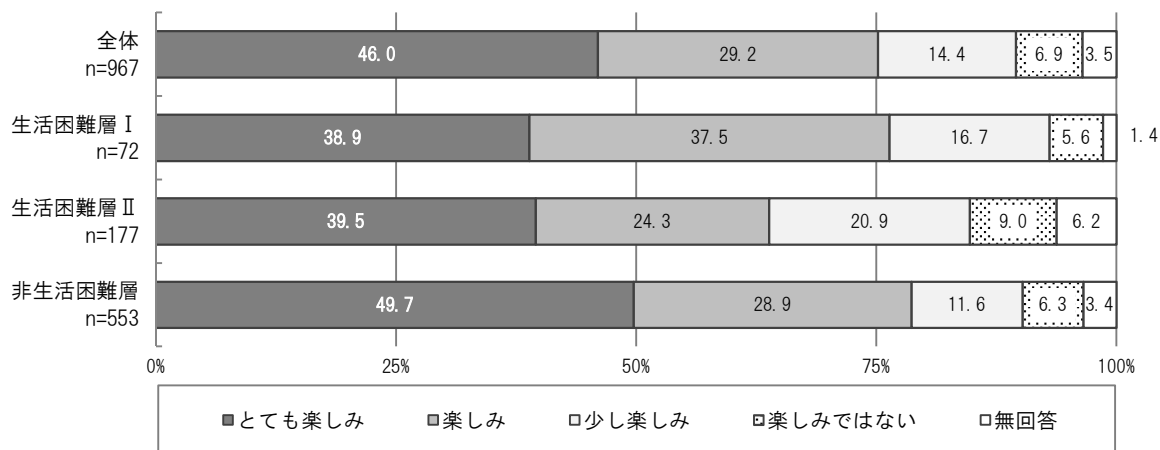


図 4-1-28 学校生活で楽しいもの ⑭ 昼ごはん（中2）



(2) 学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

<小5 問21・中2 問22>

学校の授業がわからないことがあるかについて、いずれも「ときどきある」が最も高く、小5は29.5%、中2は30.8%となっており、「よくある」との合計が、小5は41.0%、中2は51.4%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「よくある」が、非生活困難層よりも約8~9ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「よくある」の割合が高くなっている。

図 4-2-1 学校の授業がわからないことがあるか(小5)

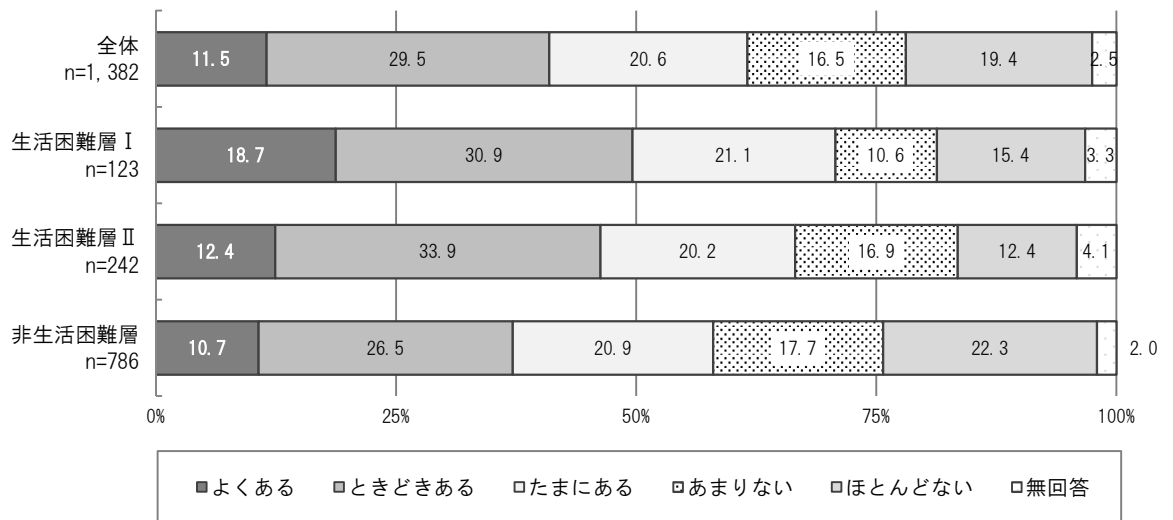
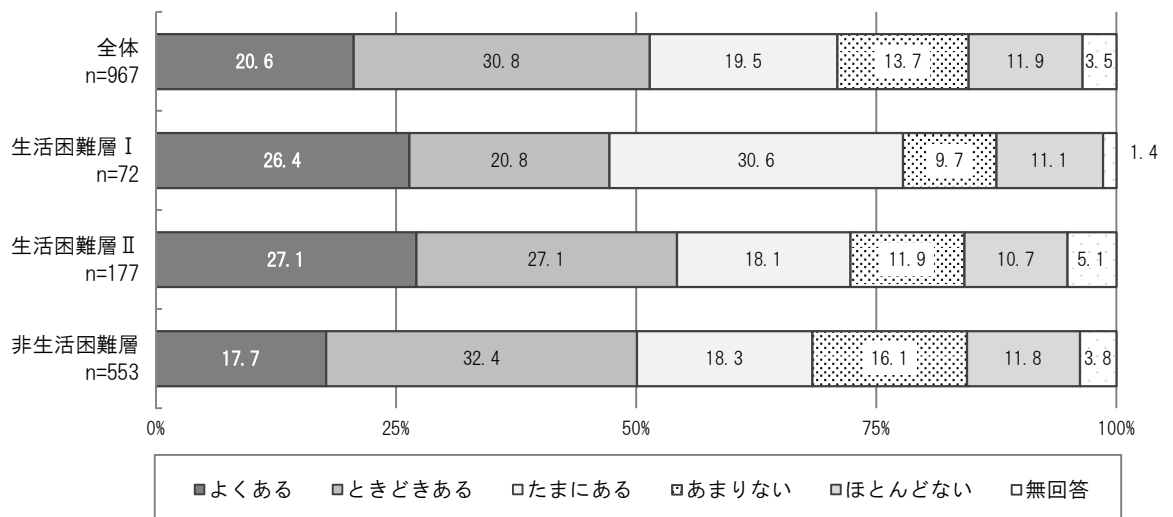


図 4-2-2 学校の授業がわからないことがあるか(中2)

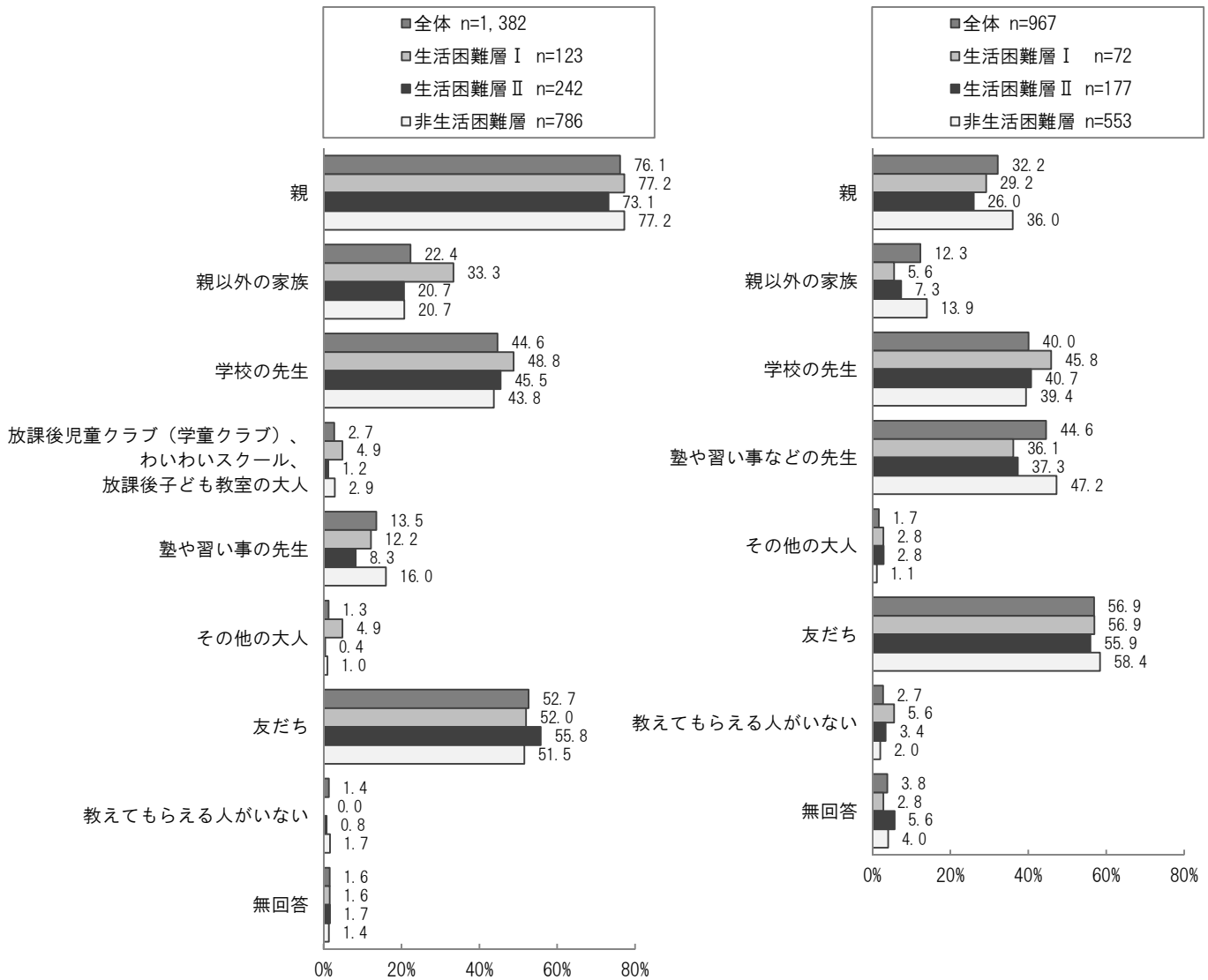


(3) 学校の授業（勉強）がわからないときは、だれに教えてもらいますか。

(あてはまる番号全てに○) <小5 問22・中2 問23>

学校の授業（勉強）がわからないとき、教えてもらう相手について、小5では「親」が、76.1%と最も高く、中2では「友だち」が56.9%となって最も高くなっている。

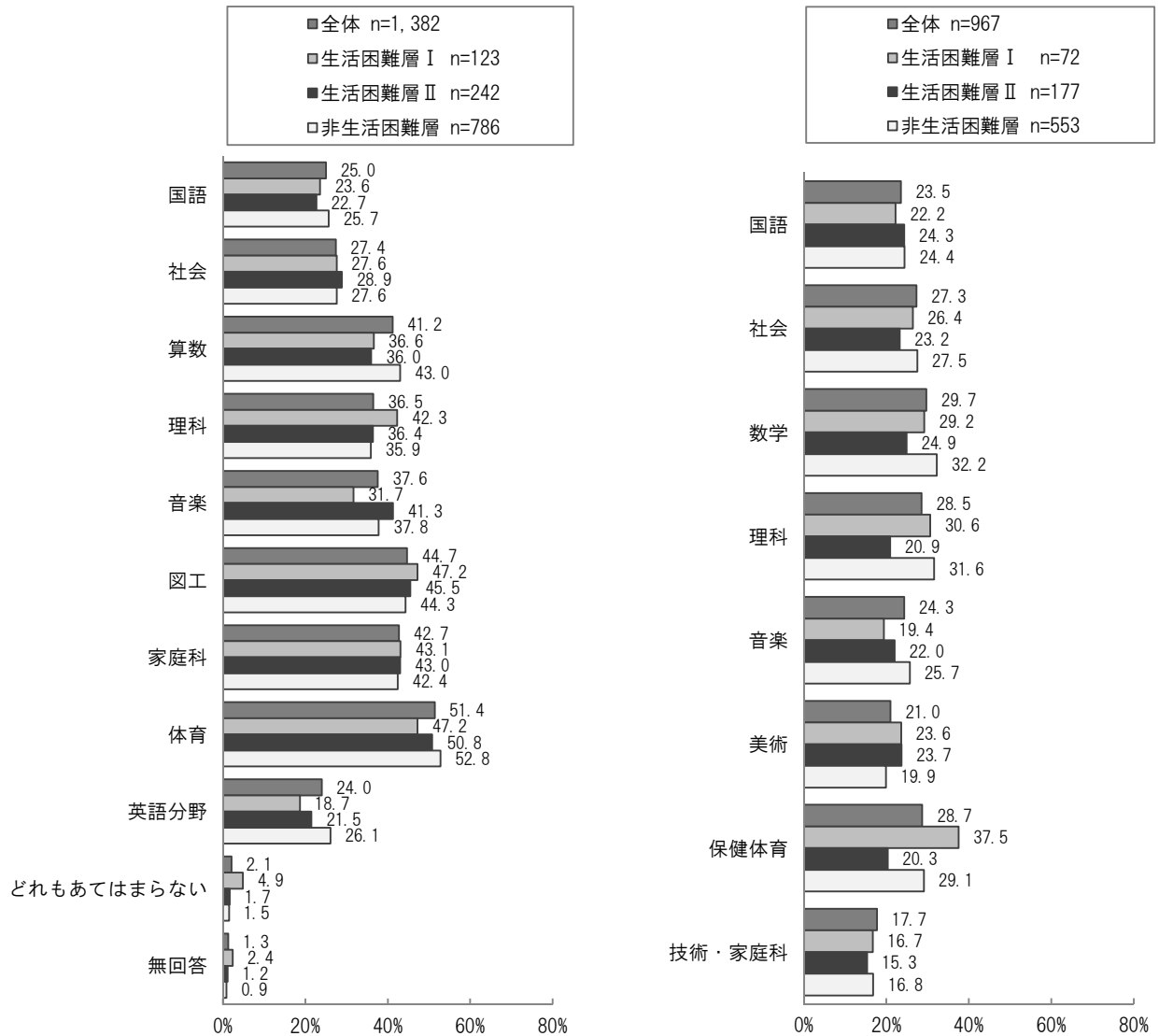
図 4-3-1・図 4-3-2 学校の授業（勉強）がわからないとき、教えてもらう相手（小5）（中2）



(4) 得意な教科はどれですか。(あてはまる番号すべてに○) <小5 問23・中2 問24>

得意な教科について、小5では「体育」が、51.4%と最も高く、中2では「数学」が29.7%となって最も高くなっている。

図 4-4-1・図 4-4-2 得意な教科 (小5) (中2)



(5) ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。

（あてはまる番号1つに○）＜小5 問24・中2 問25＞

1日の勉強時間について、小5では「30分以上、1時間より少ない」が36.8%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が25.3%となっている。

中2では「1時間以上、2時間より少ない」が27.3%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が20.9%となっている。

生活困難層（3区分）別にみると、生活困難層Ⅰでは「まったくしない」が、非生活困難層よりも約4～5ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰにおいて「まったくしない」の割合が高くなっている。

図 4-5-1 1日の勉強時間（小5）

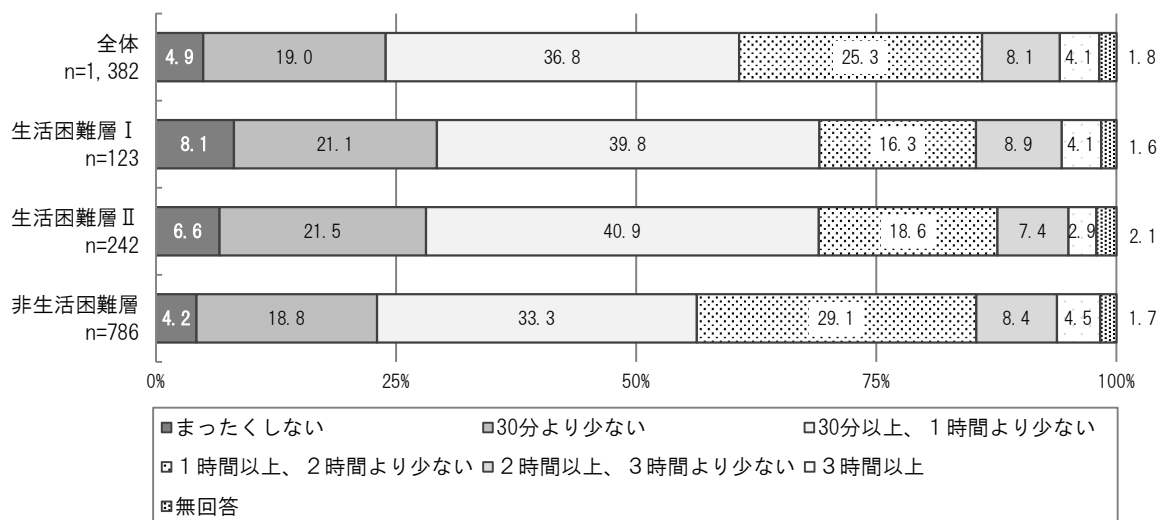
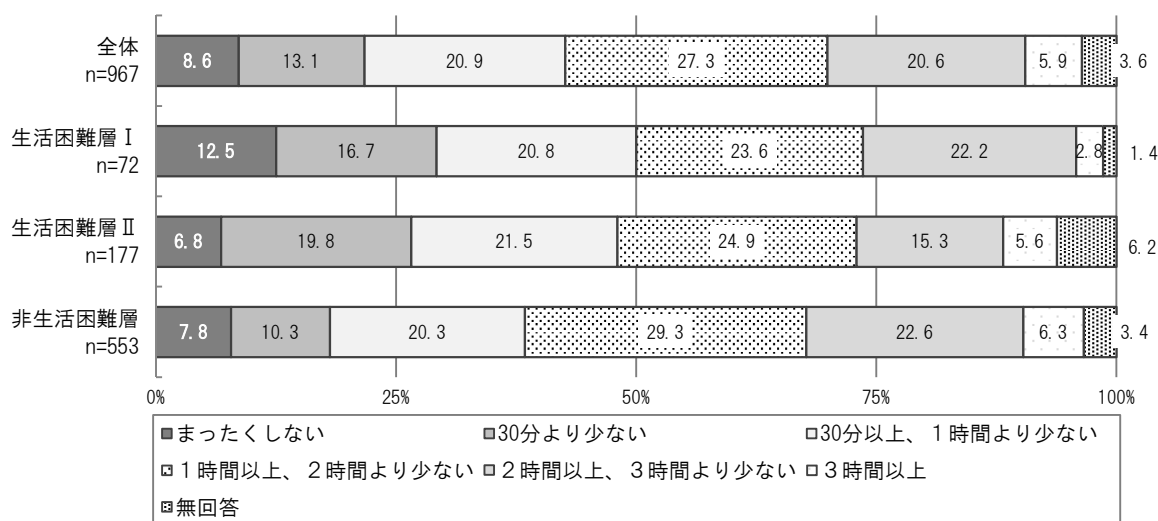


図 4-5-2 1日の勉強時間（中2）



(6) 学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらったりしていますか。

(あてはまる番号1つに○) <小5 問25・中2 問26>

塾や家庭教師について、小5では「通って(来てもらって)いない」が60.9%と最も高く、次いで「週に2日」が19.2%となっている。
 中2では「通って(来てもらって)いない」が37.2%と最も高く、次いで「週に3日」が27.6%となっている。
 生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「通って(来てもらって)いない」が、非生活困難層よりも約13~16ポイント高くなっているなど、生活困難層Ⅰ及びⅡにおいて「通って(来てもらって)いない」の割合が高くなっている。

図 4-6-1 塾や家庭教師 (小5)

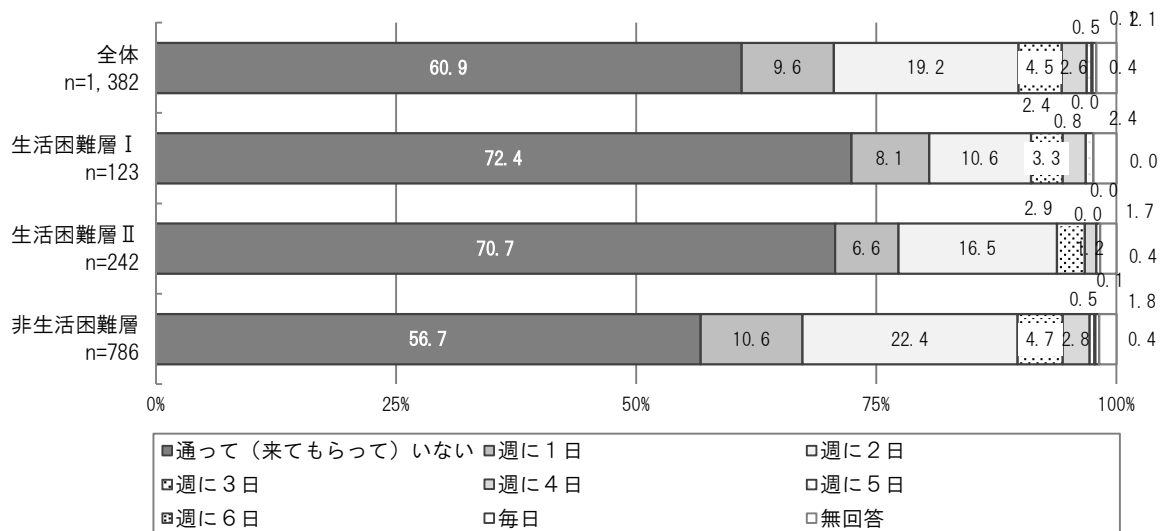
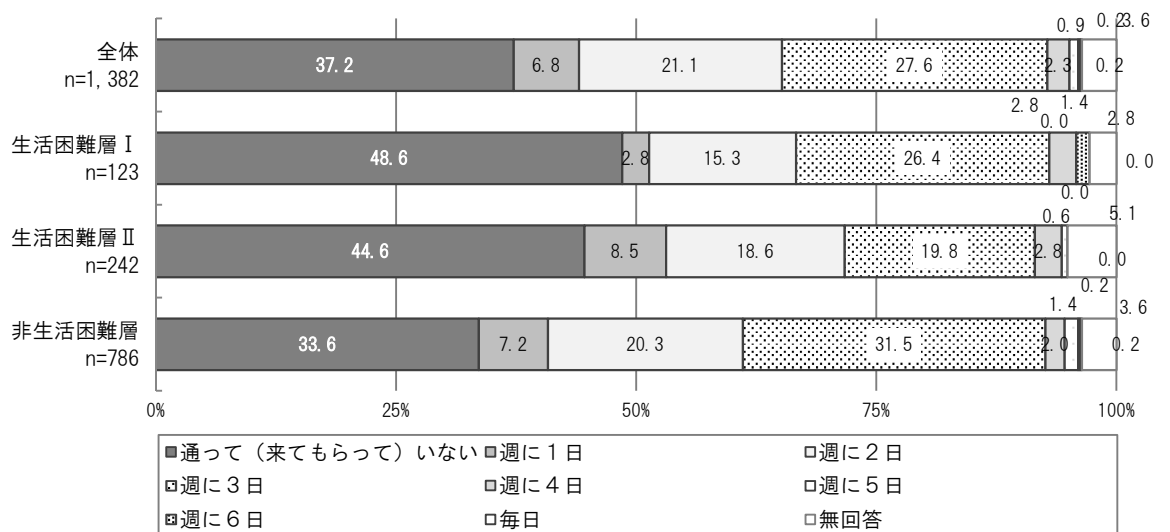


図 4-6-2 塾や家庭教師 (中2)



5 普段考えていることについて

(1) 将来の夢がありますか。(あてはまる番号1つに○) <小5 問26・中2 問27>

将来の夢について、「ある」が、小5は77.2%、中2は59.5%となっており、「ない」が、小5は21.1%、中2は38.0%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、小5の生活困難層Ⅰでは「ない」が、非生活困難層よりも約13ポイント高くなっている。

図 5-1-1 将来の夢 (小5)

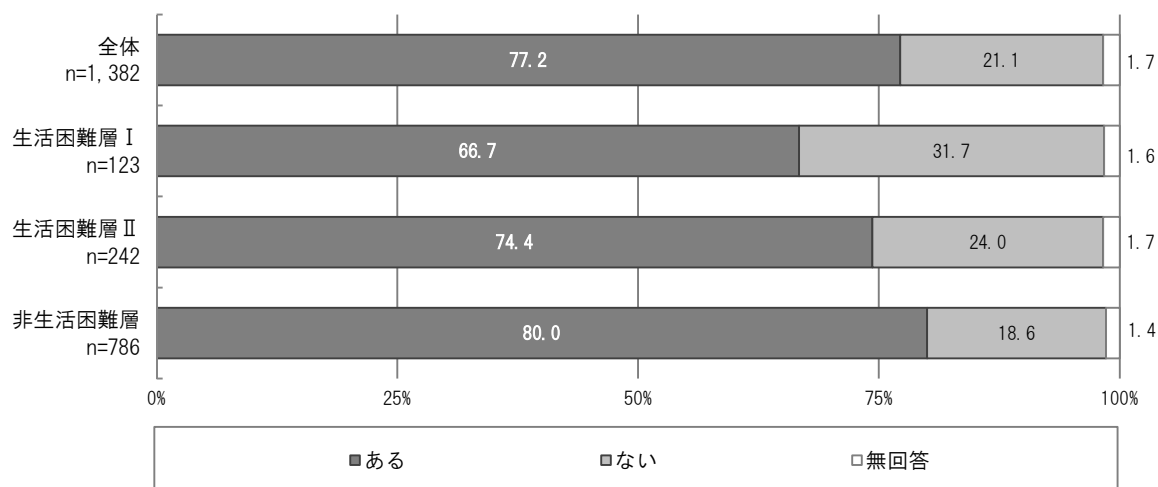
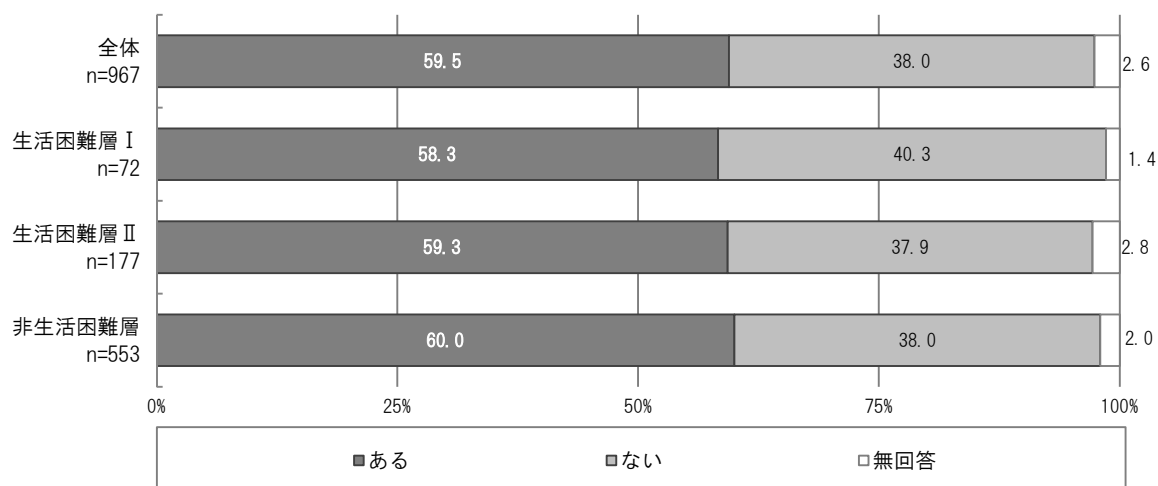


図 5-1-2 将来の夢 (中2)



(2) (将来の夢が「2 ない」と答えた人) 夢がない理由は何ですか。

(あてはまる番号1つに○) <小5 問26-1・中2 問27-1>

将来の夢がない理由について、いずれも「具体的に、何も思いうかばないから」が最も高く、小5は57.5%、中2は65.9%、次いで「わからない」が、小5は22.6%、中2は19.9%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、生活困難層Ⅰでは「もうすべてに満足しているから」が、非生活困難層よりも約9~10ポイント高くなっている。

図5-2-1 将来の夢がない理由(小5)

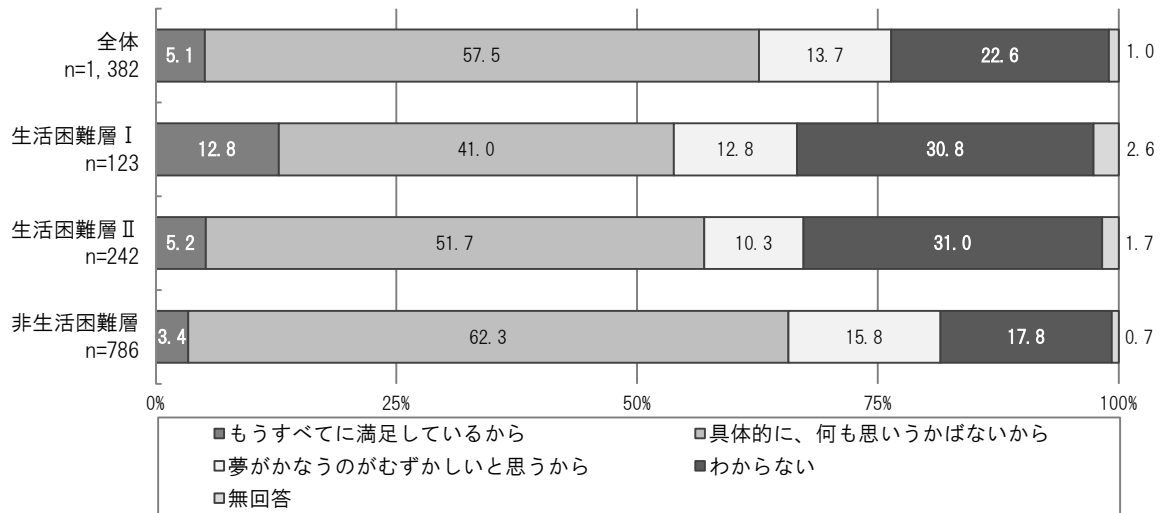
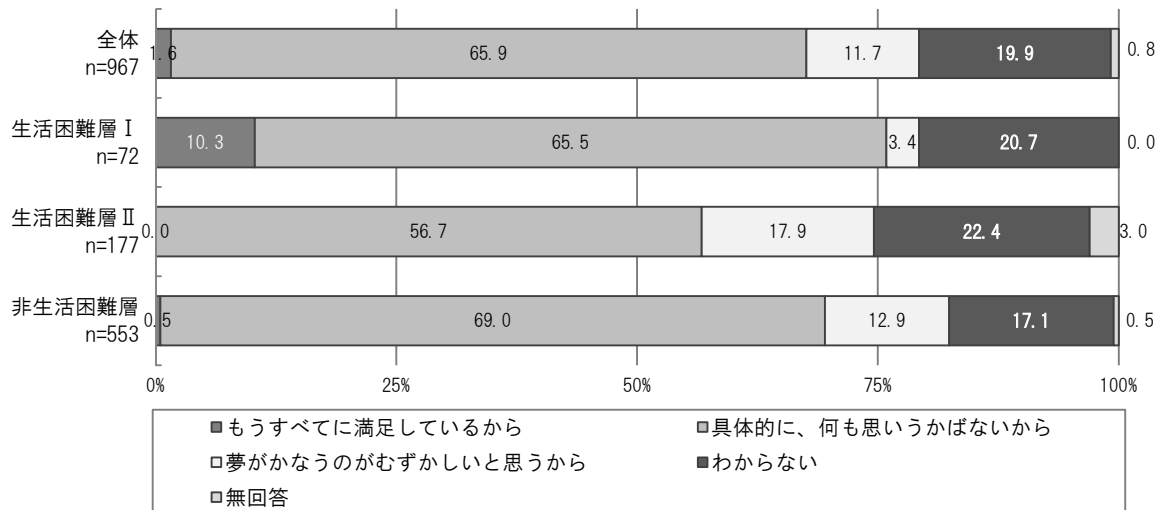


図5-2-2 将来の夢がない理由(中2)



(3) あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <小5 問27・中2 問28>

思いや気持ちのうち、「とても思う」ものについて、「自分は家族に大事にされている」が最も高く、小5は59.6%、中2は49.0%となっている。

生活困難層(3区分)別にみると、中2の生活困難層Iでは「自分は価値のある人間だ」と「思う」が、非生活困難層よりも約8むポイント高くなっている。

図 5-3-1① 思いや気持ち ① がんばれば、むくわれる (小5)

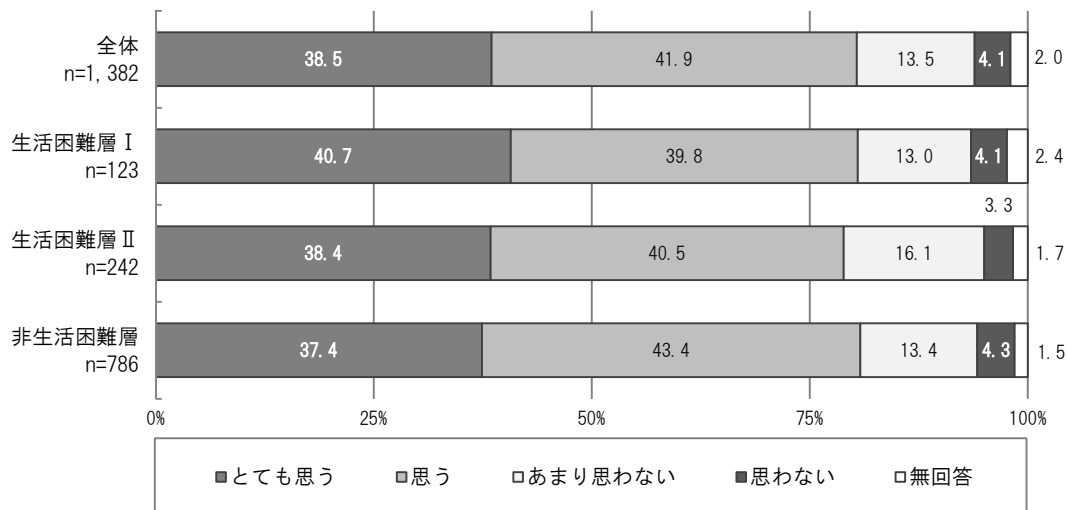


図 5-3-1② 思いや気持ち ② 自分は価値のある人間だ (小5)

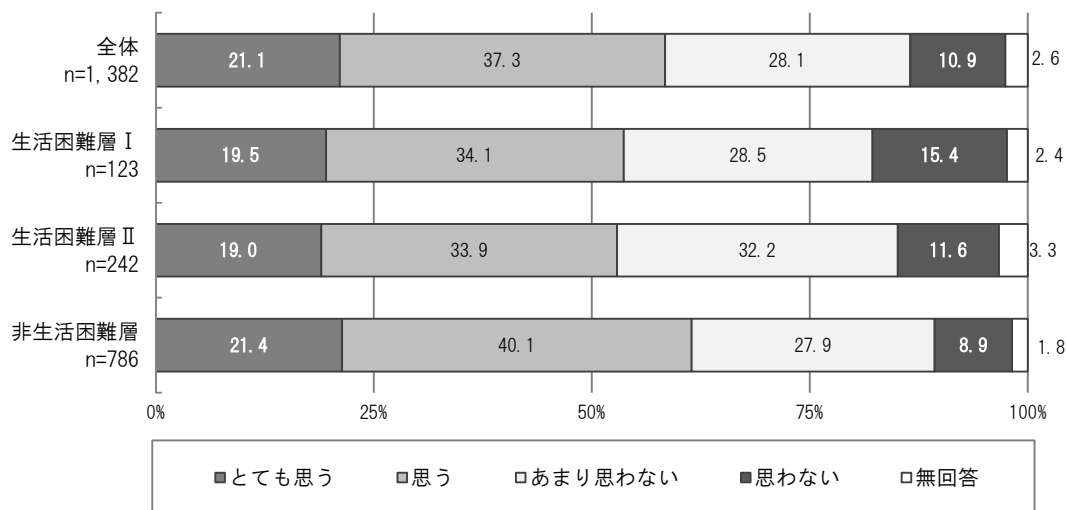


図 5-3-1③ 思いや気持ち ③ 自分は家族に大事にされている (小5)

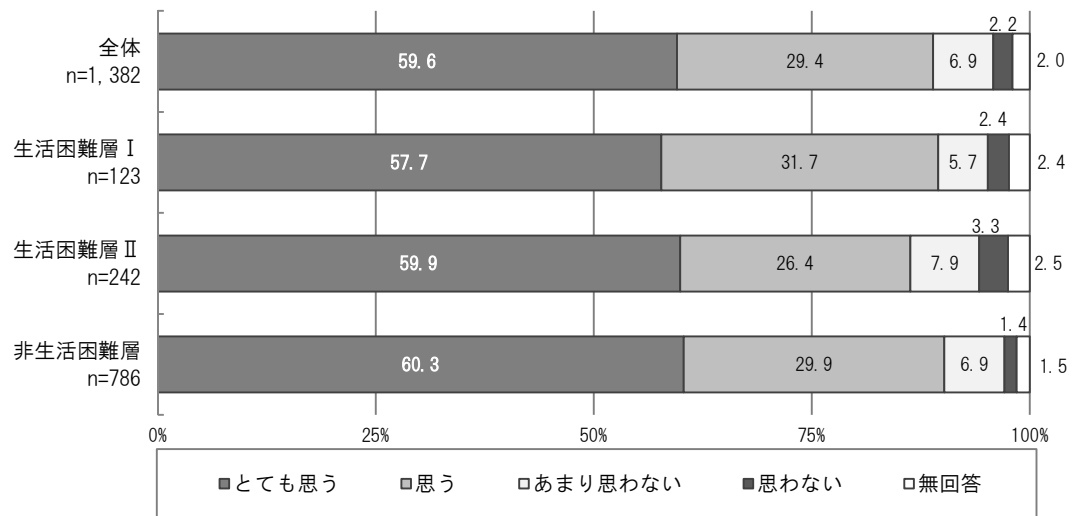


図 5-3-1④ 思いや気持ち ④ 自分は友だちに好かれている (小5)

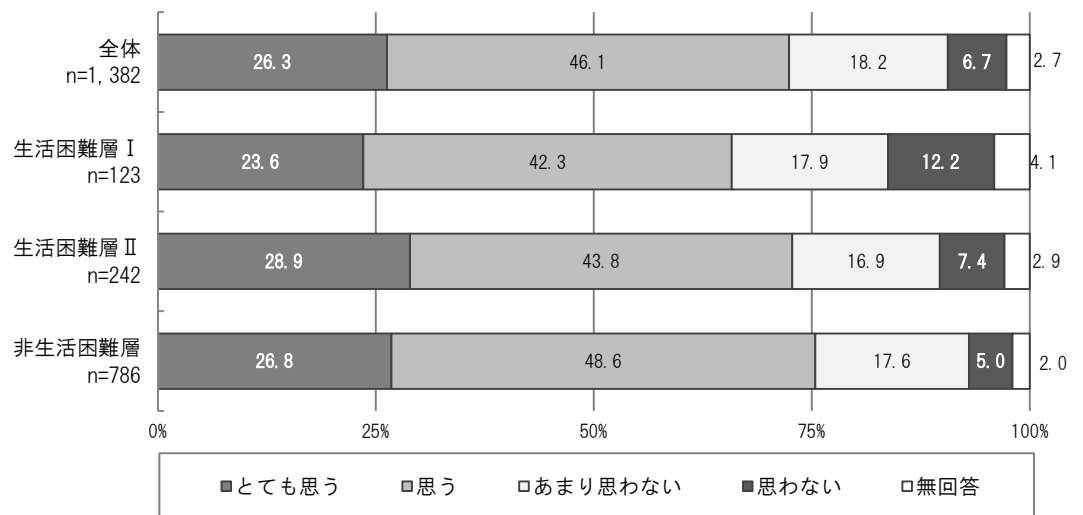


図 5-3-1⑤ 思いや気持ち ⑤ 不安に感じることはない (小5)

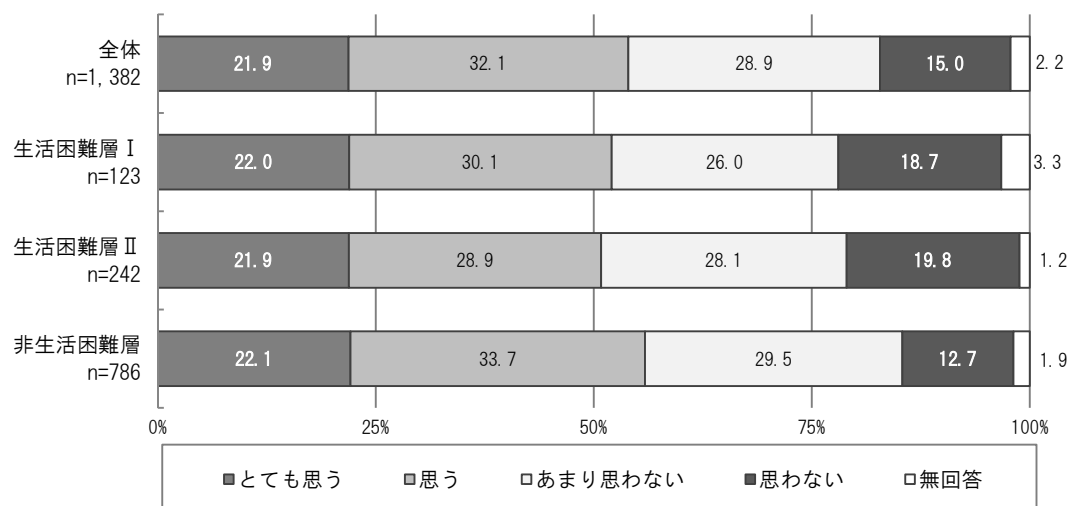


図 5-3-1⑥ 思いや気持ち ⑥ 孤独を感じることはない（小5）

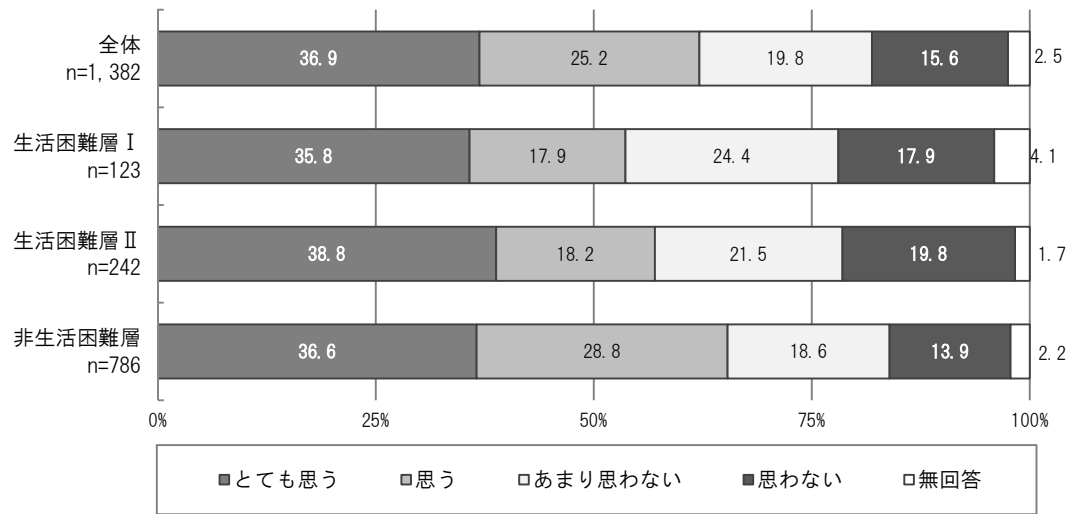


図 5-3-1⑦ 思いや気持ち ⑦ 自分の将来が楽しみだ（小5）

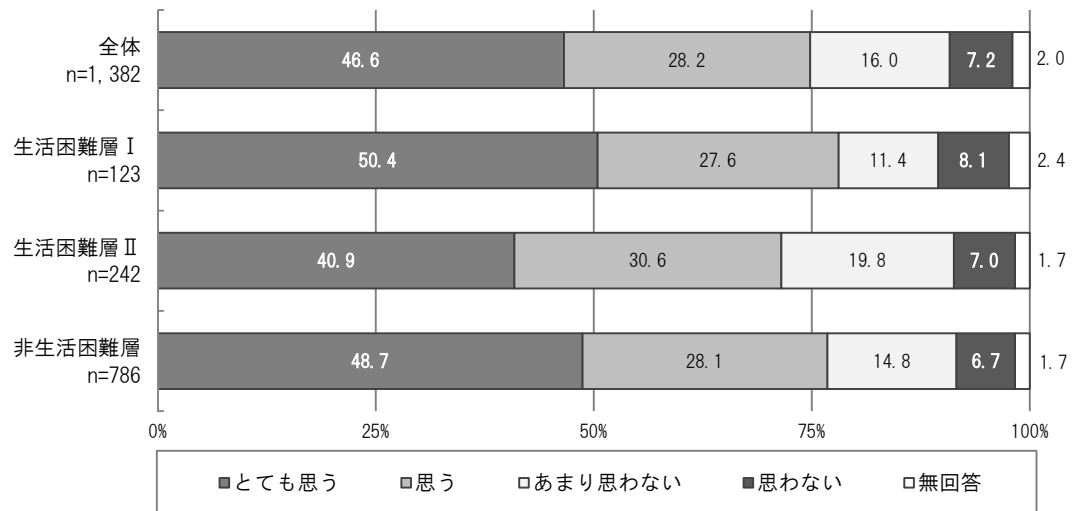


図 5-3-1⑧ 思いや気持ち ⑧ 自分のことが好きだ（小5）

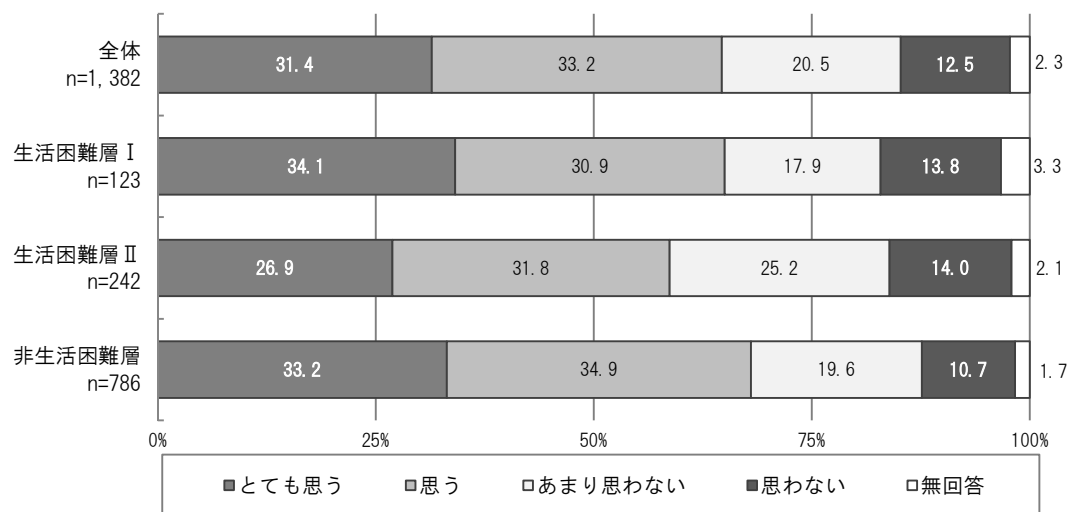


図 5-3-2① 思いや気持ち ① がんばれば、むくわれる (中2)

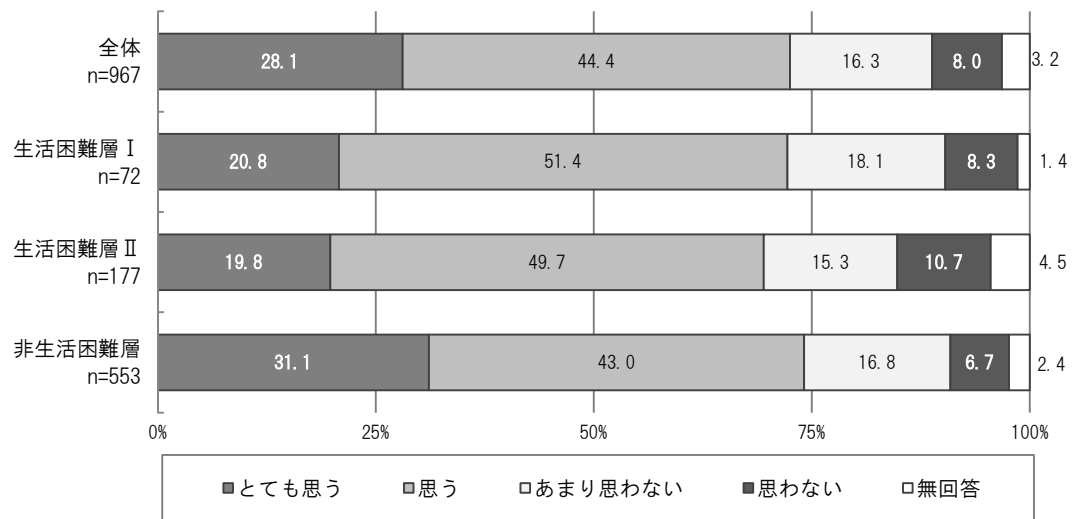


図 5-3-2② 思いや気持ち ② 自分は価値のある人間だ (中2)

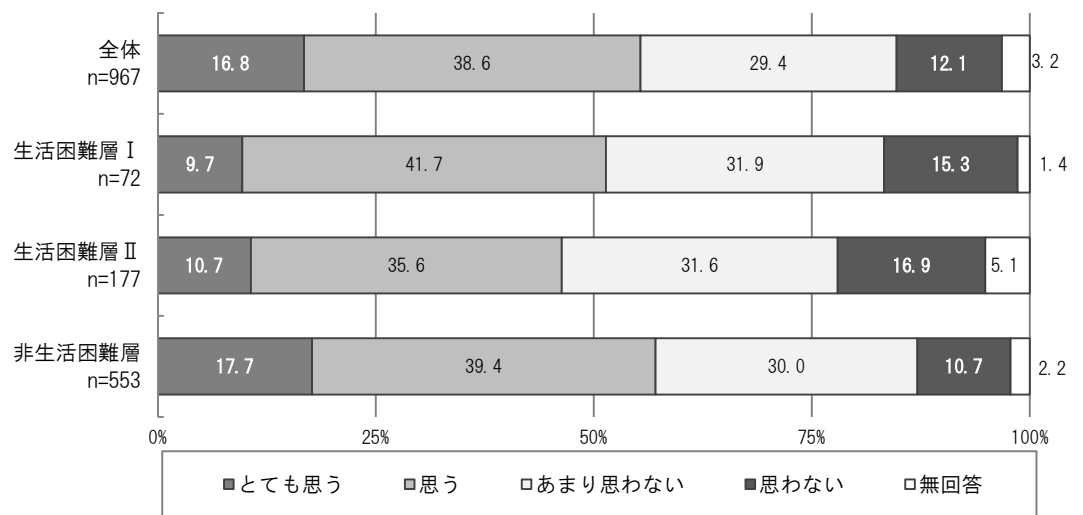


図 5-3-2③ 思いや気持ち ③ 自分は家族に大事にされている (中2)

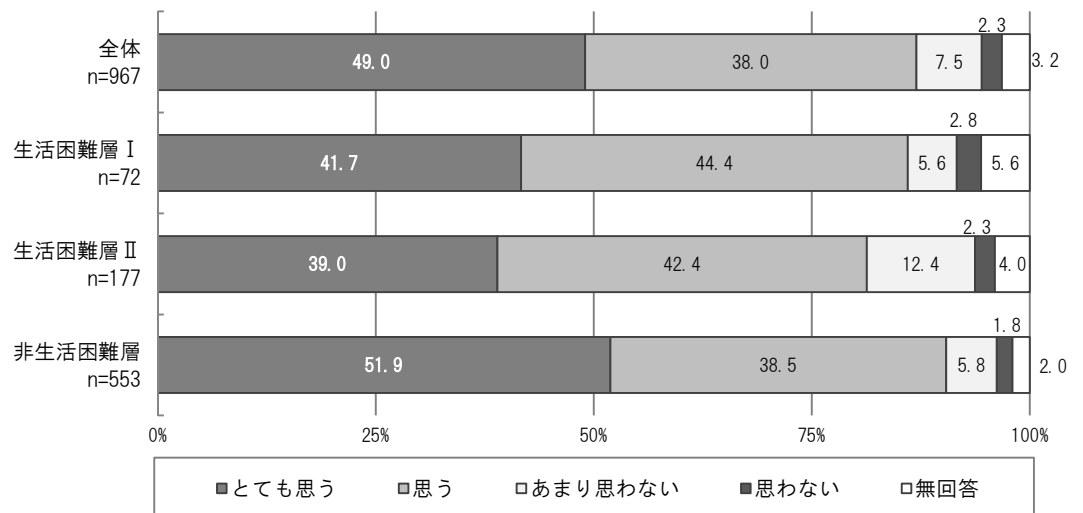


図 5-3-2④ 思いや気持ち ④ 自分は友だちに好かれている (中 2)

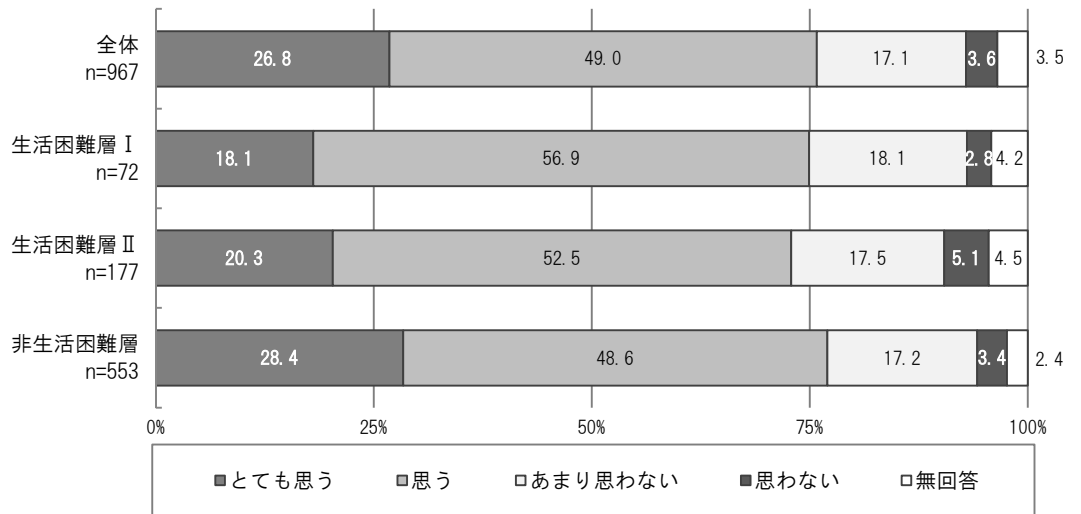


図 5-3-2⑤ 思いや気持ち ⑤ 不安に感じることはない (中 2)

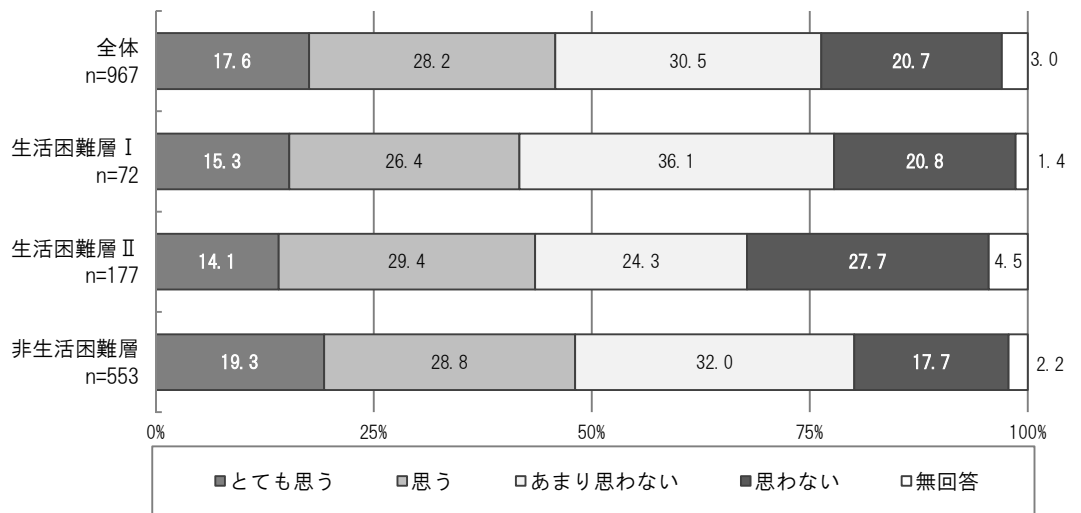


図 5-3-2⑥ 思いや気持ち ⑥ 孤独を感じることはない (中 2)

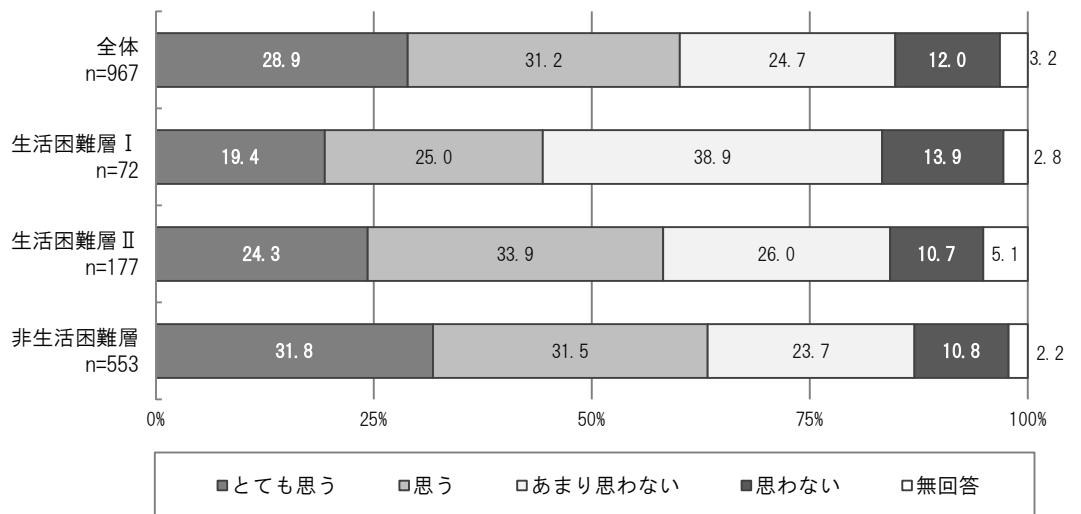


図 5-3-2⑦ 思いや気持ち ⑦ 自分の将来が楽しみだ (中2)

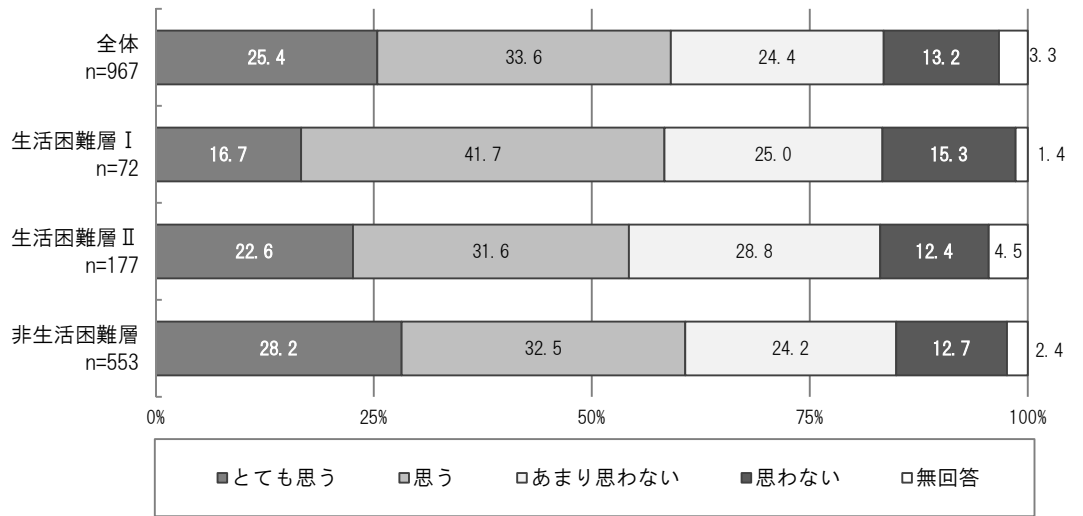
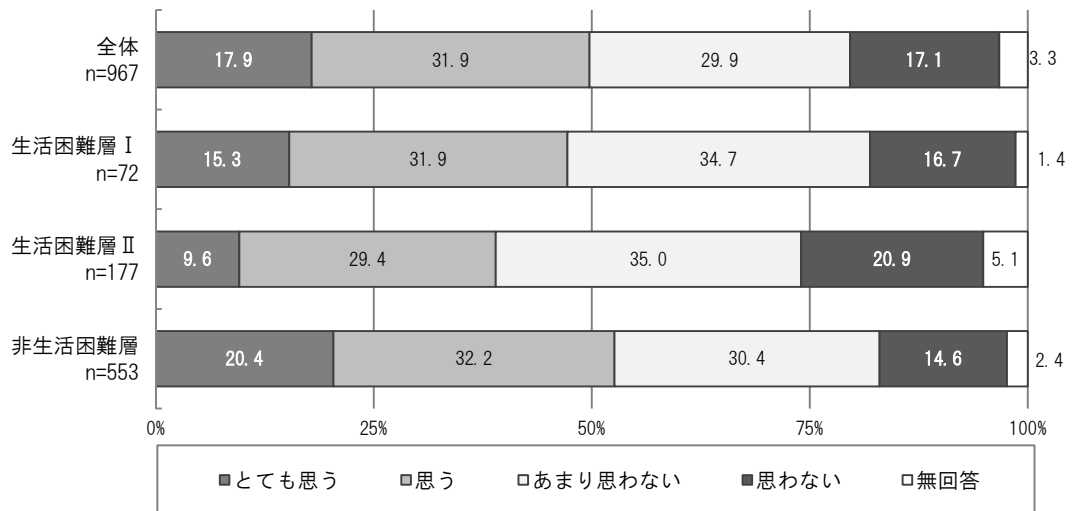


図 5-3-2⑧ 思いや気持ち ⑧ 自分のことが好きだ (中2)



(4) 以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○) <小5 問28・中2 問29>

あれば使ってみたい場所について、「使ってみたい」は、小5では「放課後に友だちと食べたりおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごせる場所や施設」が76.6%と最も高く、次いで「休日や夏休みなどに友だちと食べたりおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごせる場所や施設」が76.3%となっている。

中2では「休日や夏休みなどに友だちと食べたりおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごせる場所や施設」が73.3%と最も高く、次いで「放課後に友だちと食べたりおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごせる場所や施設」が69.3%となっている。

図 5-4-1① あれば使ってみたい場所

「放課後に友だちと食べたりおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごせる場所や施設」(小5)

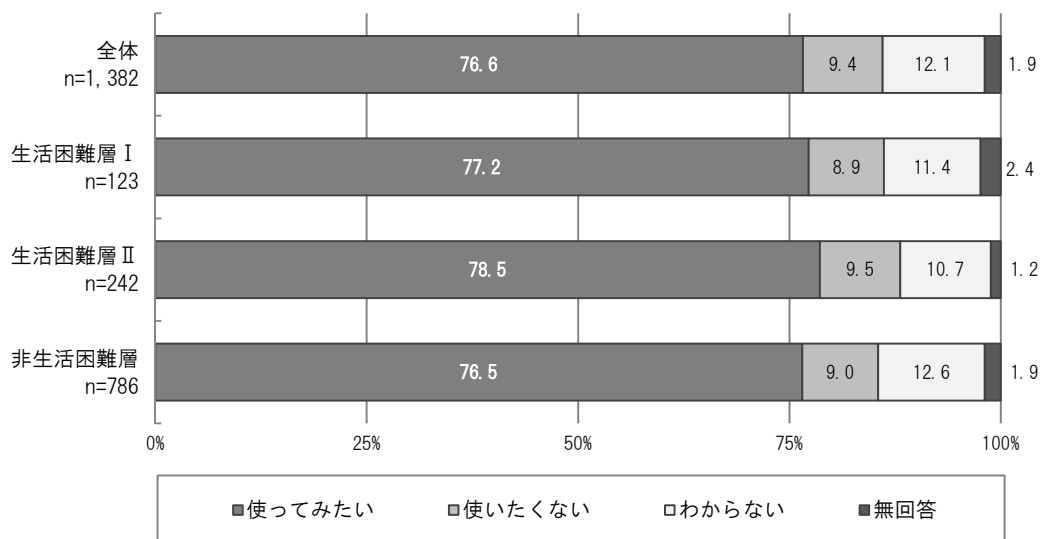


図 5-4-1② あれば使ってみたい場所

「休日や夏休みなどに友だちと食べたりおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごせる場所や施設」(小5)

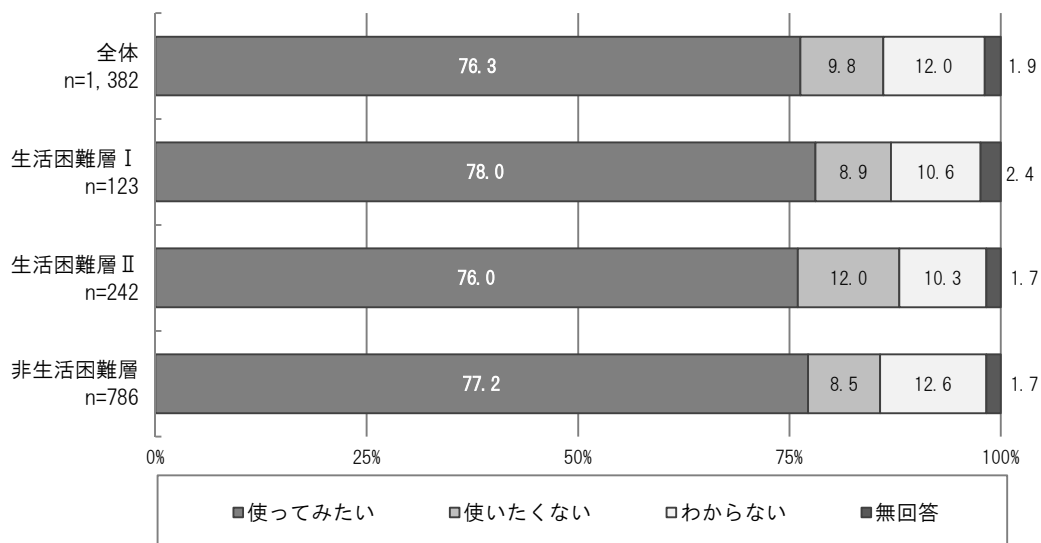


図 5-4-1③ あれば使ってみたい場所
「家族がいないときに、友だちや大人の人などみんなで夕ごはんを食べることができる場所や施設」(小5)

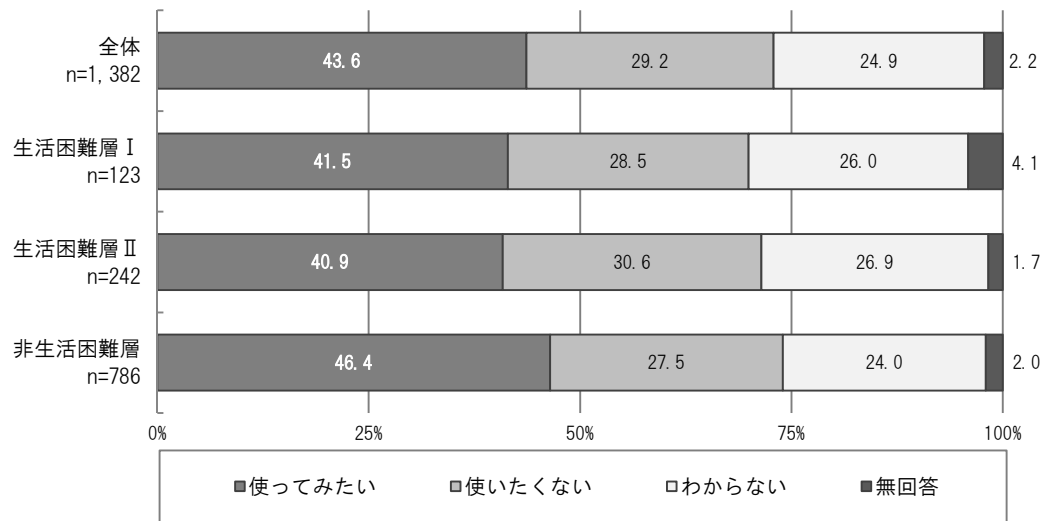


図 5-4-1④ あれば使ってみたい場所
「放課後や休日・夏休みなどに、静かに勉強ができる場所や施設」(小5)

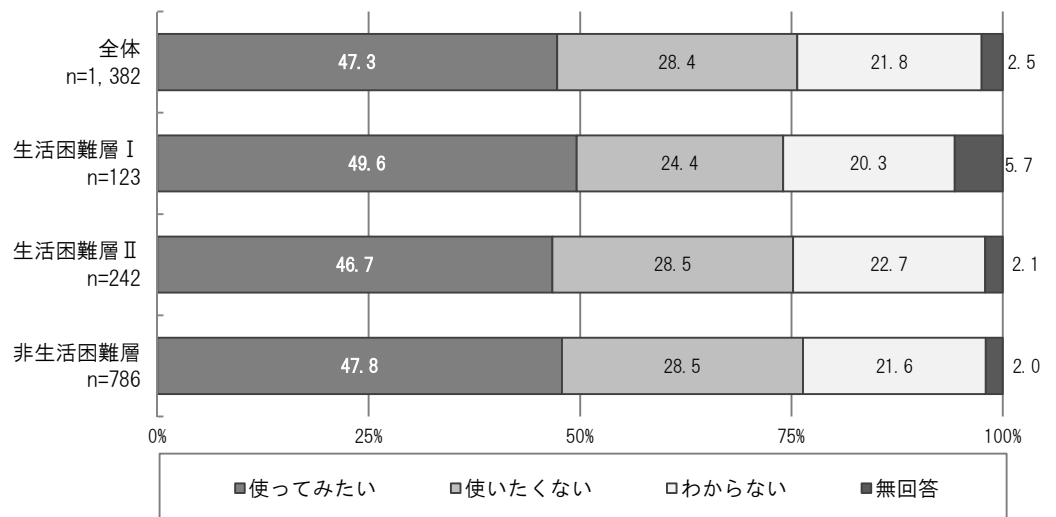


図 5-4-1⑤ あれば使ってみたい場所
「大学生のお兄さんやお姉さんなどが、勉強を無料でみてくれる場所や施設」(小5)

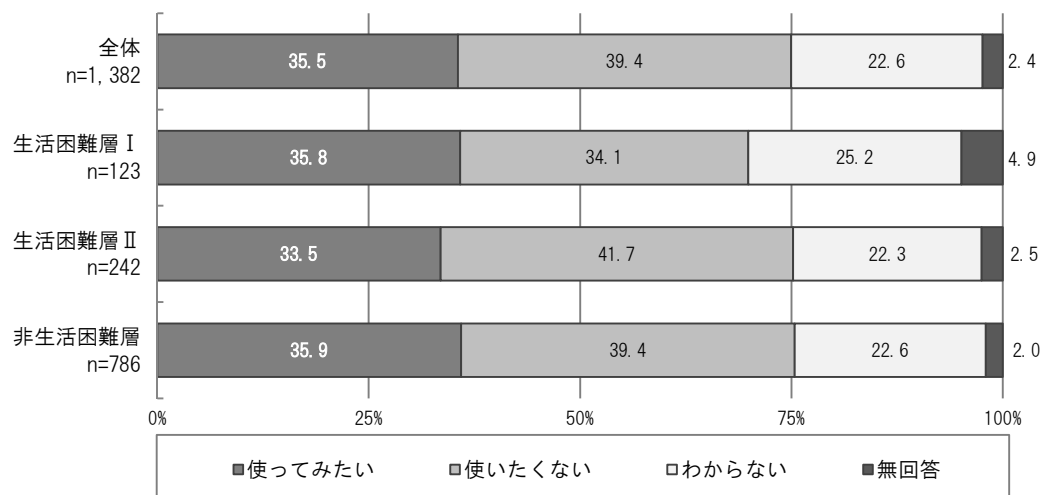


図 5-4-1⑥ あれば使ってみたい場所

「自分のことや友だちのことなど何でも相談できる人のいる場所や施設」(小5)

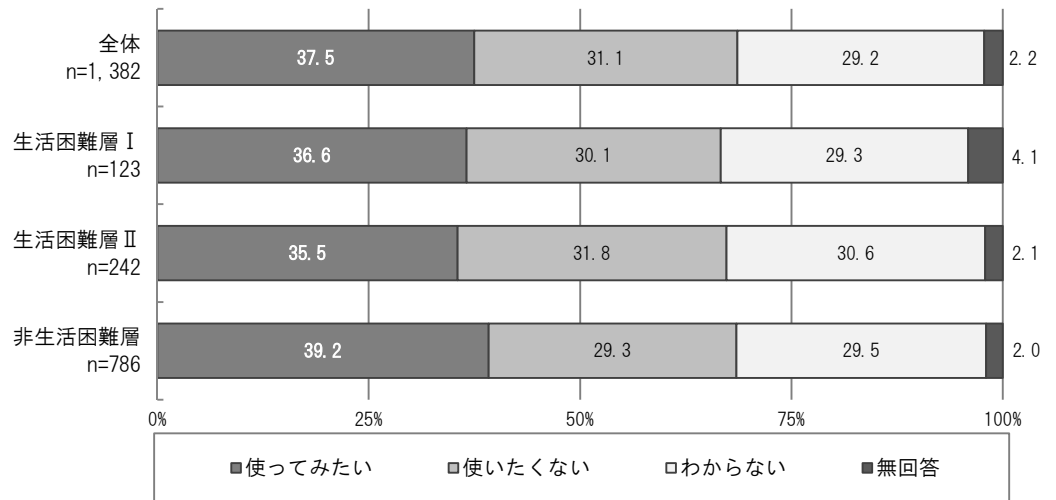


図 5-4-2① あれば使ってみたい場所

「放課後に友だちと食べたりおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごせる場所や施設」(中2)

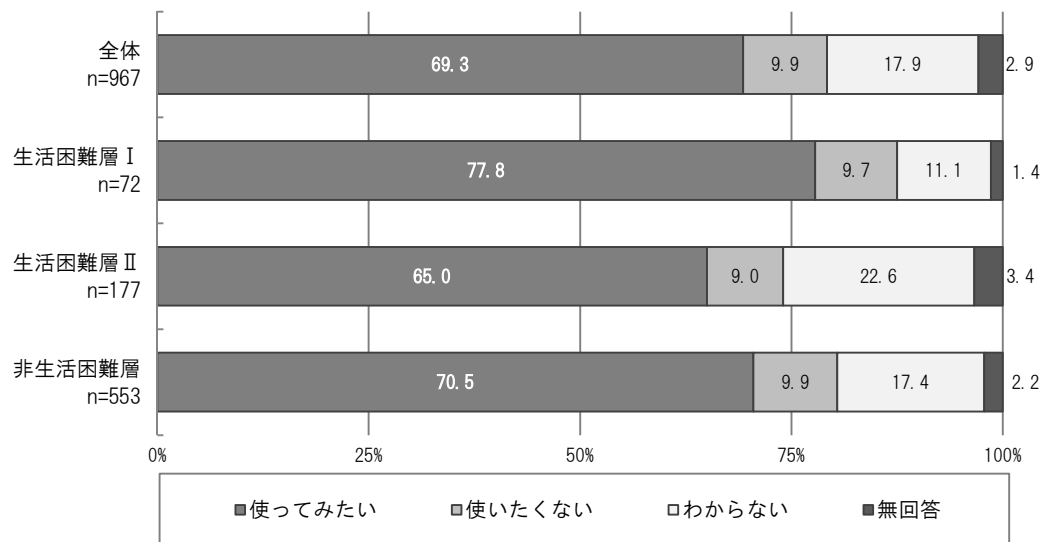


図 5-4-2② あれば使ってみたい場所

「休日や夏休みなどに友だちと食べたりおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごせる場所や施設」(中2)

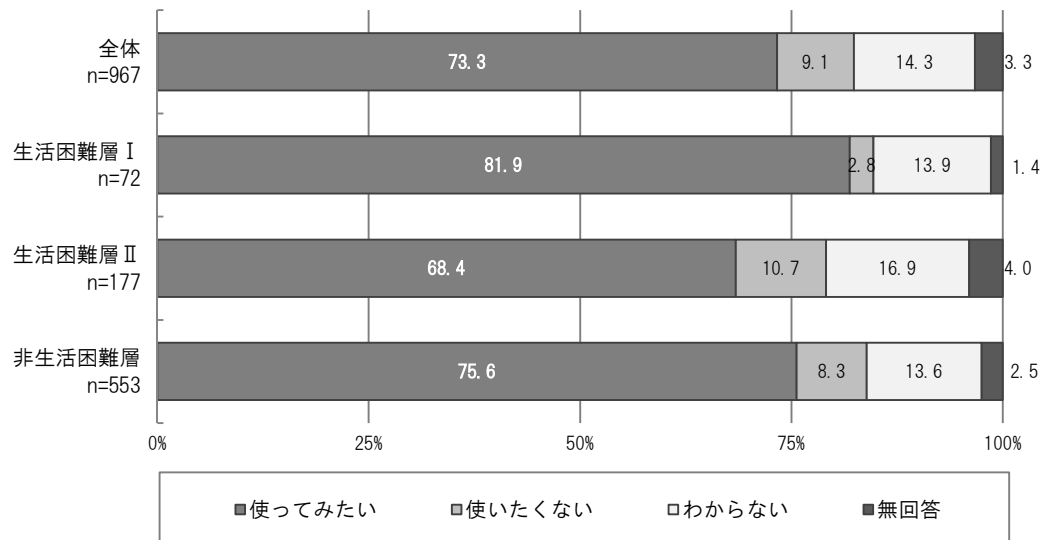


図 5-4-2③ あれば使ってみたい場所

「家族がいないときに、友だちや大人の人などみんなで夕ごはんを食べることができる場所や施設」(中2)

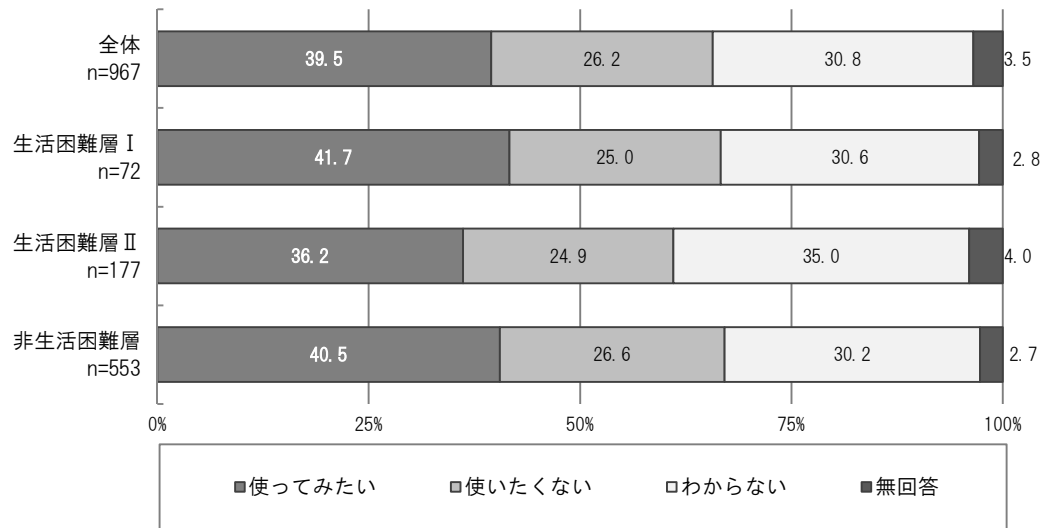


図 5-4-2④ あれば使ってみたい場所

「放課後や休日・夏休みなどに、静かに勉強ができる場所や施設」(中2)

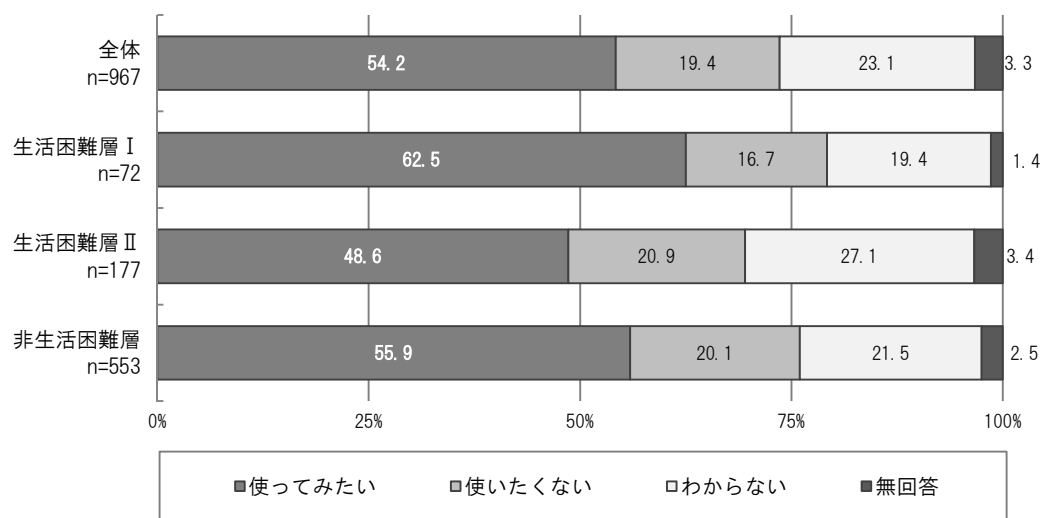


図 5-4-2⑤ あれば使ってみたい場所

「大学生のお兄さんやお姉さんなどが、勉強を無料でみてくれる場所や施設」(中2)

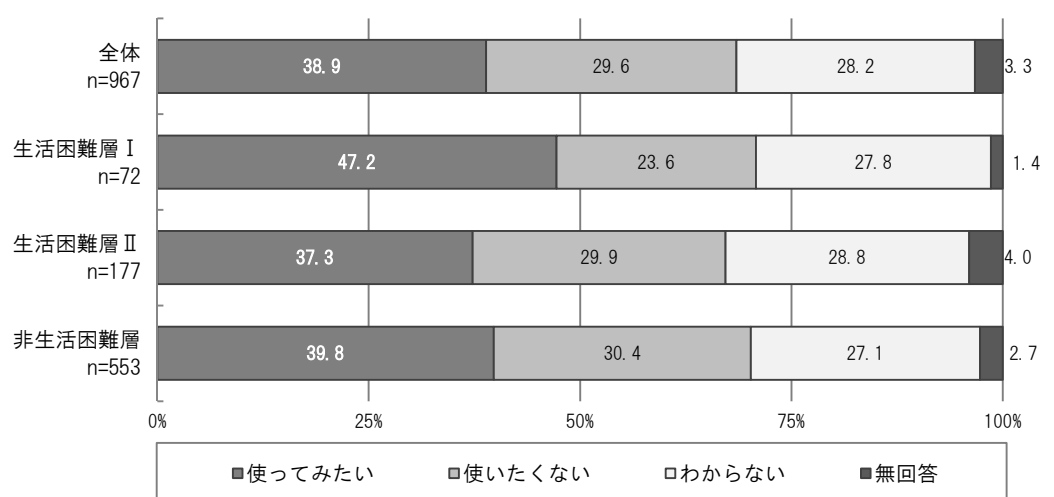




図 5-4-1⑥ あれば使ってみたい場所
「自分のことや友だちのことなど何でも相談できる人のいる場所や施設」(中2)

